女學世界

第七巻 第十五號



明治卅三年十二月廿五日第三種郵便物認可
明治四十年十一月五日發行（毎月一回五日發行）

博文館發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎美顔水は天下唯一の美白光艶劑なり◎

化粧用美顔水は品質最もよろしく方今満天下の貴婦人令嬢佳人爭ふて之を用ひ賞賛の聲囂すし色を白くしきめをこまかに光艶をだしうつくしくなる殊に化粧に用ゆればおしろい意のまゝにのりむらにならず常に用ふれば「花の顔せ」眞雪の肌となり玉を欺く美しき顔となるべし

（本品御購求の節は化粧用美顔水と御指名を乞ふ）

▲東京市内は勿論日本全國各地いたる處の有名なる小間物店にて販賣す



「デパアトメント、ストーア」こは如何なるものなるや？

新荷到着

新柄呉服太物類
歐米流行洋服類
化粧品小間物類
室内装飾用品類
帽子洋傘洋杖類
靴鞄履物旅行用品類
玩具其他諸雜貨類
外に寫眞場、食堂の設あり

三越呉服店

「三越」を主題とせる文學的製作の懸賞大募集締切期限は十一月十日なり詳細は時好編輯部に照會せられたし

地方より御注文被下候御華主様の爲め冊子「冬小袖」を發刊せり御一報次第送呈仕る可く候

「デパアトメント、ストーア」を説明するものは「三越」なり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女學世界 第七卷第拾五號 目次

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

肺病患者に告ぐ

私儀明治廿一年の十一月以來慢性肺病に罹り各地の醫藥は勿論妙藥なりと聞く毎に諸種の賣藥を服し東京市内有名大家諸先生の診斷服藥し猶ほ横濱獨逸病院長（ドクトル）の藥劑も其効なし豆州熱海相州箱根上州草津温泉何れも兩三年入浴するも異狀なく其外鍼灸限なく療養したるも効驗更になく漸次重症となり廿八年四月頃には時々咯血して皮膚青白く身體非常に衰弱し日々發熱し咳痰甚しく骸骨同樣に成最早此上は致し方無之只死を待の外なし然るに私は病中臥褥の内と雖ども常に書見するの癖あり一日家藏の古書を點見する中文政の頃大阪の名醫長崎に遊學し蘭人より授りたる肺病必治の奇法聞書と云ふを發見し試みに數包を調劑して服せしに不思議にも爽快を覺え尚續て服するに益々快方に赴き四週間餘りにて全く根治したり既に死に望みたる大患を斯くも容易く根治し實に蘇生したる思ひにて此の嬉さの餘り爾來肺病患者と聞く毎に其實を告げ試藥せしもの五十四人皆共に全治せざるものなし眞に驚く可き世界唯一の肺病奇藥なるを以て寧ろ之を世に公にして數多の肺病患者を救護せよとの勸めを受るに至り玆に肺治散と名づけ内務省の御檢査を經り弘く世の肺患者に發賣する事となれり然る處本劑の効驗非凡なるを以て發賣以來日尚ほ淺きにも不拘内地は勿論既に**米國紐育市タイヤーガ商會**及び**印度バタビヤヒイアエーテス社**等へ續々輸出す專ら高評を博し服用諸君よりは全治の禮狀實に四千六百餘に達せり然るに此奇藥を知らず種々に迷ひ病苦に惱める人士なきにもあらじ天壽を全ふせんと欲せば速に本劑を服して難病根治の一大幸福を得よ

藥價　七日分貳圓●十四日分四圓●廿一日分五圓●卅五日分七圓五十錢●七十日分十四圓●遞送料十錢●爲替局名は大森局宛取組の事

主治効能●肺結核●肺炎●氣管支加答兒●肋膜炎●肺尖加答兒●たん咳等肺病一切より起る諸病を根治する偉効あり

用法及び詳細は本能書にあり（但し本舖へ直接御注文の時は病狀の模樣を詳細に記入申込を乞ふ）

東京府下荏原郡入新井村字不入斗二百十四番地

調劑本舖　川名助次郎

東京神田區花房町二番地　山崎帝國堂
大阪心齋橋筋二丁目　丹平商會
横濱吉田町二丁目都橋際　永井永進堂
仙臺新傳馬町　櫻井伊之助
東京神田區橋本町二丁目　福井甚藏
東京銀座一丁目　佐々木玄兵衛

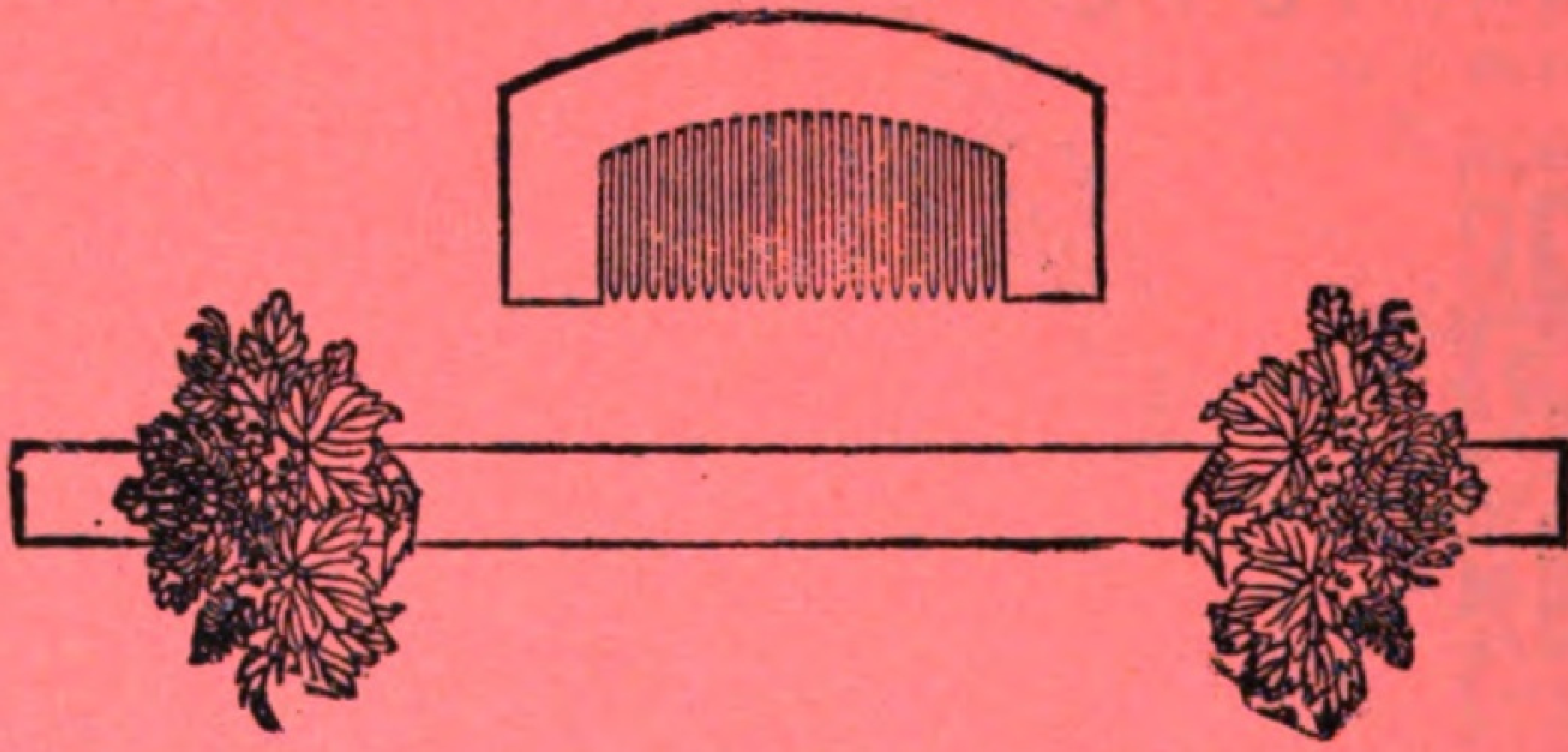
肺治散特約店

東京銀座　岸田吟香
東京日本橋區本石町　守谷萬次郎
東京兩國米澤町　吉田安五郎
大阪西横堀舟町橋西詰　賣藥卸賣株式會社
富山市東四十物町　中田清兵衛
東京銀座　松澤八右衛門
東京日本橋區瀬戸物町　玉置金八
東京日本橋區上槇町　安川晃榮堂
長崎市船大工町　片峰七郎
東京神田區鍛冶町　大木合名會社
東京日本橋區本石町　大橋博愛堂
東京兩國米澤町　大木口哲本店
大阪堺筋伏見町　谷回春堂
水戸市上市泉町　三加納與右衛門
東京日本橋通　中田清兵衛
東京日本橋通大野　傳兵衛支店
東京府下八王子町　岸回春堂
越後國長岡町　藤井卯吉

（全國到る所の有名なる藥舖にて販賣せり萬一無之地は本舖へ申越次第特約す）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御婚禮用櫛笄



○甲張製兩花付櫛笄　一組の價格　拾圓、拾參圓、拾五圓、拾八圓、貳拾圓、貳拾五圓

○本鼈甲兩花付櫛笄　一組の價格　壹百圓、壹百五拾圓、貳百圓、貳百圓以上各種

○丸髷用本鼈甲櫛笄　一組の價格　廿圓、卅圓、五拾圓、七拾五圓、壹百圓以上各種

○甲張製丸髷用櫛笄　一組の價格　參圓、五圓、六圓、拾圓、拾五圓、貳拾圓、各種

東京市京橋區南傳馬町

特　大西白牡丹

電話本局三十番

振替貯金口座
第九二九三番

○此外新案の御髪かざり幷に指輪ブローチ類各種取揃居候間御用命奉願上候市内は御申付次第早速御覽に入れ候

○市外御客樣より郵便御注文の節は從來より一層御滿足被遊候樣本月より地方掛りを增加致し御注文品の選み方は勿論發送の手續き等御注意を加へ迅速に御取扱申上候

（いの一）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

上品の容姿は完全なる前髪じんに依りて裝ふ事を得る！

米國製

東髪前髪じん



○一大注意　ヘヤロールは今や歐米に流行しつゝある東髪前髪じんなり、從來の毛製品は彼の忌むべき癩病患者又は肺病患者の遺髪の混りある憂ひありて衛生上恐るべきは勿論、常に鬱陶しく頭部に痒みを起し果ては禿げる心配等ありて知らず〳〵一生の不幸を來す恐れあり、大に注意すべし。



○本品の特長　ヘヤロールは微細なる金線にて製し輕き事鳥羽の如く空氣の流通至極宜しフケを生せず伸縮自在なれば大小の前髪になづみ最とも上品の容姿を裝ふべし且、腦病又頭痛の方には衛生上最も有益の新輸入品と謂ふ可きなり故に外部を優美なる絲網に覆へば毛を損じスベリ出す憂なし。

類似の粗品續々現るは特に「米國製」と御指定な乞ふ

定價一個卅八錢　送料八錢

團體にて多數御注文の際は割引御便利可致候

輸入元　東京々橋區鎗屋町一　日加商店

特約店　東京日本ばし區橘町四　御園おしろい本舖
大阪東區南久寶寺三　婦人小間物問屋　小栗三郎

振替貯金口座八六六九　丸見屋商店

販賣店　各地和洋小間物化粧品店

女（いの二）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○直に美人となる可驚美顔白色劑

藥學得業士從七位鍋木靜夫先生證明製劑

●高等化粧料美顔白色劑 **ホワイテン**

WHITEN（化粧。消毒。經濟の三大德用）

◉價格 特製 壹圓貳拾錢 大瓶 七拾五錢 小瓶 四拾錢 小包料一個八錢

右高等美顔料白色劑（一名ホワイテン）は現今歐米各國紳士貴婦人間に於て唯一の洗滌白色劑として愛用せらるゝ一種可驚秘方劑にして是れに加ふるに鍋木藥學得業士が多年藥理化學研究の結果更に有効新劑を配合し本邦人の常用に適せしめたるものなれば世に在り觸れたる無責任なる賣藥化粧品と同一視せざらんことを乞ふ

●ホワイテンの特効

一、朝夕用る時は色白くきめ細かに麗き膚となる
二、にきび、あせも、そばかす等苟も顔の荒るゝ如き事なく光澤を增す
三、白粉を附るの必要なし充分白くなるべし
四、香水石鹼洗粉の必要なし夫れ以上の効能あるべし

今回一千名を限り御試用として一個半額金貳拾錢にて差上候間大至急御申込を乞ふ



發賣本舖 東京芝區櫻田伏見町三番地 **東洋堂藥局** 電話新橋二九四二番 電信略號（カヲ）

◉通信教授 自宅獨習生募集

産婆學講義錄

新學期十二月開始 毎月一回發行 六ヶ月修了

●産婆科を卒業したる者は直に産婆試驗に應ずる事を得
●看護科を卒業したる者は直ちに就職の資格を得
●尚卒業後は永く會友として實習及就職の便宜を與ふ

看護學講義錄

新學期十二月開始 毎月一回發行 四ヶ月修了

●産婆科全授業料……四圓五十錢
●看護科全授業料……三圓
●束修……五十錢 各料共月謝八十錢
（注意）總て全授業料前納者束修免除

▲本講義錄は婦人にして將來産婆看護婦希望者の爲に斯界の泰斗たる醫學博士醫學士ドクトル諸先生が親しく執筆文章を言文一致體となし總ふりがなを附したれば恰も手を取りて敎へらるゝが如く何人と雖も其了解に苦しむ事なし尚就職の目的にあらざるも衛生を重んぜらるゝ淑女も亦講習の必要あり

會長 陸軍二等軍醫正 正六位勳四等 ドクトルメヂチーネ 渡邊鼎

講師
仁濟堂病院長 醫學得業士 石井虎之助
醫術開業試驗委員 醫學士 長谷川順次郎
正六位勳四等 ドクトルメヂチーネ 渡邊鼎
陸軍二等軍醫 醫學得業士 根本麟之助
日本製藥社技師 藥劑士 中村信治
東京醫科大學助手 醫學士 福島尙純
兒玉産科婦人科病院長 ドクトルメヂチーネ 兒玉林平
東京醫科大學講師 ドクトルメヂチーネ 佐藤運雄
陸軍三等軍醫 正八位 岩淵豐治
平山外科醫院長 平山成之助

幹事 平山成之助

●贊成員醫學博士及知名の病院長數十名
●規則書送呈
●郵券二錢要

東京四谷內藤町一番地 **東京産婆看護婦講習會**

（いの三）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



女(いの四)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

紅葉



太田三郎筆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

松みどり香油



松みどり香油は原料を吟味し製法を注意いたし候者にて優雅高尚なる香氣を長く有ち頭髪の光澤を増す特効ありて世に有り觸れたる香油とは大に趣きを異にいたし居候へば貴夫人令嬢方には缺くべからざる逸品に御座候御試用の上御高評願上候

定價 ○大壜 四十五錢 ○中壜 二十錢 ○小壜 十二錢 ○一合 三十五錢

製造本舗 東京上野廣小路 **山崎屋油店** 電話下谷一七三五番

◎販賣所は各化粧品店にあり

根治確證

わきが

新治療藥 ラヒヨシン

必ず全治し決して再發或は他病に變ぜず

本剤を塗擦すれば主成分は皮膚及び肉の組織に吸收せられ其組織にある毒素を溷滯し惡臭を逐ひ根底より全滅せしむる作用を有する最近發見の特種の新劑にして如何程頑固劇烈の難重症にも甲價特別製を用ひて速に苦惱を脱せしむ

但七拾錢乙價壹圓卅錢甲價特製貳圓五拾錢

毛のはへる

原名ベクネス

めはへざわうすき人◉まゆ毛◉口ひげ◉婦人こまあたりのはげ◉あるべき所に毛なき人用ひよ毛髮増生す頭などにはげのあるのは見苦しき者也

有力なる最新液にして

定價壹圓卅錢特別製貳圓送料拾四錢本品は原名をベグネスと稱する現今最賞用せらるゝ

毛をはやしたき人 早く試みられよ◉ぬけ毛落毛を止む

化學的品

色の白くなる

ハンドコロン液

殊に皮膚を漂白するを以て全身次第に**白色艶美**となる男女交際上最も必用の品なり

十分の力 第に依り皮膚は次第に新時代の**主性**

價A印壹圓B印特製壹圓五拾錢送料十三錢本剤は貴婦人淑女紳士間に大高評を博し殊に愛用せらるゝ最新流行の秘方奇剤にして本剤を塗擦すれば

根治確證 新治療藥

梅毒

キーネル

本剤は多年學理と實驗に依り最新發見の完全なる一種稀有の新劑にして**忽ち全身の毒**を大小便にとりて如何なる劇烈のばい毒●そう毒●かさ●ふきでもの●よこねかんそう骨うづき其他如何なる惡性の梅毒も**必根治**す

輕症は半劑惡症重症も二劑用ゐて奏效す世間種々雜多の無效なる驅黴藥の比に非ず藥價半劑八十五錢一劑一圓六十錢二劑三圓郵券代用一割増

專賣 東京本郷湯島四丁目十五 **オリエンタル藥舖** 電話下谷二五三五

女(その一)

妾事小供の時より薄毛にて種々の藥を試みしも効なかりし所洋行中なりし醫學博士令夫人より奇藥を得是迄の薄毛も濃くなり又毛の生へざりし所迄毛生へし嬉しさの餘り困る方に告たし三錢郵劵を添へ御照會あれ



東京市京橋區越前堀　河村愛子

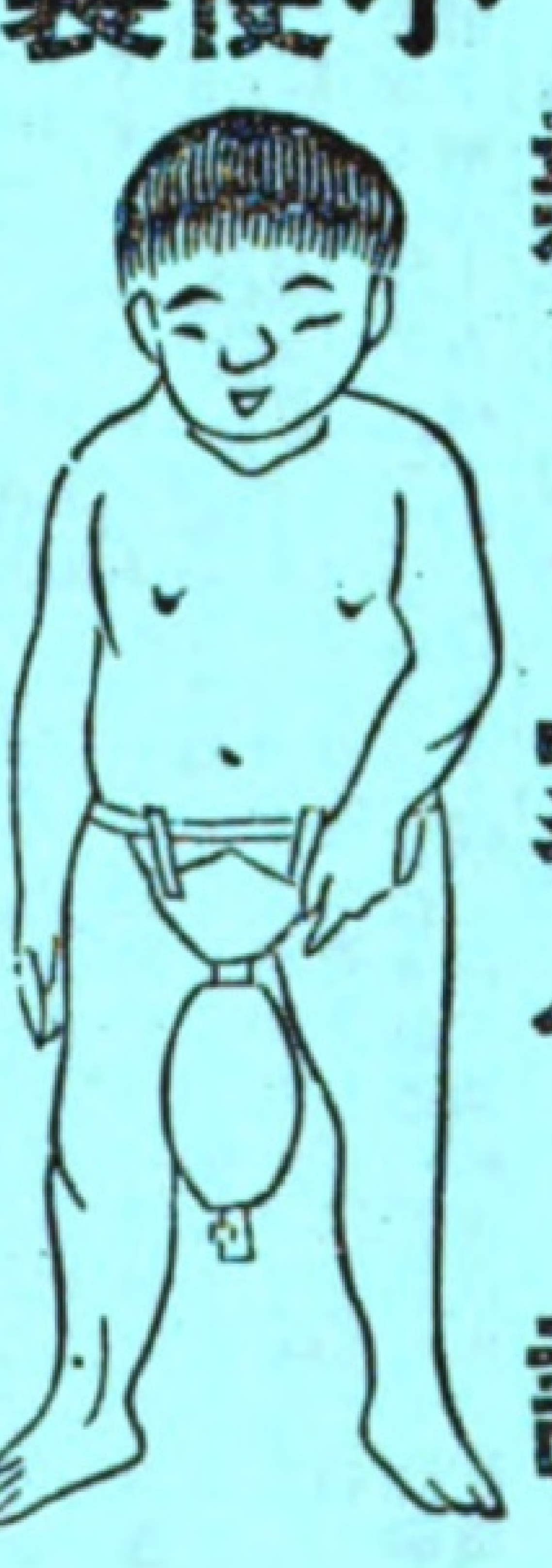
大勉强一割引

當店今般業務を擴張し博文館發行の新刊圖書雜誌を初め市內各書林に於て發行する書籍類は凡て定價の一割引(外に送料を要す)を以て迅速御取次仕るべく候間多少に拘はらず御注文の程願上候但し郵劵代用は定價通り且つ中等教科書類は定價通り申受く

東京神田三崎町三丁目　日清堂書店

●子を持てる**親**病人のある**家人**は必ず**讀**め

ね小便袋



衛生最良德用輕便ね小便袋は洗濯の世話なく手數を省き小便は袋の外へ洩れず蒲團を汚す事なく常に清潔なれば**老人小兒**病人の最も必要にして、ね、をき、たち、すわり等は毫も差支なきは本品の特長なり(男女の區別あれば御注文の節御注意を乞ふ)

定價　小人用　八拾錢　大人用　壹圓八拾錢　▲小包料拾錢
中形　壹圓　(特別製は各廿錢上り)　切手一割增

發賣元　大阪北桃谷町三百番　振替口座八一九八番　**常盤號雜貨部**

日本元祖　改良 新式 美術　**造花術**　通信教授

◎二ヶ月卒業▲遠國に在て老幼男女誰にても造り花、和洋花かんざし等美麗に出來る▲卒業後は就職の便あり▲規則書は郵劵二錢、見本は十錢送れば直に逕呈す

東京四谷須賀町八　**美術造花傳習所**

◎奏効確實 器械不要　**簡易複寫インキ**

●定價二オンス堅裝罎入　送料共金參拾錢　郵劵一割增●

發賣元　神田區錦町二丁目四番地　**中村屋商店**

女(ろの二)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



（ろの三）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



女(ろの四)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

菊の香

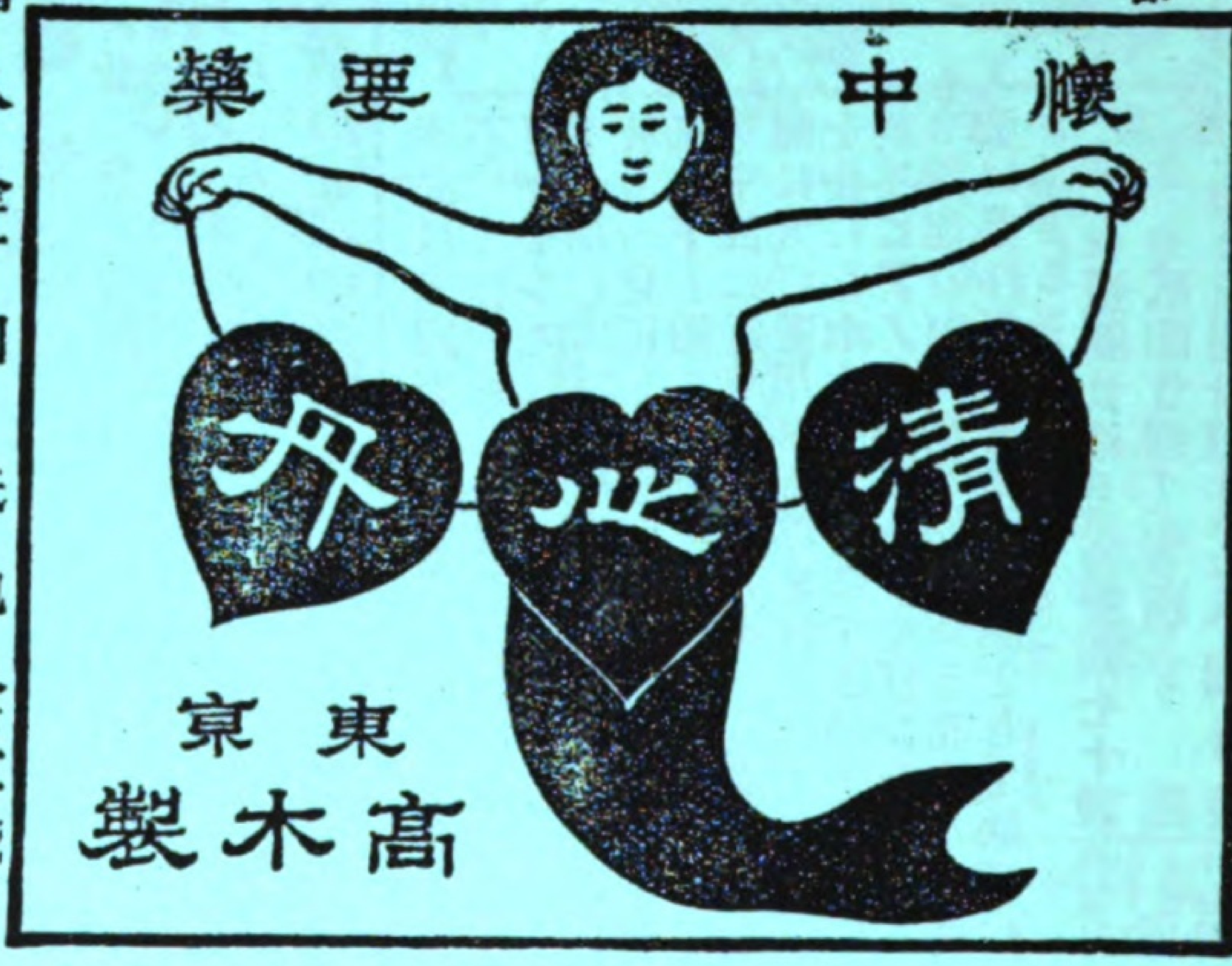


小野鵞堂書
宮崎與平畫

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

近來同名類似之品數多相見へ候に付御愛求の節は人魚の商標と高木與兵衛の名義に御注意被下度候



定價

箱入 金一圓
同 金五十錢
ニッケルカン入 同 金三十錢
同 金十五錢

紙包 金二十錢
同 金十錢
同 金五錢

東京博覽會賞牌受領

パール

宮内省御買上ノ光榮ヲ得タリ

四季ノ化粧及ビ毛髪ノ養生ニ適シ世界的流行逸品ナリ

毛髪料 美顔料 二種



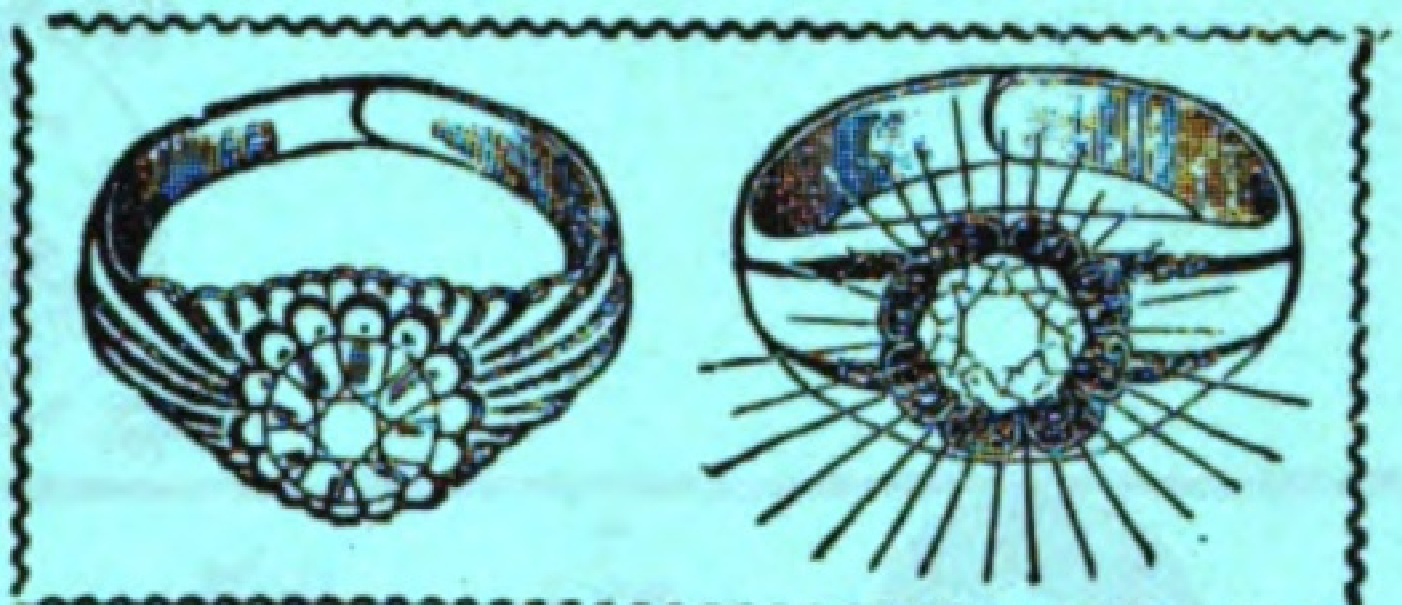
東京ハマ町一 平民乃店

(はの一)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男 ちゞれ 赤毛は何程の難毛
女 くせ 毛も直に根治黒
變し良き艶の出る奇術
を郵券封入申込の方に
無料教授誓て美髪にして差上げます

東京 麻布區 材木町 岩阪澄子

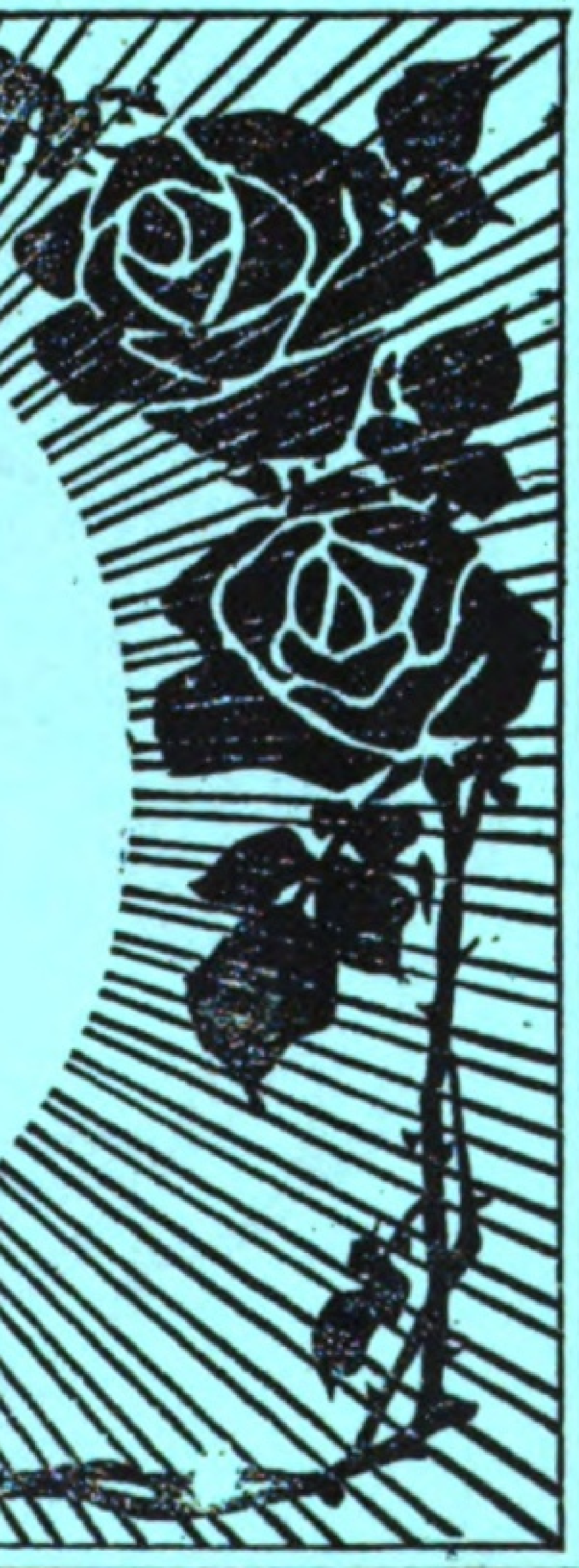


本品は米國カルホニア州に産出する寶石にて彼の地にては是をカルホニアダイヤモンドと稱し光輝燦爛として麗々たる光彩を放ち一見正しく數百金の價するダイヤモンドと殆んど異ならず故に近時歐米紳士貴孃間に大に愛用せられ宴會に於てパイプを指にしホークを手にする紳士夜會に於てピアノを彈じバイオリンを奏する令孃達の中に星の如く輝き高尚なる優姿は是れぞ交際上装飾品として缺くべからざる貴寶品なり

定價
金張 壹圓廿錢 合成金 壹圓七十錢
金張 貳圓廿錢 十二金 四圓
十四金 五圓卅錢 十八金 八圓廿錢
美麗なるサック付 小包料 拾貳錢

●御注文切手代用は必ず一割增の事

發賣元
大阪市南區北桃谷町
(振替貯金口座八一九八番)
常盤號



新形ボアー。マフ
絹ショール・毛布
膝掛。羽根蒲團
小兒帽子・リボン
造花。西洋小間物
御婦人手袋。沓下

東京牛込神樂坂下
朝日堂
電番町一六九九番

女(はの二)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

造花材料

器具並に材料品

○刺繍用器具 並に材料

○袋物器具 並に材料

○摘ゝ細工 壜細工材料

○造果用材料 並に木型

其他御婦人用美術技藝品一式

地方御注文の節は代金引換小包郵便にて御送申上候

東京市本郷區弓町二丁目

倉持商店

切取線

此切取線を添へ御申越しの方へは美術技藝の栞並に定價表無代進呈す(女學世界)

洋畫講義録

執筆者

三宅克己先生 岡田三郎助先生 大下藤次郎先生 中澤弘光先生 外大家十數名

洋畫講義録は水彩畫を始め其他油繪、木炭畫、ペイ畫、鉛筆畫、肖像畫等すべて一切の洋畫に關する事を詳細に講述す毎號美麗なる挿畫數多あり、毎月一回發行、一年卒業、會費月卅五錢、詳細規則無料進呈

新學期開始!

東京市麻布飯倉四丁目

大日本繪畫講習會

繪畫講習録

執筆者

川端玉章先生 荒木寛畝先生 寺崎廣業先生 梶田半古先生 外大家十數名

繪畫講習録は日本畫の技術と之に關する各種の學科とを平易懇切に教授し如何なる初學者と雖も忽ちにして上達せしむ毎號美麗なる繪畫數葉を挿入す、毎月二回發行一年卒業會費月卅五錢、詳細規則無料進呈

三大博士

發明

神經衰弱貧血頭痛ヒステリー依卜昆的里**陰痿**等通俗的症候解説療法攝生法根治藥詳説の雜誌をハガキで申込次第無代進呈す

肺病救濟

アドロフ博士新發見肺結核治療藥は醫界新紀元也我國に傳へ公私病院長醫家實驗廿七名の**不思議**の効果を確認せる全治報告根治療法詳説の雜誌を救濟の爲無代進呈ハガキで申込……

東京京橋越前堀

樂天堂藥房

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

和洋樂器大販賣所

電話新橋 一二五九
振替口座 七一五八

十字屋樂器店

舶來 バイオリン



舶來 鈴木製 松永製 各種
附屬品一式

東京博覽會ニ於テ宮中御買上ノ光榮ヲ賜ハル

◎大聲發音器各種

◎樂隊用吹奏樂器類

◎瓜生繁編 進行曲 正價四十錢 郵稅六錢

◎文部省檢定濟 山田唱歌集 正價三十錢 郵稅四錢

◎歐米各國 舞踏大觀 正價六十錢 郵稅八錢

◎舞踏必携 ダイアモンド 正價三十錢 郵稅二錢

◎新編 中學唱歌集 全三 正價九十錢 郵稅十八錢

◎長原春田著 明笛和樂獨習の栞 正價廿五錢 郵稅四錢

山田源一郎先生 水野呂童先生 校閲
稲島琢耶君編
（バイオリン樂譜）

箏曲 松風 正價廿五錢 郵稅二錢

同 椿盡し 正價三十錢 郵稅二錢

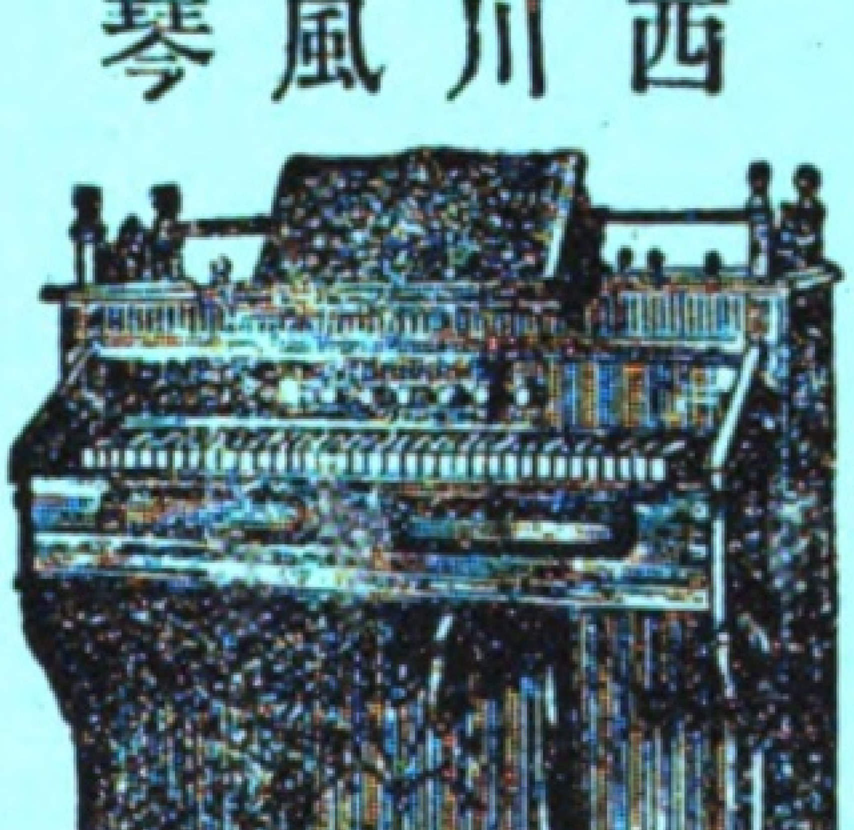
同 江の島曲 正價三十錢 郵稅二錢

同 うすの聲 正價三十錢 郵稅二錢

其外バイオリン日本樂譜種々相蒐有之候

東京博覽會一等賞牌
日本製造元祖
西川風琴

音律正確



保險附

第一號金拾八圓以上 第廿號金二百七十圓迄

詳細目錄御入用ノ方ハ郵券貳錢御添ヘ御申込被下度候

東京銀座三丁目

（はの四）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鷺



加藤南山筆

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

秋致



福田麥僊筆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京勸業博覽會

名譽銀牌．壹等賞牌受領

山葉風琴

（保險付）

番號	價格
第壹號	一八、〇〇
第貳號	二八、〇〇
第參號	二五、〇〇
第四號	三五、〇〇
第五號	二七、〇〇
第六號	三八、〇〇
第七號	四五、〇〇
第八號	五〇、〇〇
第九號	五八、〇〇
第拾號	六八、〇〇
第拾壹號	八〇、〇〇
第拾貳號	一〇〇、〇〇
第拾參號	一二五、〇〇
第拾四號	一三〇、〇〇
第拾五號	一五〇、〇〇
第拾六號	二〇〇、〇〇
第拾七號	三〇〇、〇〇
第拾八號	三五〇、〇〇
大和オルガン壹號	四八、〇〇
同 貳號	八五、〇〇
座敷用オルガン壹號	二一〇、〇〇
同 貳號	二七〇、〇〇





○山葉洋琴 金參百參拾圓以上金千參百圓迄各種

●舶來洋琴 參百圓以上參千圓迄各種

●舶來風琴 百圓以上千五百圓迄各種

○鈴木ヴァイオリン 金貳圓以上百貳拾圓迄各弓七拾錢以上箱壹圓五十錢以上各種



●舶來ヴァイオリン及弓箱等各種

●樂隊用陸軍々樂用吹奏樂器各種

●戰捷紀念國旗印銀笛數種

●八人組織簡易吹奏樂器一組金參拾圓

右の外手風琴、ハーモニカ、舶來ソラジヨレット各樂器附屬品、和洋音樂書各種郵券貳錢御送附あらば詳細なる目錄進呈す

（その一）



合資會社共益商社樂器店編

ヴァイオリン、三味線 合奏

吾妻八景

全一冊

大形頗美本 定價金六拾錢 郵稅金八錢



ピアノオルガン

調律修繕

（振替貯金口座壹五八〇番）

東京市京橋區竹川町十三番地 合資會社 **共益商社樂器店** 電話新橋五〇二九 電報略號キヨ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

太陽 第十三卷第十五號 臨時增刊

外人之日本觀

全一冊洋裝大判
紙數二百五十六頁
口繪寫眞版廿頁挿入
正價金參拾錢
郵稅金參錢

十一月三日發行

◉戰後の日本は世界の一大研究問題也
◉外人は如何に吾が帝國を眺めつゝある乎
◉所謂黃禍說とは何人の迷想乎
◉他山之石可以爲錯
◉本誌は古代より最近に至る迄の諸說を網羅す
◉國體政治外交軍事道德敎育社會等百般の方面に關する外人の說悉く本誌中に在り觀察の趣多端多樣恰も凹凸ある鏡面に我が姿を寫したるが如し誤解正解錯綜して奇觀極り無し

▲口繪には本誌に關係ある名士其他珍品甚だ多し

發兌元
博文館
日本橋區本町三丁目

女(にの二)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

外用 玉霜散

藥價 五貼分十錢 十一貼廿錢 十七貼卅錢 卅貼五十錢 六十二貼一圓

吾人の忌むべき嫌ふべき交際社會の障害病たる「わきが」は玉霜散にて速に全治すべし

全國到る處の藥店にあり



痛い、かゆい、と口惜に少しも忘るゝ間なき「いんきん」田虫も又此玉霜散にて治療す其効の瞬速なる雪に熱湯を注ぐよりも尚早し

發賣 東京神田鍛冶町大木合名會社
東京兩國米澤町大木口哲本店

若し無きときは發賣元へ

世界りん病新藥唯一

▲「バロール」は新發見に係る根治的良劑で一回服量僅に二粒而も其効驚くべきで有る

藥價（三日量卅錢▲七日量六十五錢▲二週量一圓廿五錢▲三週量一圓八十錢（郵税不要）

陸軍々醫藥劑官實効証明

全國到る處の藥店にあり



用量僅少奏効著大是特色

▲「バロール」は百藥其効なく時々發る漫性淋病消渇に驚くべき偉効を奏し確に此恐るべき難病を根治せしむ

若し無きときは發賣元へ

發賣 東京神田鍛冶町 大木合名會社 振替貯金四八〇番

（その三）

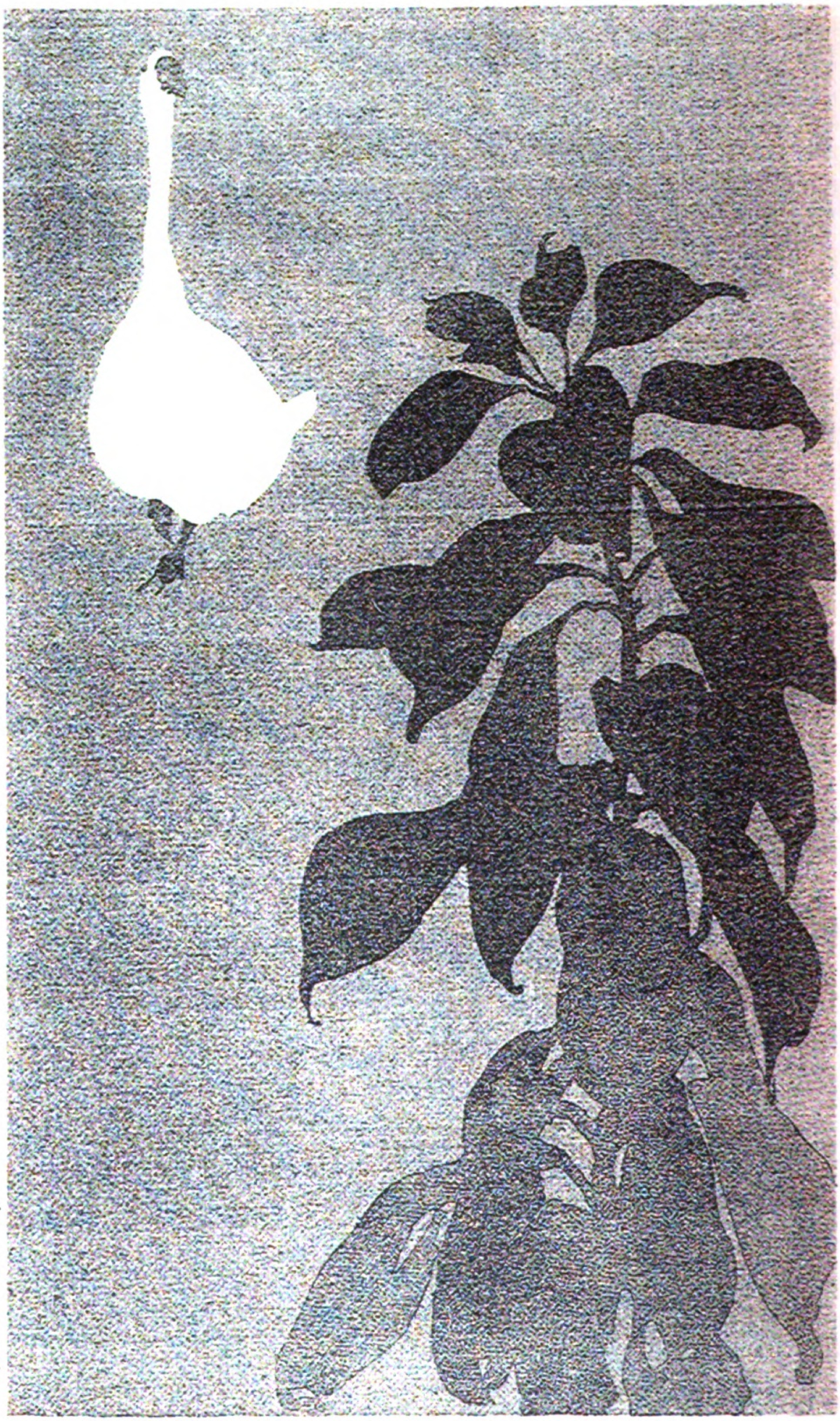
Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



(にの四)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雁來紅



一條成美筆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

秋霧をききはの内に紛
こひしく雁れおもかとは
皆ろやとちちん下樋
の水音も萬ま聞ゑく
しつのなるこのやます
こそさふれしき

坂正臣筆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

壹等賞牌受領
於東京勸業博覽會

各女學校御用
美術造花材料
附屬品並に
造花器械類一式

東京市日本橋區横山町壹丁目拾六番地
天野卯兵衛
電話(長)浪花一六四三番
振替貯金口座四九七〇番

(切取線)
◎營業目錄御入用なれば此切取線を添へ御申越被下度候
縣　郡　町村
女學世界

女(ほの一)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

數學世界 第壹卷 第八號 定期增刊

十一月十日發行

滿拾ケ年間
入學試驗問題集
幾何と三角
(答と附錄)

全一册 紙數百二十八頁 正價拾五錢 郵税壹錢

三角問題…(高等學校大學豫科外三十校)…

幾何問題…(高等學校大學豫科外三拾校)…

發兌元 東京本町 博文館

月刊 美術 文藝 雜誌
ハガキ文學

●十一月一日發行 ●卷第十二號 ★一册十錢郵税不要 ★八册前金七十五錢

(ほの二)

—▲內容概目▼—

●稀、新聞 藝風 松井松葉
●電車往來 鹿目野徑
●樂劇ロオエングリン梗概 山本迷羊
●うたかた 一倉瓊紀
●女性の趣味 X生
●海の家 正富汗洋
●初冬吟 大島寶水
●華族論 三宅雪嶺
●南風と裸體婦人 記者
●かた影 夕影女史
●思出の火鉢 のみち生
●初めて見た先生 田舍等生
●足の新聞記者 探訪員
●野良犬 鈴木秋風
●明る宵 土作香浪
●戀を得たる學生の自白 △評□雄
●禪味 呦鹿生
●悧巧なる探偵 ABC
●畫家と妻君 斷崖生
●雜誌小說 峽雲生

●神話人馬宮 野口雨情
●我國珍話奇談(應募) かさゝぎ生
●科野物語 片目實見生
●人と蛇と生きぬ 今井泉水
●神木の祟り 僞嬌生
●新英文和譯 久保天隨選
●普通文 兒玉花外選
●新體詩 鹿目野徑選
●ハカキ文 沖田空穗選
●和歌 內藤鳴雪選
●俳句 窪田空子選
●新川柳
●讀者通信如是錄 ●白墨會を見る
●文壇樂屋通等
●表紙 佐藤生巢筆
●繪葉書(應募)山田清筆
●木版口繪 太田三郎筆
●寫眞版口繪 數葉
●木版挿繪丸山晚霞 岡野榮、太田三郎 ●懸賞應募スケッチ漫畫繪葉書圖案等紙面誌上光彩陸離たり

發行所 東京小石川 日本葉書會 ●全國各書林

袴乃親玉

○季節向新柄取揃有之候○



卸部 (み)

東京日本橋長谷川町
美濃磯本店
（電話浪花二八五九番）

本郷五丁目 美濃磯支店（電話下谷二四一五番）
淺草區諏訪町 美濃磯支店
日本橋區佐内町 美濃磯支店
深川區高橋際 美濃磯支店
神田區小川町 美濃磯支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂坂 伊澤商店
四谷傳馬町一丁目 伊澤支店

大勝利ノ成功ヲ祝シ當分ノ間特ニ減價致シ候

新案美顔器

米國博士の發明大流行の輕便自由美容具

顔の美しくなる器械

本品は米國上流社會及花柳界に於て大流行せる最新式美顔具にして發賣以來各新聞紙へ實驗者の賞賛を博せる事は愛に喋々を要せず使用法頗る簡易輕便にして婦女子兒童と雖も隨意に即席に應用し得て如何程色黒き醜き人にても忽ちに艶美白色驚くべき佳麗の美顔に變化する所謂烏を鷺に變ずとは本器の効能ならん論より證據一度試用せば奏効の奇絶瞬速なる實に驚くの外なし

器械 美顔コップ 美顔ロール 壹組 減價金壹圓
附屬 化粧 美顔クリーム 美顔ポーター、ホワイ 五拾錢
送料拾貳錢 代金引換廿八錢

本器には使用方法 **美顔術秘傳書** 無代添呈

花柳袋

本品はルーデサックを再三精製したる珍品にして男女〇〇の際之を裂らせ用ふる時は避姙及花柳病の感染を防ぐ又女子月經中必用なり
▲價拾貳個五拾錢 ▲廿五個壹圓 ▲五十五個貳圓 送料各參錢

男女和合奇藥 いもりの黒燒

本品は男女なれそめ藥と云ひふしぎの特効あり
價 別製一双壹圓 並一双五拾錢 秘密送料八錢

子宮サック

月經の際經水の漏洩を防ぎ立居を自由ならしむ故に男女交接の際と雖も用ゆる時は汚物の附着せず且依て姙痳疾及子宮病をうつする憂なく又懐姙なし
▲價金上製壹圓 ▲並製七拾五錢 ▲秘密送料拾錢

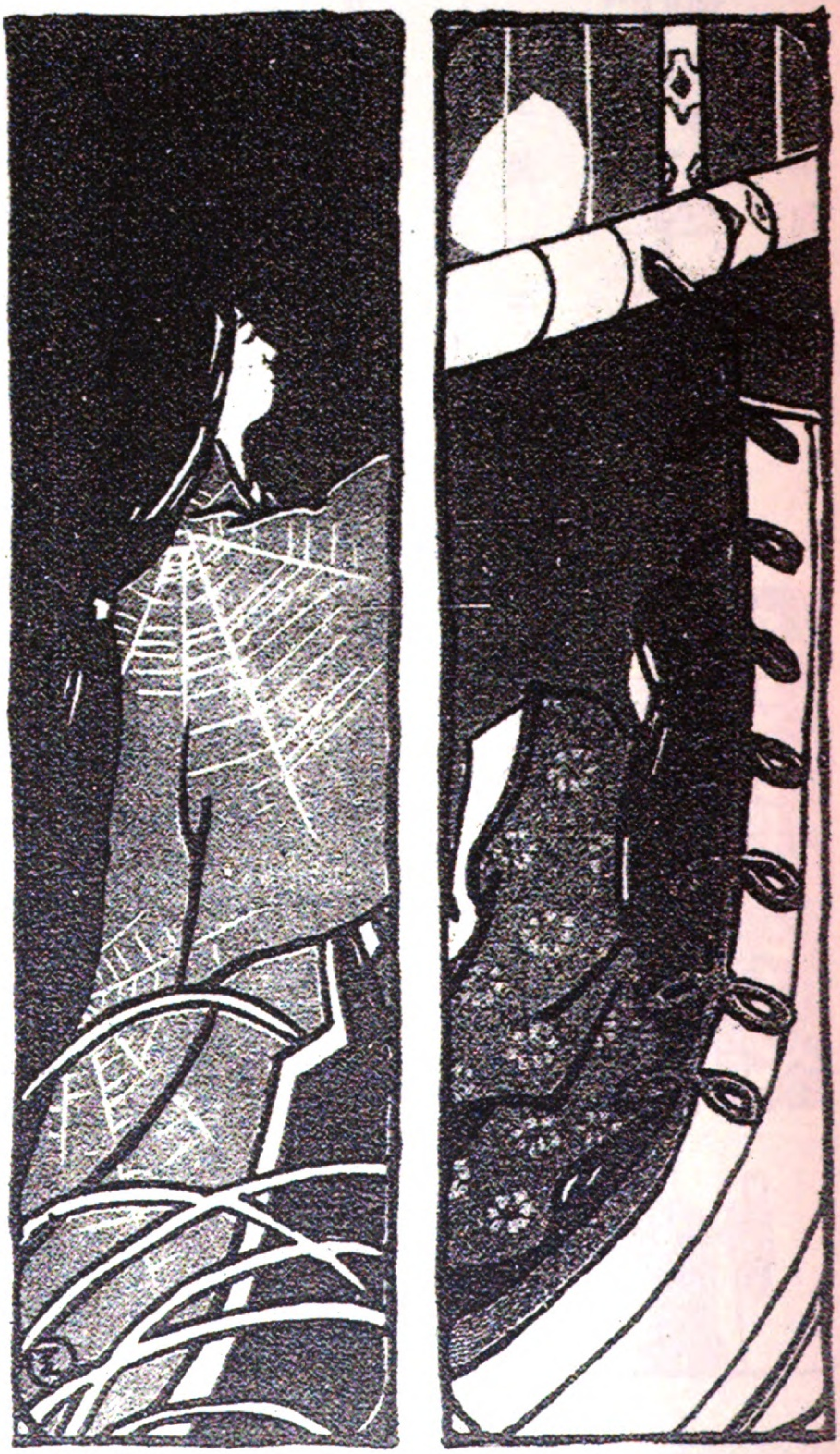
製造 專賣元 大阪東區農人橋壹丁目 錦花堂

六(ほ〇三)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA


乳白化粧水
レート
乳白化粧水レートは學理の應用と幾多の研究を以て牛乳の主成分を採取し製出せる最も進歩せる理想的化粧水なれば朝夕御用ある時は自然に美艶乳白の肌こなしきめを細かにし生來の醜婦も美婦人と化し天成の美婦人は更に美を輝かせば男女を論ぜず一時も早く御試用の上其卓効の有無を知らるべし
定價 大瓶金五十錢 小瓶金卅錢 送料金八錢
にせ物あり瓶裏に平尾贊平製造の文字に御注意
東宮妃殿下御買上ノ光榮ヲ得タルハ幾多化粧水中ニテ本品ノミ
東京 馬喰町一丁目 平尾贊平製品
大阪 南久寶寺町三丁目 平尾贊平支店
ダイヤモンド齒磨
内外博覽會金銀賞牌受領
宮内省御買上之光榮を賜はる
齒牙を保全し美貌と衛生とを重んずるものは此の齒磨を用ひよ!!!
(其の四)

霜月の栞



高橋天美筆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大校舍落成

臨時入學募集

定員一千名

寄宿舍定員百廿名

東京市麹町區有樂町一丁目五番地

シンガーミシン裁縫女學院

電話本局二一九五番

▽規則書入用の方は郵券二錢送付せられよ

家庭向婦人用

シンガーミシン

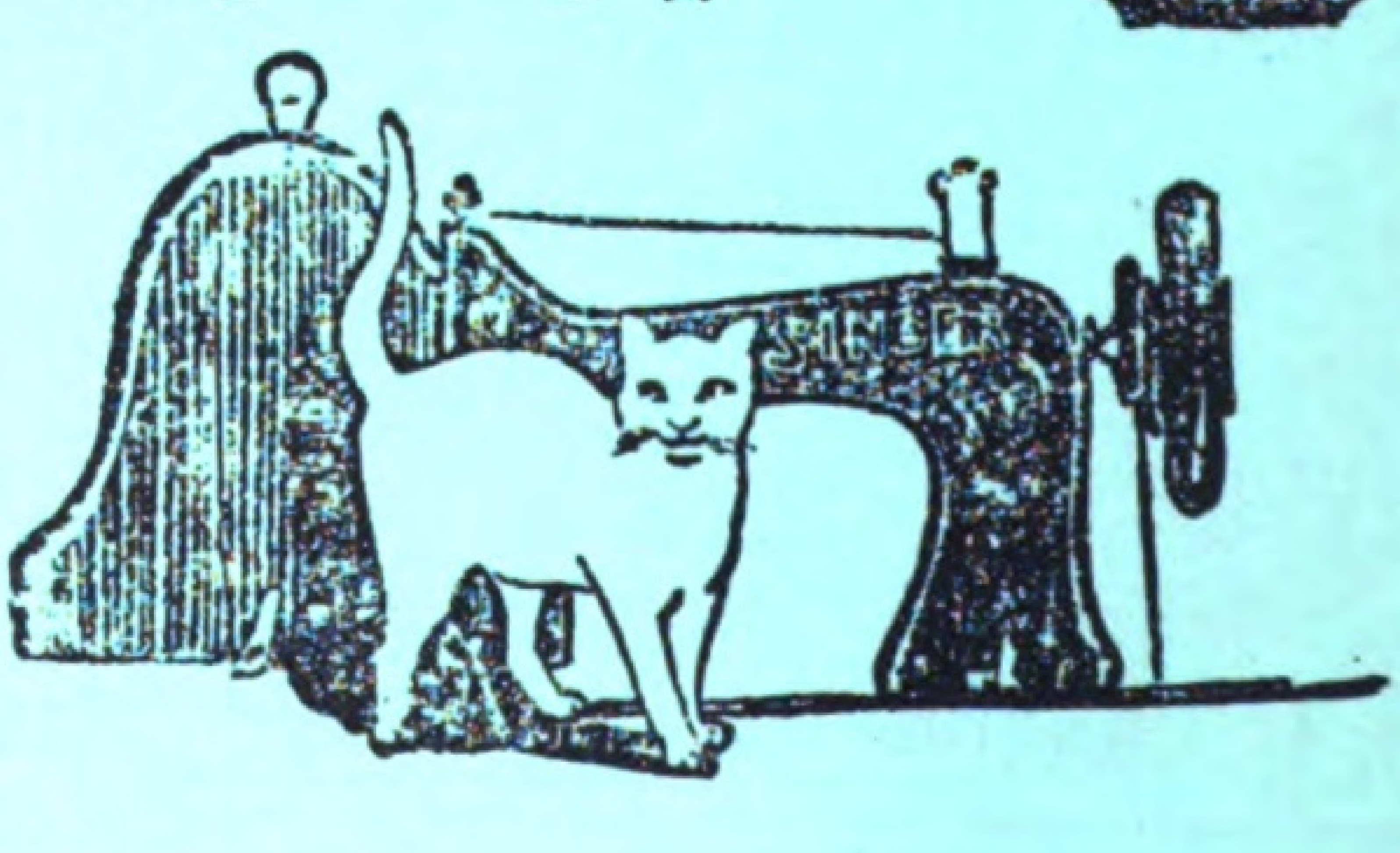
減價 月賦販賣

更に特廉 即金賣

ミシンが和服に適せぬなどと云ふ小言は最早過去の囈(たわごと)となりました、これは新式シンガーミシンが家庭に盛に用ひらるゝからであります、何時までも指先仕事にばかりこだわつて居て、時勢遅れの誹りを受くるのは、殘念な次第ではありませんか

京濱市内 **無報酬出張教授**

従來の普通賃貸法も其儘繼續す



▼明細書 御申越次第無代送呈

シンガー裁縫機械會社 東京支店

京橋區銀座三丁目
電話新橋三四六六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少年世界 第十三卷第十五號 定期增刊



全一冊

洋裝大判
定價金拾錢
郵稅壹錢五厘
十一月十五日發行

現今知名の士が、少年時代の經歷を讀むは、最も趣味ある事なると共に、又以て立身の範とするに足るべし、本誌掲くる所は東郷、乃木の兩大將をはじめ文科、理科、法科等の各專門大家及び著名の實業家、美術家、醫家軍人等、各方面に渉りて、詳細其傳記を物し、加ふるに現代著名の大家約百餘名を煩して、母校讀書のことより幼時の好き嫌ひに至るまでを、一目瞭然たる十數頁の表にして掲出せしなど、頗る有益にして且つ趣味深き好書冊たり。

◉お伽口演 水底城……大江小波作 武内桂舟畫

▲表紙畫（文房具）……中澤弘光筆

▲口畫（少年苦學の圖）……田代古涯筆

▲寫眞版（名家の肖像）……八頁

▲本文挿畫……木村光太郎筆

振替貯金口座番號 二百四十番

博文館發行

（その二）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小兒新藥童丸生る

小兒科專門醫學博士

瀨川昌耆先生方劑



◉童丸は健童強兒の源泉なり

◉童丸は二十世紀の育兒法に適す

◉童丸は幼兒の生命也第二の慈母也

效能

◉小兒失氣◉吐乳病◉五疳驚風

◉腸加答兒◉小兒食欲不進又は飲過

◉小兒吐氣◉腸痛中毒

◉小兒虫氣一切又は熱さましによし

定價

拾粒入	金五錢
廿二粒入	金拾錢
五拾粒入	金二拾錢
八拾粒入	金參拾錢
百四十粒入	金五拾錢
三百粒入	金壹圓

◉童丸は有名藥店にあり若無くば發賣元へ御注文あれ

發賣元

東京市日本橋區通四丁目七
振替貯金口座第一六八〇番
津村順天堂

大阪市堺筋大寶寺町南入
振替貯金口座第三一六二番
津村順天堂

（への四）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

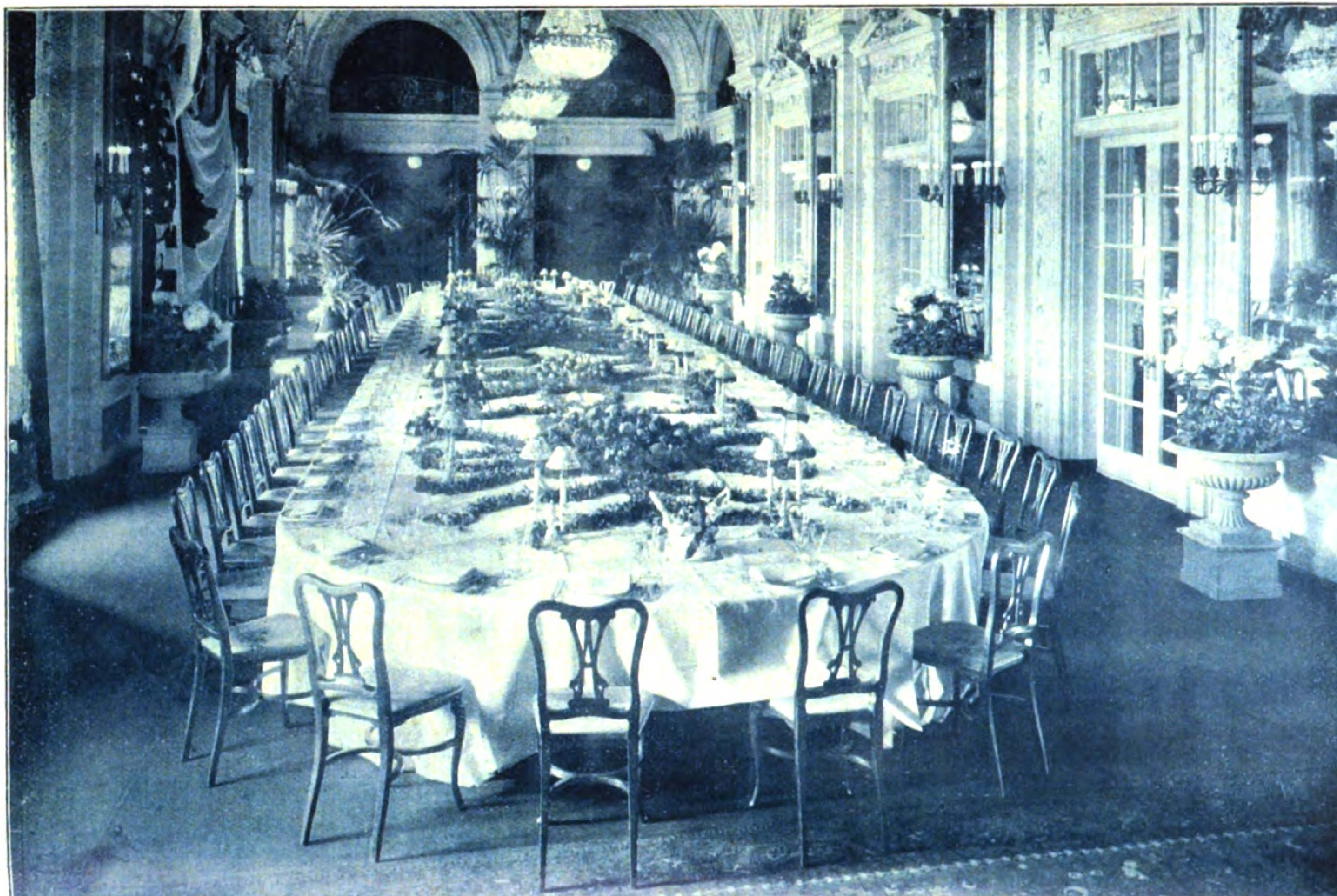
東伏見宮妃殿下



Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

食堂の設備



紐育市アストルホテルの晩餐會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



眞珠入ダイヤモンド 指環

以上の拾種は指輪通の某貴婦人が巴里より御持歸りの嶄新なる形ちに摸し名匠の製作せし品なれば貴婦人の交際場裡に缺くべからざる裝飾品なり御來駕の上御用命給はらんことを希ふ

定價

1	眞珠ダイヤモンド入	百八十圓內外
2	ダイヤモンド眞珠入	六十圓內外
3	ダイヤモンド入	百七十圓內外
4	ダイヤモンドサフヤ入	四百圓內外
5	ダイヤモンド眞珠入	百三十圓內外
6	ダイヤモンドルビー入	百五十圓內外
7	小ダイヤモンド入	九十圓內外
8	ダイヤモンド眞珠入	二百圓內外
9	ダイヤモンド入	五百圓內外
10	ダイヤモンド眞珠入	百七十圓內外

東京市日本橋區若松町

丸嘉

電話浪花七六八番
振替口座九〇一四番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

幼年畫報
第二卷第十五號
定期增刊

小波君作　英忠君畫

子供の一日

窓からさすは朝日の光、軒場によぶは雀の聲か、太郎さん、お花さん、いざ疾く起きよ、起きたら早く、お顔を洗ひ、お衣服をかへて、お父様お早う、お母様お早う、御飯をたべて、行けや學校へ、お父様お母様、さよなら行つて參ります、面白や學校は、遊戯に唱歌讀み方書き方、夫れもすめば、歸るよ家に、お父さま只今、お母様只今、今日は幸ひ上天氣野山に行こう、紅葉は紅、菊さへ薫る、日は高けれど歸ろう家に、父まちますよ、母まちますよ、夕飯すまし、皆と一所にお伽噺をきく面白さ。

全一册洋裝大判
正價金拾錢
郵稅五厘

十一月二十日發行



發兌元
博文館
日本橋區本町三丁目

（その二）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

有益にして面白き事婦人世界の如き雑誌ありや

記事親切

婦人世界

内容豐富

十一月一日刊 毎月一回 二巻 拾三號 一冊 金拾五錢 郵稅一錢五厘 六冊郵稅共九十錢 十二冊同一圓七十五錢

◎千圓を讀者に分つ方法如何（當選者に五十圓三十圓二十圓の賞を送る〆切本月十日）

◎薩摩芋の料理（弦齋夫人）

◎看護婦の實歷（金子貞子）

◎安産に必要な養生（榊博士）

◎巴里貴婦人の日常生活…

◎孤兒院經營苦心實歷（育成園主北川はつ）

◎醫者が子供をなつける苦心（ドクトル志村誠麿）

◎私の最も感心せる歷史上の婦人……山脇房子

◎八十四歲の長壽を保てる我が母の養生法 鳩山春子

◎私が父母より受けたる教訓三ヶ條…栗塚代議士夫人 栗塚龍子

◎二十六年前私の女學生時代 女子高等師範教授 谷田部順子

●母親の最も注意すべき小兒の便通（加藤醫學博士）

◎新婚の娘に送りし父の手紙

◎苦學して成功せし婦人實歷（佐藤みよ）

◎風船物語 少女奇談愈よ面白し…

◎大島婦人結婚奇習（下中芳岳）

◎小說（細越夏村）

◎口繪例の如く美麗

◎愈よ大好評を博しつつある

男女戀愛論 村井弦齋

（その三）

東京京橋南紺屋町十二 實業之日本社（郵便振替貯金口座參貳六番）（電話新橋八七四番）賣捌全國書店

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

謹告

四十年間 墺國宮內省御用

リスリン入 石鹼



此リスリン石鹼は芳香の馥郁たる色を白く皮膚を滑かならしむるの特徴を有する特に墺國醫學博士イーイーポール氏の證明を得たり

一千九百〇五年

墺國タジク會社
日本一手販賣

東京日本橋區橋町二丁目
舶來化粧品輸出入商 竹間商店

●販賣所市內は信用ある藥店小間物化粧品店に有之候

「タジク」の名なきものは僞物なり御注意を乞ふ

GOTTLIEB TAUSSIG
Soap Maker and Perfumer to the Jmp. and Roy. Court
VIENNA-AUSTRIA.

（佳品）煉歯磨界の覇王

バイオレット 煉歯磨



（硝子入定價 金卅五錢）

本品は歯牙の保全に有効なる材料を以て精製す香氣は百花に冠たるバイオレットの香料を配合しあれば使用後口中爽快を覺ゆ

本舗 稻葉丹濱堂
東京市日本橋區橋町二丁目九番地
關東一手 竹間商店 電話浪花一六一四番
特約店 大和屋本店 新石町

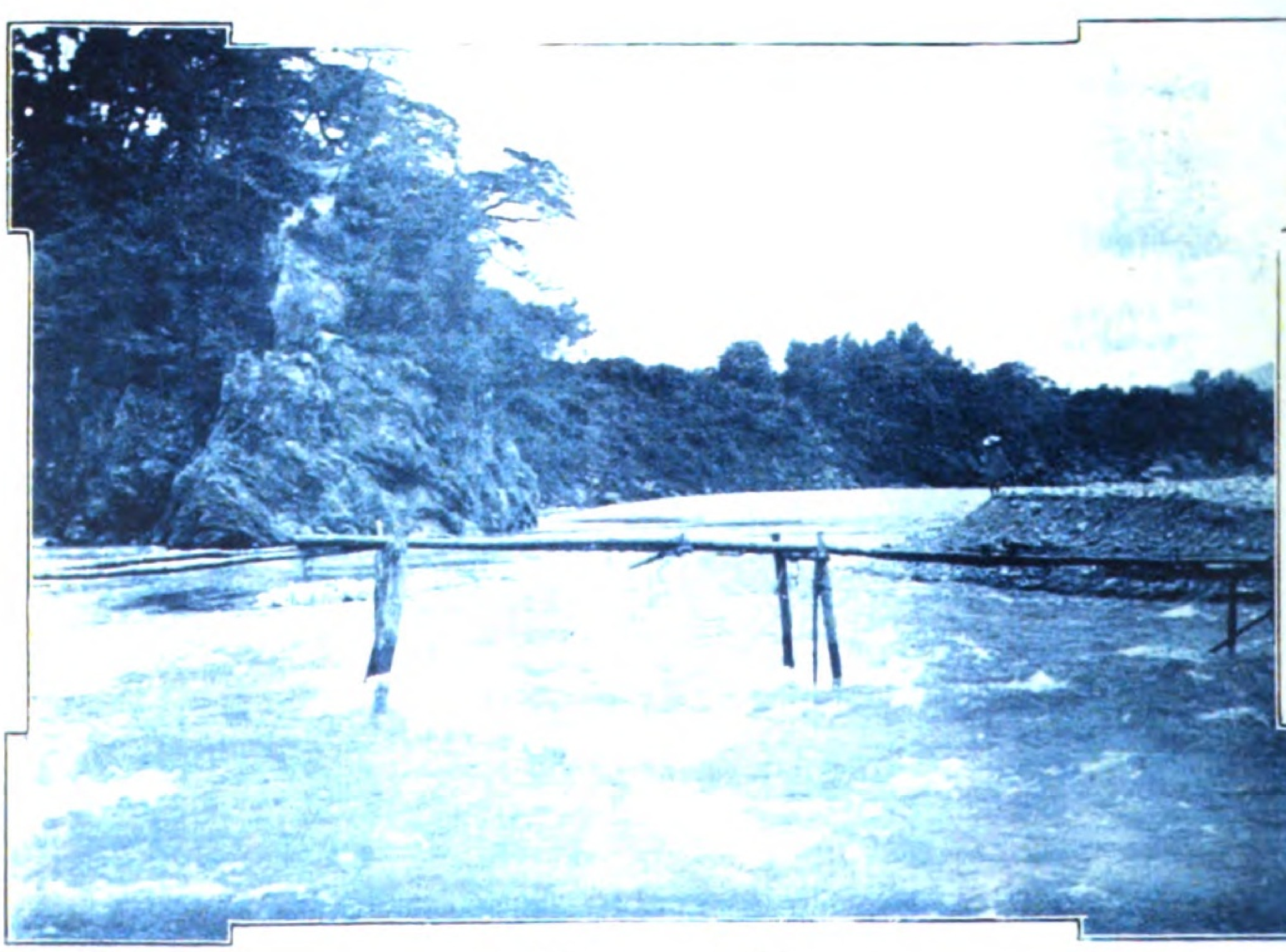
（多價）紳士貴婦人界好評

女（への四）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

むら立



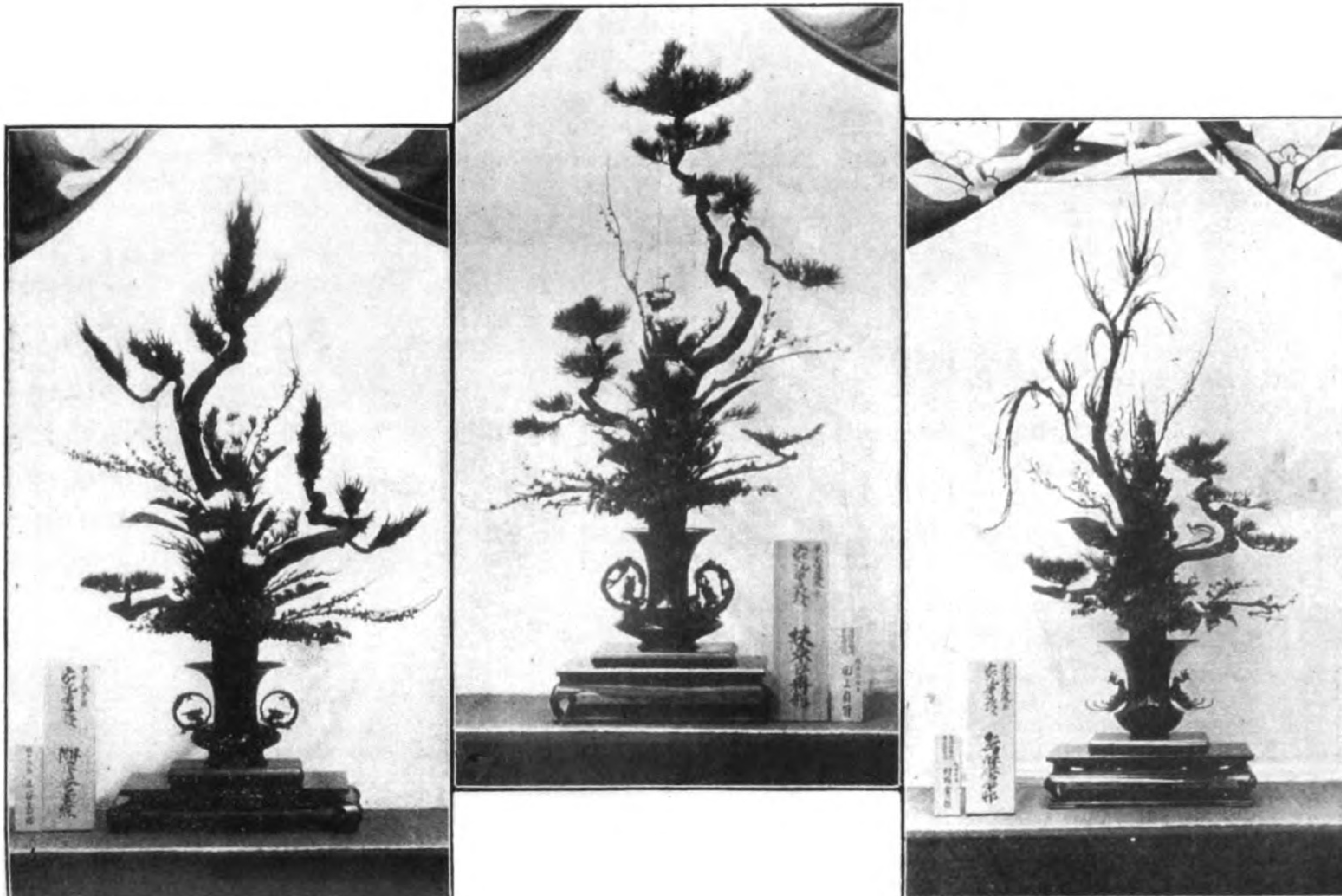


溪流

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

池の坊華會の式花



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

素顔は常に何を以て美しくするか？

日本第一のクラブ洗粉は舶来石鹸よりも秀でたる文明の化粧品にして美身術に妙ある爲高評頗る盛なり



クラブの如き洗粉を以て其美を増す

クラブは三越呉服店を始め各化粧品店にあり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎第二回新學年開始會員募集

婦人技藝講義

本科一ヶ年、高等科半年年 各科第一號より發行

●會費各科各月參拾七錢●月一回(二百餘頁)發刊

十七術科、八學科を各專門大家が最も平易の文章にて親切に講述し多くの着色石版、寫眞版、木版を挿みて自家に在て恰も敎師の傍にある如く修習し得る我國唯一の最技藝講義錄なり●本月中は入會金を免す

袋物、刺繍、造花、編物講義

●右各科二冊完結●正價一冊四十五錢宛(郵稅共)

其他和洋裁縫、同料理、同禮法、同繪畫、押繪、速記、園藝、茶の湯、挿花(古流)、の分科講義

●右各科一冊完結●正價六拾錢宛(郵稅共)

以上何れも本會の編纂にして各專門大家の執筆に成れるもの講述丁寧、數多の圖解を入れ、何人にも分り易き家庭獨習用の眞師友にして最も實用を主眼とせるものなり

◎技藝練習所

右の諸術科を最も實用的に而も斬新の趣向を凝らして特色あるものを毎日親切に敎授す學校以外に手藝を學ばんとする奥樣や、娘子達には最適の講習所なり

◎營業部

右諸科の講習上、製作上の見本及び所要の材料、器具を安價に販賣す

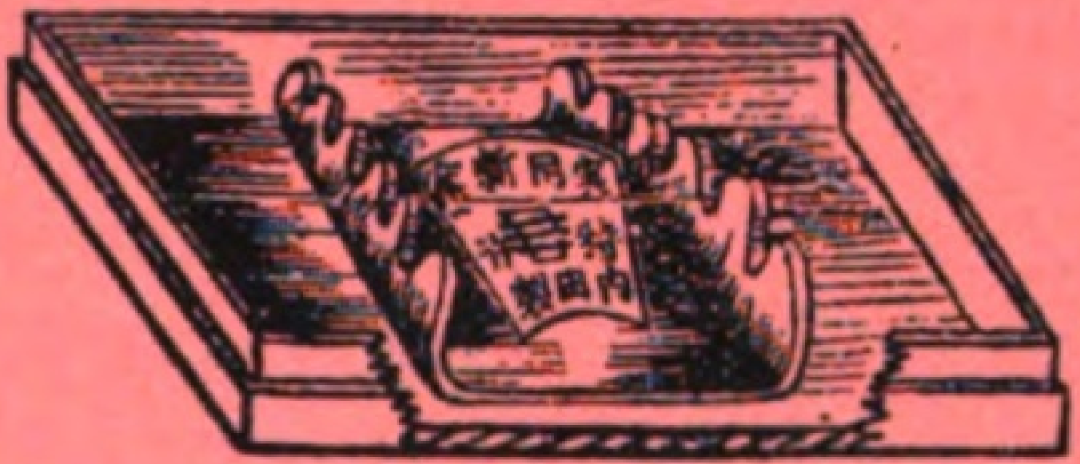
▲詳細の規則及營業目錄は郵劵貳錢又は往復はがきにて送る

振替口座一七〇二 東京小石川區新諏訪町 帝國婦人技藝協會

●嶄新發明 磁石應用安全携帶針箱

該器は家庭必要有効無期の發明品にて各學校及び各軍隊等に於て實驗上大賞賛を博したる嶄新發明の携帶針箱にして其構造は極めて堅牢且高尙優美廉價にして體裁好き要具なれば婦人用各學校等の女子陸海軍軍人及び旅行用等には至極便利なる新發明の良具なり

定價 甲(特製)一個三十錢 乙一個金二十五錢 一個金二十錢 郵劵代用一割增



本品ノ特色

一本品を使用して裁縫なし居る際若し誤りて針を疊の敷合せ等に落したる時には本器を其敷合せに當てなば針は磁石應用を以て本器に吸ひ付き容易く取り得らるゝ事

一本品は其の構造比較的に小なれども裁縫用具一式を秩序正しく收容し且懷中し安きを以て實に携帶用としては最も便利なる良具なり

一本品を用ゆれば針を紛失し又は錆を生ずる等の憂ひ無く實用上最も安全ならしむる事

一本品を用ゆれば針の種類を容易く見分けられ又其の數をも容易く覺へらるゝ事

一本品を御進物用及び各商店にて最も景品用として至極高尙優美のものとす

一特約販賣御望みの方には特別大割引可仕候

最新特許品陳列塲開設

内外發明品問屋 東京淺草區田原町一丁目八 帝國内田商會(振替口座一一一〇七番)

女(ちの二)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

完全なる肺病療法は本書にあり

正三位伯子
大原、遊乃井
兩閣下題字
醫學士常持潤
弘濟院中南著

肺病全治の秘訣

一名 自宅療法

全一冊

肺病は善良の療法と薬物とに依りて全治し得るは近世醫學界の公論なり本書は著者多年の肺病全快の實驗を得たる根治的療法を叮嚀に記述せし物一讀再生の幸福を全ふすべし送料三錢送れ無代進上

東京市芝區愛宕町二の十四 弘濟院

醫科大學藥學專攻 藥學得業士金澤巖著

肺病患者の福音

著者肺病全快の經驗と最近の學說に基き親切叮嚀に根治の法を詳述せし物也●郵券二錢封入申込者に無代施本

東京市下谷區上根岸町 衛生書院

懐妊避妊自由自在

全壹册 拾五錢 送料貳錢

子なき人は本書を讀みて懐妊の法を知るべく又子が出來て困る人は避妊の法を知るべく實に本書は懐妊避妊を望むが儘に自由ならしむる秘訣書なり郵券代用必一割増

大阪市東區和泉町二丁 泉陽堂

最近

子宮病 自宅療法

全一冊

▲如何にせば子宮、血の道の難病を根治し▼

▲子寶を擧ぐべき健女性となるを得べきか▼

◎本書は著者が多年の實驗より得たる成効と、最近の學說を基礎とし、親切叮嚀に自宅の療法を記述せるもの◎郵券貳錢を送れば當分の内無代進呈す

申込所 東京市[illegible]町四丁目一番地 笹岡省三



あかげちゞれげくせなを

赤毛縮毛癖直

獨逸醫學博士發見化學應用赤毛縮毛くせ忽ち直り點艶美髪となる說明書藥名詳說の雜誌ハガキで申込次第無代進呈

東京市京橋越前堀 樂天堂

女(ちの三)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女兩用毛髮用煉香油

ビユーテーオイル



大瓶四十五錢
送料十錢

近頃化粧と云ふ事が進歩したのにも拘はらず毛髮油は更に改良が出來ないので舶來の油を用ゐる事が盛んになつたが舶來の香油は西洋人に適當する樣に出來て居るので永く使ふ中には毛が赤くなるとか又は折れる樣になる事が有るので種々研究して日本人の毛髮に適當なる椿油に含める毛髮の發育と光澤を助くる主成分を採り之れに高尚なる芳香と油の通油性を去るべき藥品とを配合して日本人男女兩用の煉香油を製出し之れをビユーテーオイルと名付けて發賣せり

發賣元
井筒油本舖 井筒屋香油店
東京日本橋區蠣殼町水天宮前
象印齒磨本舖 安藤井筒堂

見本御入用の方は女學世界愛讀者に限り郵券四十五錢を御送附になれば特に送料を要せずして一個御送り可申候

新案特許 毛皮製
自由マツフ



マツフを手ぬくめに使用之圖



商標 鵞鳥印



マツフを廣げて輕便座蒲團ニ使用之圖

上圖之外ちよつき・胸部・腹部・腰部・等自由ニ使用出來得ル高尚輕便斬新ナル最新流行貴顯紳士貴婦人用防寒具ナリ

大阪市東區南本町四丁目（心齋橋筋東へ入ル）
メリヤス卸商
河田徳太郎
販賣希望ノ方ハ申込アレ各地一商店ヲ限リ特約ス

女（ちの四）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

蘭香女史の傑作「夕雲」



（文部省美術展覧會閨秀

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

最上醤油

キハク印

釀造元
茂木七郎右衛門
千葉縣野田町
電信略號ハク又キハク

東京支店
中野長兵衛
日本橋小網町三丁目
電話浪花百七十七番



最も愛すべき香料劑部

石鹸

高評煉香油（水油代用品）
カスガオイル

紳士令嬢貴婦人用として最も上流社會に歡迎せらるゝ有名なる小間物化粧品店藥舗にて販賣す

發賣元　東京橋町　小川潮華園

女（りの一）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ちゞれもくせも
一大奇法
もはへうけあい

妾の手がけた方で此病にて諸種の買薬して癒らぬ人も悉く治りし故夫れで皆様の進めにより御披露し升御問合せは往復はがきにて申込あれ

女髪師
東京麴町區飯田町四ノ十六
安部歌子

圖書雜誌

何れの發行に不係 勉強販賣

東京神田表神保町三番地
東京堂書店
電話本局一二三番二四八番
振替貯金口座二七〇番

都新聞記者
羽山菊醉山人序
小倉楓軒譯述
(第七版)

本書の内容は…今玆に言ひ難し諸君一本を購ひて讀み玉はゞ巻を擱くこと能はざるの妙味あらん 神祕〳〵ゆめ人に告げ玉ふな。



全一册
洋装美本
正價金卅七錢(送料共)
●切手代用一割増

發行所
東京芝區愛宕町二丁目
春海書院
大賣捌 東京堂・東海堂・上田屋

獨乙博士スクレンターフ氏著 東京保養院長 山田進先生譯述



色情衛生新論

「附 妊娠及避妊の原理」
▲頗密畫入▼

大好評=此書の内容は何を書てあるか吾人多く語らざるべし只諸君手に取て閲讀一番發明する所有るべし

▲全壹册▼
洋装袖珍美本
價三拾七錢
▲送料共▼
◉切手一割増

發行所
東京市芝區愛宕町二ノ六
玄賞堂
大賣捌●東京堂●上田屋

女(りの二)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



造花材料

摘み細工材料
造花用盛籠類
造花用染料
造花半製品
刺繡材料
造花用打拔及鏝類

各女學校及造花教授所御用

美術技藝材料商

東京市本郷區 桑原商店 元町貳丁目六十六番地

女(リの三)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

法學士滿田寛一著＝定價五十錢郵稅八錢

英雄ナポレオンの母と家庭

良妻賢母として歐亞に其名を轟せしナポレオンの母レーテチアが一生の事蹟を洩なく顯す者良妻と也賢母とならんとする者木書を繙きて可ならんや

和裝 意匠 優美 高尚

帝國婦人學會編＝定價四十錢 郵稅六錢

婦女子の本分

婦女子が家庭用として良書に乏しきは大に遺憾りし本書は即ち女子が日常必要の事柄を網羅す一度繙く時は健全に圓滿なる家庭を造り得るを疑がはず

和裝 新形 製本 嶄新

大和田建樹著＝定價金六十錢 郵稅八錢

女子記事文林

女子記事文書良書乏しきは女子敎育の缺陷也國學者中の大家大和田先生が嶄新なる構想と艶麗なる筆を以てせらる文藻清婉作例嶄新とは本書の特色

和裝 優美 高雅 十版

女子の弱點

女子世に立つや世間大抵男子の從物の如く輕ず女子何等の弱點ありて新婦となりて健全なる新家庭を作らんとせらるゝ世の婦女子は必讀す可き書也

定價四十錢郵稅金六錢

美術技藝研究會長 梶山彬著＝最新刊 和裝高雅美本 定價五十錢郵稅八錢

女子技藝 刺繡術新書

本書は著者が多年の實地研究と授業上より得たる結果とに基き其方法を嶄新に且つ懇切に記述したるものなり。されば我邦獨特の美術を發達せしめんと欲するものは必ず本書に據りて精巧目を眩し絢爛の妙技と蘊奥を修得せざるべからず殊に今や綠樹陰濃かならんとす涼風袂を襲ふ窓下に座しながら一度本書を繙き一針動く所鳥歌ひ花笑ふ妙味を知らむ。且つ參考用として刺繡雛形百五十餘個を入れ斯術を研究せらるゝ諸媛の資料となせり。

美術技藝研究會長 梶山彬著＝第三版 和裝高雅美本 定價五十錢郵稅八錢

女子技藝 造花術新書

世の進歩と共に女子技藝の發達は日に月に盛ならんとする中に其盛大を極むるは造花也とす本書は著者が教授の傍ら實地研究せられたる結果を世に公にせられたるもの其内容は學理と實際とを調和し染色録高細合せ等極めて懇切に解說し加ふるに一花一葉ごとに正確なる切圖百九十餘個を附したれは一度此書を繙く時は容易く座がら千紫萬紅の花弁を自然の儘に造り得べし。且造花は近年刺繡共に高等女學校必須の一科目となり居れり。

美術技藝研究會長 梶山彬著＝最新刊 和裝高雅美本 定價五十錢郵稅八錢

女子技藝 摘み製作新書

近來摘みは大抵專門家の奥に秘せられありしため斯術に熱中する人は大に遺憾となせし然るに著者は從來其專門家なりしが研究會を創立以來女子藝術に裨益せんと志し斯る秘訣をも敢て惜ます世に公にせらるされば此書を繙くときは如何に細小なる花弁と雖ども思ふが儘に造り得べし世の諸媛等が斯道研究のためには最好の指南車たるを疑はず

發行所 東京京橋區桶町二十一番地 廣文堂書店 振替貯金口座四六八四番

女(りの四)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

蕉園女史の近作「物詣で」



文部省美術展覧會出品閨秀作物の内

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

美は人生の花

大好評の高等化粧料

化粧用日ノ出クリーム

御婦人は勿論男子にても皮膚の奇麗な色の白いのは人生の幸福で又花で有ります元來化粧すれば何人も美しくならねばならぬ答で有りますが其品の擇びが宜ろしく無いので反って鑛物性の中毒や鉛毒の爲めに眼の縁が黛づんだり皮膚が荒れるので有ります此化粧用日ノ出クリームは白粉の害毒を防ぎ皮膚を美麗に色を白くする輸入化粧品で有ります最初顔を洗ひ皮膚の脂肪分を去り化粧用クリームを指先にて顔一面に擦り込み濕氣有るタオルで之を拭き去り薄化粧には粉な白粉か水白粉濃化粧には煉白粉を用ゆれば塗り着が可いのみならず剝げる憂なく隨て襟の汚れる樣な事が無く朝夕用ゆればば皮膚の荒れを好くし色を白く長く美貌を維持する嶄新輸入化粧品であります

▲化粧用日ノ出クリーム	小	十五錢
▲同	中	二十五錢
▲同	大	五十錢
▲同	特	一圓也

毛髮用日ノ出クリームと日ノ出ブリアン

何れも頭髮の光澤を好くし(クセ)を直し(フケ)の生ずる事無く發育を增し髮の(ベタ)着く事なき特功が有ります毛髮用日ノ出クリームは煉製にて日ノ出ブリアンは香油と香水を含む物故馥郁たる香り有る高等化粧水油で有ります

▲毛髮用日ノ出クリーム	小	十五錢
▲同	中	二十五錢
▲同	大	五十錢
▲同	特	一圓也
▲日ノ出ブリアン	一瓶	三十錢
▲金弗白粉	同	十五錢
▲同	同	三十錢
▲同	同	五十錢
▲日ノ出オイル	同	二十五錢

以上一個ニ付小包料八錢

東京市日本橋區村松町二十二番地

化粧品直輸入商 **日ノ出商會**

電話浪花三八二一番

女學世界 割引（切取線）

プレスト洗粉

本品の特色は最も皮膚に有効なる原料を以て精製したる者なれば色を白く肌を滑らかならしむ



（定價）

袋入	同	大袋	鑵入	同	特別
貮錢	五錢	拾錢	七錢	拾五錢	壹圓也

本舗 東京牛込西五軒町

山本玉川堂

女（ぬの二）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産科婦人科楠田病院長　楠田謙藏先生校閲
産科婦人科専門醫　稲生鑑次郎君纂著

實習産婆學

全二册

（下巻——近日發行）

洋装菊版美本
上巻　通常産　紙數三五〇頁
下巻　異常産　紙數二八〇頁

◉上巻正價金七十錢　◉下巻正價金八拾錢……▲郵税各一册八錢

上巻は通常産を講じ下巻は異常産を述ぶ通常産の異常産に於ける産科の兩輪双翼にして助産婦たるもの相共に精修練磨せざるべからず然るに其一を修めて其一を習はざれば到底開業者たる資格なく又産科實習の効用を得ざるべし今や下巻の異常産を出版す上下完全して其全科を實修し得べし殊に行文の平易なる挿畫の精密なる世上未だ如此親切懇到のものあるなし開業者は素より本科の生徒諸嬢は早く此要書を得て研修の便を得らるべし

醫學博士　濱田玄達先生校閲
醫學士　伊庭秀榮君著

複習問答　簡明産婆學



全一册
洋装四六版
紙數二百廿頁
正價金五拾錢
郵税六錢

發兌元　東京市日本橋區本町三丁目　博文館

女（ぬの二）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

リウマチス病の舶來靈藥

リウマテア

靈藥リウマテアがリウマチス病に卓効あることは識者の間に認められ特に醫師社會に迄使用せらるゝに至りし所なるが　村井弦齋先生も亦本劑の有功なる認識く記載せられ婦人世界第十二號「婦人の日常生活法」中大要左の如く記載せられたり

私の友人川井運吉君が米國から持つて來たリウマテアと云ふ奇藥はリウマチスに特効がありまして　私の親戚や友人の中にもそれを飲んで忽ち全快したものが幾人もあります。高名な人では山梨縣知事の武田千代三郎君の御夫人や、前羅馬政府の顧問官たりし外山龜太郎君、報知新聞記者谷新太郎君、女子大學の教授戸川殘花君の令孃なども皆此藥で多年のリウマチスが全癒したと云ふ事です云々と

請ふ同病に惱める所の人士よ此安價にして奇効ある**リウマテア**を速に御服用ありて永く幸福を得給はんことを

一日分廿五錢　送料貳錢
五日分壹圓　送料八錢

生殖器衰弱病特効舶來新劑

内服ヨヒンピン

本劑は獨逸舶載の生殖器諸病の特効新劑にして陰萎、遺精、早漏、手淫諸害等凡て精神衰弱症に特効あり世の有ふれたる賣藥と同視せず速に御服用有て其病患を除き給はんことを希ふ

（本劑に關する記事及効用、服用法は本劑に附しあり）

一劑分　代價壹圓八十錢　小包送料八錢

發賣　東京日本橋箔屋町十四番地　丸山舍衛生部
（振替貯金口座五八九二番）

大增補十六版（賣切）又々十七版發行

醫學士 佐藤得齋先生監修　價郵税共五十六錢總かな付

實用問答生殖器篇

結婚に就て思ひ煩ひ子寶なきを憂ふる人陰部の疾に苦み生殖器の健全を欲する人よ、又萬事控目なる御婦人方の爲めに本書の愛讀を勸む幸福なる家庭は此一冊より生れむ……特に本誌十萬の愛讀者に望む

衛生新報社編輯局編纂

（最新刊）

實用問答男女美容篇

紙數三百二十頁美製本定價金五十錢郵稅金六錢

世上化粧法を説く多し然れ共本書の如く各實地家の多年の實驗にかゝる秘法を集め行文平易何人にも分り易く然も凡ての階級に通じて最も多くの男女の實益を爲すもの他に類なし本書は實に文明國民の儀容に缺くべからざる顔貌正美と風姿の端麗とに資せんが爲めに生れ出たる一大福音なり

發兌　東京日本橋箔屋町十四　振替貯金口座五八九二番　丸山舍書店

注意　本舍創業二十年紀念祝意として從前發行の衛生文庫實業書籍百餘種の大割引發賣を爲す詳細目録は申込次第進呈

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA





女（の四）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女生徒の集り



仙臺高等女學校卒業生

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

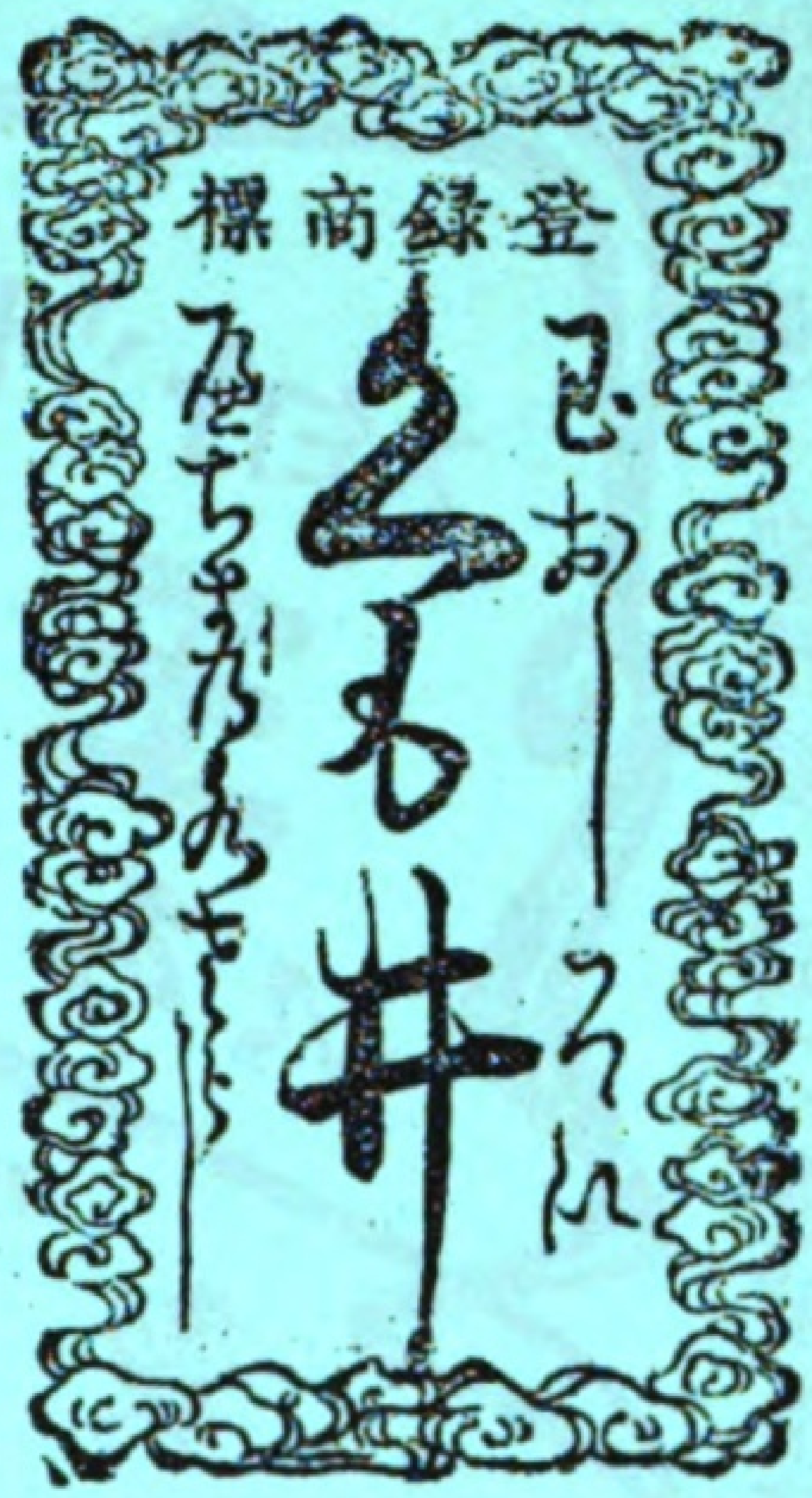




女（るの一）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

意匠登録



定價瓶入　金貳拾錢　同曲入　金拾五錢　金六錢

この玉おしろい（雲井）の儀はへちまの水にてよく洒し玉に製したる白粉へ化粧料の藥品と龍腦麝香の芳しき香を加へ候故顏の皮膚を清く艶を出し其他御顏一切によろしく腫物を防ぎ候等實に類なき御重寶なるおしろいなり
御用法は常のおしろいの如く水にてときて御使用相成候得ば麗しく相付申候

東京市京橋區銀座三丁目
松澤八右衛門
（電話新橋特五百三十四番）

賣捌は各地小間物店賣藥店にあり

◎簞笥用匂袋　壹組　金壹圓　金五拾錢
遠國は小包料金十錢御增添へ御注文願上候也
◎東京市京橋區銀座三丁目　松澤商店

産科婦人科專門　醫學士　北畠孝夫先生閱

最近　婦人病心得

子宮病　自宅療法

女の一番つらい病は。子宮の諸病であるが。此病にかかりし婦人は。大抵之れを秘して、適當の手當をなさず。亦妙齢の頃などに。月經の閉止とか。不順等あれば、獨り心を痛めて、素人的の通經劑などを試み、遂には恐ろしき難病となつて。生涯の苦みを遺すことのあるのは。洵に痛歎の極である⊙著者は多年の實驗と。最近の學說を基礎とし。（婦人病者の心得）と題し左の各項に分ちて丁寧親切に詳說せり⊙病める婦人は勿論一般の婦女は。本書を一讀して。自宅の療法を會得せよ。當分の內無代進呈す送料貳錢封入至急申込まれよ

目次

婦人病の總論⊙子宮病血の道（ヒステリー）の原因病理及び自宅療法⊙神經衰弱、貧血、萎黃病とは如何及其療法⊙しらちながちの病理及其根治⊙月經時の手當月經諸症の療法⊙姙娠の原理、受胎すべき場合、姙婦の攝生、つわりの養生法

發行所　東京築地新榮町四ノ一（電話新橋三千六百一）雜岡省三

女（その二）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

THE ALLENBURYS' FOODS.

古來未曾有の乳いらず!!!

アレンバリー小兒滋養食



人乳ナクシテ小兒ヲ養育センニハ母乳ノ成分ト同一ニ配合セル食物ヲ撰フヲ肝要トス、小兒ノ消化力ト營養ノ需要ハ出生ノ時ヨリ生長ニ伴ヒ漸次增進スル故此理ニ適合セサル食物ハ其發育ヲ妨ゲ又一生虚弱ノ者トナス恐レアリ愛兒養育ノ責任者ハ大ニ顧慮スヘキ事ナリ

英國有名ノ「アレンバリ」小兒食ハ特ニ此點ニ注意シ**第一號**ハ生後三ケ月間**第二號**ハ四ケ月ヨリ六ケ月迄ノ小兒ニ適スル樣成分ノ割合ヲ人乳ト同一ニナシ**第三號**ハ六ケ月後ノ兒用トシテ麥芽ヲ調和セル物ニテ從來發明ノ類似品中未ダ如斯精良ナル者ナシ無比ノ効能ハ御試用ノ上實驗アレ

東洋總代理店 **ストローム商會**
神戸磯上通一ノ四 横濱山下町十二番

特約一手販賣店 **田邊元三郎**
東京日本橋本町四丁目(電話本二八七三)

毛のはへる藥

多年實驗の生毛劑にして特効驚くべき奇藥

一圓●一圓半●濃厚二圓半●三圓半送料十錢

姜散 やせる藥



●血ぶとり、あぶらぶとり、酒ぶとり、顔赤く、のぼせ症等總て肥胖質の人用ひて害なく身體美容となる保證藥なり

●定價(一週)七十錢(三週)二圓五週三圓廿錢送費十錢

皮膚病專門藥

おまづ	あか鼻	ぜにがさ
いんきん	ざくろ鼻	ひぜん
たむし	あざく	わきが

本劑は獨逸國皮膚病研究所專用法劑にして特製一瓶にて全治保證又おいこむの憂なし

小瓶五十錢中瓶一圓大瓶一圓五十錢特製二圓送料十錢

專賣本舖 東京本郷區本郷三丁目 新宮藥館

女(ろの三)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

動悸息切を全治する新良藥



定價
三日分 金貳拾五錢
七日分 金五十五錢 送料二錢
三週間分 金壹圓五拾錢 送料四錢

動悸高く息切し胸に痛を覺え時々發熱し又寒氣立ち手足冷え冷汗出で尿便少く全身浮腫れ癇高ぶり夜眠られず物事に倦易く食物進まず元氣なく痩衰ふるに大効あり重きも連服すれば必らず全治す且つ此藥は心臟を強壯にする故に常に服用すれば決して老衰することなき所謂不老の仙丹也

東京日本橋區橫山町三丁目
發賣本舗 佐野大和堂

毛はへ

最新藥ハロールは歐米各國にて造化の妙工を奪ふの奇効ありとの賞賛好評を博したる秘密藥を當館主が醫科大學醫院在職中深奥なる學理と老練なる技術とを以て専門的に多年苦心研究の後其有効成分を檢明し之に最近の發見に係る生毛に關する新説を參考し最新藥を配合したる世界無比の學理的最新藥なれば其効能の非凡確實なる事世間に有觸れたる技術と學理に暗き賣藥が山師的に無責任の廣告を爲して販賣する瞞着品の比に非らず左れば昔通に醫師の處方する芫菁丁幾、レゾルチン、サリシール酸、昇汞等の在來の生毛育や粗悪の賣藥にて効なきとて落膽せず是非本劑を試みよ頭髮はへきは、まゆげ、ひげ陰毛等の薄を濃くしあるべき所に毛なきを生じ禿頭病其他の病氣にて脱毛するを防止し抜毛の再生を早めヤケド、デキモノ、ハツポー、キリキズ跡の禿に生毛せしむる事請合藥價送料共一劑八十錢二劑一圓三十錢郵券代用二割增の事

取次所ナキ地方ハ直接本舗へ注文アレ

毛はへ藥 ―― 東京市本郷六丁目赤門前 瓜生藥局
取次所 ―― 名古屋市鐵砲町 谷田藥局

らい病

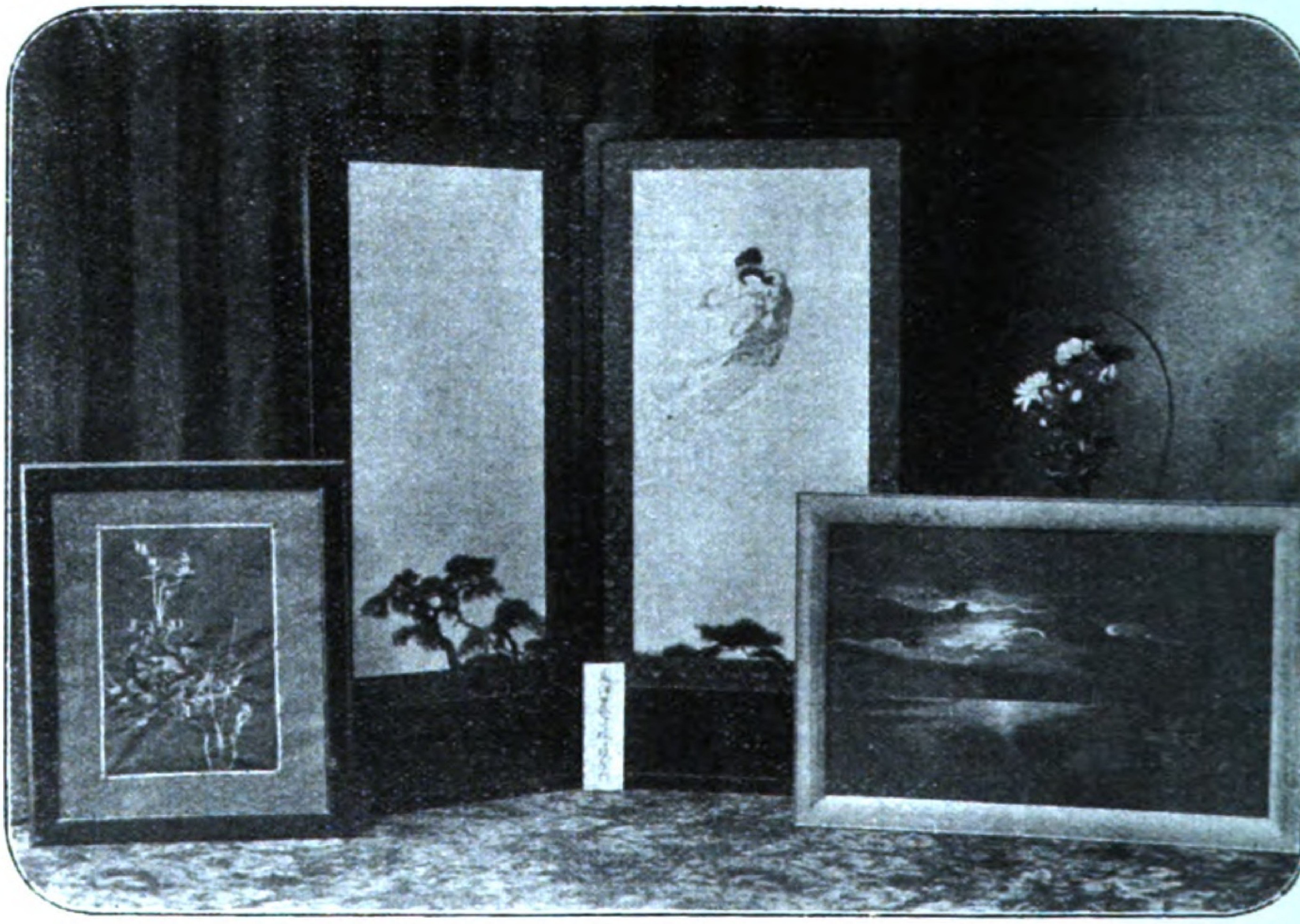
此のらい病藥は數種の有名なる癩病治療藥を化學的の方法にて分拆し其主成分に更に最近の發見に係る治癩新藥を加へ且つ當館主が醫科大學奉職中研究したる成績に考へ配劑したる新藥なれば一度使用して其効驗の確實なることを實驗せらるべし古來癩病は不治の病と稱し今日と雖も之を根治せしむる事は難事なれども其病勢の甚しからざる中に參圓分を四ヶ月服用するか或は病勢甚しく進みたる人にても二藥を六ヶ月併用すれば病原菌を脱力死滅せしめ漸次輕快に趣き一生醜貌を免れ得る事は確實なり本劑は安價に不幸なる病者を救護せんとする主趣に基き發賣する者にして無効なる藥品に非常なる高價を貪り大言を吐て其効能の著大なるらしく見せかけ不幸なる病者を陥れんとする瞞着主義の賣藥に非ず

最新藥
ザノサール 一ヶ月分 貳圓
復方ザノサール 一ヶ月分 參圓

本舗 醫科大學卒業藥劑士 從七位勳六等 中島龜之丞鑑製
三河國碧海郡刈谷町益世館藥局主

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手藝品



東洋女學校生徒の作品



女子高等實習學校家事科

實習

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

最新版

下田義天類校訂　指原乙子編纂

女子文章軌範

斯學に造詣深き指原乙子刀自が古の諸名孃が書かれたる中の殊によきを選りて消息記事記行哀傷序跋敎訓論文の七部門に別ち懇切なる註釋と作者小傳とを加へ下田大人の校訂をも經たる書にて福羽大人が本書の序に世の文章のことを云へる書數多あれど其正格を得たるをとり揃へて之を人に示し人をして其博學の一助ともなり文章を作る時の師ともなるべき書甚少なし今此書を一閲して其佳なるを覺ゆ人是を讀みて其益を得ること尠なからざるべしと云はれたる、能く本書の價値を評せるもの也と云ふべし苟も斯學に志ある婦人は是非とも座右に備へらるべき良書なり。

洋裝美本全壹册
定價金五拾錢
郵稅金六錢

訂正五版

理學士大森千藏先生著（特價壹千部限リ金壹圓七拾錢）

普通生理衛生學

上製優美全壹册
正價金貳圓
郵稅金拾四錢

人に在ては貴重なること身體に優る物なし其生理を知り其衛生法を知るは苟も身體を有せる者に取つて又最も貴重なる事言を要せず本書の著者多年泰西諸大家の書に渉獵し其粹を抜き其要を摘み繁簡宜しきを得るを旨として本書を編纂せり期する所は普れく世人に此貴重なる智識を與へ又一般此學の教授に從事せる人の參考に資せんとするにあり以上の趣旨に基き本書は先づ人體構造の大意より其各部の**解剖組織**の概要を示し次で其**生理上の學説**より次第に**衛生上の**法則を論及し特に注意親切なる**實驗法救急法**等をも略示せり其所說の周到にして興味ある其意義の精確にして文章の流暢なる其**挿圖の精緻**にして**鮮明**なる恐らくは本書の右に出づるものなく家庭には是非とも備へざるべからざる良書なり

發行所　東京神田區上白壁町九　振替貯金口座二三四〇九　二松堂書房　全國各書店　賣捌所

女（その一）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文學士 久保天隨先生精解

日本外史新釋

●全部拾貳冊

●毎月一回發行

毎編 和裝美本 紙數約三百頁

●第一冊以下非常の好評にて既に數版に及ぶ

賴氏の外史は、その一生の心血を注ぐところ、世道人心を裨益せし功固より少からず、且つ漢文講習に益あること言を俟たず、これ家藏戸誦今に至りて尚ほ廢せざる所以なり。その講義の如き、坊間頗る是ありと雖も、その完全なるものを求むれば、遂に指を屈するに及ばず。天隨氏こゝに深く慨するところあり、乃ち平生の蘊蓄を傾けて、此書を著はさる、兎を搏つに獅子の全力を盡すは、適まその婆心の極めて深切なる所以、精該詳備、まことに賴氏の忠臣羽翼たるに負かず。この書一たび出でて初學幸に津梁あり、その業をなすに際して、唯だ易きを見て難きを見ず、將門の興廢を詳かにし、國史の大半に通曉すると同時に、讀書力の涵養に資するの便あるべく、一擧兩得勞半にして功必ず倍するものあらむ。

目次

◎第一冊　平氏（卷一）
◎第二冊　源氏（卷二）　源氏（卷三）
◎第三冊　北條氏（卷四）　楠氏（卷五）

（續刊）

◎第四冊　新田、足利氏
◎第五冊　足利、後北條
◎第六冊　武田、上杉、毛利氏
◎第七冊　織田氏
◎第八冊　豐臣氏
◎第九冊　豐臣氏
◎第十冊　德川氏
◎第十一冊　德川氏
◎第十二冊　德川氏

正價一冊金參拾錢　郵稅一冊金六錢

前金（六冊金壹圓七拾錢）（十二冊金參圓貳拾錢）　▲外要郵稅

發兌元　東京日本橋區本町三丁目　博文館

（その二）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

數年難治の慢性胃病を根治し
消化機能を强壯健全になす靈藥

胃病根治劑

従來世に胃病藥頗る多しと雖ども皆一時の苦痛を凌ぐ制酸劑(即ち重曹、マグネシヤ、苦味劑の如き一時おさゑムチスカシ的姑息式賣藥のみにして未だ嘗て根治的に其病の基因を斷つ良藥あるを見ず、本劑は獨乙國高名大醫ノーデル氏處方に基き本邦胃病患者に適切なる嶄新有効藥を配合し百方實驗其奏効顯著なるを確認發見せし最も進歩せる完全なる新藥にして數年難治の頑固なる**慢性胃病**にても根本より**誓って根治**し胃腸を健全になし消化機能を强壯ならしめ食慾を催進し便通を快くし氣力を壯にし精神を爽快活潑にする空前の完全最新藥なれば従來種々雜多の胃病藥を用ひて効なく多年病苦に呻吟せる患者は一日も早く本劑を服し病根を斷絶し無病强健の大幸を得られよ輕症は壹劑重症は貳劑慢性症は參劑にて根治確證す

(藥價)壹劑四拾貳錢 貳劑八拾錢 參劑壹圓拾錢 郵券代用貳割增し

新輸入
肉體美容料

色白新劑

本劑は近時佛國パリス貴紳淑女間に最新流行の發明劑にして如何程色黒き男女にても特別製貳劑を用ゆれば忽ち肉體**純白色に變化**し艶麗の容貌となるを確證す世上種々雜多の色白藥を用ひて奏効なき人は速に本劑を試み見よ眼前に峻烈なる特効を發ゆ眞に奇効顯著の確證新劑價は普製金壹圓貳拾錢特別製金壹圓八拾錢

以上貳藥 **專賣元** 東京市神田五軒町拾九番地 **日新館藥房**

血塊流下

通經劑

本劑は胃腸を痛めず子宮を害せず如何程長き月經閉止も必ず忽ち**快通流下**する特効あり本劑參劑分を用ゆれば二三ヶ月間滯りたる月經にてもキレーに流下す又特別製分を用れば半年以上の月經閉止及び**血塊**にても必ず立處ろに流經す且つ月經不通月經不順より起る子宮病血の道を全治し多年滯りの古血及**惡血毒血**を一掃するを確證す但し本劑は其奏効極めて**確實顯著**なるも毫も衞生に無害なり婦人諸君安心して試藥あれ價は壹劑分七拾錢貳劑分壹圓廿錢參劑分壹圓七拾錢特別製分貳圓參拾錢

(注意)本劑の**大盛**を羨み近時怪しき無効な**類似僞藥**顯はる用藥者は深く注意ありて「專賣元日新館藥房」の名義に注目し購求あらんことを乞ふ



わきが 腋臭

根治確證
新發見藥

醫療賣藥百方手を盡せし如何程頑固劇烈の慢性わきがにても**誓て根治**し決して再發或は他病に變ずる憂なき世界的改良根治新藥なり速に用ひ苦惱を脫せよ價は輕症根治分六拾錢重症根治分壹圓廿錢頑固劇烈の慢性症根治分貳圓卅錢 着金即刻送藥す 郵券代用必ず二割增のこと

以上貳藥 **專賣元** 東京市神田五軒町十九番地 **日新館藥房** (電話下谷五四六番)

(その三)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

於内外博覽會名譽大賞及金銀牌受領

元和二年創業

ヒゲタ印醬油

HIGETA SHOYU
THE CELEBRATED JAPANESE SAUCE
TRADE MARK

Patronised by the Imperial Household Awarded First Class and Gold Medals and Grand Prize at the various International Exhibitions held at home and abroad

The Oldest Establishment of its kind in Japan. Founded in 1616 by the ancestors of the present proprietor G. TANAKA Choshi, Chiba-ken, JAPAN

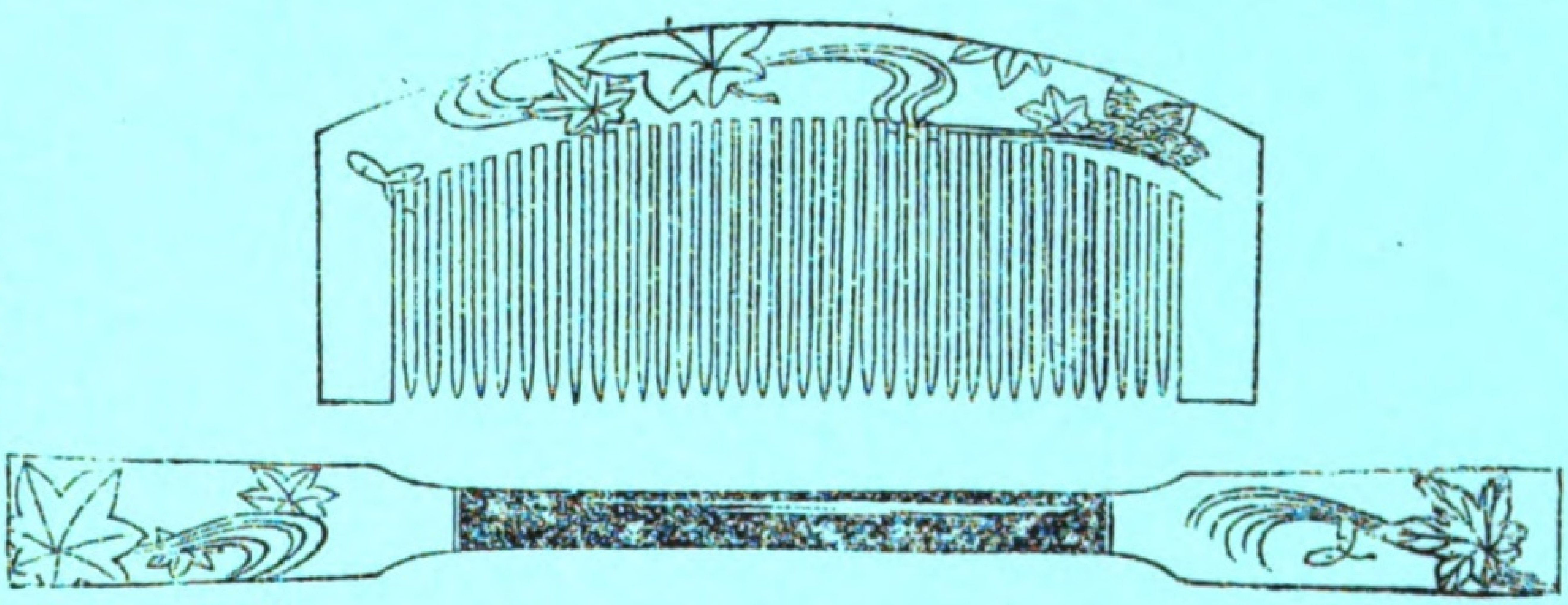
ヒゲタ印醬油

宮内省御用達

千葉縣 田中玄蕃釀造 銚子港

女(その四)

美術蒔繪櫛笄



形は今流行の半京形へ金地立田川の彫刻、丁貝入の蝶づくし菊、牡丹、或は山水の研出しなんど模樣は各々何れも斯道の名匠が丹誠を凝せる上品なる召物なり

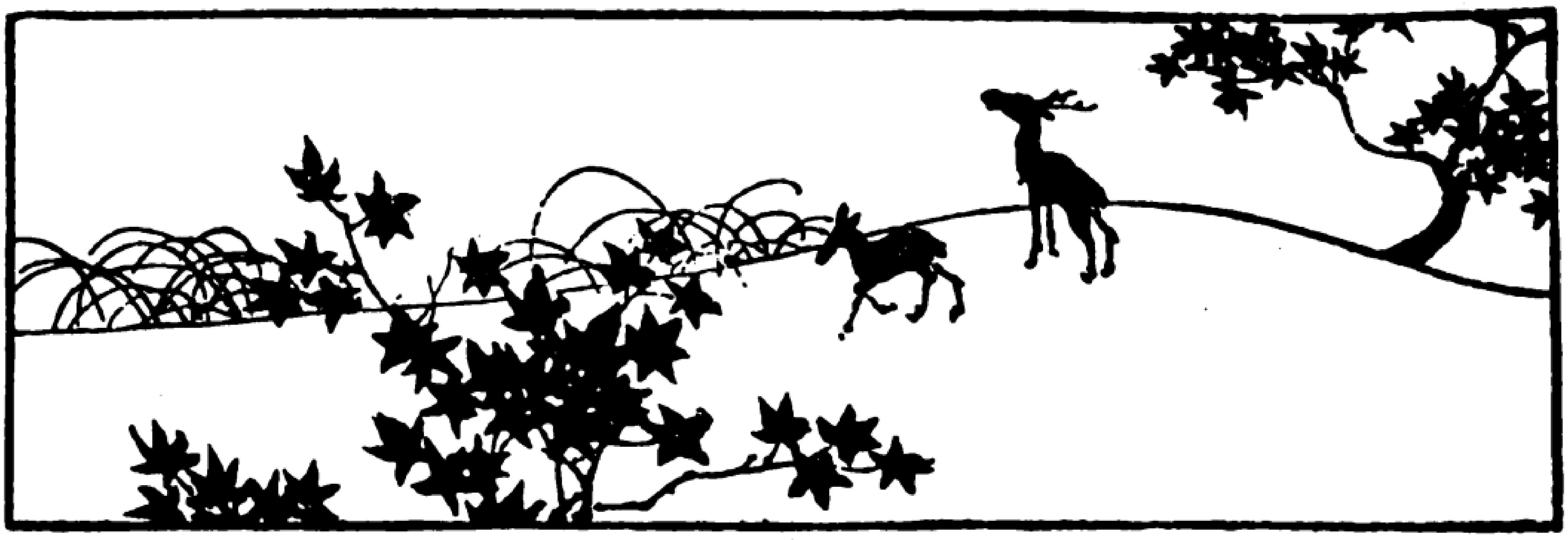
本黒鼈甲臺(一組の價)
大形　金拾圓ヨリ參拾圓迄
中形　金八圓ヨリ廿圓迄
小形　金五圓ヨリ拾五圓迄

甲張臺(一組の價)
大形　金三圓半ヨリ拾圓迄
中形　金二圓半ヨリ八圓迄
小形　金壹圓半ヨリ六圓迄

東京市神田區鍛冶町
白牡丹中西
電話本局三五四〇番

此他七五三御髪かざり、はこせこ類新流行品各種取揃へ有之候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



女學世界

第七卷第拾五號

十一月五日發行

祝佳節

上はいかめしき五侯の門より、下は八重葎しげれる賤が伏屋にも又藻塩たく海人が苫屋にも、舳艫を立てる大船にも、沖のかすみの漁り舟にも今日のみは、旭の旗の翩翻たらぬきわぞなき、これぞ我が大君の國土に降誕ましませしその佳節にぞある、時方に金風白露、氣うら丶かにして、恰も春の陽に似たり、山には紅葉のにしき千段の帷を曳き、野には黄菊白菊今をさかりとにほひこぼれぬ、瑞氣靄たる千代田の宮居、大内山の松の木立に鶴は舞ふめり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



英國見聞談

理學博士男爵　菊池大麓

（一）婦人の示威運動

今度英國に行つて居た間に、婦人の大騷動を見た。といふのは國會議員選擧權請求の示威的運動で、是が爲に彼の有名なハイド公園に集まつた婦人の群は無慮二千餘名と注せられた。御承知の如く兎角霧深き倫敦に、かてゝ加へて其日は雨が降つてびしよ〳〵する中を、泥濘の路をも厭はず、ぞろ〳〵と練つて歩くといふ勢で、やがて又トラファルガル、スクエヤーの方へ集まつて、婦人の大道演說が始まるなどといふ盛んな譯であつた。國會に請求して、國會から政府に請願させようといふので押しかける。守衛がこれを止めると爭鬪を始めて、玆に一塲の騷擾を惹き起す。婦人が五六十名も拘引される。又議會の中では婦人が傍聽席から演說の妨害をするといふ樣な始末で、私の居る間に斯ういふ事が二度まであつた。もう到底尋常の手段では目的が貫けぬといふので、婦人に似合はしからぬながら暴力に訴へてもといふ氣込になつたのでせう。成程婦人側の言ひ分も尤なので、英國では成年の男子は定住してさへ居れば、即ち宿借りでも部屋借りでも住居さへ定まつて居れば、納稅せずとも敎育が無くとも皆選擧權があるのに、唯婦人であるが爲に、敎育も地

位も財産も皆備つてゐる者も多いに拘らず、一概に選擧權を與へぬといふのは不都合だといふのです。或る女學校の教師が私に向つて「この學校の小使は選擧權があるのに、我々教師は女ゆゑにそれが有りません。不公平ではありませんか」と言つた。いかにも尤な事である。這麼風で目下英國に於ては、殊に婦人問題が八か間敷くなつてゐる。我國の如きも御婦人方に就いては考ふべき問題が尠くない。ですが、それは後に申すとして、先づ英國の樣子を少しくお話して見ませう。

(二) 女子教育

教育の盛んな事は改めて申すまでもありませんが、倫敦だけの一年の教育費が五百十七萬七千磅即ち我が五千百七十七萬圓であるのに、日本全國を擧げての一年の教育費が僅かに四千萬圓に滿たないといふ一事を思へば、今更に彼國の盛んなるに驚かざるを得ませぬ然し英國の教育は自由を主として、制度法令やうのものは整然として居りませぬ。高等女學校にしても、是是が目的で恁ういふ事を教へるといふやうな規則は定まつてゐない。種々な學校が澤山あつて、然も其の聯絡や系統は一寸分らない有樣です。不思議に思はれるのは、英國で小學校といふのは即ち貧民學校の事で、倫敦第一の堂々たる小學へ行つて尋ねて見たのに、そこへ入學する者は大概職工の子供で、それも一週に二十圓を取る職工――日本で言はゞ一週五圓の職工――より以上の者は、もう此校へ出さないといふ事でした。中流、上流の人たちは、無論特種の學校へ入れるか、家庭教師を雇ふかするのです。然も小學校の數の夥しい事は非常なもの。それは倫敦の市街の人通りの劇しい處から來た事で、といふのは小學程度の子供がその雜沓の中、即ち自動車は通る、乘合馬車は通る、荷車は通る、目の廻るやうな通りを横切つてゆくのは危險極まるといふので、往來を横切らずに子供が小學校へゆけるやうにと、殆ど各町に學校を置く樣にしたから斯く多數になつたのである。又料理や家事や掃除

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を敎へる學校があります。これは小學校十に對して一つ位な割合で、やはり下等社會の子女が這入るので、自家のお料理の爲よりも寧ろ料理番になる稽古です。家事といふても日本の樣に此科を重んじた整備したものではなく、裁縫も敎へない事はないが日本程には重んせず、寧ろ掃除を敎へるが主です、それといふが英國では掃除が却々面倒だからで、ペンキ塗の處は何う玻璃窓は何う、絨氈は何ういふ風に掃除する、卓子懸は何うとか一々學ぶのです。その以上になるとハイ、スクール即ち高等女學校ですが、それ程まではないが略ゝ似寄つたといふやうな私立の色々な學校が多い私の行つて見ました。倫敦の南に當るハーペンデンといふ處の、ビーデールスといふ學校などは餘程變つたもので、男生徒も女生徒も二つながら收容してゐるので、校内に男の寄宿舍もあり女の寄宿舍もあるといふ風でした。そして所謂學術智識よりも人格の養成實地の技能を得させるを主としてをつた。大學となると彼のケンブリッヂとオックスフォードとの二つは、各ゝコレッヂ則ち女子の學寮が立つてゐて、そこの生徒は兩大學の講義をも聽ける事になつてゐるが、マンチエスター、グラスゴー邊りの大學になると、前のケン、オックスの二つが、女子をば眞の大學生の籍に就くを許さぬとは違つて、どし／＼大學生にし卒業させるので、マンチエスター大學の卒業式に臨んだ處が、バチエラル、オブ、アーツ(文學士)になつた者の半分は女子といふ勢であつた。文學以外はそれ程でもないが、然し醫學や理學でドクトル(博士)になる者も稀ではない、だから女子にして恁ういふ最高等の敎育を受ける者がなか／＼に多い。然もそれは中流若しくは中の下位或はそれ以下の女子が多く、上流社會、貴族社會の女子は精々高等女學校限りである。

（三）女學者と婉し味

さて如恁女學者は、概していふと、がさ／＼した所謂お轉婆者になつて了ふので、優婉い女らしい女は先づ無いと言つてもいゝ。どうも學問硏究などは、その

事柄の性質として、男女の區別がない、共通なものであるから、自然心持にまで影響して、女か男か分らぬやうな心狀態になつて了ひ、何時とは無しに女らしい優婉い感情が乏しくなつて了ふのでせう。それで偏へにテキパキと男の樣な振舞をするのでせう。これは無理もない事ですが厭はしい事。女はやはり女らしく床しくして貰ひたいと思ひます。

婦人が悉く學問に志す動機は何處にあるでせうか。固より一原因は其人の性質嗜好にあることでせう。又一つには名譽といふ樣なものに動かされるのでせう。然し一方から見ると、是亦社會の形勢に迫られて餘儀なくされるのだとも申されます。

（四）女子獨立問題

即ち女子の獨立を要するといふ事情から、前節のやうな事も起るのです。獨立自活してゆく女子の職業は先づ第一が教師、次が諸會社銀行商店などのタイプライターを扱ふ書記、これはもう何處でも婦人に限つてをります。次は辯護士、法律事務所などの書記、その他種々の仕事がありますが、要するに益々自活してゆく女子は殖える有樣です。さらば此の女子獨立の企は何故に起り來るかといふに、元來英國は女の數が多い國で、恰ど男一〇〇に對する女一〇三の割合です。此の點からも女子の獨立を促がさるゝでありませう、又權利思想からも來て居るでありませうが、やはり生存競爭、社會逼迫の累は英國とても免れぬので、その結果に外ならぬのです。

（五）結婚の困難、獨立の困難

世間が渡り惡くなると共に、結婚問題が困難になつて參ります。結婚するは容易い事だが、その後を如何にすべきか。其處が難かしいから無暗に結婚が出來なくなる。子供が出來ては困る。子供が多くては遣り切れないと思ふ。從つて社會全體の上から見て人口の増加が尠くなる。然うなつたら實に心を寒うすべきで、國といふものは人口がどし／＼増加するやうでなけれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ば勃興しません。獨逸は年々非常な勢で人口が膨脹するに反し、佛蘭西は悲しい哉年々却つて縮小する有樣、これでは段々その國民は衰へるばかりです。日本は幸に每年六十萬づゝも人口が增加して參りますのは喜ばしい事で、益々さうありたい事と思ひます。英國は近年に至つて稍々人口增加の度を減じたので、心ある英國人は憂へて居るのですが、これによつて又英國婦人が結婚の困難、結婚後の困難を思つて躊躇する樣子が察せられると思ひます。

處が獨立といふ事が、さて却々難かしいのです。女子の俸給はどうしても男のよりは廉いので、その廉い給料では、到底食住、即ち食べ物と、一室借りにせよ其の住居と、それだけを得るに止まるので、衣即ち被服の費用は到底得られないのであります。然るに婦人方の通性として、粧飾は已められるものでない上に、殊に勤務に服して每日外出することですから、どうしても相應には身終ひが仕度いのです。然し何とあつても其の金の出處は無い。とう／＼言ふに忍びぬ墮落をする者も尠くないさうです。獨立心――さういふ心掛の有るは此の上もない事ですが、實際問題になると隨分考へ物だと思ひます。

（六）個人主義と家族主義

日本は家族主義で成立つてをり、英國は個人主義だから、右のやうな問題を考へるにも餘程調子が違ふので、又違つていゝ事です。つまり英國の婦人は、結婚も人生の一事件位に思つてゐる人が多いので、日本のやうにそれを一生の大事とし、人は必ず結婚すべきものといふ風に考へてゐない。日本は家族制度を重んずる以上、結婚は必然の事ですが、個人主義の英國では何もさういふ事はない。然しさういつて獨立して見た處で弊害が起り易いのだから、先づ日本などでは結婚して家庭を作るを本體とすべきであります。兎も角も家族主義を取るのが日本の長所で、道德も國民精神も皆此處から湧き出でゝゐるのだから、家族制度は何處までも維持したいと思ひます。次にお話する英國婦人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の盛んな所、一方からは弊とも見らるゝ事も、皆家族主義と個人主義との違ひから起る事です。

（七）社交と慈善事業

これは主に中流以上の話ですが、英國婦人の社交はそれは盛んなものです、社交の季節になると、何々倶樂部とかいふ處の、毎日毎夜燦爛として眩ゆきばかりの盛大なる雜閙なる光景は申すに及ばず、テームス河に臨んでをる國會議事堂の河畔の廊下——廊下というてもずうつと廣く甃石になつてゐるが、そこへ夕方から出懸けて談笑したり珈琲を飲んだりしてゐる貴婦人は夥しいものである。リージエント街などいふ處には珈琲店が非常に澤山あるが、どの店も〳〵毎夜々々一杯になつて居る。ほんの一端を言ふても這麼勢である。

公共事業とか慈善事業とかいふものに奔走することが大流行で、上流の婦人たちは内を外にして驅け廻つてをる。贅澤過ぎ華美過ぎた社交も弊であるが、この所謂慈善事業も弊で、唯さう驅け廻るのを名聞にして浮いた調子で騷いでゐる者が隨分多いやうである。それが爲に家族の事などは投げ遣りにしてゐるのが常である、尤も其處は餘程日本とは家庭の樣子が違ふからそれを見て評さねばならぬ。

（八）老幼を關はぬ

英國の上中流の家庭には乳母とかガバ子スとかいふものがある。子女の教育はもうそれ任せにして了ふ主婦は一切關ひつけぬ。それ故前言つた如く社交界や慈善事業に飛び廻つて居られるのである。さらば父母とか舅姑とかいふ老年者を何うするかといふに、それはお關ひ申さぬのである。これが必ずしも不人情でするのではない。個人主義自然の結果である。子が養はずとも、親は親で老後の計をしておけばよい。それをせぬのは親が惡いのだ。養育院に引取られてゆくがよい。これは極端を言つたのですが、兎も角子供は結婚すれば親と別居して了ふのではあり、親子互に獨立す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

べきだから、嫁は舅姑に心配するには及ばぬので、老者の保養といふ事は、英國の婦人は一向關はぬのである。實に若夫婦に取つては、樂で仕合せな事ですが、然し日本の同居制も意味の深い事、又味のある事で、日本では是非老者の保養と、幼者の教育とを主婦の主なる務めに致したい。内を外にして驅け歩くなどは感心した事でありますまい。

(九) 注目すべき中流社會

一番苦しいのは中流社會です。といふのは、兎角に上流の眞似をしたがるからの事で、社交場裡へも兎角に顏を出したがる。出せば綺羅を張らねばならぬ。慈善事業にも手を出したがる、そして兎角に驅け廻つて見たい。さうなると却々大藏省が骨が折れる。もう上流社會でさへも、土地――英國の上流、貴族は多く土地が基本財産である――が其の價が近來著しく下落したので、中には火の車とも言ふべきがあるのに、況んや中流社會が浮氣をしては堪らぬ。のみならず其の驅け歩きたいが爲に、無理な工面をしてまでも、善くもないナースや、碌でもない家庭教師を雇つて、それに子女の教育を一任して了ふので、弊が甚だ多いのである。古今東西共に國の中堅となり心棒となるは中流社會である。固より上流は教育も財力も確かりしてをるが、是れは少數のもの。下等社會は多數なれど總てに無力である。故に中流こそ確かりしなければ困るのでこれは英國のみならず、我が國でも最も注意すべきで中流の婦人方の猛省を促すのであります。然し概して英國の中流人士の家庭は立派なもので、私の親友の人人などには眞に理想的と思はるゝのがある。英國で立派なものは中流人士の家庭です。

(十) 日本の婦人は如何

日本は家族主義を守つて、英國の長所を參酌すればよい。まづ老者の保養と幼者の教育といふ主なる務を怠らぬ範圍に於て、今少し社交的になるが必要であらう、何も綺羅を競つて驅け廻つて貰ひたくはない。唯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本從來の會合といふものは、兎角男子のみで婦人が加はらぬ。然し婦人の和らぎなくては殺風景に堪へぬから、つい如何はしい女子が立交るやうな事になる。まづ一家族の團欒より、一宗族の男女打交つての會合など、漸次に婦人も社交に馴れて貰ひたい。

さて又近來は女子の職業に就く事が頻に行はれる。獨立といふ精神の上からは喜ばしい事ですが、前申す次第のみならず、よし獨立が十分出來たにしても、さうして女子が頻に男子の領分を奪へば、男子の無職者が多くなつて、社會全體の上からは却つて損失になる女子の就職は何の程度までは宜しいものか却々問題です。どうしても日本の女子の天職は家庭にあると思ひます。然しそれならもう男子に依賴してゐればよいと思つては大間違ひ。英國などでは中世から女子を尊敬する風が盛んであつたのに、日本はまだ〳〵いけません。無論男子が惡いが今日の男子ほど專横を働いてゐる者はありません。然し女子も亦侮らるゝだけの缺點を持たぬやうにせねばいけません。腑甲斐なき依賴心などが最も侮を招く所以です。

又智能品性を高くするが根本です。それには教育でありますが、今日の教育は猶眞實の力がなくて、作花的だといふ非難がある。それに就いて諸孃の最も注意すべき一事があります。それは常識といふ事。英國人に最も感服して模範とすべきは常識です。これあるが爲に教育なども法令で規定せず、系統立つて居らなくとも、おのづから旨く行つてゐるのです。

偏らず間違はず、平かに正しい判斷を何事にも下し得るやうにならねばいけません。一身上の問題でも夫婦の關係でも一家の事でも、常識だにあらば狼狽へ憂ひはありますまい。

（右は博士が大日本婦人教育會にて述べられたる説の大略を筆記したるものなり）



Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ミシン裁縫に就て

東京高等工業學校長　手嶋精一

凡そ國の文野は機械力の應用の如何に依て定むる事が能ると言つても恐らくは過言であるまい。私は曾て亞米利加は機械の國だと聞いて居た。で向ふへ行つて其の實況を見るといかさま其の機械國たる事は著しいものだ。一寸例を述べて見れば、寢床の材料は木材金屬であるが、これをつくるには總べて機械で製つて居る。又夜具を覆ふ敷布、毛布なども矢張り機械で織られたものである。羅紗も機械で織れば穿く靴も又機械で製られる。又食事に用ゐる皿、庖丁、肉叉類も皆機械製である。住宅も殆んど機械製であるといつてよい。戸外へ出づれば彼の電車も矢張り器械の產物であれば手紙を書くにもタイプライターを用ゐるといふ樣な工合此等はほんの一例に過ぎぬが、兎に角亞米利加ば機械國であると私は大いに感じたのである。

飜つて我國を見るに、漸次文明に向ふと共に、機械力の應用も次第に擴がり、木綿、絹、等の製造を初めとし、其の原料たる絲を製る事より、其他諸種の工藝に盛んに機械を用ゐるやうになつて來たのは誠に慶すべき現象である、然るに彼の衣服の裁縫に至つては機械を用ゐる事は甚だ僅少で多くは手で縫つてゐるとは實に遺憾な話である。手縫と機械縫とは其の速力に於て非常な相違がある。手縫で遣れば一分間にまづ三十運針位であらうが、機械で遣れば其の十倍位は縫へるであらう。恰も汽車と人力車との相違がある。故に私は今後成べく機械裁縫の行はれん事を望むのである。

今日我が中流以下の家庭に於て女子は何の爲に最も多くの時間を費やすかと言へば裁縫である。朝から晩迄殆んど之れにかゝりつめてゐる有樣である。併し乍ら婦人の勤めは必ずしも裁縫のみに限らない。他に必要な仕事は澤山にある。第一が家事の整理である。又地位の如何に依ては慈善事業なども必要であらう。特に子供を教育する事は最も大切な事である。所が我國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の婦人は裁縫のみに多くの時間を費して、當然盡すべき事の爲に時を費し得ないのは甚だ殘念である。故に出來得るならば機械縫を以て今日の手縫に代へたい、そして婦人の時間の大部分を活かしたいと思ふのである、之れが若し實行せられるならば從來十月間かゝつたものが一月で濟む事になり、殘りの九月は他の仕事に活かして使ふ事が出來る譯であるから、家庭に於て婦人の本分を盡す上にも、又國家の爲にも非常な利益であると言はねばならぬ。

機械縫の便利な點を擧げて見ると、第一は迅速にして時間を省く事、第二は比較的立派に出來る事、そして今一ッは早く技術的の手練を養ふ事である。總て機械を使ふ事は最初は稍々困難であるけれ共、其練習時間は割合に尠ないものである。彼の機を織るのを見るに杼を投げる事を覺える迄には隨分時間を要するが、機械になると其の練習は極めて短時間である。然るに手縫であると、御承知の如く今日の高等女學校で習つた位な手練では何の役にも立たない、女學校を卒業して更に裁縫學校へ這入つて初めて一人前の縫ひ手になる位なものである、して見ると却々長時間を要する。此等の點を考へるならば今後の裁縫は何うしても機械裁縫に依らなければならない。又世間ではミシンは重に洋服や、シヤツなどで和服には應用が少いやうに思ふが、實際きけば和服の仕立にも應用ができると云ふ事であるから、將來は益々廣く使用せらるゝ事と信ずるのである。

只だ茲に一つの難問とする處ろは機械で和服を縫つた後で容易く其れを解き得るか如何かである。和服は屢々洗濯を要するから、若し簡單に解かれぬとすればミシン機械の應用範圍は大に狹くならねばならぬわけであるから、此點は大に研究すべきものであらうが、此れに就て私の聞く所に依れば其れ〳〵方法があると云ふから、皆さんも一應研究されて、若しそれが出來る事ならば此の便利なる器械を一日も速かに採用せられたいものであります。（シンガーミシン裁縫學院に於ける演説の大要）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

進歩に伴ふ弊害

近來社會の進歩の著るしい中に殊更面目を改めましたものは女子教育です、女子教育の內容が以前と何程の進歩したかといふ事は今直ちに申す事が出來ませんが、教育を受くる者の範圍の廣くなつた事は實に驚くべきもので、或る人は今の女子教育を評して舗屋のおさとに袴の褄を穿かせて學校に出すものだと申されました、一場の戯言ではありませうが、全く無稽な言でもありません、過日私が或地方へ旅行致しました際汽車の中で、二人の田舎の婆さんと乘り合せました。その風體なり言葉つきなり。よほど僻村の人と見えましたが、兩人の話の中に孫は嫁がもう出來たかといへば、どうも思はしいのがないのでこまる。それでは誰某の娘は容貌もよし氣立てもやさしいから、あれを貰うては如何といへば、實はあの子をと思つたけれど惜しい事には、まだ高等をぬけて居らぬから止めた。といふやうな對話でした、高等を拔けて居らぬ。とは高等小學を卒業して居らぬとの意味である。この勢ですから中流の家では呉服屋でも、酒屋でも乃至は役人でも高等女學校を卒業させておかれば、娘の良緣は求められないことになる。

さてこの如く女子の教育が廣まると同時に、其の方針といふ事が肝要になります。女子教育の方針、これは固より大問題で容易に斷定も出來ませんが、私は女子の天職といふ點から考へて見て、どうしても賢母良妻即ち一家の主婦として、子供の母として立派な婦人を造るといふ方針でなければならぬと考へます。

ところが實際の有様はどうかといふと、女子はとかく增長し易いものと見えて、少し教育を受けた女は、すぐ學問を鼻にかけるといふやうな傾がありはせぬか、理想ばかり高くなつて、婿定めにも、やれ學士でなくてはとか外交官でなくてはとか、いろ〳〵の條件を持出しはせぬか。近ごろの新聞雜誌に、よく女學生の理想とか卒業後の希望といふやうなことを統計的に調べたのが出てをりますあれはお孃さん方が、教師の手前、みなうそをついていらつしやるのです。どうして〳〵今時の教育を受けた女學生方の心中を淨玻璃の鏡にかけて見たならば、それこそ殿御がたは大恐慌を起されるであらうと思ひます。金はあり地位はよし、そして男振りもよくなければと、三拍子揃ふたのを望んで居られるのです。そんな善い婿さんが、さう澤山にありますものか。昔しは娘一人に婿何人とかいふ諺があつたさうですが、これからは全く其の反對になりませう。ところが、人間萬事意の如くならず、さう理想通りの婿はない、さすがは日本の女子の優しい氣立を失はず、親の意見も聞いて、それ〳〵に片付られますから、よいのですが、中には自分はこれだけの教育を受けたのに、生涯意氣地のない男に添ふでもなからう、おまけに姑や小姑の氣兼をするなど實に馬鹿らしいことである。自分は獨身で一生を果そうなんといふお方が、なか〳〵殖えて來るやうです。これは果して喜ぶべき現象でせうか。なるほど歐米には、オールド、ミッスも多いさうですがそれも實際を承りて見るのに、獨身生活も自ら好んでして居るわけではないさうである。獨立してゆくといへば、大層立派でもあり、また氣樂なやうですが、實際はさほど氣樂でもないさうです。近頃は遞信省其他で盛んに女子を採用されますし、その外、段々に女子の職業の範圍が廣まつて來ましたから、獨立には段々と好都合にはなつたでせうが、さて獨立したところで何の手柄になりませうか。それも若いうちはともかく、四十五十のお婆さんになつて、それで充分の資產でも出來て居れば、また相當に自ら慰める道もありませうか、さうでなくて相變らず働かなければ、生存が出來ぬといふ境遇であつたならば、どうでせう。自分の親達はとうに死んでしまつたし、兄弟姉妹はそれ〳〵家庭を形つくつて、たとひ榮耀榮華はしないまでも、子供を育てあげて、死水を取つてもらふ人ができて居るのに、自分は健康の時こそよけれ、病氣づいたら何とするなどゝ考へたならば、さぞ心細いことであらうと思ひます。（もみぢのや）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界漫遊中の所感

男爵夫人　後藤和子

これは歐米の交際社會視察の爲め出遊されたる満鐵總裁後藤男爵夫人が米國より寄せられたる家信の一節なり

六月御上京中の御書及七月奉天御出張の御書面にて御模樣委細承り御嬉敷存候

一藏事も退院、葉山へ轉地致候とて、書面葉書等參り安心致候、同地にて充分保養致候はゞ恢復も速かに候事と相喜候、私事も七月までシルバベーコンフォレンス會場を出發アデロンタック山、ナイヤガラ、クエベック、モントリエル(加奈太)ホワイトマウンテンマクワムレイキ(ミスベイコンの夏期住居)一週間滯在夫よりウエルスレイ(ボストンより一時間許りの處)のダンナホールの校長ミスコックスと申人の家に八月三日より十三日まで滯在致候、ダンナホールと申學校はウエルスレイ女子大學の豫備學校に有之、ミスコックスと申婦人は學問もあり、働きもあり、且人格の高き婦人にて、話も却々面白く、何から何まで實によく世話致呉れ、我家に歸りし心地致候、日中はボストンケンブリッジ(ハーバード大學所在地獨立戰爭の古蹟)コンコルド(エメルソン其他文士の住宅及墓石澤山あり、又獨立戰爭の舊蹟)ウエルスレイ大學(構内は伊太利風の庭あり)等見物、夕食後は打寄四方山の話にて時の移るを覺えざる程に有之、見物に參り候時は、何時もコックス婦人か又姉さんか夫でなければ同婦人の友人が附添、案内致呉れ候、コンコルドに參り候節は、コックス其他二三人同行サンドウキッチ、牛乳、菓子等持參、ノルスブリジと申古戰場の橋の側の芝地にて四方の景色をながめ、古今を追懷しつゝ樂敷食事致候、十二日午前八時此の信切なる人々に別れ候時は、思はず難有涙のこぼれし心地致候、十三日早朝新約克着、九時に同ステイションにて一ケ月と十一日振にて新渡戸夫人に面會打連れて、同地にて晝食を共にし、夫より一時間許りニウヨルクより隔たりしオレンジと申處のダレチオ(此婦人は横濱より同船着米の上は自

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

身の家へ宿りに參れと船中にて約束せり）と申婦人の家へ向ひ候、同婦人ステーションへ出迎に參り居られ候事とて、同行二夜泊り候父と弟二人、妹一人にて、父は銀行家にて慈善の事などに興味を持居候人にて、財產もあり、品性のよき人と見受け候、家の內も却々よく整ひ居、懇切に待遇致され候、十五日早朝オレンジをタレチオ父娘同道にて出立、クラブ其他を見物、夫より新約克港內のエリスと申す島にある合衆國政府の移民局へ、タレチオ孃の案內にて參り候、所長の案內にて委細一覽、同所にて晝食を供せられ、食事中所長の有名なる談話を聞候、此の人は普通の役人氣質をはなれ、一種の素養ある人にて、自身の精神を下級の雇員までも呑込ませ、事務を取扱はせ居候、設備も却却によく行屆居候移民の待遇も懇切の樣に思はれ候、理に走らず、情に流れすと申事、此の所長に理想と致居候事、食事中の談話にて伺はれ申候、斯く特別に待遇致呉れ候理由は、ダレチオの父と申人此の移民の慈善病院の委員の一人たると日本よりの遠來の客たるとにより候。

世界各國よりの種々樣々なる老若男女の集合致居候事とて、言語風俗各異なり居、却々複雜なる事務の樣に見うけられ候、七十許りの老夫婦三十位の息子と出迎に參り居候、首尾克く上陸の許可を得て、親子淚ながら手を取合候もあり、朋友と朋友と出會ひ嬉し淚をこぼして、立話をなすもあり、子供を三人連れて女獨りにて遙々渡航致し來り候ても、急に許可されざる樣樣にて、憂居るもあり、或は子供の病氣にて此の島の病院に入院致もあり、每日〳〵幾百となく入り來る移民、百人百種の事情、役人も哀れを催候事屢々有之と申候、私も此の有樣を見て旅中の事とて一層同情の念を深くし申候、夫よりダレチオ孃に別れウエストポイントと申處へ立寄り、一ケ月と二十日にてメデヤへ歸着致候、一ケ月餘の旅行は新渡戶夫人の手をはなれて、純米國夫人と同行、行く先にも外國人許りの中に候間、餘程修業に相成り候、當地は御承知の通り夏中は山か海邊に暑を避け候風習にて、十月ならでは眞の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

交際の有様を見る事難く、夫から夫れとよき家庭の人人よりまねかれ居候間米國の眞率なる交際振は、却て其の方に有之、私に取りては望む所に候間、九月中は友人としての交際にて暮し、十月に入り候てワシントンへ參りウード夫人や、青木夫人等訪問致候方よろしからんとの新渡戸夫人の考に候間、此事に豫定致居候十月中にワシントン、フキラデルフキヤ、ボストン等の交際の模樣一渡り見候て、歸京の事に相考居候。

此のほどは日本飯が欲しくはないか歸りたくはならぬかとの御尋に候らへども、產れ落るとより富貴に處しては富貴を行ひ、貧賤に處しては貧賤に行ひ、夷狄に處しては夷狄に行へとの父の得意の句耳に殘居候間さすがの健忘性も之だけは骨にしみ込居候間、一旦決心して國を出候上は、茶漬が欲しいとか、日本人と話したいとか、女々敷考は少しも浮び申さず、到る處に樂み、到る處に同化して、其間に古今、治亂、興亡、の跡を鑒み、一身一家を治め候工夫を練り、社交に入り候場合の談柄を豐にし、子女敎育及び指導の一得一失に付て考へ、又出會候人々の氣風や擧動に留意して其人々の向々を考て、談話を試み、一は會話實習を資け、一は見聞を廣うせんなど〻、夫から夫と可成短き滯在を有益に費し度と心を配ばり、一口に申せば明治四十年後の母として、妻として、一分にても二分にても自分自身を前へ押進め、御芳志の萬一にむくひ、且つは亡父理想のせめて幾分をも、實行致度との念慮にて滿ち居候間、少しも疲れ候事もなく、淋しきをも覺申さず、暢氣に元氣よく、旅行致居候間御安心願上候

普通の談話は却々一ケ月二ケ月にて進步致さず候へども、ミスコックス（タンナホール校長）ミスダレ子オ（オレンジの婦人）ミセスリプレー（ロングフエローの詩友中にて唯一人生存致居候女詩人の姪にて學問もあり米國婦人として却々人格もよく優しき心掛の夫人なり）等の如き人々と、子供の育方や、人生觀などの如き、眞面目の話題に入候時は、父の幼時の感化と成年後のあなた樣の御薰陶と、臺灣にて四五冊英書繙學致候とにて、先方の趣味に適中致候樣の語句、自然

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

話頭に浮び出で、夫が糸口となりて、追々と佳境に進み候事しば〳〵有之、蒔ぬ種ははへぬとは此事なりと、今更の如く相感じ申候、訓戒和歌集中御引用の數首、とう〳〵面白く拜讀いたし候、仰之通り身は數千里の海山へだて居候ても、さながら御對話申上候心地にて、いと興深く相覺申候。

私も身を戒め、又はゝげまし候によき歌、數首選拔置候もの御覽に入候。

知られんと思ひ誇れば却々に我まだしさを人にしらるゝ

怠らず行かば千里の外も見む牛の歩みのよし遲くとも

思ひ見れば我身の外に道はなし身を守るこそ道を知るなれ

吉野山去年のしをりの道かへてまだ見ぬ方の花を尋ねん

天地のおのづからなる道の本は大和も唐もかわらざりける

言ぬべき事も言はずに默するを言葉愼む人といはめや

深き井の水をばいかで汲み得まし釣瓶の繩の短かりせば

けだものを逐ふ獵人ともすれば近き山さへ目に見へぬとぞ

髪飾

此頃新たに大西白牡丹で苦心の結果賣り出した婦人の髮飾には珍らしいものがある先づ上流向としての櫛笄は撥形黑鼈甲臺に廿金を約六匁程摸つたものに稻雀に鳴子、蘇將に雷參草紅葉などの彫刻を施し四分一、青金の片切彫眼を用ゐたものが最も流行し、簪は廿金製の平打、月に雁、木の葉の寄せ抔の透し彫が好まれ、根掛は金と白金の合製で幅三分五厘のものに黃菊白菊の彫刻をしたもの、前挿は飴色本鼈甲丸形の一本足などが盛んに賣れ行くさうで又花柳向としての櫛笄は都形黑鼈甲梨子地へ金と青金との蒔繪模樣圖は名所の月、簪は十八金松葉形四分丸オツパール珠付、根掛は十八金眞珠の爪留等で帶解祝ひの前挿は相變らず鼈甲張花鳥の彫刻もの、お下げに用ゐるリボンは幅二インチより三インチ縞または織出し模樣、無地なれば鶸色が流行して居るさうだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



我が家の金錢取扱方

佐治實然

維新前と異つて、此頃では次男三男に生れた者は、東京に出て來て新世帶を營むとか、或は、諸方の鑛山會社、工場などに出稼ぎに行つて、上は貴族的生活を爲す人から、下は九尺二間の小やかな生活を爲す人まで、新世帶を經營する者が多くなつた、私共も今日より殆と二十年以前に、夫婦共同で東京に新世帶を持ち始めたのであるが就ては今新世帶を經營して行く人に參考までに聊か我家の金錢取扱ひ方をお話致さう。

▲一家族共有の金錢

私の家では、第一に金錢を取扱ふに、如何なる名義を付けるかと申すと、私の家に入つて來た金は、私一身の所有でも無く、妻一身の權利に屬するものでも無く、夫婦共有の財物であると極めて置きます。つまり其金の所有權と使用の權利とは、私共夫婦兩人に屬するものである、併しそれでは餘り法律的で面白くないと云ふ處から、今日では、私共の家の屋根の下に入つて來たものは、家の金であると云ふやうに思ふて居ります。無論斯うして置きますと、私一身の氣儘に消費する譯にも行きませんし、又妻が勝手にする譯にも行かないのであります。

▲子供も權利者の一人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此の家の金に就ては、私の女兒も矢張り權利者の一人になつて居るのであります、世間では子供なんかに金の關係は無い者であるとしてありますが、私の家では矢張同じ屋根の下に居る家族の一人でありますから、小さな衣服や、或は欲しい物や、必要な物は、私共夫婦が見計つて、買つてやるやうにして居ります。併し此の場合に、「さア是れをお前樣にあげるよ」とか『柔順しくして居ると佳い物を買つてあげるよ』など云ふやうな、親が女兒に恩を着せるやうな事はしないのである。つまり家の金は私共一家族が同じ權利で遣ふので、是れを流行語で申しますと、均霑主義とでも申すのでせう。

▲内密の使用を禁ず

斯う云ふ主義から出た經濟の持ち方ですから、私が内密で使ふと云ふ金も無ければ、又妻が私から幾何かの小使錢を貰つて自分の欲しい物を買ふとか、乃至は又それをこつそり貯蓄して居ると云ふやうな事もありません、そこで私共は平素家の財產は何程あると萬位から厘位迄での有高を整然と承知して居ります。然るに世間には主人が内密で金を使つたり、又は妻君が内密て臍繰り金などを持つて居て、自分の家の財產は幾何有るか、それを知つて居るのは主人一人であると云ふやうなのとは大いに相違して居るのであります。

▲財產表を作る

それから又一般の收入と支出に就ては一の方法を設けて居ります、それは財產表を作る事です、其れには借金、貸金、公債、株金、貯金、不動產、有體動產と云ふやうにして、一ケ年中に異動の有る每に訂正して行くのであります。たとへば一月に三百圓を貸し付けて、三月に返つて來たが、それで株金を拂込んだと云ふ場合には、其の貸金の部に三百圓戾り、株金の部に三百圓加入として置きますから、何時其の表を調べて見ても現在の儘の實地が出で居るのであります。三井岩崎、鴻池などでは、家庭の金錢出入が繁雜でせうから、其都度表を直して行く譯にも行きますまいが、私共のやうな小さな處では何の雜作も無いのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲日々の金錢出納

次に日々の金錢出入の記帳方ですが、是れは常に二冊の帳簿を作つて置く、一冊は私の手元帳で、一冊は臺處帳ですが、手元帳には毎月の生活費の總額と、婚禮の祝儀、法要の香典、慈善の寄附金、團體の會費、稅金、家屋修繕費、等一切漏れ無く記入をして、臺處帳は妻が其日其日に諸買物をした細かしい事を一々記入して居ります。

▲生活費は一纏めにして渡す

而して生活に要する金は、家庭の會計主任たる私が、毎月一日に凡そ一ヶ月の經費が六十圓掛るものとすれば、約三分の二即ち四十圓を一纏めにして妻に渡して置きます。そして其金が無くなつた頃に又殘金の三分の一即ち二十圓を渡すのであります。斯うして私の手元帳には何日と何日に二口に六十圓臺所に渡す、と書いて置きます臺所帳へは何日と何日に六十圓主人よりと記入して、毎日の小買物を綿密に記し、其日〳〵に合計して置きます。若し月末になつて、臺所費が少しでも殘りました時には、その金で臺所で必要な道具を買ふて了ふてもよ



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く、又私に返してもよいのであります。返した時には私の手元帳に何圓何十錢臺所より戻り、と記入して置きますから、月末に二冊の帳簿を引合せますと、帳尻が合ふやうになつて居ります。

是れは私が世帯を始めて持ちました時から、今日迄で引續き實行して居るのであるから、今日に至つて過去の帳簿を取出して見ると、其當時の物價の高低を知り、生活の大要を知る事も出來るし、又過去に於ける我家の歴史をも知る事が出來るのであります。

▲月々の收入と支出

次に月々の收入支出の取扱ひ方に就て申しますと、たとへば其月に三百圓の收入が有つて、百八十圓を支出した時は、殘金百二十圓の内二十圓丈けを次の收入期迄豫備金として差引き、繰越金百圓丈けを銀行に預金致します。而して財産表に、百圓預金と記入して置くのでムいますが、何の事は無い月々繰越金が多ければ、それ丈け金が殘つて行くので、云はゞ財産が殖えて行く譯になるのであります。

▲勤儉貯蓄の實驗

次にお話致し度いのは、私の家の勤儉貯蓄法でムいます、これは誰人も御存じの事でムいませうが、私の主義は、入用な物を買ふ爲めに貯金し、不自由をしない爲めに貯金をして居るのでムいます。然るに世間には、三食を二食にしたり、着る物も着ないで金を貯蓄して居る人があるやうですが、一方不自由をして居ては幾ら貯金をしても一向役には立つまいと思ひます。昔から金を貯蓄するには、「恥かく」「事かく」「義理かく」の三かくで無ければ、と申しますが、是れは舊時代の思想で、今日では斯う云ふ貯金の仕方は甚だ不健全と言はねばならぬ、たとへ幾何の金を貯金したとしても、是れでは何の價値も無いのである。不自由もせず、恥もかゝず、義理も濟して貯めたのでなければ貴くはありません、で私の家では、勤儉貯蓄の一方法として、必要の無い物は、たとへ價が安くとも買ふと云ふやうな事は致しません。小切を買ふにしても、一尺十六錢のものを一丈入用な時に、私は其の呉服屋の

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

番頭に、「一丈に幾らの負け尺をしますか」と聞きますすると「七寸丈け餘計に致します」と云つた時は、「それなら私は一丈だけ入用なのですから、九尺三寸下さい」と云つてそれ丈けを買ひますと、負け尺共で一丈になりますから、七寸の代價十一錢二厘は、儲かります。又家庭の道具もたとへば座布團に致しました處が、五枚丈けを作つて置きます。それで平素に用ひますのも、お客用も此の五枚で通用致して居ります。大抵の



家で一時に五人以上の客が有ると云ふ事は、一年に二度か三度ですから、それ以上の座布團を作つて置く必要はありません。若し一時に十人も有りました時には私の敷いて居る座布團を客に進め、それでも足らない時には、『私の家には座布團は私のとも六枚丈けしかありませんから、』と申置いて御話致すのでムいますが、まさか座布團を敷かせないと云つて慍る人もありますまい。其他一年に一度や二度使用する道具なども、買ひ求めると云ふ事は致しませんで、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

それ等の金を皆貯金致すので厶います。是れが私の勤倹貯蓄法であります。

▲豫算表の作成は必要無し

此頃新聞の家庭欄や雑誌などで見ますと、一ケ月の生計費の豫算と云ふ事が、大分流行して居るやうですが、私は此の様なものは必要が無らうと思ひます。人に依ると豫算を作つて置かないと、月末になつて不足をすると云ふ人がありますが、一ケ年十二回の月數を繰返して居ながら、自分の家の生活費が、幾何掛るか分らないと云ふ様な人は、常識のある人と云ふ事は出來ません、ですから私の家では是迄豫算などと云ふものは作つた事はありません、幾ら豫算を作りましても、不時に金の入用な事が出來すれば、實際豫算など云ふものは必要がありません。

▲勤倹貯蓄をする理由

不用な道具を買つたり、割が安いと云つて、餘計な物を買ふたりする事を愼むやうにして、一方貯蓄をして行けば、從つて月末に不自由を感じたり、不足をしたりする事が無くなるのであります。

金を貯へると云ふ事は、昔から或意味に於て賤しめられ、士君子の間に於ては恥づ可き事として居たのでありますが、今日の世の中で斯んな事を思つて居る人は恐らく無らうと思ひます。若し斯様な舊思想を抱いて居る人があるとしたなら、其人は何事にも成功する人ではありません。

今日では物價が日一日と騰貴して、家賃の如きも三四ケ月毎に五分乃至一割の騰貴をして居るやうな有様で、明治二十年頃に比較しますと殆ど五倍位ゐに騰貴したものさへあります。此の時の二千圓と、只今の一萬圓とを比べましても、二十年前の二千圓が、遙かに價値があるやうです。それで貯金を致すのは、つまり物價が騰貴しても、それに應ずる事が出來るやうにする準備であります。家に依つては、二年毎に子供が一人宛殖ゑて行くのもあります。すると今日は一人でも十年後には五人の子供があるやうになり、從つて諸入費も多く掛り、物價は騰貴すると云ふやうになります

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

から、努ひ毎日毎月幾何なりの無駄を省いてそれを貯蓄するといふ必要があるので厶います。斯う云ふやうに心掛けて行けば、世間では物が騰貴すると云つて嘆息の聲をあげる時でも自分の家では、一家團欒の樂みをして行く事が出來るのであります。

▲家庭を黄金世界となす

斯う申すからと云つて私は決して黄金萬能主義ではありません、金錢以外、世に處し生活の意義を全ふするに於て、尚數層倍貴い或物があると云ふ事は勿論です、又讀者諸君も心得て居らるゝでせうが、併し乍ら金錢が道德上に及ぼす感化も又强いのでありますから一家は等しく均霑主義で、互に心から勤儉して貯金が澤山に出來たならば、世は生存競爭と云ふ風も吹けば雨も降るけれども、平素の心掛一つで一家は黄金世界を現出して行く事が出來るのであります。

高い學問と低い手

寺田勇吉

△運命の順逆

『人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し。』とは德川家康の遺訓で、如何さま人生五十年の永い道中には、景色の佳い處もあれば危險い坂路もある、其間を辿つて行く吾々旅人は、急げば躓き、急がねば他に追越される、孰れにしても渡難い世の中であるが、所詮は正しい道を眞直に歩んで、側目をふらず着々と進む人が最後の勝利者である事は爭はれぬものである。さて物は觀じやう一つで、足らぬと思へば百萬の財產も有難からず、足る事を知れば一碗の麥飯にも舌皷を打つことが出來る。これに就てサッカレーと云ふ詩人が『此世界は人の容貌を映す反射鏡なり、試に之に向つて澁面すれば其澁面を映し、笑ふて對すれば彼亦た破顔して汝を迎ふべし。』といつた言葉は、少なくも處世上の秘訣を洩した謎である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

兎に角人の運命は所謂七轉八起きで、財產や名譽は必ずしも固定したものでない。循る因果の一盛一衰は恰も春去り夏過ぎ秋暮れて冬に移るといふ樣に、快樂の後には苦痛が來り、苦痛の影には快樂が潜むと同じ道理である。だから順境に在つても敢て矜るに足らねば、逆境に處しても亦た落膽するには及ばぬ。唯だ寒に居て暑時を慮り、暑にあつて寒時を忘れぬ用意こそ肝腎であらう。

△腦力の差異

社會は一種の劇場である。けれども俳優ばかりでは芝居が出來ぬと同じやうに、男子ばかりでも此世は成立たぬ。本舞臺の裏に樂屋があり、其中に役者もあれば道具方もあり、衣裳方もあれば幕引もあり兩々相俟つて、始めて各自の技藝を發揮しやうといふのであるが、そこで女子は自己の能力と對照して、其孰れの役に適合るかを考へねばならぬ。先づ體質の上から比較して見ると、凡ての組織が男子よりも纖弱であるとは勿論、腦の機能、即ち思考力も亦た緻密ではあるが、深くはない、男子の腦力が創造的であるに反して、婦人は萬事模倣的である。幼稚園や小學校時代に於ては其發達成績共に男生徒に優る者も少くないけれど、漸漸年配になるに從つて、概ね彼に劣つて來る事は、多くの敎育者の實驗するところで、畢竟專門的の學術に適さぬことを証據立て居る。して見ると女子は、舞臺の表面に立つて活動する俳優とならんよりは、寧ろ樂屋の裏面に在つて、內部を整理する役目を受持つた方が、自然の法則に適つたものと思はれる。其理を深く窮めずして、徒に男子と同じ事業や社會的地位を望むのは、所謂木によつて魚を求むるよりも愚な話である

△八百屋學問

男子は外にあつて活動し、女子は內にあつて專ら家事に從はるのは、既に二千年以來の法則で、今更新らしい說でもなければ珍らしい問題でもない。けれども現今の女性――殊に女學生は兎角最高の學問を理想とする結果、動もすれば空想を主として、家庭を忽にする傾きがある。元々女子の學問は理屈や見識を博める

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

爲にするのではなく、只管家を齊めるだけの智識を修得すれば足りるのだから、淺くとも面積の擴い、常識的の教育を要するのである。モ少し詳しく云へば、理論よりも實地に應用の出來る八百屋學問が必要なのである。そこで歐洲諸國の女學校に就て見ても、學科の程度は我邦のよりも一般に低いけれど、其代り實地活用の點に重きをおいてあるから、何處やらの新婦のやうに、お料理の献立をするにも一々ノートブックと首ッ引をしなければ出來ぬやうな迂遠な者は、全く無いと云つても可い。



今日我國の婦人に最も缺けて居るのは理化學の智識で、應用の才に乏しいのも結局は其爲であるが、これは專門的に深く修めないまでも、責めては日常の食物に就ての滋養分や衞生上の作用くらゐは心得て居て欲しい。例へば獸肉と魚肉との滋養分にドレ程の差があるかとか、又は牛乳と豆腐とは何方が營養分に富むか等の一寸した科學思想は、何人にも必要だらうと考へる。

△結婚は身分に應ずべし

女子の一生を大別すれば、娘の時代、妻の時代、母

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の時代と恁う三つに分けることが出來る。先づ第一期の塲合から云へば、專ら敎育と修養の時代で、次に來るのが結婚の問題である。これは人間一生の幸不幸の分岐點であるから、勿論充分に考慮した上で、定めなければならぬ事であるが、然りとて己が身の程も省みず、彼も可けない是も不足だと擇好みに過ぎた結果、却て良緣を取外すやうな例も少くない。米國は大層な女權國で、婦人が素晴しく巾を利かして居るやうに思はれるけれど、其實結婚を求める段になると頗る困難で、非常な美人であるとか、特別の高等敎育があるとか、或は多額の持參金があるとかでなければ、容易に配遇を得られない。其點から見ると我邦の女子は、一般の生活程度が低いだけに、設令簞笥一棹なくとも、身分相當の緣に就かれるから、比較的幸福な譯であるそれを顧はず少許の學問や家柄を鼻にかけて、博士か高等官でなくてはなぞと息捲くやうでは、決して良緣は得られぬのみか、遂には小野の小町の轍を踐まぬとも限らぬ。昔は隨分氏なうして玉の輿に乘つた女性もあつたけれど、當節は却々ソンナ世の中ではない。だから少し位の不足や缺點は我慢するとして、可成婚期を過さぬ中に嫁した方が最も得策である。唯だ呉々も餘り身分の懸隔つた緣組は、家内不和合の基であることを忘れてはならぬ。

△主義ある生活

例の良妻賢母主義を以て、日本特有のものゝ如く思つてゐる人も鮮くない樣だが、之は獨り我國のみに限らず、西洋でも獨逸や英國の家庭では、主義と名がつかぬまでも、矢張りこれと能く似た美風が行はれて居る。良人が外から歸つて來れば、細君は恭しく出迎て服の脫替から帽子靴下の始末まで親しくやつた後、晩餐の食卓に一日の勞を慰する有樣は、少しも我が良妻賢母主義と異つたところはない。されば夫唱婦和の習慣は、世界中一二の國を除けば、殆んど一致した美德であつて、徒に女權がドウの恁うの云ふのは大間違な話である。

唯だ最も遺憾なのは、我邦の上下を通じて規律正し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い生活をして居る家庭が少ないことで、近い例が朝夕の寢起、三度の食事、運動訪問、面會、執務等の時間が劃然と一定してない處から、午餐頃人を訪問したり忙がしい最中に不時の來客があつたり、床に就いた女中を呼起して使に出したり、意に任せて間食をしたりそれは〳〵更に秩序がない、其度に時間を損するばかりでなく、延いては雇人の不平となり、健康上の障害となつて、其弊の及ぶところは、實に豫想外なものである。と云ふのもツマリは一家の主婦たる細君に、一定の主義がないからで、之を西洋の家庭の如く、家内中の者が各々仕事の役割を分擔して、時間を無駄にせず立働くやうにすれば、自ら秩序正しい生活が出來るのである。

△模範的婦人

近來中流社會の婦人達は、左程の財産も無いのに、分外の贅澤をしたがる癖がある、これは甚だ怪しから



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぬ次第で、苟にも良人の收入を以て、一家を經營して行くからには、金を收る方の人の苦心も察して、たとへ僅かでも冗費をせぬ樣にするのが、妻の義務である但し節儉の意味を誤解して、吝嗇に陷るやうではいけないが、要は唯だ世間の義理と一家の體面とを缺かぬ範圍內に於て、約やかに經濟の切盛をせよ、と謂ふに外ならぬのである。

それに就て聊か模範として見るべきは、某富豪の婦人である、其主人は一代に一千萬圓餘の財產を作り上げた人であるが、これが內助たる夫人も亦た、尋常人の眞似られぬところがある。家には二十人の僕婢を使つて居るけれど、萬事雇人任せにはしておかず、夫人自ら臺所へ行つて、料理術へもすれば室の掃除もするといふ風に成べく人手を煩はさぬ方針ださうである。

△廢物利用法

加之此夫人が日常勤儉の一例を申せば、毎日何百通と出入する書翰の封筒を（一回使用したもの）を更に裏返して粘直して、再び役に立たせることを閑々の仕事として居られる。世間には、それ程の資產があるに、多寡の知れた封筒くらゐ、ソンな吝な眞似をしなくとも可さそうなものと思ふ人もあるか知れぬが、之は廢物を利用するので、決して吝嗇でもなければ耻でもない。寧ろ一般の婦人に此美風を學んで欲しいものである。

殊に感心なのは、平常此樣に細い處まで儉約を旨として居るに拘はらず、社會の公共事業や慈善事業には人一倍の金を寄附して聊かも矜る色がないことで、如何さま這の心掛けがあつてこそ、一代の成功をなし遂げたのだとホト〳〵敬服の外はない。そこで私も到底其眞似は出來ぬまでも、責めて廢物でも利用して、可成冗費を省かうと考へて居た折柄、一日物置へ行つて見ると炭俵の空が一杯に積んであつて、俵は物にならぬが、其繩が役に立ちさうだから、早速それを繋ぎ合せて、邸內の垣根や庭園の修繕をする時に使用した、すると年々四五圓づゝ買つた繩代が、それ以來全く要らぬ事になつたので、更に又落葉や木屑の如き些細な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

物でも、濫りに粗末にはせず、閑餘の運動がてらにそれを掻集めて、燃料の一端に宛てるといふ工合に萬事力行主義を重んじて居る。之は強ち僅少許の物が惜しい爲にするのではなく、抛つておけば其儘廢つて了ふ物を、再び活かして用ゐるまでゝ、敢て自慢にもならぬ事だが、唯だ家政を司る婦人方の參考までに、述べたのである。

△一錢の金が積つて二億萬圓

何處の家でも仔細に注意して見ると、捨てた物の中にも再び使用の出來る廢物があるに相違ない。例へば端書の古を以て夏座布團を製するとか、井戸縄や草履の廢つたのを貯めておいて、壁土に混ぜる材料にするとか、又はビールの空罎や空樽を金に代へて貧民に惠むとかいふ風に、主婦が家事に綿密であると否とは、年中に大層な相違を生じて來る。之を一個人の上から云へば寔に僅少なものであるが、大きく積つて見ると國家經濟の上にも影響するので假りに今五千萬人の同胞が、毎日一人の頭に一錢づゝ儉約すると見做して、これを一年に計算すると、二億萬圓



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

近くの金になる。それを顧はず分外の奢侈を競ひ、贅澤を盡して居るのは、取も直さず、國家の經濟の賊である。

△實行主義

真直の線を引くには、定木の真直なのを擇ばねばならぬと同じ樣に、子女を善良に敎育し、雇人を規律正しく使役するには、先づ一家の定木たる處の、主婦の行爲から正しくしなければならぬ。幾等口先でばかり嚴正なことを言つても、自ら物事を實行して模範を示さなくては、却々命令の行はれるものでない。今日上中流社會の家庭に體格强壯の美人が少いのは、畢竟運動が不足なからである、それと同時に、其子女が一般に虚弱で、偉い者になれないのは、母親が主として養育の任に當らず、多くは乳母や女中に任せて、學校用具の出入れから、下駄の掃除、さては靴紐の解き結びに至るまで、一切他人の手を勞し、子供は恰で雛人形同樣に躾けるからである。此弊風を矯正するには、第一に無用の雇人を節減して、細君が專ら家事整理の實行者となると共に、子女にも亦たそれを見習はせて、自分で行れる事は、人に依頼せぬといふ習慣をつけねばならぬ。佛國の女子に美人の多い原因は、其方法は食事と運動の平均によるので、わづかばかりの散歩や遊戯ではない、只だ一生懸命に臺所仕事を勤める結果である。

△社交の注意

元來婦人は家庭本位のもので、社交は第二の問題であるが、それに就いて二三の注意すべき事柄は、第一に人と接するには、身體や服裝が清潔でなければならぬと云つても絹物づくめ、金銀づくめで飾れとの意味ではない、要は只垢のつかぬ着物を着て不潔を避けよと謂ふのである。然るに日本の婦人は、ドウも此清潔法を誤解して居る樣に思はれる。例せば歐米の女子は襯衣の洗濯に最も重きをおき、それが常に純白で數多くあるのを以て、交友間の誇として居る。之に反して肌襦袢は二の次として外見さへ立派であれば可いと云ふのが日本風である。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

次に客と應對するにも、西洋の女子は始終ニコ〳〵して所謂愛嬌笑ひはするけれど、此方の婦人のやうに大口開けて笑つたり、腹を抱へて絶倒するといふ風は全く無い、生理學者の説によると、顏面の皺は主として大笑の結果であるさうながして見ると度に過ぎた笑は、風儀上宜しくないばかりでなく、容貌の美まで害ふ譯である。

△女子の惡癖

最後に一般の女性に通有する缺點は、人と要談の際「然り」とか「否な」とか「諾」とか「不承知」とか瞭明した返辭が出來ず、兎角曖昧に語尾を濁す事である。分けて懇意な人に物事を依頼された場合には、最初から出來ぬ相談と解つて居つても、一時の惡感情を招きたくないところから「まア何とか致して見ませう」とか「何れ相談の上宜しく計らひませう」とか、姑息の返答を與へて歸します、すると其人は幾分か的にして待つ、其が外れると良い仲も惡くなる、と云ふ工合で兩者の間に少なからぬ面倒が生じて來る、そこで之れを西洋流に「イエス」「ノー」を其場に明答して、チヤキ〳〵要領を得る樣にすれば、無駄な時間と勞力とを費さずして、他日の不和を醸さずとも濟む、兎に角婦人の最も注意すべき要點は此の白ともつかず黑とも附かぬ鼠色の返辭を全廢する事である。

子供と音樂

夕飯を食べてしまうと多くの子供は、こくり〳〵と居眠を初めたるが。或家庭では毎晩御母さんなどが子供を集めて御話をする習慣があるにした所で御話しを聞分けることの出來ない、幼兒は手持無沙汰であるから矢張り眠るより仕方がない、小さな子供だから眠るのは好いかも知れないが、一人の眠る子供がある爲めに女中は床を敷くやら婆やは添寝をするやら、こうなつたら一家内皆んなが集つて秋夜の娛樂を平等に得ることは出來ない。然るに音樂になると之が平等に行く眠むさうな子供に安いハーモニカの一つもやつて御覽なさい、それは〳〵喜んで吹奏する、元より譜も何も知るはづはないが寢るどころの騷ぎでない、時間の過ぎるのも知らずに、樂しく遊ばせることが出來るそしてハーモニカなどの吹奏は、子供にも非常の益があるそうだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



我が亡き姉

女子學院長
矢嶋楫子女史

世間で私共の事を喋々とお噂下さるよりは、どうか姉竹崎順子の事こそ聴いて戴きたいと、豫々思つて居りましたのです私の口から申しては如何で御座いますが、それは立派な善い人で御座いました。心だてが素直で、什麼逆境に陥つても不平がましい事を少しも申さず、よく困難に耐へ忍び、遂にそれに打勝ち〳〵致して、晩年の事業なる私立熊本女學校も、遂に近年のやうに盛んな處まで遣り抜きまして、一昨年三月八十一歳を以て此の世の務めを終りましたのです。思へば姉は、

浮沈多き生涯

を送りました。それと申すが、夫律次郎——これは木下廣次(前京都大學總長)さんの叔父に當ります——が極く善い人ではありましたが、大層山氣のある方でそれが爲にひどい窮境によく陥つたのです。けれども浮沈があればある度に、却つて信用が增して層一層大仕掛にやれるやうな有樣でした。これは姉の內助が與つて力大なる事と信じます。嫁したのは十六歳の時て、その翌年に忽ち、

身代限

を致しました。例の山が外れたのです。もう持つて行つた物も何も全然無くして了ひ、婚禮の時の白無垢までも皆渡して了ひました。そして自分は里方へ脫走同樣に參つて引取られて居りましたが、夫は何處へか身を匿して了つて分りません。尤も債權者へ迷惑を懸けたのですから、もう一切渡して二人の身體だけで出たのですが、然し主人律次郎が居ないのでは濟みません。里方矢島の方で手を分けて探すやうな仕儀。然し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

薩張分らずに居つた處、兄が代官で在方檢分に廻つてゐて、ふと或る川端で出逢つたので、「何しろ怪しからん」といふ譯で、引張つて參りまして、兎角してその事件も片付いたので、城下本からずつと離れた山里へ引込んで、漢學の師匠を始めました。所謂寺小屋で、「いろは」からのは姉が受持、纏まつた書物の方を夫が敎へましたのです。いくら山里とは申せ、それは〳〵粗末な家、實の、

掘立小屋

といふので、土臺を据ゑずに直ぐに土間へ柱を打込んで床を張つたものですから、家が歪んでゐて、戸障



子は一本も素直には動きません。元來姉はもう一旦里方へ引取つたので、これへ引込むと共に、改めて嫁る譯に致したのですから、其時私が附添で參つて實に弱りました。御飯と申せば粟で、ざら〳〵して妙に感じますし、それへ薩摩芋を入れて炊いたのです。箸が有りませんので、裏へ出て葭の莖を折つて來て皮を剝いで、それを代用する始末です。それよりも困りましたのは便所が無いのです。これには實に弱りきりました　私は十一歲姉は十七歲の事でしたが、姉も淋しからうが私も

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

可哀相だといふので、半月計りして女中を迎に遣してくれたので、その時の嬉しさは今に忘れません。然うなつてからは姉はもう一切絹物などは使はず、襦袢から下着から上着まで、すべて自分で織つたゴツ／＼したものばかり。手習兒の隙々にはいろ／＼の内職を致して、それは隙なしに克く働いたものです。身體がよく續いたものといふ程でした。夫も心懸けてゐては、彼處の圃何處の田が賣物に出た、買つて置けば見込があるといふ樣な事を聞けば、内職して稼いだ錢で買ふといふ樣に、油斷なく骨折つたものです。然も姉は情合の厚い人で、盆や正月になると、必度何か自分で拵へた内職物かなどを、よく人に贈りましたのです。つまり同情に滿ちた人でしたから、何處にゐても人望があつたのでした。

かくて十年足らずの間に、大層貯蓄を得ましたのです。元來姉夫妻は所謂夫婦養子で、後は順養子といふ事になつて、義理ある養子がありましたので、恰ど唯一人の娘をそれに妻はせて、その財産を全然それに讓つて了ひました。その竹崎の後を繼いだ者は今もその山里に靜かにそこを守つて住んでをります。で、姉夫婦は別れて、濱邊の新地――遠淺を堤を築いて圍つたばかりのもの――を買ひ取つて、その、

耕作

に從事致しました。男や女も大分使ひましたが、無論夫婦とも今度は鍬を擔いで耕作を致したのです。

私も失敗に滿ちた人間で御座いますので、姉の許に厄介になつた事が往々ありますが、その頃も二年程その忙しい農事の中に居候をして居つたので、姉がよく夏の夜などに、田へ水の見廻りに行つた事などを覺えてをります。それをも二十年間精を出して勵んで居りましたが、その内に藩政改革といふ事になつて、竹崎も引出されてお役に就くことになりました。錄事と申して書記官のやうな役目です。それで、新地の方は又養子を致してそれに悉皆讓り、姉夫婦は城下住居となりました。それからは竹崎は東奔西走の姿で居りま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

したが、五六年してから、自分などは最う頭腦の古い人間だからと申して、斷然辭職して了ひ、城下に近い處に一つの山を買つて、そこに居を定めました。姉が未亡人になつたのは明治十年頃でした。その後もずつと同じ處に住んで居りましたが、それから多分數年の後、

女學校

を引受ける事になつたのです。元來それは海老名彈正さんの御夫婦が、男の學校を立てた處、男一面には女の生徒も引受けねばならぬ事になつたのが基で、その後種々の人の手に渡つて、もう滅茶滅茶になつてゐたのを、姉が氣の毒に思つて拾ひ上げたのです。けれども姉は學問が御座いませんから校長などにはと辭しますのを、皆樣が是非々々と强つて仰せられたので、止むなくその地位に就いたのです。それ故教頭を別な方に願つて、姉は遂にさういふ方は致さなかつたのでありますが、すべて講師をお願みするとか生徒の出し入れとか其の他大體の取締を致したのです。以前から此の女學校には少し關係してをりましたから、つまり學問はありませんが管理などのよく行屆く處から、强つてお望みを受けたので御座い



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ませう。殊に學者を要する教育事業を、學問の無い者が引受けていつたといふ事は不思議な現象ですが、それが又遣り拔いたといふは、どうした譯でせう。これは今の學問のある若い御婦人たちのお考へものだらうと存じます。然し姉が女學校の事に一生懸命で御座いましたのは、もと／＼自分が學問が無いのを殘念がつてをります心から、たとへ一人でも二人でも教育して上げたいといふ、ほんとの老婆親切から一圖に勤めたので御座います。今こそ盛んになつて居りますが、その昔は生徒が二三人などゝいふ事あつたものですが、さういふ心持ゆゑ一向其麽事には頓着致しません。名譽や利益などは少しも氣に懸ける人でなく、唯々心一杯の親切を傾けて勤めるより外はなかつたのです。生徒が紙屑を散らかして庭などへ投げ出してあると、毎時そつと紙屑籠を持つて出て、自分で一つ一つ拾つてゐるので「あれ又先生が紙屑を拾つていらつしやる」といつて、遂に散らかさない樣になつたといふ話があります。すべて恁ういふ遣方で、とう／＼近頃の有樣までにやり付けましたのです。

孫を失ひ娘を失ふ

かゝる間に、唯一人の娘に出來た孫を四人まで續けさまに失くしました。皆二十二、三、四といふ善い年頃になつたので、什麽に殘念で御座いましたらう。揚句の果に唯つた一人の娘にまで先立たれました。一時はもう落膽致して了つたやうでしたが、何十年來辛抱強いので遣り通して來た姉の事ではありますし、後にまだ四人も孫がありましたから、「私は最一度若くならなくちやならない」と申して、學校と其の家と隨分懸け離れて居りましたが、懸け持ちにして、よく孫の世話を致し、養子の者にも不自由の思ひをさせない樣に世話してやつたので、姉の居つた間は、親戚郷黨との交際なども、娘存生中同樣で、少しも屆かぬやうな憂はなかつたのです。實に能く致した者と始終存じました。

刀自の精神

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

學問がありませんので、自分でも心掛け、何でも七十歳位から習字などを致し、又和歌も佐々木信綱さんに見て戴いたとか申す事です。多分七十七の祝の折、親戚知己や生徒の方々へ何かお配りをしたいのですが、袱紗や餅などもつまらぬと申して、自筆の短冊三枚を並べた形を、一枚の石版刷にして配つたことが御座います。その歌の一つは斯様です。「日暮れて路遠しとは誰かいふ、勇みて進め天の正みち」。自分の精神で御座いませう。又一つは「限りなき命を受けし君なれば、消えても殘る命なりけれ」。これは横井時雄の母即ち私共の姉の亡くなつた時に詠みましたもの。終りのが宜しいやうです。「手折りつる花はもろ手にあまれどもいづれを野邊にすてゝ歸らん」。これは女學校の生徒たちと郊外を散歩致しました時、各自に草花を摘んで持ちきれなくなつたので、萎れたのを棄てゝ行きませうかと一人が申した時詠んだとの事、「私の精神は全くこゝにある」と申したさうです。いづれを野邊にすてゝ歸らん。姉の心持を思ひやれば、實に尊いやうに存じて、何となく涙さしぐまるゝ心地が致します。

紀念の白無垢

前に破産の際、婚禮の時の白無垢も無くしたと申しましたが、不思議な事に、二十年程經つてから、ふと他家で賣物に出てゐるのを見付けまして見しるしがあつたので、確かに違ひないと申して直ぐに買ひ戻しました、非常に喜んでをりましたのは無理も御座いません。それで、一昨年沒しました時は、棺へそれを懸けて參つたので御座います。この白無垢は實に姉が一生の浮沈を語る好個の紀念だと存じます。葬送の折は恰ど日露戰役中で御座いましたので、路行く人が、「これは何少將の柩ですか」などと申したさうです。これにつけても姉の如きは死が取りも直さず凱旋で、この白無垢は即ち又凱旋の旗じるしだと存じて居ります。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



婦人の惡癖矯正法

文學博士　元良勇次郎

男子にしても女子にしても其の心理の作用の上に兎角惡い癖を有つもので、其の爲に我々は何れ丈損をしてゐるか知れぬ。で玆には只婦人として面白からぬ性癖に就て少しく述べて見やうと思ふ。

婦人に最も著しい性癖は彼の輕卒と云ふ事であらう。多くの婦人は兎角物事に氣捷くて何の思慮も無く怱々に事を取り極める或は早合點をすると云ふ傾がある。で其の結果は如何かと言ふと、事々物々仕損じだらけで、臺所では茶碗を破毀し、着物を縫はうとしても針目が容易に通らず、客に應接しては飛んだ滑稽を演ずるので、實に惡い性癖だと言はねばならぬ。此等は誠に些細な事のやうなれ共、實は一家經濟の上に大なる損失を來し、且つ主婦の輕卒は其家の主人の信用に關するものであるから、若し諸君が係る性癖を自覺せられたならば速かに之を矯正しなければならぬ。之を矯正するのは別段困難しい事では無い、たゞ斷えず身體の健康に注意して其の調子を違えぬやうにし、睡眠時間の如きも普通よりは長くして充分腦を休息せしめ、而して平素意志の抑制に力めて早口の人ならば靜に話す、道を行くには徐々歩くと云ふやうに、何事にても緩り爲す事に注意して居れば、自然に矯す事が出來るのである。

次に婦人は概して怒りッぽいものである。私共が見ては何でも無い事でも、婦人は大變に强う感じて忽ち腹を立てる、が之れも決して得策では無い、怒れば必ず損を招く。のみならず能く其の條理を考へるならば怒るやうな場合は滅多に無い筈である。故に諸君は能く此邊の事を辨へて、如何なる場合に於ても決して怒らないと云ふ習慣を養はなければならぬ。例へば女中が使ひに出て遲く歸つたとか或は器物を破毀したとか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と云ふ際には誰れしも嚇と怒りたくなるであらうが、其處を凝然と氣を落着けて、彼の年頃では無理もあるまい、彼れでも却々行屆く分だと思ひ直せば、何も怒るには及ぶまい。然うして一年位も續けて居れば、其れが習慣となつて不知不識の間に自分の性癖が直るであらう。



又婦人は兎角物事に感じ易いものである。勿論婦人は元來情の作用の勝つたものであるから、之れは當然の話で、或は其れが却て美點であるかも知れぬが、去ればと言つて何でも無い事を苦にしたり乃至は深く考へ込むと云ふ事は決して褒むべき事では無い、故に左樣云ふ人は平素成るべく自分と同癖ある人と交際する事を避け、詩歌文章等感情を刺激せしむるものを禁じて、若し悲しくなつたり考へ込んだりするやうな事情が生じて來たならば、何か他に事を設けて意志を反對の方面に向け可笑しい事、嬉しい事を思ひ浮べる樣にせられたいものである。然うして居れば自然快活なる氣質を養ふ事が能るであらう。

又人間として愛情の無いと云ふ者は殆んど想像が能ぬが、併し比較的に乏しいと云ふ者は必ずあるに相違無い。で若し諸君の中に其樣云ふ人があるならば私は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大に反省を促したい。愛情は婦人の魂である。婦人にして愛の乏しきは、花にして香無きが如く、言はゞ人間の造花で、何等の價値も無いのであるから、其様云ふ婦人は何處迄も之を保存する事に力めなければならぬ。其れには其人の心掛が大切で平素他人の子供も我が子と思ふて可愛がり、十分人を愛すると云ふ觀念を養成すべしである。

或は又始終浮々として兎角落着かない人がある。恁う云ふ人は何事をしても食ひ掛け主義で、其處へも手を出し、此處へも手を出し、遣り掛けては止み、仕掛けては變ると云ふ風で、迚も成効は見られない。故に此種の人は自ら大に警戒して何事でも着手したらば其れを遣り遂げる迄は決して他の物に移らないと云ふ習慣を養はなければならぬ。之れも自分の心掛け一つで必ず能るのである。

又婦人は概して邪推深いもので、彼の嫉妬の如きも皆之れから起るのであるが、是亦戒むべき一つであらう。で恁う云ふ性癖の人は其れを矯正するには、人の短所を觀ずして長所を觀、裏面を窺はずして表面を觀るやうに心掛けねばならない。人には必ず長所があるから、たゞ其點に目を注いで居れば、人からも好く言はれ、又邪推より起る失敗も無くなる譯で、一擧兩得と言はねばならぬ。

又例へば物を言はうとしても其れを言ひ出し兼ね、人前に出ては始終俯向いて何か尋ねられても返辭もしないで顏を眞赤にしてゐる人がある。性癖としては左程惡いものではあるまいが、併し良いとは言はれない、自分の所信を公にするのは自己の權利である。自分が正しいと思ふた所をキッパリ言ふのに何の憚る事があらう。勿論此方から押し掛け的に言ひ出すにも及ぶまいが、言ふべき機會に明斷に言ふに何等の遠慮も要らぬであらう。

倘婦人として最も困つた性癖は無精である。お湯も嫌ひ掃除も嫌ひと云ふ人は往々見受ける所であるが、之れで果して廿世紀の婦人と云ふ事が能るであらうか。特に婦人がお湯が嫌ひに至つては實にお話になら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ない。何うか今少しく衞生の大切なる事を思ふて、身體は勿論、室內或は器具等總て家庭內のものを淸潔にすると云ふ習慣を養ふて欲しいものである。

以上は比較的大なる惡癖であるが、斯かる性癖の特に婦人に著しいのは多くは責任を無視するのが原因であるから、此點に就ても深く注意をせられたい。蓋し從來日本の習慣として婦人に十分の自由を與へず、家事の整理其他の仕事をするに就ては總て男子の命令に從はしめ、婦人は自己の意見に依て事を處理するとは殆んど無かつたので、自然無責任に流れ、從つて横着にもなり、此等の事情がゝらみついて遂に以上の如き習癖を作つたものと思はれる。故に之を矯正するには一方に於ては婦人の爲す仕事は成るべく自己の意見を以つて遂行せしむる必要あると共に、婦人は自ら十分の責任を以つて自治的に總ての事を爲すの覺悟が無ければならぬ。否其樣あつて欲しいのである。

斯くして其の爲す結果が總て自分の身に及ぶとすれば自然惡癖も矯るであらう。（曉汀生筆記）

余が育兒上の實驗

乙訓網助

子供の翫具は、何が良いでせうか、私は從來遊戲とか翫具とかいふものには、尠からぬ興味を持つてゐたので、一昨年男兒が出生れてから色々と實驗を致しました、扨て子供は生れて五六ヶ月も經つと初めて翫具の味を覺えるが、此時は單に、

△眼の翫具　即ち眼に見えるものを樂むのでございます。未だ口や手などに參りません。何でも眼に立派に見えるもの、ちらつくもの、彩れるものなどを好みます。即ち風車であるとか、でん〳〵太鼓とか、色の紙とかは、この時代に於ける子供の最好物です。それから生後八九ヶ月の頃になると、

△口の翫具　口に入れて見る、口に甜めて見る翫具を好むのでございます。その時代には、單に物を見たゞけでは滿足しない、必ず口に持つて行く。例へばお舐りの樣なものを好む、それ丈進步したのでせう。それ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

から生後十四五ヶ月になると、又是丈では滿足しなくなつて來る即ち、

△手の翫具　に移るのです。自ら手を以て動かして見ねば承知しない、從つて動くべき性質の翫具を欲しがる。例へば、電車とか汽車とか、船とか、兵隊とか、動くべき性質のものを好くのです、ですから、犬の翫具でも馬の翫具でも、自ら動かさねば承知しない、襖でも、障子でも、車や船の積りで動かして見るといふ風です。かういふ風で、私の子供は、今日に至りましたが、私は、既往二年一ヶ月の實驗に依つて、どうしても、翫具改良の必要を認めました。前に申す眼の翫具時代には、子供と翫具との關係は左程親密でないから、今こゝに述べる程のこともございませぬが、所謂口の翫具に就ては、大にいふべきことがございます。それは、

△塗料の悪い事　です。塗料は、口に甜めるものですから、是非衞生的の注意が必要であるのに只今の翫具には、この要求に適つたものがないのです。何れの翫具も、アニリンなり、ニスなりを塗つて居りますが、これ等の塗料が、如何に有毒なるかは申し上げるまでもありません。それで私は近き町内にある翫具店に滿足が出來ずして市内至る所を探ね廻つたが、どうしても見當りませぬ。それ故今日は先づ瀬戸燒のものを用ゐる外はありませんが、これ丈では如何にも、寂しいから、私は已むを得ず、自家のある物を翫具に充てたのでございます。それは、竹の小柄杓であるとか、お椀とかを持たせたのでございます。次に手の翫具なども矢張り、

△製造が拙い　のである。此の翫具は、大概鐵葉で出來てゐるが、何れも、製造がお粗末で、直ぐ壞れて了ふ、而して金の角がとれてゐないから、動もすれば、手を切り、足を傷づける。だから是等の點は其の製造家がよく注意して、鐵葉の角を取り、其他安全に丈夫に拵へるやうにしなければならぬと思ひます。以上は私が翫具に對する希望でございます。

△進歩せぬ原因　日本の翫具は、一體に非教育的で、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

又非衛生的で御座います。そは何故かと申すに、一般の家庭教育が進歩せずして、翫具に重きを置いてゐないせいでもありませうが、尙ほ今日の翫具製造者幷に、販賣者に、相當な教育がないと云ふ事も重もなる原因で御座いませう。今の翫具製造は、私の知つてる所では、何れも貧民の内職となつてゐます、例へば、下谷の萬年町あたりに行くと、半白の貧乏翁さんが、豚小屋のやうな所で、見すぼらしい風で、翫具を製造してゐます。この樣な境遇の人に、



どうして、塗料とか染料とかを彼此言ふことが出來ませう。どうして粗製濫造の責任を負はされませう。そして販賣店の方では、何でも廉く製造して、よく賣れゝば可いと言つてるのですからどうしても完全な翫具が出來ません。それゆへこれ等の翫具には、どうしても、

△消毒が必要　です。

斯かる汚穢ない翫具を消毒もしないで店に出し、これを無垢潔白な弱い子供に翫ばするといふことは、何と危險な事ではありませんか。故に私は、根本的に翫具製造法を改良し、且つ消毒法を實行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

することを主張するのでございます。仍で日本のと西洋のとを較べて見るに私は兩方に、長所と短所とがあらうと思ひます。西洋の翫具を好む人は西洋のは丈夫で、何時までも持つやうになつてゐる。從つて兒童の耐久心を養成する。日本のは之と反對で實に壞れ易い直ぐに取り換へねばならぬ。從つて日本特有の、極厭き易い、輕卒な心を養成すると言ひますが、私は或點は寧ろ、

△日本のが良い　と思ひます。何故かといふに、子供の心は誠に變動極りないものである。寸時も恒の心がない、從つて何時も同じ翫具では滿足しない。從つて舊いのが壞れて、新しいのが、代ると云ふ事は却つて宜しいのです。畢り、日本の方が、子供の心理に適つてゐるのです。子供の自然に合つてゐるのです。といつて此頃の翫具のやうに、買へば、直ぐ壞れるやうなのも困りますが、何時迄も持つのも必ずしも應ずべきものではありません。

△西洋の翫具が良い　といふ點は、言ふまでもなく、西洋のは、有毒の染料を使はない。翫ぶに危く無い、黴菌が居らない、教育的である。衞生的であるといふ所にあります。故に私は、此等相互の長所をとり、短所を捨てたなら、必ずよい翫具が出來やうと思ひます。

翫具のことは、これで措いて、次にミルクに就ての失敗談を述べませう。私は之が爲に、實に子供を殺しかけたのでございます。生後一ケ月も立ちますと、親の乳が十分でないといふので、ミルクを飲ませることゝしました。でミルクの罐に、その使用法が書いてあつたから其れに從つて十四五倍にして飲ましたのでございます。所が、

△飲用後の經過　を見てゐると何故か、追々子供の樣子が變つて、時々非常な腹痛を起し、顏色は蒼ざめ、大便は靑いのをなし、遂に最も恐るべき白便をして、殆ど死に瀕したのでございます。これではならぬと早速小兒專門の醫師にかけて段々原因を探りますと、全くミルクの爲めでした。ミルクは惡いのではなかつたが、ミルクの淡め方が違つたのです。聞けば、生後一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ヶ月の子供には、水の混せ方は凡そ二十倍ださうで御座います。それを十五倍としましたから、大變なこととなつたのでございました。皆樣の中でも、この樣な經驗のある方がありませうが、實に、ミルクの、

△販賣者の無責任なのには驚きます。それが爲に、罪なき子供を苦め、甚しきは、之を殺すのでございます。私の子供も、それが原因で、胃腸を弱くし、今になつても未だ强壯の身體になりません。それですから店舗で販賣するものは强ち、

△ミルクに限らず生乳なり、煉乳なりをお用ゐになる方は、その淡め方を十分お確めにならねばなりませ



ぬ、葡萄酒であつても、藥類であつても、その用ゐ方には却て信用が出來ません。之れは一度誤ると、非常な影響があるのですから賣る人も、十分注意して、どうか、無責任なことのないやう、即ち所謂公德を重じて戴きたいものです。

△夜泣を止める法

子供の夜泣には、何誰もお困りでせう。これには、今尙は傳說を信じて鬼の面を表に貼つたり、蟲封をしたりすると直ると、心得てゐる人があるやうです。是等は固より迷信に過ぎません。私は考へるに、子供の夜泣は大抵は一時の習慣に基づくもので、熟睡をさせるならば決して夜泣きはしないと思ひます。つまり、寢そびれるから

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

泣くので御座いませう。だから、この療治法は、夜、熟睡の機を與へるのです。その晩方に泣くのも、夜中になくのも、何れも習慣でございます。だから成るだけ晝眠をさせずしてよく運動をさせ、夕方にはお湯に入れ子供が睡たがつても、成るだけ睡らせないやうにし、愈々遊び厭きて、自ら疲勞を感じた所で、據所なく睡らせる樣にするのです。かくすれば、自然と熟睡するもので、決してねそびれる餘裕がございません。斯樣な習慣をつければ初め、一時に夜泣する子供は三時になり、五時になりして遂には直つて仕舞ひます。夜が明けてからは眼が明いても決して泣きません。これが子供の夜泣を止めた私の實驗でございます。

便秘を直す法　子供に便秘のない時には朝起きると必ず消毒した水を、一杯飲ませればそれで大抵の泌結は直るやうです。これは大人でも、さうでせう。水は消毒せずして有機物のある方が却て良いと申しまするが、私は大事を取つて、一々之を消毒したのです。この消毒といふのは、卽ち煮沸のことです。私共の煮沸する方法は、女中をして早朝御飯を焚く時に、水を沸し、之を德利の中に冷して置いて、子供の起きるのを待つて、遣るのでございます。又林檎を煮て喰べさせると、屹度利めがございます。つまらぬお談乍ら、有の儘を申したのでございます。

◎女子は人生の花なり、故に幾分の粧飾を要すれども然かも奢侈に流るべからず。

◎人は精神に依りて容貌を變ゆる事を得、左れば徒に外面の美を飾るを避けて之を内より美化するの工風なかるべからず、たとへ外貌甚だ揚らざるも、内に品性の氣高きあらば顏は必ず道德美を以て輝かん。

◎美衣を着け或は美食するを愼むは己れ一人の克己忍耐なるのみならず我が最愛の子に對する大なる慈悲なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時論

女子の偉大なる力

金森通倫

私は持説なる勤儉貯蓄遊説の爲に、日本全國到る處の學校殊に、高等女學校とか女子師範學校とか、その他手工學校、技藝學校などに至るまで、何處までも這入つて行つて演說し廻つてゐますが、至る處常に感ずるのは、今の女學生が力に乏しい事。力といふものが今の女學生には無い。力、殊に學力が乏しいので、その智識もその判斷も確乎した處がない。これが平生深く感じてゐる所であります。さて、何故今の女子が其麼風になるかといふに、全く骨折らぬからである。近い例が高等女學校の生徒諸子でも、もう四年五年になると、結婚問題を考へる。學校でも亦良妻賢母々々々々と、そればかり教へてゐるからいけない。兎に角學校にゐる內から、夫は大學出身が可からうか、高等商業のにしようか、軍人がよいか實業家がよいか官吏がよいかなどいふ事ばかり考へてゐる。元來高等女學校五年とは言へ、三年までは實は小學的で幼稚なもの四年五年こそ本當の學問の爲時であるのに、肝心の頃になると最う着物や粧飾に氣を取られ、良人問題などに心を走せそして此の大切な修業の時期を空過して了ふ。これが女子に力の無い所以である。假に男子の事を考へて御覽なさい。中學の四年生や五年生に向つて、夫としての道、親の道などを反覆してゐたら、「先生氣が狂ひはしませんか」と言ふであらう。「夫や親の道どころか、我々は今學問に急がしいので眼中唯高等學校の入學試驗各種の專門學校入學試驗あるのみです」と言ふであらう。かくして四五年生になると、さすがに多數は本氣になつて勉强する。そこで學問が稍熟してくる、即ち消化して我が力になつて來る。全く男子でも力の付くのは四五年生の時にある。この時に、決して夫の道や親の道などを考へてはゐない。それを女學

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生は唯もう良妻賢母々々々々ばかりに頭を惱ましてゐる。夫に持つは何ういふ顔付の人かとか、その學力はその地位は、その財産はと、這麼事ばかり考へてゐて、どうして學科――六づかしい數學や、歴史や地理の暗記物や、さては物理や化學などが分るもの覺えられるものであらう。かくして空しく大切な學問の時期を過ぎ去つて了ふ。私などの希望を申せば、良妻賢母も結構であるが、其麼事は先づ後でよい。學校にゐる内から、それはかり苦にせずとも、根本さへ養つておけば、立派に良妻賢母になれるものです。元來其麼敎は親がします。然るべき家庭ならば、母親が手本を示してくれます。子女たるものは、暫くまづ親に任せておいて、己れは學問に勤むがよいでせう。尤も學校で頻に敎へてくれるのだから、それは眞面目に學んでおくが宜しい。が、妻といふ問題、むしろ夫といふ問題にばかり氣を取られずに、即ち妻とか親とかいふ事の外に、否それよりも先に、まづ人間になつて貰ひたい。立派な、力ある人間になつて貰ひたい。どうぞ斯ういふ婦人が段々出て來るやうにしたいと切望致すので、それには力を付ける所以、即ち大切な修業の時期を失はぬやうにして戴きたい。良妻賢母に食傷し中毒しないやうにして戴きたい。

道德の方から言うても其の通り、妻として親としての道德など、目下に要なき遠い河向うの事を考へるよりも只今直ぐに行ひ得る、先生への敬愛、さてはお友達には如何に親誼を盡すべきか、さては下級生は何う勞はつてやればよいかといふ、その勞はり慰勞はり樣を考へて、學んで、行つてゆくのが肝要。これが即ち根本、これが先づ人間となる所以である。下級生を勞はつてやることは、やがて子を敎養するを學ぶも同じこと、根本さへ修養しておけば、應用は自らにして出來てゆくものである。

かくして眞に力ある、眞直な、立派な人間になりさへすれば、社會が決して棄てゝは置かぬ。必ず取つて良妻にもすれば賢母にもする。それを肝心の力を養ふことに疎かで、又同輩を嫉んだり、下級生をいぢめる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

やうな僻んだ心を持つてゐて、徒らに空想的に良妻賢母を望んでゐたとて、夢のやうな話ではないか。つまり眞に良妻賢母たらんには、長上なりお友達なり幼者なりに、皆和氣藹々の心を以て對して、そして一心不亂に、數學なり、歷史、地理、物理、化學なりを勉强するがよい今後の社會は、殊に恁ういふ實力ある婦人を要求するので、つまりは力あるものが月桂冠を得るのであります。



元來男學生には何故に夫たり父たるの心得を一々說かずに、女子にばかりなせ良妻賢母を反覆するか。夫たり父たる方が容易いからといふに、決して其麼事はない。むしろ其の方が困難である。私は今日の家庭も社會も、夫たり父たる男によつて汚されてゐる事が多いと思ふされば夫の道、父の道こそ大いに說いて貰ひたい、古來これを說かれてないのは日本の大缺點だと思ふのに、世間ではそれを一向說かずに女子の方ばかり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

責める。これは抑々何故であるか。外でもない。女子供は分らぬものといふ觀念から來た事で、つまりは女子を馬鹿にした話である。男には說かずとも自ら分る、女には說かねばならぬといふ遣り方ではないか。かう考へると良妻賢母々々々々などと說法されて、甘んじて聽いてゐる婦人の氣が知れぬ位なものである。然し無論それは善い事で、又親切から說いてくれるのだから、怒る譯も不平を言ふ譯もないが、その親切の出て來た源を質せば、女子供は分らぬからといふ、人を馬鹿にした心持である。今後の社會は更に女性を尊まねばならぬが、女性自らがまづ自尊の心を起さねばだめである。自ら尊む心の無いものは如何ともし難い、これあれば男子に輕んぜられぬ程の品格を保つは容易な事であります。

婦人方は先づ己れの社會上の地位勢力を、ようく合點し自覺せねばならぬ。その力のいかに偉大なるかを知つて、自ら尊む心を起さねばならぬ。婦人方に力を養ふことを切に勸めるのも、本來婦人が大いなる力を持つてをればこその事であります。

婦人の偉大なる力の一つは「淸らか」といふ事である。到底男子の及ぶ所でない。德高き女子の心の淸い事は、殆ど譬へんに物がない。玲瓏として一塵を付けずとも言はうか、まるで透明るやうに淸い。秋の月の淸きよりも淸いのである。その代り一旦曇ると、その汚らはしき事は又何とも言はれぬ。どうしても蛇である。否、ぬる〳〵と蛇蜒り廻る蛇よりも更に汚ない。身を汚し心を汚すのみならず、人をも世をも汚すのである。社會を汚すものは實に女である。いかゞはしき不潔なる女が社會を不潔ならしめ腐敗せしむるのである。一歩誤まればかく恐ろしいものであるが、それだけに又澄み切つてゐる時、就中敎育あり德性高き女の淸らかな事は、全くこれ神である。德高き女の前には我が心淸らかになつて了ふ。德を高むるに一番いゝ事は、淸き婦人と三十分も話する事である。私は常にいふ、夫は他所に出れば何うしても種々なものに接する累はしい事にも係はらねばならぬ、汚なきものにも

接せねばならぬ、穢れたる煩さき話も耳にせねばならぬ。どうしても他に出れば汚れを受けるが、さて家に歸つて來て妻に接すれば、その心に付いた汚れを悉く妻によつて淸められる心地がする。さながらに淸らかなる溫浴を取つて、一切の汚れを洗ひ去つた心地である。恁樣でこそ其の夫も淸く、家庭も淸く、又社會も淸くなりゆくので、女子は實に社會を淸むる力を持つてゐる。世の中のすべてを淸光もて包容する秋の月のやうなものである。又さうなければならぬと思ふ。

女子の偉大なる力の他の一つは、愛である。英語のLove。まづ親愛とも言はうか、眞に人に親切を盡す心である。世に親切ほど尊いものはない。親夫に對し、朋友や他人に對し、總ての人に親切なほど尊いものはない。凡そ世を樂しくするものは親切の外にはあるまい。親切の二字を取去つたならば、もう其麽世の中に生きて居る甲斐はない。皆死んだがよい。眞から人の爲に盡す心、深く人を愛する心持、それの十分發達したものは亦神である。かゝる心持の婦人でなくばその家庭は春でも何でもない。まづ此の春の日の如き溫かな心を養ふのが本である。夫は社會へ飛出し驅廻つて社會の爲に働けば、それは冷やかな、氷のやうな事務の裡に居らねばならぬ。そして最う心は戰慄て歸つて來る。その時に妻の溫かい親愛に接したらどうであらう。まるで寒風凜烈の中から、暖爐のぽか〳〵と溫かく心地よい室に這入つたやうなものである。家庭を溫むるものは實に妻の親愛である。子供から言うても然う。學校から家へ歸つて來て何とも言へぬ溫か味を感ずるのは、母の愛に接するからである。子供といへば、私は常に娘どもに言ふ。何でもお母樣を鏡にして居れ。學校から歸つて來て、お母樣に話せぬ樣な事を言うたり考へたりしてはならぬ。もし母に話せぬやうな事をすれば、それはもう汚れた人間だと。誰さんと爭つて腹が立つたとか、私は其時恁う言つたとかは母に話せるものですが、男と一緒にミルクホールへ這入つたといふ事は、何とあつても言へるものでないでせう。母を鏡として子女はそれに淸められ又溫めら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れ其の子女も亦然ういふ立派な人間になつて欲しい、とかへす〲も思ふのであります。

男子の到底及ばざる偉大なる力、婦人の天より授けられたる特別の力といふは、この「清」と「愛」との二つである。清らかにして親愛に滿ちたる女子は眞に神である。男子はもう其の前に思はず平伏すやうになる。どうして女性を輕侮することが出來よう。女子が輕んせらるゝは、まづ自ら輕んずるからである。徒らに結婚問題などの空想に耽つてゐるよりも、修業の最好時期を失はずに、一心不亂に學力を積み品性の根本を養ふがよい。今後の社會は必ず玉の輿を以て然ういふ力ある婦人を迎へるのである。何よりも先づ、女子が社會を清むる力は明月の如く、また社會を溫むる力は太陽の如きことを自覺して戴きたいのである。さすれば自ら力ある、立派な人間にならずには居られますまい。

見聞

歐米の婦人は身分の高卑を問はず、サッサと出掛けて往來織るが如き市街で遠慮もなく買物をしますが、日本の貴婦人はまだなか〱そうはされません、稀に三井、白木屋には足を運ばれても其他の需要品の購求には必ず使を遣ります、大した物でもない時には使でも澤山ですが、鑑定を要するものなどを買ふ時には主婦が自ら出掛けるとが必要だと思ひます、そうすれば氣に入つたものが買へるばかりでなく、つまらないものを高價で買ふやうな不經濟もなく、別して進物の如きは注意して選擇せねばならぬものですから、是非共主婦が出掛ける必要があります、嘗て某外交官の夫人が七寶燒の花瓶を五百圓で買つて英國の貴婦人に贈つた所が、先方では大變喜んで珍重し、熟々と其模様を觀るに、櫻の花は能く出來てゐるけれ共、蝶の舞ひ方が法に叶つてゐない、此花器は燒様に於ては申し分はないけれ共、こんな繪になつてゐないものを床に飾つて置いては、來客に笑はれると云つて使用しなかつたのみならず、日本の婦人に繪畫に就いての素養がないと云つて笑ふたそうです。斯様な次第で折角の贈物も無効となつた上に、笑ひ材料となることは交際上此上もなく拙ないとです、之は何でもないとのやうですが、之の一例で以て日本の婦人が如何に見聞が狹く、如何に物事に不注意であるかゞ分ります、どうか皆様見聞を廣め、素養を作つて下さい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

庖厨

即席料理

亀井まき子

或朝の事ですが八百屋が来りましたので家の主婦は大根と土當歸をもとめ魚屋が来たら何か買つて晩食の支度をしやうと考へて居り升所へ他家から大きな鯛が一尾到来いたしました普通の主婦なら煮るとか炙くとかといふ一二種の簡短な調理をしてすませるでせうがこの主婦は料理を熱心に研究してゐる人故、即座に只此二種の野菜と鯛で四種の料理を拵らへました又庖厨を賑がせた序でだといつて有合せのメリケン粉と三個の玉子とで菓子を二種拵らへて主人にすゝめました、さてかやうに僅かの種類で其品を替へて調理するのが即席料理をならつた活用です。

一椀　鯛のうしほ
　　　口輪切土當歸

一酢の物　甘酢かけ
　　　繊土當歸
　　　鯛そぎ身

一丼　鯛のそぼろかけ大根

一皿　鯛溜り焼
　　　菊花大根あちやら漬
　　　しの土當歸煮附

一菓子　磯松風

一同　紅梅焼

椀の製法

鯛の鱗をとり、鰓腸をぬき、頭をとり三枚に卸して骨をとり、夫から頭をよくこなして、中落（骨の事）を適宜にきり是等にみな塩をふつて、二時間もたつたら（尤も午前にこしらへて夕飯の時に食べるやうにする時は、塩を少しふるとよろしい、そして汁をこしらへる前に水洗ひする、時間がつまれは塩をますのです）よく水洗ひして鍋にあけてをき、沸湯の中へ入れて煮、煮立ちたら醤油を少し入れる。

口に入れる土當歸は、よく洗つて皮をむき、薄く輪

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

切にして水にはなして置く、前の鯛を椀に入れ、汁を入れ輪切にした土當歸を入れる。

酢の物製法

土當歸を一寸二分位にきり、皮をむき竪に纖にきり、水にはなして置く鯛の皮をとり、肉をそぎとり、板に鹽をふり、紙をしき、上にそぎたる身をならべ、上に紙をのせ、又鹽をふり、手水をふり、一時間も經たらば紙をとり、せんうど〻、このそぎ身をもり、味淋一合を五勺に煮つめさめて後酢を二勺程さして、醬油少々をさし、此もりたる皿のうへにかける。

丼の製法

大根を厚さ八分位にきり、面をとりて洗ひたる米を小さき袋に入れて共にゆで、軟かくなりたらば笊にあげ、煮出しと白砂糖にて煮て、中途から醬油をさして煮るのです、(大根の厚さ八分位のを十個位に煮出し、一合白砂糖十五匁、醬油三勺位の分量です)

鯛のうす身と中落の身とをた〻き、味淋と醬油とにて煮立てたる汁の中へ入れ、煮たる後此肉をあげ、又た〻きて煮たる大根の上にかけるのです、又此汁は大根に入れるなり味淋は醬油の二倍の分量です。

皿の製法

鯛を三枚におろしたる身の、骨をとり切身になし、並味噌を醬油にてとかしたる中へつけ、一時間も經たらば、味噌を落し、串にさして燒く。

菊花大根は大根を厚さ一寸位にきり、四隅を落し、丸箸を兩側にならべ、竪に細かく箸のある所迄庖刀を入れ、又一方へ丸箸をならべ、前の如くきりて鹽につけおくのです、一時間もたつと、水があがるから、よく水あらひして酢につけ、二十分も經たらば之をしぼりて、白砂糖をふりかけ、中へ唐辛子を輪切にして、水にはなしたのを入れてをく、之は丁度横竪にきつたのが菊の花びらのやうになりて唐辛子が匂ひのやうになるので菊花大根と申し升。

しのうど煮附は、うどを長さ一寸二三分程にきり、皮を丸くむき廻し、水にはなしをきて、味淋と醬油と半分づ〻の分量で煮立て〻此土當歸を入れ一度煮たち

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たら笊へあげ、汁を煮つめて又此うどを入れ、又煮て笊へあげ、又汁をよく／＼煮つめてうどをころがして出すなり。

菓子の製法

磯松風は白砂糖と水とよく／＼かきまはして塊のないやうにしてから、メリケン粉をふるひ入れ、又玉子の白味を泡立て、共にまぜ合せ、蒸籠の中に枠を入れ、布巾を此枠の中へ敷き、此中へ前のまぜ合せてあるメリケン粉の汁をつき込み、其儘蒸すなり、時間は釜の湯の沸騰してから四十分位で大概むし上り升。

此分量は白砂糖百匁、水一合、メリケン粉百匁で、玉子の白味は三個です、紅梅燒は白砂糖と、メリケン粉と玉子の黄味三個でよく練りませ、少し堅たいやうならば水を少し入れてしめりをつけ、一ツの大塊とし、俎板の上にメリケン粉をしき、其上に此大塊をのせ、心棒を拭いてメリケン粉をつけ、大塊をのして厚さ一分三厘位とし小さな短冊形にきり、燒板（普通の家庭ならば玉子燒鍋）の上に一度煮てある胡麻油をしいて此小さな短冊形をのせ、上が膨れて來たらすぐ庖刀の尖端へ油を敷て之を裏返し又之を燒くのです。

△名物德山の澤庵

周防の德山は大根の名物を出す處なるが近來内地臺灣及清韓地方へ夥敷輸出し、好評嘖々、東京の大根より短く、太く、煮食は苦味あれども、漬物としては非常に甘く案交とし、酒の下物として一般賞味致候、漬方の大體は別に違ひもなけれど自然の經驗上細微の點に注意を要し候、即ち大根は風當り、日當りよき南向に、兩端を持ちて自在に輪になる迄乾し、夫より細根を切り、臺の上にてよく揉み、和げ、漬込には寸分の隙間なく、少しも位置を變へぬ樣、手にて踏めたる上を、新草履を穿きて踏み固むるものに候、かくて出したる大根は四角になり居る位にて、若し寸隙あれば、其處より腐くなり、又は不味になり候故、此仕事は男子の力仕事の一に候、普通四斗樽一本に、大々根九十本小大根百四十本位、之に糠八升乃至九升五合、鹽五升乃至五升五合、三五年古にても鹽五合位多く入るゝのみ、酒樽は成るべく酒氣を帶びたるもの宜敷、蓋を開ける一ヶ月前頃に、酒三四合を上より振り懸くれば、齒切りよく、風味一段と相成候、要するに、德山澤庵の特色は、一に土質、二に乾燥、三に漬方に候。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

令孃訪問（其二）

張　姫



舊子爵の令孃

記者が子爵家を訪問致しました時は折り惡しく令孃は學校の運動會を見に行らして御不在中との事白髪頭の執事が取次いで、何なら一寸御待なすつてはと申すので、ではとお取り次ぎの後についてお居間と云ふのに通されました。

年の若い高島田に結つた　お小間使が淑やかに障子の下の方をスウツと啓けて、大きな輪茶碗の底の方に結構らしいお茶をちよんぼりとついだのを、高麗縁の疊の上を辷べらせて丁寧に頭を下げて、壁際に重れて在つた紫縮緬のふつくりしたお座布團を一枚とつて　記者に進めて下りました、靜かな、森とした何等かと申せばまア陰氣なお住居で、お庭に向つて紫檀の文机が置いて有りまして、右手の青貝の手文庫の上に詠草と日記帳が載せて御座いました。

彼れ是れ大凡二十分位も經ちました頃お玄關の敷石に車の音がして、お歸りと云ふ聲、續いてお出向ひに行くらしい足音か聞えましたが夫れなり又靜かになりましたので、お孃樣では無かつたのか知らと聊か失望して居りますと、軈て直ぐ傍のお緣側をさや〳〵と裾捌きの音がしてヴアイオレツトの香を先に立てゝ令孃はすうつとお入りになりました、侍女が直したお座布團の上に靜かにお坐りになりながら、お茶をれと少さなお聲で仰有りました、夫れはお美しい宛然お人形のやうな方で、尤もお背も餘りお高いといふ方では御座いませんが、痩せて居被ろ故かすらりとして、お品の好いキチンとして、お召の袷に華美な帶をしめて、指輪の輝いて居る奇麗なお手を重れたり、指輪の珠を弄りながら。

「あの私めつたに外出致しませんので御座いますのに生憎今日は一寸……眞個に失禮致しました、あの前に烏渡お端書でも頂いて置きますとお待ちして居るんで御座いますけれども」と一寸お言葉を斷つて背後にひかへて居る侍女を顧みて　何か低聲で仰有ると侍女は一禮して去りました。

「私何も是れと云つて取り立てゝ申上げるやうな事も無いんですよ、否え、全く、夫れに卒業して仕舞ひましてからに尙更外へも出ないんですもの、はアお稽古だつてもみな先生方に來らして頂くんで、只今では お茶にお花にお琴夫れからお歌と畫を少しばかり、日本畫で花鳥ばかり習つて居りますの、お琴は幼い時分から致して居りますけれども直ぐに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

忘れて仕舞つて、偶々母が弾いて御覧などゝ申しますと、彼れも是れも皆中分位しか覺えて居りませんですから　那麼事なら習はない方が好いと申されますの。

一體私の宅は分けて嚴式なんで御座いますよ、ですから從つて外出數す事は好まない方で、何でも引き込んでさへ居れば非難も受けずに居られるから好いやうに思つて居るんで御座いませうけれど、私は尚且交際社會に出度いんで御座いますよ、諸嬢方のやうに活動遊ばしたら甚麼にかお嬉しからうと思ふんで御座います、けれども四邊の事情が許して呉れませんから夫れに逆ふ譯にも參りませんで、不滿らないと思ひながら漸やつて平凡な事を繰り返して月日を送つて居るんで御座いますよ。

同じ親類の中でも叔母の家は面白いんで御座いますよ、それは私の母の妹なんで、氣が輕くて隨分交際好きでお友達も多う御座いますし大抵宅に居る事は無いんで御座いますが、只今叔父が洋行して居るもんですから淋しがつては迎ひを寄しますの、何時でも參ると逢い迂か〳〵と日を過して宛然浮世に居た者が山奥へでも入つたやうな氣がして、私は尚且あゝいふやうに暮して居度いと思つて居りますの。

ですが然う思ふやうにはなるまいと思つて居りますわ、私のごく遠い親類……矢張り貴族で御座いますが、私よりは五つも六も姉樣で御座いますけれども、其方は學校も大層よく出來まして、而して性質も確然として居ましてれ、華族の姫樣のやうでは御座いませんよ、學校で何か有る時なんか諸嬢が立派なお着物を着て居らつしやるのに　其方ばかりは銘仙位で平氣で居らつしやるんですよ、私達なんか諸嬢のお振袖を着して居らつしやる時に留袖を着ても何だか肩身が狭いやうに思ひますのに、夫れでお宅は尚且嚴式なのを嫌がつて　遂々御自分から平民になつてお仕舞ひでしたの、隨分皆から種々に云はれましてれ、お終ひには親類會議にまでなつたので御座いました。

お友達のお交際で御座いますか、夫れだけは許して呉れますから致して居ます、只今親しくしてる方は眞の少しばかりで、一年の内に二度位しか往來は致しません。學校に居りますと勝手にお話も出來ますけれども御宅へ伺つたり又來らして頂いたりすると　奈うしても傍に侍女がついて居りますから思ふやうにお話も出來ませんの」

御話が途絶えた時記者は日記帳の事を思ひ出しましたから、奈うか一寸拜見させて頂き度いと申ますと令嬢はお笑ひなすつて、是ればかりはと奈してもお見せにならないのを　やつとの事で其中の叔母樣の處に行つてゐらしたとか云ふ一節を拜借して歸りました。

十月三日、眼が覺めたのは最う彼是れ七時頃隨分寢坊をしたときまりが惡くつて、夫れでも床の中で昨夜來らしたお客樣がたの事や早川樣のお着物の模樣が奇麗だつた事、私もあゝいふ色に染めて拵らへて頂かふなどゝ種々な事を考へて唐木細工の天井を見て居ると、襖の外からお風呂をお召し遊ばせと云ふ、夫れは叔母樣づきの春の聲らしい、私は急いで起きて衣桁に掛けて有る米織の平常着に着かへて　廊下を素足の儘で通る、何だか足が冷めたかつた、お風呂に入つてお化粧部屋の姿見鏡の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前でお化粧をして居ると 春が眞鍮の金盥に鉢直しのお湯を持つて來て髪を結つて吳れる、前髪が氣に入らないけれどもまア默言つて居る窓口から取り寄せたばかりの花を遣い忘れて挿した儘 來たので春も花もクシヤ／＼になつて仕舞つた、春は惜しい事を惜しい事をといつて幾度も繰り返して居る。

私は直ぐに叔母様のお室に行く、私は斯ういふ物か叔母様のなさる事は何でもよく見える、第一水色の近眼鏡が氣に入つてるし、油氣のないさらく／＼したお髪を飾氣のないのに結んで有るのも何だか風情が有るやうに思はれる、況して今日はダーイ、ブリウの縮緬のお羽織が肩に重そうにぞろりとして一層お顔色が眞白に見える、叔母様が詩集か何か持つて木の下に立つて居らつしやる時が私は一番好き。

叔母様は御手紙や新聞を一通り御覧なさると長椅子に寄り掛つて、誰様も來らして下さらなくつて淋しいから 喜美さん唱歌でも唄つて頂戴



と仰有る、何んぼなんだつて、はいつて唄ひ出せもしないから笑つて居ると、ぢやア私が彈かうねつてピアノの前にお坐りなさる、眞の指先が隠れてると云ふばかりで、叔母様は半分お顔を振向けながら私に瞬を仕掛けて居らつしやる、昨夜のお客様の中であの鼻眼鏡は如何だつて？え？喜美さん、彼れで洋行歸りのチヤキチヤキなんだつて、徽章の色が氣に入らなかつたけれどもピンは佳かつてね、でも喜美さんの襟止の珠には敵はないけれども私のよりか餘程いゝね、と云ふ、大層なお丈ですねえと私が云ふと叔母様は急にお笑ひになつて、あゝなつても恐しいねえよくもまア彼様に延びたものさ、如何です？喜美さんお氣に召しませんか、つて眞面目なお顔をなさる、私は吃驚してえ？と云ふと、否え、何此方の事、聞えなくつて幸でしたよ、つて又お笑ひなさる。

早川様の前髪も凄いねえ餘程大きな眞を入れて被居ると見える、でも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

喜美さんには大分お着物が氣に入つたと見えますれ、夫れからもう一つお帶が佳かつたでせう？よく當つたでせう、喜美さんの顔に整然と書いて有るもの、欲しくつて欲しくつて堪らないとれ、それから叔母様拵へて頂戴なつて、叔母様は獨りで仰在りながらお獨りで笑つて居らつしやる、相變らずお人が惡いと云ひながら私もいやな心地はしない、是れも尙且叔母様が好きな故かも知れぬ。

十月四日、雨が降つて居て淋しい、叔母様は夕方會から歸つて來らして、幹事だから多忙しいのは當然だけれども今日はもうお話にも成らない、一寸の暇もないのだから、すつかり草臥れて仕舞つて、此樣な時はお茶でも呑んで靜かにお談話でもしやうと仰有る、何んだか氣の故かお顔色もよくない。

メキシコ銀の紅茶のお道具が瓦斯の光にキラキラ輝いて、セリーヤシヤクリームが奇麗な佛蘭製の菓子器に盛つて卓子の上に載せて有る、叔母様は落膽したやうに安樂椅子に倚り掛つて、喜美さん熱いお紅茶を一杯頂戴と云ふ。

今日の會にれ一昨夜の鼻眼鏡が來て居て喜美さんに宜しくつて、叔母様は眼元で笑ひながら仰有る、まア厭な澤山よつて私が云ふと、邪慳な事を云ふと罰が當ります、彼れで却々感心よ、私がまア多忙しくつて駈けて歩いてるのに厭に私の處へばかり何の彼のつて來るんだもの可笑しくつて、喜美さんも一緒に行けばよかつたの早川様も來て居被してれ、面白かつたの英詩の朗讀なんかゞ有つて一寸佳いと思つた處を覺えて歸らうと思つて、忘れて仕舞つてよ、と御仰在るから誰樣がなすつたのッて聞くと、叔母様は眉を寄せて、夫れは〳〵厭な方ハイカラよ、毛の赤いチリ〳〵したれ、宛然男が女の着物を着たつて云ふやうなゴツ〳〵した矢張り恐しいお仲間で背の高い人よ、大層得意らしかつた、でも其束髮の結ひやうつたらないの、餘程の癖毛だと見えて前髮に段が幾干もついてゝれ、お髮は大したものだけれども、お振袖よ、紋羽二重だッたと思ふわ、大きな菊の模樣でれ、喜美さんが見たら又欲しがりそうなのよ、眼の毒だから連れて行かなかつた方がよかつたかも知れないれつて笑つて居らつしやる。

叔母様のお宅へ來て居て夜分たつた二人位でお談して居た事が今迄ないので何だかがらんとして淋しくつて物足りないやうな氣がする其上叔母様は疲れて居被る故か何だかお談話しても張合がない、白い天井がいやに今日は高くなつたやうな氣がする。

叔母様は不意に喜美さん芭蕉『野分して盥に雨を聞く夜かな』つて發句を知つて居て？つてお聞きなさる知らないわ、そんな俳句なんかつて云ふと何有にれ私だつて今日聞いたばかりよ今一寸雨で思ひ出したからさ、それよりお歌でも詠まうぢやア有りませんかと仰有る。

戸外はまだ雨が降つて居る靜かな晩だ事。

十月五日、からりと晴れた好いお天氣でも何んだか風が冷たいので私は叔母様のお召縮緬の袷羽織を拜借して着る、何んだか行が長いやうな氣がする、早川様がお稽古の歸だと御在つてお越しなさるバイ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

オリンを持つて來らしたので丁度好いからつて叔母樣がピアノと合奏なさる、私は聞いて居ると仲間はづれになつて厭だから喜美樣お唄ひ遊ばせよつて早川樣が仰有る、私は唄ひ度くつても奈うしても聲が出ない、夫れぢやア喜美さんはお琴おしなさいなッて叔母樣が春にお琴を持つてお在でつてお命ひつけなさる、早川樣は立つてゐらつしやるし叔母樣はピアノの前に腰掛けて居被るのに私ばかり坐つて彈けもしないし、お琴なんて何だかほんとに不滿らなくて、厭な事だと熟々思つた。

早川樣は私の心をお察しなすつたのか、最う止して何かお談でもして遊びませふつて云つて下さる、其内に叔母樣の處へ御來客で叔母樣は應接室へ行つてお仕舞ひなすつた、御客樣は誰樣か知らと思つてお小間使の滾に聞いて見ると御名前は存じませんが眼鏡を掛けた お方で御座いますつて云ふから、ぢやアお背のお高い方？お低いお方？聞くと大層なお背で御座いますお姫樣夫れは〳〵つて滾が大きな眼をするので可笑しくつて、堪らない、がふつと萬一か彼の鼻眼鏡の方ぢやア無いかしらと思ふと俄に厭な氣がして、夫れでも滾に聞いて見る勇氣が無い、衝と早川樣の方を見ると妙 なお顏をして何處か笑つて ゐらつしやるやうに見える、夫れも屹度自分の氣の故だらうと思ひながらも何んだか妙な氣持がする。

某外交官の令嬢

優しい讃美歌の聲がはたと途斷えると、軈て少やかな聲が二言、三言。細い足音が聞えて、入口の扉の把手がガチャリと音して、令嬢の御姿は西洋間の入口に見えました。

絹紐も簪も無い束髮に、少し華美な銘仙の袷に、淡白した友禪と牡丹色繻子との打ち合せ帶をお太鼓にして。流石は御母樣の御仕込と頷かれる。人を外らさない如才の無い御樣子で。莞爾り遊ばしながら椅子にお倚りなさいました。物云ひのハキ〳〵した方で、夫れでも快活と云ふよりは温和したと云ひたい方で。

「誰樣も然うで被入いませう。滿足と云ふ事は無いもので御座いませうれえ。之で滿足したと云ふ方も御座いますまいが、私にして見ても然うで、皆樣、學校の方も私は幸福だの、羨やましいのと仰在いますが。其實之でなか〳〵淋しいものだと感じる時が御座いますよ。と申すと何だか愚痴のやうに聞えるかも知れませんが全くで。只今は父も母も日本に居りますから嬉しう御座いますが、又何日何時外國へ參るかも知れませんし。然う致せば私と妹は又親類へあづけられる事になるので御座います。

私もまア普通女學校は卒業致した事になりまして、只今は眞の附たしのやうなもので。高等科の方は、來年卒業致します。然うで御座いますネ、英語はまあ普通の女學校よりは進んで居りませうが、會話がまだ下手で御座いますから。母が英、佛、獨と三ヶ國の語に通じて居りますので、なか〳〵母の側へも寄れません。學校で御座いますか、學校も種々面白い事が御座います。紀念日とか天長節とか云ふ日には、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

音樂會や又は種々生徒達の考へで致します。まア其折等は一寸した演劇のやうなもの、先の内流行りました活人畫や。新體詩の表情朗讀のやうな事や少さい子達の英語の唱歌等も御座います。夫れがなか〳〵面白いんで御座いましてれ、奈何しても普通の女學校よりは、西洋人が入つて居ります爲めでも御座いますまいが、何處か違味が有るやうに思はれます。自分の學校ですから贔負を致すのかも知れませんが。其折り杯は先生方を生徒の方で御招き致す事になりますので、而して生徒の父兄其他學校に關係した方が御見えになります。外の學校の方がよく同級の方許り、それも眞の二三人に限つてお交際ひ遊ばすと云ふ風が見えますが、私共の學校は那麼事は決して御座いません。奈何しても少さい子達を可愛がらなければならないやうになるので御座いますよ。ソレに一つは耶蘇教で御座いますからかも知れませんが。

父も母も耶蘇教徒では御座いません。私もまだ洗禮は受けませんが行く〳〵は信者になる心算で御座います。奈何しても人間には信仰と云ふものが無ければ不可まいかと存じますが。ソレニ貴等何の　教のと仰在つても信仰の有る方は何處か斯うしつかりして敬入る。安心して敬入るやうに見えますので、又然う云ふ方に限つて、ソレハ御親切で人に對して意地悪などを決してなさらないやうに思はれますネ。私も奈何かして信仰の厚い者になりたいと存じて居ります。皆様がよく御冗談に外交官の妻だから矢張り外交官向きにバイオリンをする英語もする。と仰在いますが、豊夫に然うぢやア御座いません。バイオリンを致しますのは母が強ひて習へ〳〵と申しました爲めや、自分も樂しみになり又人を慰める時も來るだらうと存じて致して居りますのですが。又英語も今後屹度語學の必要を感じる場合が多からうと存じまして、せめて、英語位通じて居なければと思ひましたので。何も外交官の夫人にならう目的の爲に英語やバイオリンをする。然う



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でなければ止と云ふ事は御座いません。ソレニ只今斯やつて居ます内に出來得る丈致して置たいと存じましてれ。苦情許り申すやうですが私の身なりが奈何しても外の方より華派になるんで御座いますれ。夫れな隨分拵樣種々と派手造りだとか仰在る然うで御座いますが、何しろ母があゝ云ふ風に外國へでも參りますと、夜會や舞蹈會に出ます時には華派に遣るのだからで御座いますから此度歸朝つて參りましても、私の着物や帶がどれも〳〵質素だ〳〵と申すので御座いますから奈何しても自然と母に見て貰ふと那麼派手な物ばかり選ぶやうになりますのでれ。然うで御座います、私は餘り音樂會や。劇場へは參りません。たしか音樂會へは一二度しか參りません、芝居も本郷座のハムレツト、(川上の致しましたの)へ參りました限り。前後唯の一度限りで御座います。併かも夫れはもう四五年前の話で御座いますチ。ですから歌舞伎座が甚麼で御座いますか、明治座が甚麼で御座いますか、トント存じません。今の相當の御宅の嬢さんで大抵劇場や音樂會へ被入らない方は少なう御座いませう。又私共の目から見ますと、ヤレ歌舞伎へ行く時の着物だ、帶だ、下駄だともう夫れ許りに憂身を窶して被入るやうに見えますがチエ。(少し酷評かも知れませんが私共には然う思はれます。)

其代り然う云ふ方の目から見ますと、耶蘇臭い私共は御厭でせうが妙なもので御座いましてれ、私は劇場や何かへは餘り參りたいと存じませんが其代り畫の展覽會には屹度缺かさずに參ります。何ですか畫が一番好きで御座いましてれ、洋畫も日本畫も、夫れ〳〵の面白味が御座いますから兩方とも好きで御座いますが、まア何方と申せば西洋畫の方に多く趣味を持ちます。大抵一つの展覽會へ二三度は參ります。夫れから私は花が好きで御座います。其の中でも殊に薔薇が好きで御座いますので。尤も私の少さい時分から父が大好きで御座いますから、私に朝と晩と水を遣る役を命令けて居りましたので、父が西洋へ參つて居りました間も私がせい〳〵一生懸命に育てたり何か致しましたので餘計可愛らしい花だと思ふやうになりましたのかも知れませんが。初夏の時分に薔薇が御座いませんと淋しくつて堪りません。皆樣が花の盛りにはちやほやして被入いますがもう散りかゝりになりますと打捨つてお終い遊ばす方が多う御座いますが。私等は、眞實に、朝學校へ參ります前にずつと庭の花壇の花に一々水をやりまして、一通り見廻ります。夫れから夏等は夕方も水を遣ります。只今は夫れにコスモスが盛りで御座いますから。御覽下さいませんか、ほゝゝゝ被入る方に自慢許り致して居りますのですよ。と窓をずつと上へ開けて令孃は樂しさうに庭を見て被入います。

十月中浣の空は奇麗に澄み切つて、赤蜻蛉の其雛い羽根が、強い光を浴びてきら〳〵と美しく輝く。

『此處ではよく見えませんのれえ。』

と獨言を仰在つて、扉を颯と開けて廊下づたひ幾個か曲りますと令孃の御部屋の前の縁側に出ました。敷石に庭下駄を揃へて下さいまして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

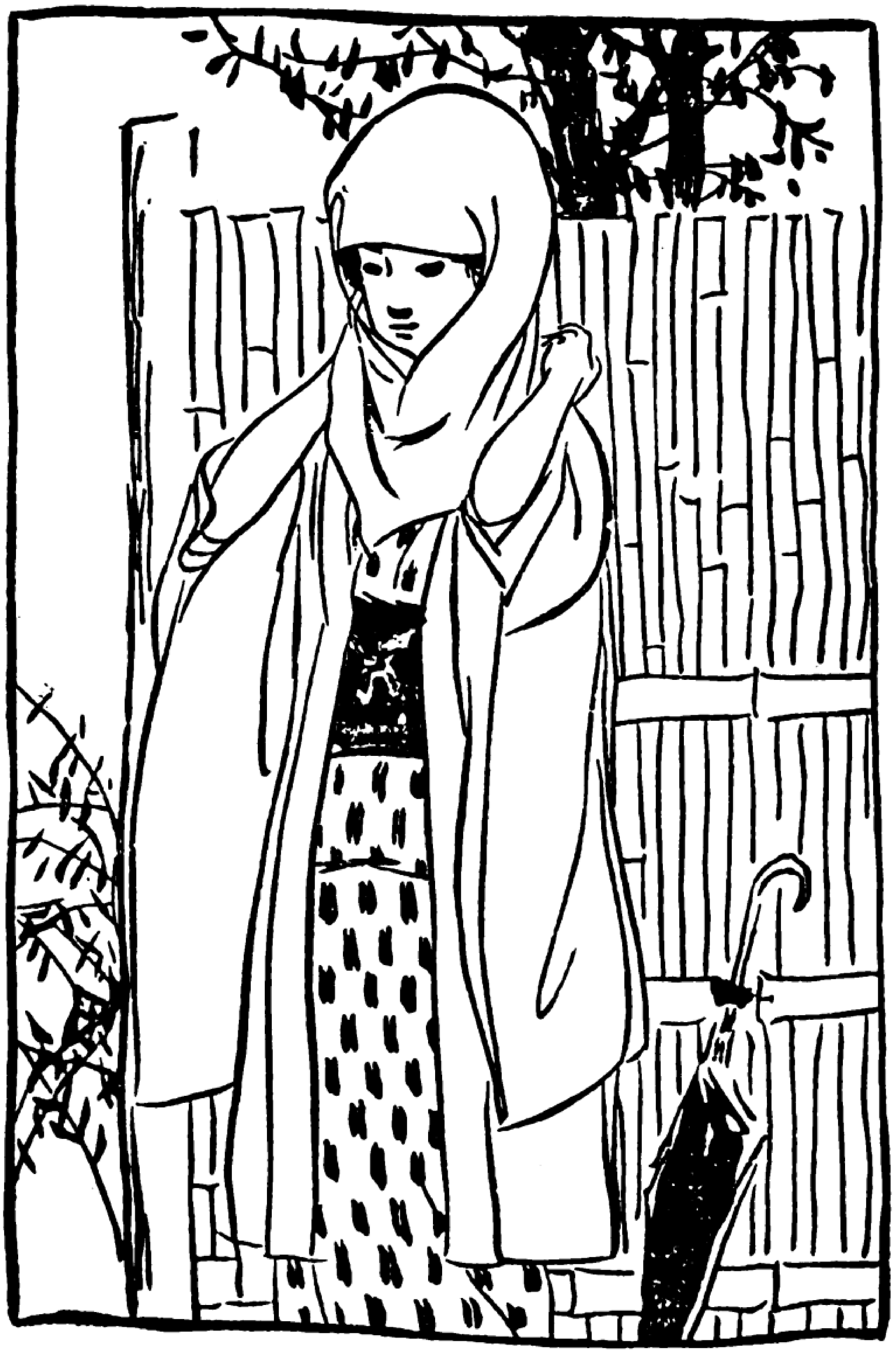
「何卒。」と仰在つて先へ御立ちになる。

ずつと芝が植えてあるお庭を通り抜けまして、少し行くと花壇が澤山御座いました。

白に、淡紅色に稀には深紅も交つて、五六尺も高く延びたコスモスも。藻のやうな翠緑の葉と共に、冷たい秋の水にも彼方此方と靡いて居ります風情。此花を又無く愛して被入る令嬢の御心の優しさが忍ばれました。

少し傍には雁來紅と野菊の瓣葉が咲き亂れて居りました。

「眞實に雨でも降りますと全く佳いんで御座いますよ、コスモスは雨の降つた日が一番色も冴えて見えますし何とも云へません風情が御座いますのですよ。」と恍惚。秋の日を浴びて花を眺めて被入いましたが、軈て。「私うは御



座いますが私の部屋へでも。部屋からも少しは花が見えますのですよ。」

とメリンス友禪の座蒲團を二つ並べてある。何の飾も無い六疊に。本箱が一つ、夫れと並んで用簞笥。簞笥が一棹。一閑張の机の上には手擦れた聖書が乘せてあつて、書きかけの水彩畫も二三枚散らかつて居ります。

箱に入れたバイオリンが本箱の上に無造作に置かれて、衣紋掛けには派手な銘仙の袷が紅絹裏の、又無く艶に見えました。

平常は奈何致しましても學校が三時に退けまして、英學の方も和學の方も復習を致しますと直ぐに夜になりますから。又妹の世話も致してやらなければなりませんし。バイオリンも少しは彈きますのでもう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何にもする事が御座いませんし土曜日は休みで御座いますから、友達へ出します手紙や自分のしたい事を致しますが、ソレカラ日曜はお晝迄教會へ參つて居りまして、午後からは私の一番樂しい日で、まア。手を泥だらけに致しまして花を弄るので御座いますよ。大抵お天氣ですと。雨ならば仕方が御座いませんのでテニソン、ワーヅワース、キーツ、等の詩を分らぬ乍らも讀んでみます。聖書は朝と休みます前に一章宛必ず讀んでから寢ます。小說を然うで御座いますれ、全然讀んだ事が無いと申した方が至當かも知れません。奈何しても分らぬ乍らも回光錄や病間錄を讀んで見たいと思ひますので。此頃讀みました那麼風の物の中では徳富さんの順禮紀行が面白いと存じて拜見いたしました。(尤も之は皆んな此の暑中休暇に讀みましたので御座いますよ)

雜誌も餘り讀みません。折々「新人」を讀みます位のもので。從妹が婦人雜誌を澤山取りますから其處で偶に見ます位で極く世間には疎い方で御座いますから。ほゝゝゝゝ。

私等は奈何致しましても一方へ許り片寄つて終つて不可ません。ソレニ何だか氣位ばかり高くなりはしないかと存じますのですよ。尤も學校でゞも高等科に入る方は十人の内三人位な者で御座いますが、裁縫や割烹と云ふのよりは奈何しても實に學問と云ふふうになつて居りますから、私等もせい〳〵家庭に必要な事を熱心に致さうと思ひ乍らも然うも行かず。困つて居ります。

友達とは勉めて誰樣ともお親しくなるやうに致して居りますが。私が一體に皆樣程如才無くないもので奈何しても旨く行かないので困ります。ソレニ母の許へ被入います方は皆んな母が紹介して吳れまして彼の方のあゝ云ふ調子が佳いとか、あゝ云ふ態度が佳いとか敎へて吳れますから私も大變に嬉しく思つて居ります。理想と申せば大袈裟で御座いますが、まア何で御座いますれえ。私等は商賣が何であらうと私と趣味の同じ人。性質の餘り違はない人がと存じます。全く趣味や性質が餘り懸隔つて居りますと其人生涯の不幸ぢやア無からうかと存じますよ。何だか斯う申せば可笑しゆう御座いますが私等は外交官は厭で御座いますネ。矢張り幾等派手で無くつても構ひません。物靜かな處で園藝の傍ら宗敎でも研究して居て佳いと云ふやうなのが私は一番佳いと存じます。と申すと何だか老人染みた者へのやうに聞えますが、而して樂しく暮した方が甚麼に佳いかと存じますが、夫れも然う然う自分の思ふやうにも參りますまいし、父や母が又私について甚麼考へを持つて居りますか存じませんが。餘り趣味や性質の違はない限り、父も母も贊成な人ならば、私は佳いと存じます。

令孃は斯う仰在つたが少し云ひ過ぎたとお思ひなさつたのか、白い頰がぽつと櫻色に。伏目になつてお終ひなさいました。

お庭の方でお妹樣らしい唱歌の聲が聞えて居りました。

令孃は今年廿一歲で被入います。

(尾)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社會

富豪の大慈善

S H 生

合衆國は富の國と言はるゝだけあつて、紐育にも富豪が山の樣に有る、御不用ならば少々御貰ひ申して來たい位だから夫等の富豪の經營に屬する慈善事業も亦少なからぬ事であらうが、最近の紐育の新紙に現れた所の此慈善事業の如きは、一風變つた方法で、亦成程我東京や其他の都會に直ちに移して以て實行したい樣な事業でもある、願くは人情は女の花である、女學世界の讀者諸孃よ、各自の力に應じて如何かして此事業の如き慈善を幾分なりとも行ひ給へとの老婆心から拙い筆をも顧ず、此一編を譯する事としました。

△ロックフエラー氏の慈善、

此繁華なる紐育、人を以て埋められた此都會の中で餘り富裕ならぬ借家區には毎日〳〵廿人の看護婦が巡回して歩いて居るのです、而して僅廿日ばかりの間に一萬二千程の赤兒が彼等によつて見舞はれたのである。

大富豪ロックフエラー氏の慈善に依りて派遣せらる此廿人の訪問看護婦は日毎に戸毎を見舞ふて小兒の命を助け、小兒の病氣を看護り、亦其小兒の母に如何に小兒を養育すべきかと云ふ注意をするためにはたらいて居るのであるが、此慈善的病院即ち小兒健康院の費用は、僅五ケ月間に三萬圓にも達して居るのである。

此訪問看護婦は設置されてからまだ時日も經ぬが、然し其成績は非常に宜ろしい、中には此云ふ質問を出す人もある、『イングラム夫人よ、あなたは僅に廿人ばかりの看護婦で以て此澤山な人間の埋まつた紐育の中を如何して遣り切りますかね？』

イングラム夫人は此仕事の監督をして居る婦人であ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る、此様な質問には最早なれ切つて居るのである。『御尤な御尋ですが此廿人の看護婦は廿日ばかりの間に五萬軒の家を訪問して、一萬二千餘の病氣の小兒を看護したのでムいますよ、して其中から百八十人程は方々の病院に送りました、小兒の入浴に附て四千百七十七件、食物で四千五百五十四件、料理法で千二百五十六件、衣類で三千七百五十九件、空氣の流通の宜い場所に寝床を移さしたのが九千四百九十七件、其れから最少し年上の小兒に附て一般に注意したのが九千八百六十四、まあざつと此丈を廿人の看護婦で行つたのですよ、此夏の終迄には未だ／＼澤山に行る積です。』と説明されました。

兎に角此方法は、御抱醫師も、御華客のドクトルも持たぬ様な家庭の母親に向つて赤兒の養育法や、衛生上の事柄を教へるに適當な手段である。で若し此看護婦等の手に合はぬ様な時には亦々熟練なる醫師が訪問する様に成つて居るのである。

或日の朝、私（紐育の新聞記者）は此看護婦の一人であるキング夫人について、慈善の實況を見るべく夫人と一緒に此赤兒訪問に行く事に成りました、看護婦は夫々十づゝの廣小路を受持つて居て、片端から一軒々々如何なる家をも訪問するのであります。

△困難なる説諭の例

一番最初に我々の入つた家は、まづ裏長屋の好標本と言つた様な、眞暗な室、不潔い壁、小兒の泣聲、おしめの臭い、それは／＼驚いたものだ、まづ這入つて行くと階子段の下から犬や猫が人を見て飛付く、臺所雜物や洗濯場の不潔から來る可厭な臭や暑さにうんざりして仕舞つたまゝ御役目さい無くば逃げ出したいやうな家、キング夫人は第一番目の戸口から段々とこつ／＼叩いて行つたが三番目迄は皆勞働に出て行つた留守なのか返事が無かつた。（御存知でしようが斯様いふ家族は、大きい建物の一室々々を別々に借りて居るのです）さて四番目の戸は叩くと直ちに二三寸戸が開いてそこから瘠せた女が鼻を附出し變な聲をして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「何用です？」

「私は看護婦です、赤兒はありませんか、御病氣の御兒樣はありませんか。」とキング夫人は早口に言ふ。

「家のは今惡いのさ、だけれど何も御前樣達の知つた事じあないよ」と、邪慳にいつて女は戸を閉めて了た。

「私は貴女の御手傳して御小兒樣の病氣を治して上げたいのです」とキング夫人は戸の外で云ふ。

「アラ御前樣は入つちやいけないよ、私の兒だもの、私の勝手にするさ」

「いえ左樣じやありません、いくら貴女の小兒だつても貴女の自由にはなりませんよ、病氣が惡ければ健康院に送らなければなりませんよ」夫人は物靜に左樣言ひ含めた、健康院とは即ち此慈善事業の本部である。



「健康院だつてね？ぢやまあ入つてもようムんす……御入りなさい」と躊躇ひながら言つて戸を開けた

戸を開けたのを見ると此は亦不潔千萬な、空氣の流通の惡い、掃除もせぬ、御話にもならぬ樣な寢床の上に、六ケ月ばかりの赤兒が寢て居る仕末である。

瘠て青くなつた赤兒、蝿に苦められて居る赤兒其の手にはしやぶり盡された獸骨を一本持つて居る、藍色をした牛乳瓶が其傍に轉つて居る。

小兒の母は心元なさゝうに赤兒を見詰めつつ訴へる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「赤兒は五週間前から惡いんです、だけど私は何も手當はしなかつたんです、如何して宜いか分らないもんだからね、牛乳はやつたけれどね……え、彼骨は御しやぶりの代に遣つとくんですよ」

△清潔法の敎訓

まあ此樣なのが模範的の病家なのである、赤兒は此儘手當をせずに置いたなら屹度日數の經ぬ中に死んでしまつたらう。此場合先第一に着手すべき事は室內を最少し奇麗にして、赤兒をよく湯で洗つてやり、適當に、規則正しく食物を與へる事です。

其處で夫人は帽子を脫いで傍に置き、女と一緖に其處等を取片附にかゝつた、そして赤兒を以前よりもずつと愉快な位置、適當な境遇に置いたのである。斯樣に物を整頓すると言ふ事が借家の室に於ける適當な所置で……まあ家庭とは云へないまでも淸潔法の一法なのである。

卅分程の間に室の中が見違る樣に整頓して來た、其處等に丸めてあつた衣物は皆壁に掛けられた、汚れたのは洗濯盥に押込まれた、そして赤兒の寢床は比較的空氣のよい窓際に移されたのである。

赤兒はよく湯で洗はれた。永い間着のみ着のまゝで汚れに汚れてをつた衣物はサツパリとしたシヤツに取代へられる。牛乳屋、それも狡猾でない、確實な牛乳屋から規則正しく飮める無料劵と、又赤兒の食物に就ての命令、敎訓を書いた本とを母親に渡される、且亦例の薄黑い牛乳瓶は奇麗に掃除されて、そして呉々もこの母に向つて此樣事をして置くと赤兒は死んでしまうに定つてると注意をされた。

萬事をとゝのへてキング夫人が此室を去らうと云ふ時には實際、想像にも及ばぬ樣に室が奇麗に成つて居て、流石の母親も吃驚してる位。吃驚して左樣して明日キング夫人の再訪問を悅んで承知し、亦書付の通りに致しましようと約束した世の諺に負はれやう、抱かれやうで、慈善にあづかつた母親は改めて又こういふ注文をしました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『もし貴婦、此二階に住つてる方にもやつぱし病氣の赤兒が御有なさるんですよどうでせう序にお世話下さつては、一寸御待なさつて下さい、私左樣言つて來てやりましようから…。』

此母親が薄暗い階子段を駈上るのを見送つてキング夫人が私に言つた。



『私は赤兒を一週間注意して見ましよう、實際之なんかは貧乏人の子兒の餓死する宜い例でせうよ、何して此樣不純粹な牛乳や食物で育つて行くもんですか、世間に之で死ぬ赤兒は澤山ありますよまあ兎に角此兒は之で助かりませう若し一週間の具合でよく成らなかつたら、母親に說聞かせて海岸病院にやる事にしませうがまあ之等が好例です、母親も損に成らぬ事だから悦んでやりますよ、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一度實際を教へて置けば今後は自然注意するやうになるのです。不潔い家が段々家庭になつて行きますよ。此で私が歸つてしまうものなら、二階の人はそりア羨やましがつて大騒ですよ。』

で私達は段々と階子段を登り廊下を傳つて澤山な室を訪れました。そして澤山な病兒も發見しましたが、屋根裏の室で私等が見たのが一番慘らしかつたのです。此室では十二の女兒が母親代理です、二歳に成る弟が床の上の盥や皿の轉つてる中に遊んで居る、赤兒は赤寢臺に寢せてあッた。

此寢室と稱する所はまあ眞暗な穴です、薄暗い室にたつた一ッの窓が開いてる限りです、室中妙な臭氣がする寢床には被蒲團がなし、敷物も汚れて薄ぎたない此室の主人公、即赤兒の母親は洗濯が商賣だから、此十二の女兒に家の事を任せて出て行くそして此赤兒が非常な大病です、最早此眞黒な穴の中で小さな手を伸して、喘苦んでる仕末でした。

キング夫人はやをら赤兒を取上げました、而して二歳の小兒の遊んで居たテーブルを窓側に持つて來て、其上に物を敷いて赤兒を寢かせました、此樣すれば幾分か宜い空氣が呼吸されるのである。と病兒の姉はいふ。

『眞に私どうしようかと思つたの、一日中赤兒の眼が妙な風に成つて、ちつとも牛乳を飲まないんですもの……』

『貴孃、大麥の湯を知つてますか！』と夫人が尋ねる。此娘は此樣事は知らなかつた、で夫人は此女兒を大麥屋に使にやつて其留守に赤兒を清潔にしました。

夫人は女兒が歸つて來ると、忍耐強く大麥湯の製造法や赤兒の世話をこの十二歳の少女に說いて噛んで含める樣に聞せた。

そこで夫人は少女に向ひ『私明朝一番先に此處へ來ますからね、御母樣に夫迄待つて居て貰つて被下いよ、此兒はねェ如何しても田舎の方にやらなけりやあなりませんから。そして貴孃の方には少しも費用は要らないんですよ』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「此云ふ風に」と夫人は私に云ふ「斯く暑氣にやられたのはどうしても田舎の方にやらなけりや駄目です、一週間なり二週間なりです、最早大分送りましたがね此も此事業の一分派です、エ、やはりロツクフエラー樣の御出費です」

實際ありそうも無い事ですが此種の母親の中には、てんで赤兒には溫浴が必要などゝ云ふ事を知らぬものがある。中には一ヶ月も洗はれぬ赤兒や其以上のもあるのです。其云ふのは勿論病氣に成つてます、母親は此溫浴の事を聞かれても勿論知らず、中には溫湯と冷水とゝちらを使ふのかも知らないのが多い。して毎日湯を使はしたら赤兒は死んで了ふだらうと確信して居るようなのが多い仕末。



又或る一人の女は、赤兒の衣類は最早一月以上も糸で身に縫付けてあるから取らうたつて取れない等といつて平然としてゐるのだ。實に想像して

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も恐ろしい位、衣類を身に縫付るなどゝは想像にも及ばぬ事實一ケ月以上も湯を使はせぬなどは通例の事、何時でも一枚だけの衣物で間に合せてゐる。此樣な母親を說服せるには實に骨が折れる强いて衣物を取らせて、如何にして子兒は淸潔にすべきかなどゝ敎る迄には一と通りの骨折ではない。然し一度此効能が分れば最早後は樂です、後は正しくしようと自分で注意する樣になりますから。考へて見ると紐育で每年々々多數の赤兒が死亡するのは此言ふ原因があるからだ、即ち母親が子兒の養育法を知らないのが第一原因である。かゝる母親は適當に衣類を着せ、食物を與へ、湯を使はせると云ふ原則を知らない、此では死を免れる事が如何して出來よう。ロツクフエラー氏は實に彼の看護婦に此樣な事を敎へさせようと言ふのです。

△小兒病院の整頓

ロ氏の小兒病院に行つて見れば其は實に整頓した物で白人の小兒も黑人の小兒も皆健康に快活として遊んで居ます。母親も白い寛衣を着て見違へる樣に立派に成つた自分の子兒を見て吃驚するばかりです。

それは母親に取つて病氣の小兒を他人に預けるのは如何に苦痛でしよう、然し此病院長モルドン博士は極めて同情に富んだ醫士ですから母親も、愛する小兒のため情を枉げて此病院に入れるのである。

亦每日午後から此建物の前庭のテントでは子兒の養育に關する講話がある。如何なる母親でも聞きに行かれる、勿論凡て育兒に要する道具は模範として供へてある。一題目が說明される時には其相應に實習があり一人づゝ適當な赤兒を連れて來て母親に克く分る樣に講義される。

每日凡そ三四十人の母親が集つて來る。そして子兒に施すべき方法を聞いて何か利して歸らぬ者はない。講義の後には育兒に關した個人質問が許されて、丁寧な答を得る。此一事でも母親連が此事業を熱心に利用して居るかと云ふ事が分る。

斯如く、ロツクフエラー氏は生計豐ならざる者の赤

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

兒の爲に盡して居るのであるが將來は此組織を進めて全然教訓的の物とし赤兒の死亡と言ふ事を紐育の町から除外する迄に、此方法を普及させ樣として居る。勿論此夏の終迄には少なからざる數、凡そ八萬の小兒が見舞はれる筈である。實に盛な事ではありませんか、我國の都會に此樣な事業が行はれるのは果して幾十年の後でありませう。

　願くは家庭の主權者たる主婦諸君、若くは將來主權者たるべき、皆樣が樂しい月日を送つて居られる中には、彼處此處の貧民窟に餓に泣く兒、病に泣く兒果は日の目も碌に見ずに暗から暗へと旅する赤兒が幾人ありましようか、諸嬢、諸嬢の衣食の幾分を割いて小さいながらも此樣な事業に御盡しに成つたなら、記者たる私も小さな誇を感ずる事でございます。

新領土の觀察

藤葉女史

彼等の生活狀態

私は今年始めてこの地に參りましていろ〳〵と生活の有樣を觀察して身に益するところ尠くは厶いませんでした、其中聊か奇態に感じましたのは、彼地勞働社會の有樣でしたが、聊かこゝに其の概略を申述べませう。

　此處は昔に名高き旅順の降將ステッセルが嘗て住居し大建物、其高樓に登つて朝八時から、九時、夕は四時から五時頃の外を眺むれば、黒き辮髮の乞食然たる幾群が蟻の匐ふ樣に彼方、此方に往來するのを見る事が出來る。

　之れ即ち支那の人足、苦力と呼ばれる勞働者である、諸方の官省に雇はれて恰も牛馬同樣にこき使はるゝ哀れなる、意氣地の無い、而も橫着な日本人より遙劣等

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と感ずる支那人である。
即ち此苦力の日常生活を大略記すと實に下の如くである。

△生國

旅順に居るものとて必ずしも此地方の者では無い、大抵は支那内地から出かせぎに來て居るもので多くは芝罘あたりのものである、而して此中には老若制限なく頭には霜を頂き胡麻鹽の髯を生して居るものもあるが多くは二十歳以上位のもので、故郷には妻もあり、子もあると云ふのが普通で、之れ等を置いて獨勞働に從事し、財を貯蓄せん事につとめて居るのである、其妻は又夫れ〳〵家に在つて内職をして暮して居る所謂夫婦共かせぎして漸く今日の生命をつなぐと云ふ境遇の者である。

△賃金

斯様に一家團欒の快樂を缺いて、妻には空しき閨を守らせつゝ辛苦艱難（我等の眼には少なくも左様に思はれる）して扨一日に幾何の賃金が得られるかと云ふと、官省に雇はれて居るもので大抵一日に三十五錢が普通である、而して之れ等苦力は苦力頭と名付けらるものゝ管轄を受けて居るので、苦力頭は一時役所の賃金を立てかへる事をして居るもので一種の切符の様なものを造つて役所に差出し、役所は苦力に直接に現金を渡すの煩を避ける爲めに、此切符を苦力に渡す、然すると苦力が夫れを苦力頭の處に持つて行つて現金と引きかへにしてもらふので、役所は一時に苦力頭に金を拂ふ事になつて居るのである。

然し誰も何の利益無しに金錢を立て代へる馬鹿は無く此苦力頭も實は割の好い商賣で、苦力一人前の賃金に付いて五錢位の上前をはねる、また其上に多くの苦力は苦力頭の家で飲食をなし、夜間は此處に寢なければならない様になつて居て、其費用として一日に少なくも十五錢から、十七錢は取られる、夫れであるから眞に自分の手許に這入るべき金錢は實に僅かなもので之れで日常の身のまわりの事を一切辨じて行き、而して猶幾何かづゝ殘して行かうと云ふのであるからなか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なか容易な事で無いのである。

△仕事

苦力の仕事の樣子を見て居ると、實に動作が不活潑で、而して横着なと云ふ事がわかる、何でも時間の貴いと云ふ事を少しも知らない、只其日を過して行けば仕事が出來ても、出來なくてもそんな事は我關せず焉と、云ふ風に悠々緩々と構へて居る。

夫れ故其監督たるべきものが少しでも眼を離そうものならば直に仕事を止めて土の上でも、石の上でも一切おかまいなしに腰をかけ、或は踞つて休んでしまふ、而して其間何をするかと云ふと、暖い日當りの好い處に居るものは直に上着の袖から手を拔いて懷に出し、見るときたならしい縞目も、模樣も手垢の爲めにわからなくなつた丁度日本の田舍爺が持つて居る切の財布の樣なものから煙草を出して長い煙管でぱくりぱくりと吹い初める、何を見て居るのか、考へて居るのか、ぼんやりと煙管を口に咬へて涎の滴れそうな樣子を見るとまるで腦の中はからつぽでは無いかしらと思はれる、然うかと思ふと又一方では例の譯のわからぬ事を喧々、騒々と極めて早口にしやべつて居る、

斯樣な處へ監督が歸つてゞも來ると彼等は驚き狼狽て大急ぎで仕事に取かゝる、何の事は無い牛馬同樣に鞭を以て後方から、たゝく樣にしなければ充分に働かないのである、故に之等の監督者は大抵一人前の仕事を定めて當てがい、夫れが出來なければ其日の賃金は渡さないと云ふ樣にして有るので、例へば道をなほすにしても一間に一人とか、二間に三人とか云ふ風に人を割りあてゝ順に並べ、其一間なり、半間なりの掘れない内は休ませないと云ふ樣になつて居るので道普請の側などを通るならば、苦力の居る限り正しく一列に間を置いて並んで仕事をして居るのを見る事が出來る之れは只道普請には限らない何をさせるにも皆斯う云ふ風にしてあるが。

やがて正午の空砲が鳴るや否や、夫れは正直なもので此時ばかりは時間正しく、一聲悦びの叫びを擧げて丁度機械が止まる樣にパツタリと仕事を止めて例の通

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

り着物のよごれるなどは頓着なしに土の上に坐つて彼等の晝飯を食べるのである。

△食　物

彼等の所謂辨當なるものは如何なるものかと注意して見ると麥粉を捏ねてパン種子の樣なものを入て、丁度食パン一斤位の大きさに丸めて、蒸した樣なもので、之れを片端からかき取つてはむしやり〳〵と食べるので、大抵のものは副食物は持つて居ない、中に何か他のものを食べて居ると思へば夫れは大根の鹽漬の樣なものである、之れでも汗流して働いた身には餘程おいしいと見へてさも美味そうに食べて居る。

家に歸れば南京米の石の混つたのを食べるので、副食品としては矢張、葱、大根、にんにくなどの類を生のまゝ一種の味噌の樣なものを付けて食べる、而も米の飯を食ふのは餘程上等な部で、大抵は麥粉や、高粱の粉を捏ねて蒸した樣なものを食べて居るのである、而して葱や、にんにくを生のまゝ食する結果其鼻や、口からばかりでは無く身體からも、何とも云はれぬ一種の最厭ふべき臭氣を發する、初めての日本人などは呼吸もつまる樣に思はれる、併し彼等に取つて此厭ふべき臭氣はある必要があるのである。

夫れは何かと云ふと此地方は至る處虱や南京蟲の巢窟で殊に南京蟲には皆が其豫防法に苦しむのであるが幸な事には流石の南京蟲も此臭氣には寄り付く事が出來ないと見へて之等を食べると妙に南京蟲が寄つて來ないと云ふ處から即ち南京蟲豫防藥として故意に食べるのであると云ふ事である。

お正月になると彼等も出來るだけの御馳走を食べるので、日本人の習慣として餅が無ければ正月らしく感じないと同じ事で支那人は、豚を食べなければ正月で無いのである、故に大抵のものは多少の豚を買ふので此時分には著しく豚の相場が上り、且品不足になる事がある。

之れをどんなに料理するかと云ふと、先豚を細かくたゝいて、韮や、葱などを一緒に混せて、例の麥粉を捏ねて、丸く薄くのばし、丁度日本の櫻餅か、柏餅の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

樣に餡の代りに前の豚を入れて二つに折り支那人相當に意匠を用ゐて其皮にひだの樣なものを付けて、而して茹でるのである、日本人には迚も臭くて、不味くて食べられないが夫れを餘程の御馳走の樣にして食るので、之れは正月ばかりでは無く月に一二回位は造つて食べると云ふ事である。

まづ彼等の常食はと聞くと麥粉で拵へた饅頭の皮の樣なもので時々食べるものは、うどん、餅、粥、などで芝罘あたりでは毎日豆腐を食べると云つた者もある、白湯も彼等に取つては却々好物らしく大きな器に熱湯を入れて夫れを吹きながら、左も甘味そうに飲んで居る、間食物としては南京豆、西瓜の種子の煎つたものをよく見る事がある。



△馬車引

苦力の內には又馬車を引くものもある、此馬車が又實に見惡いもので何れを見ても皆損じて居るのかと思はれる、箱は普通の荷馬車のよりも餘程小さく、太い輪の車が四個付いて居る、而して之れを二頭の馬に引かせて居るので、此馬も普通の馬よりは餘程小さな所謂驢馬とか、騾馬とか云ふもので之れが感心な事には意氣地の無い支那人の云ふ事を實によく聞く、柔順な獸類である。

無鐵砲な、骨おしみをする支那人は此馬車を引張つて如何なる道の惡い處でも、石のゴロ〳〵轉がつて居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る處でも一切無頓着に引き廻すので之等の馬車に當つた垣は崩れ、道は破損して實に亂暴なものである、山の様に荷物を積んで馬が如何に困難しても之れを助けてやると云ふ事をしない、一寸注意すれば何でも無い事を骨おしみしては途中で車を引くりかへして往來で荷物の積みなほしをして居る事は珍らしくない、旅順の道路の惡いのは、第一に土の工合でも有るが一ツは此馬車の爲めで此頃は改良した馬車で無ければ用ゐさせない様になつたとか云ふ事である。

△驢馬と騾馬

此種の馬は至極經濟的の動物で、何でも經濟から割り出して考へる支那人には甚だ重寶なものである、即ち其體格は普通の馬より餘程小さいので從つて食物が澤山にいらない、而して力は普通の馬より比較的に强いので普通の馬は殆ど用ゐられないのである。

驢馬も、騾馬も一寸見ると何方も耳が長くて慣れない内は同じ様に思はれるが騾馬は驢馬より餘程大きい之れは驢馬と普通の馬との混合種で、普通の馬程大きく無くて力は比較的に强いから最便利である、然るに不思議なる事には此騾馬と云のは其身一代限りのもので後に子孫は殘らないのである、即ち騾馬の牝の子宮は子を生むだけに都合よく出來て居ない、一種の奇形兒で騾馬同志繁殖すると云ふ事は出來ない、只普通の馬と驢馬に依つて出來たのみである。

何れかと云へば驢馬の方によく似て居る、其性質も極く溫順では有るが一度何か自分の氣に入らない事が有るとゝんな事が有つても、たゝいても、引張つても動かない一種頑固な性質が有る、之れは驢馬も同じ事であるが、平生は極く感心なもので、重い荷物を汗水流して、たゝかれながら重い車を坂道と云はず、水溜りと云はず引いて行く有樣は體格が小さいだけ普通の馬よりは可愛そうに思はれる。

△衣　服

餘事はさて置き叉苦力の事に返つて今度は衣服の事を云ふつもりである。

朝鮮人は主に白色のものを好んで着るが支那人は餘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

り用ゐない、尤も寒い時分に見た事で有るから夏になつたら着るのかも知れないが、まづ多くは淺黄と、黒色とである、たまに灰色のものを着て居るが之れは恐らく白い地のものが垢付いて變じたもので有らう。

勿論皆筒袖で、其ゆきの長い事、手の指先から二三寸は餘る位にしてある、用のない時には手を中に引込ませて防寒の用にも用ゐるので有らふ、股引にも綿を入れて尻の處はまるで袋の樣に膨れてたるんで居る、此衣服は其着物一代に洗ふと云ふ事が無いのであるから黒い色で、どんなに汚れて居るか、一寸は眼立たないけれども、袖口や、腰のまはりはまるで黒光りをなして居る、之れはゆきが長い為めに用をする時に汚れるのである、手鼻汁をかんでは其あとを拭くからである、腰のまはりは手の汚れたのを一切此處で拭くからで又處嫌はずに尻餅をつくからである。



之等の衣服は汚れたからとて洗濯する事は無く破れたからとて繕ふなどと云ふ事が無いのであるから垢が付いた位はまだ結構上等な部で、大抵のものは破れた中から綿のはみ出したのも平氣で着て居る、寒い時分には又其上に着る、夫れ〃亦長い間には破れて來る、處で破れる處は大抵定つて居ので二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

枚も三枚も下まで同じ處の破れたのを着て居る、先日本の乞食の風采と餘り差は無い。

併し之れでも感心な事には素足で居るものは一人もない、之れも暑くなつたらどうか分らないが、皆着物と相當した、靴か、沓か、わからない樣なものをはいて居る、之れは珍らしく破れた處を繕つて綴のうへにも綴を當て、足首から先きの無格好に大きく膨れたのを多く見る。

髮は勿論辮髮で皆三ッ組にして居る、と云ふと甚だよく聞えるけれども實はどれも、之れも皆火の付いた樣に後れ毛が周圍から下つて、塵や、砂にまみれて赤色を帶びて艶と云ふものは少しも無い、何日結ふたのか恐らく一年に數へる程しか結ひ直さないので有らふ先きの方ばかりは殊勝に三ッ組の形が殘つて居るけれども根元の方は只結ばれて、髮の毛が寄り固まつて居るとしか思はれない、一度結はせるのが五錢で、周圍を剃るのが五錢だそうであるが、彼等には時々髮を結はせるだけの餘裕が無いのか、又は構はないのか、ほどく時にはさぞ痛い事で有ろう、支那人の事であるから泣き出すかも知れないと思ふ樣な髮を、通常は帽子で半隠して先端の方を帽子の上から頭をぐる〳〵と卷き付けて居る。

支那人は家の内外を論せず帽子を被る事が一つの禮儀になつて居るので卑しい苦力に至る迄、兎に角如何樣にきたなくても帽子を被つて居ないものは殆んど無い、其形は丁度椀を倒にした樣な、丸いので、之れに耳を被ふものと庇とが別に丸く付いて居て、寒い時には夫れで耳をかくして置き、不用な時には夫れを裏の方に折り込んで置くので丁度糸底の無い椀を被つて居る樣に見える。

色は大抵、茶か、黒色で、太い筋や、細い筋が横に三四本黒い切で輪なりに縫い付けてある。

△娯　樂

彼等には如何なる娯樂があるか只皮相の觀察だけでは一寸分らないが別に之れと云ふ特別の物は無いらしい物見、遊山など云ふ洒落た事は勿論無く、芝居に行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つたり、遊里に足を入れる程の餘裕も無いのである、只給料の渡つた時に何か平生より違つたものを食べる位が關の山で、其中には濁つた燒酎の樣なものを好むものも有らふ又はうどんとか、菓子類とか、兎に角食べる事が彼等の娛樂の大きなもので、中には例のチーハーを以て唯一の樂しみとするものもある、其他には暇さへあれば人の家の椽と云はず、道の側と云はず、何處にでも石や、木片に寄りかゝつて、風に吹かれ、砂をあびつゝ如何にも心地宜さそうに眠つて居る、或は斯うして眠る事も彼等に取つては大なる樂しみなのかも知れない。



△日本人の無情

要するに彼等は人種の內でも何れかと云へば或點に於ては動物に餘程近いので、國家と云ふ感念も無ければ耻と云ふ事も餘り知らない哀れむべき者なのである、然るに出稼ぎに來て居る日本人達は彼等をどう云ふ風に取扱ふかと云ふに實に慘酷なもので、牛馬同樣に心得て居る、少し氣に入らぬ事をしたからと云つて頰を撲ぐる、言葉が解らぬからと云つてはたゝく、若し夫れ少しでも過を仕樣ものならば其事情も何も問はず棒で撲ぐり、足で蹴り、殆ど半殺の目に合せるのである日本人で有つたならば

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

如何なるものでも齒がみをして口惜しがる處で有るのだが、其處が意氣地の無い彼等の事とて横面張り飛ばされても只聲を擧げて泣き又は顔をしかめるのみで、痛いと云ふより外には何の感じも無いのである、之れに依つて恐ろしい復讐心も起らなければ、勉勵の心も起らない有樣で、實にたゝき甲斐も無く、叱り栄もしないとは此事で有る、夫れ故日本人も自然に餘計にひどい目に合せるので、日本人が慘酷なと思ふ程彼には感じないのである。

△彼等の眼に映る日本婦人

日本の婦人が一人で市中を歩くならば、丁度日本の土方や、職人が、藝妓や、娼妓を見て一種の冷評を其態度に、或は言葉に表はすと同じ樣な樣子を之等人間以下に見られて居る苦力が婦人に向つて與へる、此方を見てはにや／＼と笑ひ、何か譯のわからぬ事を高聲に云ひはやしてはドツと笑ふ、或は馬車を引きながら、其側を通る時に鞭を以て故意と砂煙を立てゝ見たり、又はわざ／＼側に寄つて來て少し日本語の解るものは生意氣に日本語で、物云ふ宜しいなどゝ云ふ。

何の爲めに彼等は斯樣な無禮な振舞をするので有らふか、服裝の違つて居るのを笑ふのか髪の格好を評するのか、實に心ある婦人は口惜しく感ずる事である、彼の眼にも、口のあたりにもたゞよふ笑は日本婦人を馬鹿にした、賤むべきものであると云ふ事の意味を充分に表はして居る。

併し前にも云ふ通り彼等は無智朦昧なる人種である、此人種をして斯る感情を抱かしめる樣にしたのは事彼の罪では無くして、矢張我々日本人の内の或者の罪とするより外に無いのである。

外國を漫遊した日本人の最口惜しく思ふのは世界の至る處に我日本婦人が醜業婦となつて入り込み、顔をそむけねばならぬ樣な醜態をして居る事であるとはよく雜誌でも見、又聞く事であるが、日露戰爭がすむや否、平和克復と共に先第一に此處に入り込んだものは即ち此賤しむべき醜業婦であつたので、元より彼等に學問の有る筈も無ければ、恥を知るの殊勝な心も無い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ので、只眼に映ずるものは金錢のみなのであるから、只日本人の自由になるのみでは無く、金さへ出せば支那人、日本人の區別は少しも無い、猶夫れのみならず彼等の言語擧動は實に嘔吐を催さしむる程で、支那人が最下等と心得て居る肌は容赦もなく表はし、細帶一つで表に迄飛び出すと云ふ風であるから、心なき彼等にも之れでは如何して尊敬の念が起ろうか、否夫れ處では無い輕蔑の念の起るのは當然の事である。

併し賤業婦が馬鹿にされ、輕蔑されるのは彼等自身が賤しむべき行爲をするからで自業自得と云ふより仕方が無いが、支那人の眼に之れは賤しむべき女、之れは身分ある婦人と云ふ見境は到底付かぬ、丁度日本人が外國人を見て、何れも皆同じ顔をし、同じ樣子に見へると同じ事で、日本人の目にこそ之れは醜業婦か否かと云ふ事が分るが、支那人の眼に何で、そんな細かい區別が付かうか、此處に至つて日本婦人は誰彼の差別なく輕蔑さるゝに至つたのである、夫れ故身分ある婦人は決して一人では出ない、のである。

笑ふ人は肥る

笑ふ門には福來ると云ふのは日本の諺であるが生理上大に理由あることで決して一概に蔑す事は出來ぬ、身體強壯な人は能く笑つて如何にも愉快さうに見え虛弱な者は笑ふ塲合が甚だ少いと云ふ事は一寸觀察しても直ぐ判る、然し其は強壯なるが故に笑ふのではなく、能く笑ふが故に強壯になるのである、笑ひと云ふ事は實に食慾を進め、血液の循環を能くし、消化を助け總じて榮養の上に少なからぬ効がある、其の結果身體を強壯にし、精神を健全に、滿足なる人身を造のである、笑ひから直接に及ぼす生理上の結果も亦大なるもので、第一其の作用によつて頸、頭、胸、腹等に於ける筋肉は皆運動を起し結局心臓、肺、神經其他の組織を良好にするからである。

大口を開いて笑ふ時には、肺が非常に擴張し、其れが爲めに肺の中に滯つて居た惡い空氣が、皆な出て新鮮な空氣と入れ替り、血液の中からは不純の空氣を追ひ出して純潔なるものと替るのである、又橫隔膜は呼吸の烈しい爲めに大に上下に動き肝臓、胃、腸其の他腹部にある諸機官を活潑にする効がある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

消費組合の話（二）

有磯逸郎

（一）消費組合の中心は婦人

前號にはざッと消費組合に二種類あることを叙述して置いた。即ち消費組合は貯蓄を主とする英國風の所謂ロッチデール式と、貯蓄などはどうでも良い、品が良くて廉いのが好いといふ大陸風の所謂シプイル、サーブイト式と、恁ふ二種類あることを述べて置いた、爾して我國の購買組合は英國風に依らずして、大陸風に類似してゐることを擧げて置いたが、我國の購買組合は創立の日淺く、むしろ試験中であるから判然とした成績は見へないが、歐洲各國では本家本元の英國を初めとして、瑞典其他の國では其れは／＼凄まじいもの、特に瑞典の如きは全人口の六分一は消費組合に加入して居といふ勢、中にもバーゼル市などゝ來ては全市民悉く消費組合に加入してるといふから豪儀ではないか。

で、歐洲諸國では漸次ロッチデール式が勢力を現はし、瑞典など大半此れに依つてゐるのを見ても、その模樣がわかる。併しながら成績の良否は、一に仕組の如何ばかりに依らない。切り込んで言へば、消費組合の中心は、どーしても婦人だ。家庭の主人公たり臺所の主宰者たる婦人が、消費組合の便益を認めて、それを運用する能力の伴はない限りは到底發達を見ることができない、ロッチデール式の半面には英國婦人の堅實の氣風が相伴つてゐる、今日歐洲の生活社會にロッチデール式の消費組合が幅を利かせてゐるといふのも、婦人の方面から言へば、英國婦人の特長が歐洲大陸を風靡してゐるものとも見られる、余輩は消費組合といふ社會制度の發達を喜ぶと共に、英國婦人の特長が社會制度と相交叉して、生活の上に發現してゐるのに無限の趣味を覺ゆる。

（二）消費組合の發達と商人の妨害

日本の購買組合には、まだ著しい現象は見へないが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

消費組合の前途には何れの國も商人の妨害が横はつてゐる、英國消費組合の發達史は。一部分は商人の妨害を以て蔽はれてゐる、現に獨乙の如きも、消費組合は商人より有らゆる妨害を受けて悪戰苦鬪してゐるのはその實例で、同國に商人救濟問題の拈出されてゐるのは消費組合の發達に刺激を受けた結果である。臺所にぬつと首を出す御用聞が、下女、下男、もしくは奥樣に賄賂を與ふるなどは初手の事、後には新聞を利用して消費組合の悪評と出掛ける、甚しきに至ると何國も同じで秘密運動を以て政府を動さんとするものさへ見受くる。



妨害運動中最も利目の多いのは臺所口の運動で、意思の弱い細君連はお馴染の小僧に動かされて、ぐにや／＼と消費組合に背を向ける。外國の購買組合にも矢張此種の現象が見ないでもない、共同會が中流以上に勢力を張らんとして、十分手を擴げるとができないのは此の臺所口の豫防線が隱微の間に効果を奏してゐるからで、主人殿は購買組合の効能を騈べるにも拘らず、傍から細君の情實論で打ち消されてゐる例も無いでもない。盆暮二度の遺物、チヤホヤ浴せる朝夕のお世辭が、案外奇功を奏してゐるのが不思議だ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

であるから、女主人にして、確乎した者でないと、常に商人達の誘惑に捲き込まれて仕舞ふ。

英國の消費組合發達史は能く這の間の機微を言ひ顯はしてゐる、而して今日の發達を致したのは、英國婦人の堅實なる意思が、有らゆる妨害誘惑に打ち勝つた結果で、余輩が「消費組合の中心は婦人に在り」といふのも、畢竟此の消息を眼にし耳にしてゐるからに外ならない。

我國の購買組合には、まだ著しい商人の妨害が出ない。けれども何時迄も今日の狀況に止つてゐると思つては饅の皮、異日消費組合が社會の大勢力と爲れば、商人の妨害が遣つてくるのは自明の理である。現に共同會の如きでさへ、「山栗」等は米の販路に若干の影響があつたとか聞いてゐる。英國の消費組合などに比ぶれば蒼海の一粟である、共同會の如きでさい、すでに慫ふだ。若し後日中流以下の小給者、或は勞働者の類にして、瑞典のバーゼル市のやうに、挙つて消費組合に加入し、消費組合の手で日用の生計品を便ずるやうになれば、商人に及ぼす影響の甚大なるは言ふ迄もなく、販路を杜絶された商人達は、隊を組んで、消費組合の發達に妨害を與ふるであらう。

此時誘惑の矢面に立つのは、臺所の主宰者たる婦人である、若し果して商人の誘惑に捲き込まれず、屹然として消費組合の城廓を守るか、如何か。今から想望して一種の感慨を催うす。日露戰役に依つて男子の意氣を示せる日本人は、異日現出する此の生活の大戰手に婦人の特長を發揮して欲しいのである。

(三) 消費組合の効果

閑談休題、我國の購買組合は、今日如何なる成績を挙げてゐるか。左に加入者に就て調べた結果を披露しやう。

有り體に言ふと、我國の購買組合はまだ大した成績を挙げて居らない、若し英國の消費組合などで見ると今より五六十年前、僅に二十六七人の毛布職工が遣り初めたやつが、組合數ばかりでも、前號に挙げたやう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に、千五百三十幾ッ、即ち英蘭全住民の五分の一は消費組合に加入するやうに發達し、その賣上代金は我金貨でするとと四億五千萬圓以上といふ驚くべき成績を擧げてゐるのみならず、消費組合の附屬機關として、夜學校、圖書館、遊戲場を設けてゐるが、我購買組合と爲ると、數に於ても尠く、東京府下にては、前號に紹介した共同會を外にしては、早稻田大學卒業生等より成立つてゐる購買組合外二三に過ぎないが、その中若干の成績を擧げてゐるのは、共同會と、それに慶應義塾大學の構内に在る學生向購買組合位のもので、十分の成績を見ることができないが、なほその中若干の成績が見へないでもない。

第一●廉い物が買へる事

之が第一に眼につく、例令ば醬油としやう、東京の市民が野田の龜甲萬を臺所に置く迄には、隨分手を經てゐる、即ち野田より日本橋の濱口吉衛門方に這つてくる、各區に散在してゐる醬油店は、此の濱口方から仕入れるのが普通の例であるが、仲買が中間に入るともあり。すると、大問屋の濱口方、仲買、其處等の店と懸う三段階級を經て、「今日は如何樣」といふ例の賣ろい聲を前立に、漸やくにして私共の臺所に這つてくる順序である。併しながら、芝の購買組合共同會は、都下の卸店と同じく濱口方と取引してゐるから、市價よりも一割も二割も廉いのは無理でない、此れは米にも、酒にも、石油にも、薪炭にも當て嵌まる。特に薪炭の如きは、原產地と直接に取引してゐるから、買値は非常に廉いものに爲つてゐる。だから、消費者の買値段も、之に準じて、市價よりも二三割方廉いやうに噂せられてゐる。

第二●後金拂の事

次に後金拂であるのが加入者一般便宜としてゐるらしい。一體、歐米の消費組合は、英國は固より瑞典でも、獨乙でも、佛蘭西でも、白耳義でも、代金支拂は現金本位で、後金支拂の消費組合は、殆ど見ることができない、否、全く無いと言つて好い、若しこれ有れば其れは變例で、多くの場合には現金支拂は消費組合成

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

立の基礎と爲つてゐる、今日英國及瑞典の消費組合が完全の發達を遂げてゐるのは、現金制度を嚴守して、巧みにその現金を運用するからで、歐米の消費組合より此の現金制度を奪ると、消費組合の美所は恐くは空零と爲つて仕舞ふだらうとおもふ。その代り會員の資格だの、信用調査だのといふ面倒もない。

處が日本の購買組合は、共同會を初めとして、後金制度を執つてゐるのが遺憾千萬であるが、暫らく歐洲の實例を傍に措き、單に日本の購買組合に就て、加入者の內情を質すと、此の後金拂が非常に受けてゐる。我國の購買組合が、異日大失態を示すとが有れば、恐くは此の後金拂が原因を爲すとだらうと思はれるが、之も暫らく措き、兎に角く共同會の如き購買組合では、後金拂が會員の人氣を惹いてゐるのが事實で、若し此の後金拂といふ特別の便宜が無いとすれば、現在會員は半分、否、三分の一四分一に減じて仕舞ふに相違ない、爾して此の後金拂は、本月の消費品に對して翌月の月給日に仕拂ふ筈であるから、即ち二ヶ月の借越しと爲る譯、理屈は兎も角も、小給者に取りては非常な便益であるのは、言ふ迄も無い。

然かも後金であるにも拘らず、値段が比較的に廉いと來て居るから、普通の廉價を通り越して輪の掛つた大々的廉價と爲る。といふのは、普通商店の價格は現金買と借越とは非常に相違あり、その貸越しに對して一ヶ月の利子を見積るのが世間の通例で、その結果は代價の掛直と爲り、品質の胡魔化しと爲るのであるが購買組合の品物は、店員に愛嬌が無い代りに、案外に正直だから、購買者に取りては、天下此上なしの廉價と爲る譯だらうではないか。

第三　品質の良き事

普通の商人は懸引が大事だといふ、懸引とは或意味から言へば、虛僞の交換だ、消費組合には購買者に對して懸引も愛想も要らない、購買者(會員)に對して、申込の品物を送れば其れで消費組合の役目が濟む。だから、其處等の商店に比ぶれは、消費組合は正直の結晶體とも言へるであらう。消費組合の品質の善良であ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るのは、消費組合其れ自身の性質から來た自然の結果で、加入者が誰も彼も、組合から來た品が良いと稱へてゐるのも成程その譯だ。

消費組合は小賣店征伐だと惡口言ふ者もあるが正直者が不正直を壓して勝利を占むるのは社會の美事で、余輩はます〳〵小賣店征伐の行はれんことを望むのである。



第四　豫算が立つ事

今日小給者の家庭で、一ヶ年の豫算を組んで家計を取つてゐる者が幾人あらうか。一年といふのは餘りに仰山だとすれば、月給日より月給日に跨る一ヶ月の豫算を立てゝゐる者は幾人あらう、けれども無理はない、僅々三四十圓の不足勝の小收入では、例令四角四面の秩然とした人でも、豫算を立てるといふとは隨分困難な談話、余輩は小給者が家計に豫算を立てないからといつて、その不心得を責むる事は仕ないやれ官吏だ、やれ會社員だ新聞記者だ、學校教員だといつても、三十圓内外、四十圓内外、五十圓内外の小給者は、日稼人足等の收入

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と大した相違のない御連中、砲兵工廠の職工でも、助役や何かに爲ると、二圓以上を取つてゐるのに比べると體力勞働者だにも劣る小收入である。豫算も經營も有つたものでない。

然るに購買組合に入ると、不思議に豫算が立つてくるから奇妙だ。といふのは、購買組合では、米、薪炭、酒、醬油、石油、その送り屆の都合上、加入者に對して豫め其の月の入用高を申込ませる內規に爲つてゐる。だから、如何な不精者でも、如何な放縱者でも、篤と其の月の入用高を調べる必要が起つて參る、入用高に精細の眼を放つのは豫算を立つる第一步で、加入後、二三ヶ月にして、自然と豫算が立つやうに爲つてくるから有り難い。だから、購買組合加入者の小遣帳が皆な整頓しているのも、豫算の立つた結果であらう。

第五　贅費は明瞭となる事

小遣帳の整頓せる結果として、贅費の支出が瞭然として眼を射る。小給者の家計なるものは、收入が不足勝であるにも拘らず、キユー〳〵困つてゐるにも拘らず、內情を調べて見ると、案外冗費が交つてゐる。此の方面から言へば小給者は寧ろ收入多き者よりも濫費者或は贅費者とも言ひ得る。小給者にして贅費者であるといへば、なんだか矛盾した言葉のやうだが、仔細に小給者若くは貧民の類を見ると、常に此の種の事實が包まれてゐる。這は小給の爲に帶に短かし襷に長し、自暴半分に贅費を敢てする者もあるが、亦た小遣帳不整頓の爲に、贅費の品目に明確なる感念を缺くの結果、覺へず知らず「小給者の濫費」といふ奇怪の現象を示すのであらう。消費組合は此の「小給者の濫費」に對して、小遣帳の上から嚴格なる批評と判斷とを與へてゐる。

第六　下女の煩を省く事

歐洲の消費組合は、組合員はおの〳〵組合店に出掛けて、品物を買つてゐるのが普通のやうだが、我國の購買組合は、組合から會員の許に一々品物を送つてゐる。貴族風といへば貴族風、調法といへば調法だ。組合店に出掛けるのと、運搬するのと可否の議論はある

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が、兎に角く運搬制度の結果、見え坊の家庭に下女の煩を省くの効果も有るらしい。消費組合直接の効果としては、大した實例でもないが、生計品を買いあるく煩勞の減少した結果として、下女の手を省くやうに爲つたのは、購買組合が間接に與へてゐる効果とも言へやう。

その他夫婦共稼の家庭に與へてゐる影響などもあるやうだが、購買組合が加入者に與へてゐる効果といへば、概然と右の六ケ條である。けれども、我國の購買組合は、ほんの序幕であるから、以上擧げた効果も、多少記者の想像を加へたので、成績が瞭然して居らないのが殘念である。

(四) 消費組合の隆昌は組合員の數と別物

唯、共同會等に於て遺憾に思はれるのは、消費組合の隆昌は人數の多いのに在り、としてゐるらしい氣味の見へることである。けれども、消費組合の隆昌は必ずしも會員數の多少に依つて定まるものでない。否、歐洲の實例で見ると、マンチエスター市の中央消費組合などは別物として、多くは小人數の消費組合が成績を擧げて居る。土地も大都市よりも小都市の方が成績が著しい。バーゼル市などはその實例であらう、之は利害感情の相均しいものが集つて居るからで、考へて見ると、左もあるべき筈だ。現に共同會の如きも各種の官省員が關係して多人數と爲つた今日よりも、貴衆兩院の小給者で、ちよんぼりと遣つてゐた四五年前は代金も集つて、成績が良かつたと稱せられてゐる。だから、余輩は消費組合に意ある者は、徒らに人數の多きを望まず、五十人、百人、二百人位の少人數でみつちりと遣つて欲しいのだ。例令ば大藏省ならば大藏省、陸軍省なら陸軍省、日本銀行ならば、日本銀行、三井銀行ならば三井銀行と、恁ふ一種類の人員が集つて、其處に消費組合の起らんことを望むのである。

之に就ては消費組合の元祖である彼のロッチデールの組合は、無限の教訓を垂れてゐる。同組合は二十幾

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名の毛布職工で起つたではないか。もし渠等にして組合員の多きを望んだならば、恐くはかれが如き美果を收めて、消費組合の權與と爲ることができなかつたに相違ない。爾して消費組合の發達は、組織よりも、資金よりも、どうしても人だ、消費組合の眞精神を解した連中で組織されたのでないと、眞成の發達を見ることができない、特に後金拂が有卦に入つてゐるやうでは、完全の域に入ることがとても〳〵。で、消費組合最終の問題は、矢張廻り〳〵て、婦人の双肩に掛つてくる、若し家庭の主人公たる婦人にして消費組合の眞意を諒解しない限りは、十分の發達を見ることができないのである、共同會が、會報を發行して機關に充て、家庭記事を以て充たしてゐるのは、思い附だ。余輩は購買組合當事者等が、なほ十分に此上に力を盡さんことを注意して、今回は之で筆を擱く。

一　購買組合へ加入の方は芝區南佐久間町一丁目一番地購買組合共同會へ申込あるべし。

一　組合加入希望の方は同所宛御問合あれば詳細御報可申候。

△小兒が下痢する原因

小兒の下痢の原因中割合に多いものは何か今ま小兒の時期を二分して母乳、或は牛乳許りで養はれる時期と、乳と共に他の食物を與へる時期と、此二つにす可きであるが、此の二時期は其折々に從つて身體の營養機關も亦た異つて居る、然るに世の母親が乳許りで育つ時と否との見解が付かず、乳を消化する消化液しきや無い物に、無闇に米とか其他の澱粉質を食はせたりする爲め、之を消化する事が出來ず、腸胃を害す例が第一に多い、次には餅菓子を多く食はする許りでなく、其の菓子の製造の新舊の見解なしに與へる事が惡い、餅菓子の餡と砂糖が合すれば必ず醱酵して酸性を起すは極つてる、夫でも其新らしい中は夫れ程でも無いが、一日經てば其の酸性が已に非常に多くなる、樂人は口に味つて酸いのを覺えた時初めて酸くなつたと思つてるが、之は間違で、況してや之が二日、五日、十日と爲つたものを普通に平氣で遣るに至つては、其の香氣さ加減點く可きである、菓子は斯許りを咎めずに質に就いても吟味せればならぬ而して其食物を與ふる時期に就ては醫師の監督を要すべきや勿論である。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

修養

つれぐ草

幸田露伴

○聖光上人の語に、箆をたむるには片目をふさぐ、たゞ横目をせざれ、修行疾く成らん、とあり。陰符經に、聾者は善く視、瞽者は善く聽くとあるも此の意なり。片目をな瞑ぎそしみそ。

○みえの行きどまりは、馬鹿げて大きなる重き石をかつぐ事なり。

○我は顔して、我は神をも佛をも賴まずといふ人を見れば、おほくは籔中竹庵山井庸仙なんどを神とも佛とも敬ひかしづけるなり。

○一生涯茶たて蟲の聲を聞きたる事も無く、世にさる蟲ありとも知らで過ぎはつる人は、福者とや申すべき、又さても〳〵味無き口惜き人とや申すべき。

○新しきものも多くは古し。人力車は明治になりて世に出で來りたるものなり、されど其の始は何より思ひつきけむ。人の云ひ傳へには、或は柳下亭種員が作の草册子の白縫物語の中の軍師桑楡軒を小賊の車に乘せて曳ける圖に基づきて案じたりといひ、或は同じ作者の同じやうなる册子妙々車の中の木の葉天狗の小車を挽ける圖こそ工夫の種子とはなりたれと云ふ。されど手近きものにて大に世に行はれたる大阪鹽屋忠兵衛板の二十四孝の繪本の、江革の條に、母に孝なる事を叙べて、世をさまりて故鄕へ還りけるに、車を借りて乘せまゐらせ、牛馬にては驚き給はん事を恐れて、みづから身を轅の中へ入れて引きける、とありて、母を載せたる車を挽ける圖をさへ載せたり。我が人力車を案じたるもの、果して二十四孝の繪本に基づきしや否やを知らずと雖も、後漢と云へばいと古き事なり、人力車

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發明の功は孝子に讓るべし。

○

鏡に對へば忽然としてそこに人の姿あり、身より出でたる像ながら、此の身も減せず、鏡に添へるものながら、彼の鏡も増さず、不増不減の彼此の間に、忽生忽滅のすがたありて、眉は横なり、鼻は竪なり、笑む時をかし、それもまことよ、泣く時悲し、それもまことよ、阿字本不生、いよゝまこととよ、たゞ何事も夢のたはむれ。

○

香木をたくに、其のまことのゆかしき氣は、烟の未だ聊かも立のぼらぬ先に迸り出づるなり。人の心の匂もまた然り。其の人の一念我にむかひてまことに優しく美しき時は、其の人いまだ口を開きて言葉を出さず、身をもて行を示さずと雖も、はや其の優しさ美しさの溢れ迸りて、我が胸に浸み透る心地す。此の心の匂のいつもめでたき人をば德ある人とは云ふなり。

○

人はいざ知らず、我は二十にして鶯を知り、三十にして郭公を愛で、四十にして水鷄をよろこぶ。

○

書畫器物によらず、價の極めて貴きものを思ひきりて購ひ求むるは、いと易き事なり。そを人に盗み奪はれ、或は鼠蟫などに破り害はれたる時、或は恨み怒り、或は悔い愁ひずして濟まさんは、なか〳〵に易からぬ事なり。失ひて心を傷めざるの工夫成らずば、得て以て情を怡ばすの振舞をも爲さゞらんには若かじ。

○

也有が前津の知雨庵は、三河のさなげ山を望む方に、窓は明け置きたれども、常は鎖して開かざりしといふ。又利休が堺の庵は海邊にて見晴らし宜しき風景なりしが、わざと海の方を雜木にて植隱し、園へ入口の所にてたゞ少し海の見ゆるやうにしたりといふ。也有は佳きながめをむげに見明らし果てんことを惜み、利休は夕月夜、海少しある木の間のおもむきを善しとして然は爲たるなるべし。よきが少きはいよ〳〵よろし。よ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

きものが好ましきとて多きを貪るは、無下につたなし。

○

要ありて明日の朝何の刻には必らず起き出でゝかくかくの事を爲さんと深く思ひ入る時は、其の刻に至りて多くは目さむるものなり。睡りたる我をば其の刻に至りて呼び起して覺めしむるものは何ぞや。我ならば我は睡り居れるなり丑の下刻も寅の上刻も知るべきにはあらず。我ならずは我がほかに人は無きなり、右隣も左隣も來れるにはあらず。そも／＼睡れる我の如何にして睡れる我を覺ますぞや。又抑々睡れる我の眼をも開かず燭をも秉らず時計をも探らずして、如何にして今の何の刻に當るといふ事を知りて。睡れる我をさますぞや。我の中の無我か、無我の中の我か。此の睡れる我を起しさます我を主と仰ぎて身を終らんか、一度は覺まされながら、睡むたし睡むたしなんどゝて復寢入らんとする我が爲に奴とされて世を終らんか。人の一生の追分はこゝにありといふべし。

○

むかしの洒落者は、常に從者に鍬を擔ぎあるかせて、我死なば、ともかうも無し、直に地を掘りて埋めよと云ひ、又むかしのおだやかなる詩人は、裸葬何必惡とうたへり。よし、さまでには思ひきらでも有りなん。藝術にたづさはるほどのものにて、無からん後の會葬者の數の少からんことを憂ふる如きは、人の免れ難き情にはあるべけれど、彼の明遍僧都が笑ひし紙衣きてえもんつくろふ男のたぐひにて未練にをこがまし。

○

秋にしては過ぎし春を思ひ、老いては若かりし昔をしのぶならひなり。鬢の霜を鏡の中の寒き影に認め、藜の杖を雨の後の滑らかなる路に賴むに至つて、人誰かは彼の時はかうも爲べかりしを、其の折はさうも言ふべかりしをと思はざるもの無からん、されど其もまた果敢無く甲斐無し。温飛卿の詩の句に、事は雲に隨つて去んぬ身は到り難し、夢は煙を逐うて銷えつ水おのづから流る、といへるあり。所謂實參體得の佳き句なるべし。何といふ事は無けれど人を動かすなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○

我が家を立出でゝ人を訪ふ時の途すがらなど、何かは知らず遺れものを爲たりとは思ひながら、其の遺れたるものを思ひ浮め得で、あやしくも心にさゝ浪立ちて鎭まらぬことあり。既に遺れたりと覺ゆるからには其の遺れたるものをば知るべき筈なるに之を知らず、又何を遺れたりといふ事をも覺えぬからには遺れ物をしたりと悟るべき筈も無きに、何となく遺れたる事を知る。此の心地のあやしく奇しきを味はふに、恰も我は一つの我ならで、今の我のほかにまた一つの我といふものありて、彼の我の此の我に服さぬげに打呟やける如きを覺ゆ。事は異なれどもこれと同じやうに、人は其の求むべきものをば何とも知らぬながらに、猶あても無く其ぞとも知らぬ或物を求め得たしと思ふやうなる事あるものなり。人ほどをかしきものは無し。

○

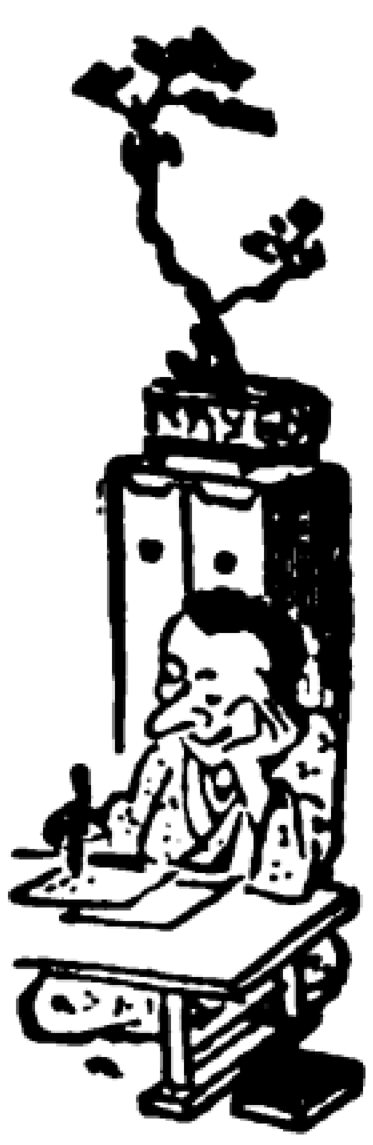
人に見えぬ心の中を惡くして行をよくするは易かるべし。人に見ゆる行は、たとへ宜しからぬやうに思ひ做され取り做さるゝとも、それにはかまはで我が心の中を善くせんとするは、却つて難きふしあるべし。孝子と云はれんよりは孝子と云はれずして孝を盡さん事難きもひとしほ難かるべけれど、めでたきもまたひとしほめでたし。

○

千の宗旦ある時露地を掃ける下部を呼びとめて、待て、其の隅の蜘蛛の巢一ッは殘し置けと云ひしよし。其の心入おもむき深し、おもしろし。

○

毒を喰はゞ皿までとは、いやし過ぎたる諺なり。毒を喰はゞ喉へ指やれとありたきなり。伊達政宗の蒲生氏鄕に毒を仕込みたる茶を薦めたる時、氏鄕は知りつゝ之を飲みしが、外に出づるとやがて西大寺を服して之を吐きし也。



Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文園

冬木立

待ちに待ちし天長節も、昨日と過ぎ去りて、節は初冬に入り、初霜おく頃となれば。池面の荷葉已に枯れて雨を染ぐる蓋なけれど、籬邊の菊花は、なほ霜に傲りて妍麗を競ふ、黄金の雲と見し銀杏樹は、一葉散り二葉飛び、姿漸く瘦せ骨日にあらはなれども紅葉の錦はさすがに色なほうつろはず。桑は功成り身退きて、將に麥に地位を譲らんとし、柿の全盛時代は既に過ぎ去りて蜜柑の世となりぬ。醫師の顏色や日に日に青くなりまさるらん。

萩も薄もたばねられ、あるは刈り盡されて庭廣げなるに小春の日影暖かに照り渡り、手水鉢の側なる山茶花の一つ二つ咲き初めたるは、またなく愛らしく。生き殘りたる蠅の夢の如く日向の窓を撲つは、いとあはれなり。此の日和をはづしてはと、糊付仕事を急ぐ主婦も多からんかし。

こゝの街、かしこの衢には燒芋の烟賑はしく。吳服店帽子店など冬物の陳列目新し、老人子供ある家は、はや炬燵あくるもあり。烟草盆は形ちを潜めて火桶漸く世に出づ。

かくて一日一日に霜稠くなるが上に、木枯の合方、霰の鳴物、時雨みぞれさへも添へて、荒涼たる冬の舞臺は開かれ、こゝに閭巷の細民、飢に泣き寒に叫ぶの悲劇を演ぜんとす。あなうたてや。

初冬の萩も芒もたばねけり　子規
初冬の竹緑なり詩仙堂　鳴雪
初冬や芋の廣葉の尚存す　桂株
初冬や絲切れて落つ釣鳶　三軒
初霜や菫折れ這ふ濱堤　文孝
一つ葉や一葉一葉にけさの霜　同
枯枝に青き鳥なく小春かな　鳴雪
小春風夢薄く人の顰みけり　松耶
小春日や庭にならべる芋がしら　藤翠
小春日や鍋釜ならぶ日向水　四友
薔薇やたばねあげたる桑の枝　子規

大根を注文する文

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

澤庵大根二樽分このはがき着次第御持參下されたく候去年の品は見かけによらずどれにも〳〵鬆の入らぬはなく一年中家内の小言を聞き申候間ことしは十分に品質御吟味下されたく直段は少々相はづみ申すべく候草々

手作りの蕪を贈る文

本年は私方天王寺蕪の種とりよせ試作致し候處存外の上出來にて老人大自慢に御座候昨日始めて餡かけにして總菜に致し候ひしに一同大受けにて候ひき魚鳥に事かゝせたまはぬ御厨にも野菜は格別と存じ四五株御目にかけ候御笑味下され候はゞいと嬉しう存じ候あら〳〵

枯野の姿

枯草狼藉として見渡すかぎり荒涼たる冬の野をなほも荒涼たらしめんとにや、昨日は時雨今日は木枯、霰さへもたばしる中に、小高き岡の一つ松のあたり、烟寒げに立ち上るは何人の茶毘にや。あはれを催すは鴫立澤の秋の夕暮のみかは。

冬木立一筋長き街道には、旅人の姿も絶え、荷馬の嘶く聲も聞えず、澁茶賣る老婆も店を閉ぢて何れへか去りぬ。はるか向ふの空には雪を戴ける山一きは高く聳ゆ。何れの國の山ならんか。

かくて夕陽影寒く炊烟遠村に颺る頃となれば、群鴉西へと急ぐ、知らず今宵、何れの枝に塒を求めんか。あゝ此の物淋しき光景、こゝよ嘗て霞たなびき陽炎燃えし野邊よ、若菜を摘み土筆菫を取りし處よと思へば、いかに樂天主義の人も榮枯盛衰の甚しきを感ぜざらんや。

もの〳〵ふの矢並つくらふ小手の上に霰たばしる那須の篠原　實朝

白々と國道長き枯野かな　虚子
枯野道茨に鳥の叫びかな　山桃子
むら鴉枯野かすめて西しけり　有節
馬の背に夕日帶び行く枯野哉　景水
雲かゝる山の高さや枯野原　女羊
風やちらばつて行く野の鶏　得中
こがらしのあるゝが中に夕日哉　弁鳳
籾ほしたあひまく〳〵の枯野かな　桂山

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

利根川の左右に開く枯野かな　明庵

川一筋夕日に光る枯野かな　井風

冬枯や森見一片の夕畑　来雪

冬の夜

節大寒に入りてより寒威俄に強く、夜は一しほ身にしみて堪へ難きを暖爐焚き得べき身にあらねばさゝやかなる火桶を側に、燈火に向ひて書讀み物書かんとするに、指さき龜縮りて筆の動き自由ならず、硯の水も氷らんとす。門前のぬかるみ、はや凍てつきぬらん。往來の人の下駄音、か



橋なりて渡しの舟は影たへて
人なき小屋に秋風ぞふく

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らからと高く響く。湯戻りの手拭またゝく間に凍りやせん。

夜はやう〳〵更けゆき、寒さはます〳〵募る。孤燈の油將に竭きんとし。埋火は螢のごとし。いつも來る辻占賣のあはれなる聲も今宵は聞えず。按摩の笛、鍋燒うどんの賣聲さへ絶えて、萬籟寂々たり。いざとて臥床に入るに、障子の隙漏る風寒く、とみには眠られず。さま〴〵の事思ひ浮ぶるをりから、かすかに聞ゆる早鐘の音二つ三つ。それかあらぬかと耳澄ます中に、近くにても激しく打ち出す。すはこそ火事よと、身慄ひしながら物干臺などに登りて見れば寒月霜の如く萬家の甍を照し、はるか向うには一道の火光天を焦す。知人の家の方角にもあらねばとて再び枕に就くに、やがて鎮火やしけん、鐘の音は止みて、天地またもとの寂寞にかへる。唯秒を刻む時計の音のみ耳だちて響き、飢へたる鼠は寒げに鴨居を傳ふめり。

都大路の中だにかやうなるを、家まばらなる寒村、森に梟の聲物凄く、田の面に狐の鳴きわたる我が故鄕の淋しさはいかばかりかならん。そこにまします父上母上は、寐覺がちに、この身の上を語りあひたまはんかなど思へば、身は都にあれど魂は故鄕の空に飛ぶめり。

旅に病んで夢は枯野をかけめぐる　芭蕉
屋根の上に火事見る人や冬の月　子規
戸をあけていのころ入れる冬の月　松園
凩や夜をいましむる柝の音　花村
狐とよ狸とよ寐覺語る人　九品太
鍋燒の行燈をうつあられかな　子規
秒を刻む時計の音や夜半の冬　童子
病む妻の譫語寒き夜伽かな　由人
提灯に手をあたゝむる寒さかな　胡子枝
亡國の史を讀むさむき机かな　吐月
凍る夜の夜靜かなる筧かな　碧々
冴ゆる夜や佛をかぢる古鼠　雷死久
火事近く雨戸を漏れて障子赧　紫人
埋火の寒燈豆のごときかな　鴉雨

田家の冬

黃金の雲と見まがひし稻は皆刈り取られて、田の面にはかに寒げなり。髮ふさ〳〵と伸したる人が俄に發心して頭剃りこぼちたる俤あり。わづかにあはれを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

留むる刈株さへも、きのふの時雨、けふの霜に色やうやう黒みゆきて薄氷に閉ぢらる、畔に穂に群がりし蝗やいかにせし。こゝかしこ積藁悄然として立ち、桔槔空しく天を仰ぎて、其の梢に鴉の一羽とまれるなど、よき詩料畫趣とはいへあはれはいと深し。鎮守の森、落葉して赤鳥居一きは目立ち、お寺の鐘樓冬木立の中にあらはなり。隣りの村も間近く見ゆ。

村はづれの小川、水枯れて河原に點々たる足跡を印し、蛇籠寒げなるあたりには枯尾花、風に戰ぐ。何をあさりてや名も知らぬ鳥のこそ〳〵と荊棘の中を飛ぶなど、淋しさいはん方なし。

されど農家は皆既に門邊に藁垣造りて、冬構に手落なく。納屋には幾俵の米を貯へて未だ糶せず。軒下には一冬を凌ぐべき麁朶を積む。大根も漬け味噌も仕込み。芋牛蒡さへ圍ひて、一家唯爐邊に春を待つのみ。

外淋しくて内暖きは冬の田家にぞある。

刈株を鶺鴒わたる薄氷　綠葉耶
藪陰の水車とまりて氷柱哉　采金
氷りける田面〳〵の朝日かな　晴月

鳥居にも大根干すなり村稲荷　鳴雪
古塚や冬田の中の一つ松　同
冬川や鮎籠の上の枯尾花　同
干蕪にならんで釣りし草鞋哉　同
鳥を投げて鳥死なんとす冬田哉　子規
冬田氷る東海道の右左　虚子
旅平の墓はしぐるゝ冬田かな　同
隣村のあからさまなる冬田かな　碧童
猪狩の火焚く冬の山田かな　八重櫻
冬の田や石ところ〳〵あらはれぬ　別天居
壬生菜洗ふ冬田の溝や西の京　井々
冬川に鴨の毛かゝる芥かな　子規
冬の川河原に倒れ柳かな　六花
飛々の石に雪あり冬の川　子洗
冬川や高き銀杏の影沈む　虚子
むらからす塒にかへる夕暮に飛ふ一むらは木の葉なりけり　默軒
山里は松の聲のみ聞きなれて風吹かぬ日はさびしかりけり　蓮月

冬の家庭

北風朝に雪を送り夕に霰を飛ばし、軒には氷柱の玉簾を懸け、手水鉢の水、氷れるが上にも氷りて幾日も融けざる寒中を、人はいかにか送る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

千島のはて樺太のきはみはいふも更なり、東北の寒國などは、せうことなしの冬籠、人は皆積雪丈餘の中に蟄居して佗しき日を送るならん。夏の耘り秋のとりいれに汗水流しゝ農夫は、前の勞苦にひきかへて今の安逸、唯爐邊に繩綯ひてゆたかに春を待つならん。古き柱により添ひて俳想を錬り、瓢の米の有無を意に關せざる俳人もあらん。史記よむほどの米はありとて、子供が餅をせがむを知らざる學者もあらん。衣食に事缺かぬ樂隱居は、炬燵に籠城して物語の書をひもときあるは福壽草、水仙をいじり萬年青の手入して樂しむべく。位高く、富ある人に至りては、室に厚氈を敷き詰め暖爐を設けて、和煦、春の如くなるも尙ほ足れりとせず、冬暖き海濱の別莊に避寒するもあらん。

されどさるきはならで、其の日其の日の働きに衣食する者は、職業の如何を論せず地位の高下を問はず、冬なればとて寒中なればとて、よしや風吹き雪飛びみぞれ降り霰たばしればとて其のあるじたる者、一日の業務を怠るべきにあらず。隨て其の主婦たる者の勞も亦容易ならず。

まだ夜の明けざるに臥床を出で、齒の根も合はぬばかりの寒さをこらへて、井戸端に米を洗ひ、竈の下に薪さしくべて燃さんとするに、何に濕ひてかマッチは摺れども／＼點かずやう／＼にして焚きつけ、飯も汁も主人と子供との辨當の用意なども出來上り、さて漬物をと、桶の中に手を入るれば、鹽水、肌に浸みて指もちぎれんばかりに痛し。されど此の寒き日に、わが夫わが子は、雨を冒し雪を衝きて、役所に學校に工場に、はた其の他の業務に出でゆくよと思へば、家に居る身の勞は物の數ならず。

今朝の厨を片付けしばかりよと思ふに、はや正午となる。そこ／＼に午飯を濟ませ。幼き子の襤褸の汚れたるを洗ひ、シャツの綻を繕ひ、足袋の破れを綴るなど、あだに過さぬものから、冬の日の短くて、四時にはゝや夕餉の用意すべくなる。何はなくとも溫きものをと、一と皿の牛肉、半陶の酒を用意するもあるべく、さなくとも、かす汁、納豆汁、風呂吹さては雜炊芋粥

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

など、分相應に調へおけば、頬も唇も紫色となりて歸り來る子供も、一日の務に疲れ寒さに慄へながら歸り來る主人も、まづ夕餉の膳に向ひて全身を溫め元氣を恢復す。夕餉はてゝ後は、火鉢を圍みて、新聞を讀み今日の出來事を語りあふもあるべくなほ一燈を分ちて夜業するもあるべし。要するに冬は戶外の樂少さだけに家族團欒の情味は却て深し。風吹かば吹け、雪降らば降れ、春風和氣の靄然たる家庭は寒くも覺えず冷たくも感ぜず。



冬ごもりまた寄りそはん此の柱　芭蕉

蠅一つわれをめぐるや冬籠　暁臺

冬籠史記讀むほどは米もあり　闌更

仁齋の心になつて冬ごもり　旅男

猫も動かで丸し冬ごもり　野坡

汁鍋のあとむつかしや冬籠　凉莵

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夜具や熊二頭寝て冬ごもり　化羊
冬籠妻と一燈を分ちけり　青嵐
冬籠酒の粕などもらひけり　蘇村
李朔にまた此の冬を籠らんか　臥天仙
雑炊に魂入るや寒の内　盧于
ストーブや油繪の額の山眠る　酔佛
縫物の背中にしたる炬燵かな　子規
出勤にしばし間のある炬燵哉　鳴雪
紅顔の兒孫相倚るこたつかな　四方太
炬燵から猫の鼠を叱りけり　米志亘
後には妻が機織るこたつかな　臥天仙
新妻のこたつに倚れば眠りけり　へき
埜濱の石に懸しや男の手　可笑
風呂吹に冷たき腹のふくれけり　格堂
冬ごもる米のとぼそをまれにあけて竹に積れる雪を見るかな　眞淵

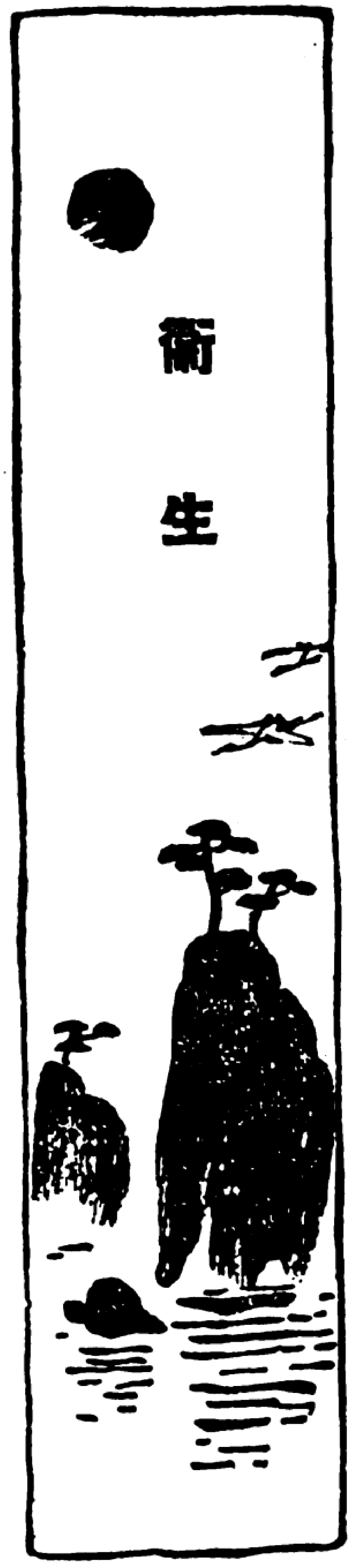
寒中見舞の文

昨日今日いかに寒くおはさずや御宅御一統樣御障りもなう渡らせられ候や此の寒空を役所に送り候主人さては學校に通ふ子供の事を思へば、家に居候身の寒しといはんは勿體なく候へども御承知の胼性の私水道の水の冷さに縮みあがりて厨の事もつい不性がちに御座候あなた樣には御手一つに御老人樣と御ちいさいのとをかゝへての御立ち働き一しほの御辛勞と御察し申上候隨分御身大切に遊ばされ候やう祈上候時分がら御見舞までかしこ。

女官の嗜み

青山なる東宮御所に仕へらるゝ、某といふ女官の御許に、去年或る筋の令孃を召上げられ朝夕の介錯を命ぜられしが、此令孃は未だ里に居たる頃好めるまゝに造花の術を學び、殊に堪能の聞えありしが、今官仕の身となりても暇々には四季折々の花を拵へ、御苑に咲りの八千草と其艶妍さを競ふをもて此上なき樂みとせられし程に、此事何時しか同御所の語草に謡はれ、秋草の露や散らんと疑はるゝまで愛たき出來榮に我も〳〵と此術の傳授を望まれ、始めて女官附の令孃方のみ打集ひて勵み習はれしが、何時か其の主女官方も興ある事に思ひ做され、同じく纎手に糊を抓み綴を握り給ふ事とはなりぬ、此事宮城なる　兩陛下の御下に仕へらるゝ女官方に聞えたれば、還は面白き御嗜やは後れを取る可きと、直に此術に詳しき令孃を一人ならず召上せられ、頻りに勵み合ひては種々の名花を造り出され、大内と青山と何方の造花咲勝るかと心々に挑み合ひ居らるゝ由昔物語にしても讀ま欲しき事ならずや。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



心理研究

素人人相學

糸左近

はしがき

▲何せ素人の二字を冠らせたか＝石龍子先生などの如くに斯學の蘊奥を極めた方なら、人の頭に觸れたり人の手掌を眺めたりして『貴女は斯樣云々である』と言はれても人は信ずるけれど、我等の樣な者が然うしたら『失敬なッ』と一喝せらるゝに相違ない、所が手輕な一法が有つて、人の身體には少しも觸らず、唯對座してるばかりで「ハヽア成程あの人は斯うだな」と推測することが出來る、余は其法の一斑を述べて見ようと思ふ、畢竟それを覺えて人より判斷の依賴を受ける望みでなく、唯人と交際する上に於て己の注意に備へようとの爲だ、これ素人の二字を冠らせた所以である。

▲人の身上を判斷出來るか＝否々黑人の如くに『貴殿は劍難の相が御座る』とか『行末五人の子福者になられます』などゝ未來の吉凶禍福を知る法では無くて「あの人は油斷のならぬ人だ」とか「分別のありさうな人だとか」と只今現在の性質を窺ふまでゝある。人は見掛に由らぬものだ」との諺もあつて、優しさうな蟲も殺さぬ的の女が案外にも却々の剛者であつたり、或は鬼とも組まんずる恐さうな男が殊の外慈悲深

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

くあつたりすることもあれど、そはまだ觀相の法が足らぬのである、少し研究すれば十中八九までは當るもので、却つて黒人が未來の判斷をするよりも確かであらうと思ふ。

▲何を根據にしたか――余は斯學に興味を有つてる爲に、西洋のフレノロジーや、東洋の人相學を聊か調べて見たこともあるし、それに己が職業の生理學診斷學の知識を借り、且つ三十餘年來の實驗したる歸納を交へて、其等是等を根據にし、其中で、前にも述べた通り、人の身體に觸れねば了らぬ事柄を除き、極めて平凡なるものを選び、而も其の一班を説くのである。

▲現在の人相は變るものか――然り精神の變化すると共に、人相も亦變化するは確かで、疑ふべからざる事實である、併しながら、その變化するに就いては二通りある、即ち一は時々刻々に變る相、例へば今笑うてゐたれど急に腹の立つべき事柄が出來し、それが爲に其の相好が一時變る如きをいひ、今一は比較的永久で、例へば時にニコ〳〵笑つてることとあつても、其中に何となく憂愁の相が離れぬ如きをいふ、而して其一時的が積み重なると永久的になるものである、例へば何時もガミ〳〵怒つてゐたり、或は絶えずクヨ〳〵心配してると、其部の筋肉なり皮膚なりが惰性となつて、護謨の彈力を失ふが如き狀態となるやうな道理である。

▲眞似をすれば本物になる――右の如き次第であるから、腹が立つても可成忍耐して笑顏を作り、心配な事があつても快活さうにして居れば、人相はそれに從ふのみならず、何時の間にか腹立も止み、心配も少くなるものである、故に又腹の立たぬのに怒つて見せたり、心配も無いのに憂顏を裝はふとすれば遂にそれが本物となつて、永久的の人相となるは爭はれぬ事實である、然れば何人も品格の氣高い君子、優しくて靜やかな淑女の眞似をせられたいものだ。

本論

▲坐り樣――初めて逢つた人の性質如何を知るには、第一に其人の坐り樣を觀るが肝要だ、乃ち男であらう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と、女であらうと、正座してると、胡座かいてるとに拘はらず、スワルトバートルと、瘦せこけてるとに論なく、其坐つた樣が、何處かに貫目があつて、泰山の巍巍たる如く、少しも動かぬ的の素振があつたらば、心の沈着いた度量の大きい人である。之に反して整然と坐つてゐても、絶えず總身をピク〳〵動かしてる的の者がある、斯かる人は其の決斷力甚だ乏しく、精神は更に沈着かず、イザといふ場合には、周章狼狽き、



爲す所を知らぬ人だ。又坐つてゐながら煙管を廻したり、痒くもない頭を搔いたり、或は扇をバチクリ、疊の塵拾と來ては、取るに足らぬ所の賤しい相である。序に膝相も一寸述べておきますが、兩方の膝頭を少し開く氣味に坐つてる人は、豪邁な質に非ずんば、傲慢である、兎に角女の方には餘り好ましからぬ相だ、さりとて兩膝を餘り密着させて、縮こまつてる的も必らず小量の人で、これ亦宜しからぬ、若し夫れ坐つてる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

中に何時しか片膝を立て、四方八方キヨロ〳〵見ながら、手眞似足眞似をして話すに至つては論ずるまでもない小人である。

▲頭の樣＝＝西洋のフレノロジーに述べてあるのは前頭部は智力、顱頂部は意志、後頭部は感情と分け、其中を又數十通りに區別し何處其處が發達してるから戀愛の情に富んで居るとか、斯々の部が發育して居らぬから、德義の精神が薄いとかといふやうに論じてある、成程頭は腦髓の宿る處なれば、人相を觀る上に於て、最も大切なる事なれど、スツペラポンと髮を剃つて居ればいざ知らず、大抵の人は、丸髷なり廂なり乃至は斬切にしてゐるから、例の手を觸れて見ぬ以上は、容易に判斷出來ぬものなれば、余は今爰に頭の相といふよりも、寧ろ頭の樣を見ようとするのである、頭の樣とは、頭を如何なる狀態にしてゐるから斯うだといふ極めて見易い相を申すのだ。さてその頭を何時も前に垂れてるは余の申すまでもなく憂愁の相で、思案投首とはこの事であらう。次に頭を前後所方に動して、物言ふは思慮分別の少き人で、古の書物には男女共に淫也と書いてある、余の實驗に徵しても「あらさう」「あたし厭よ」「其樣な事知らなくつてよ」などゝ頻りに顎振りながら、喋々喃々してる人は、女で例を擧げて見ると、料理屋の酌婦、我儘娘などに多い、讀者諸姉よ、何うかお氣をつけて余の申すことが當るか當らぬかを試して下さい。次に頭を屢々左右に、或は後方に顧る如き風をするは、其の言ふ所に僞り多く、或は人の惡口を告げたがる相だ、これは其の源を探つて見ると、嘗て屢々心に恐るゝ所有つて、誰か人の聽きはせぬかと氣遣うた結果が積み重なり、遂に正事を述べる時にも、斯る賤しい相を表はすのであらう。次に頭を左右に動したり、或は頭を振り廻すやうにして「マア可愛い坊ちやんだこと」「貴郎は品の好い殿御だことねー」などと、白々しくお世辭を述べるは、取も直さず陰になると、ペロリ舌を出す的の男女である。次に頭を眞直にして、少しも動かさず、銅像の坐せるが如くにしてゐるは、剛者の風で、而も正直な相、斯かる人の「マ

「可愛いお子ですな」と褒めるは、心から幼者を愛する美情の溢れたのである。次に頭を少しく垂れ氣味にして對坐してるは、愼み深き相。餘り垂れ過ぎるは後暗き所ある人。之に反して頭を擧げながら何處見るともなくキヨロ〳〵してるは愚鈍の相。目上の人に對しては頭も身體も共に前屈する一方で、目下の者に向へば、頭を後方に反らし顎で返事してる的は、奸佞邪智の相、斯かる人には少しも氣を許されぬものである。又、人と對坐してると、してゐぬとに拘らず、少し垂れ氣味なるは謙遜で、而も智慮深き相、「實る程下を俯向く稲穗かな」は恐らく之を詠んだものであらう、併し憂愁の姿と自ら區別あれば、間違へてはなりませぬ。

▲眉つき――眉は生理上何の爲に有るものかは眞に分らぬ、或人は前額の汗が流れて目に入るを防ぐ爲に有るのだと說明すれど、之を剃つてゐたとて別に眼病に罹る譯でもないから、此說の果して眞なりや否やは矢張了らぬ、斯の如く生理上の曖昧なるものなれば、從つて人相上に於ても餘り緊要な役に立たぬものらしい。併し古來より人の言ふ所に從へば、兩眉の間が近く、而も顰む者は憂愁の姿。その開くは快活の相。立つは憤怒の貌。垂るゝは愚蒙の様なりとあれど、これ眉の如何にあるのでなくて、皺眉筋や前額筋の伸縮に在るのだ。又その濃きは剛邁、濃からず薄からず其中を得て、且つ新月形なるは柔和、長く伸びるは長命の相だとも言ふけれど、余の實驗に徵すれば、之に當嵌まつてる人と當嵌まらぬ人とは半々である、諸姉の御實驗は如何であるか、御報告を受けたいものである。

▲眼つき――眼は五官器中の最も大切なる物で、智慧を取り入れる所の大門である、鼻や舌も生命を繫ぐ上に於ては、勿論大切なれど、智慧を取り入れる點に至つては、遠く眼に及ばぬ、されば古來より、眼には情意の宿る所として、人相家は最も重きを置くのだ、啻に人相家のみならず、醫道に於ても診斷の材料としては、甚だ大切な器官である、何れ余は「眼の話」と題し、眼のみに就て、その生理衛生から診斷人相に亘る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

まで、詳しく述べませうから、今は大に略し、唯少許り誰でも知つてる事柄を申しておきませう。

東洋の書物には何れも「眼光炯々人を射るが如きは威也君相の相也」と書いてあれど、其炯々に二通りも三通りも有つて、奸賊の眼も何處かに炯々たる所があるし、英雄豪傑の眼も勿論炯々、或は發狂者の眼も亦炯々、其故に其の區分が却々六かしくて、實物に就て説明せぬと了らぬ、況んや余の拙い筆に於てをやだ。

次に視線が常に人の胸を射る如くにして對話してる人は心正直で目的の變らぬ相。次に視線が何時も我膝を見る如くにしてゐるは心配あるに非ずんば、何か相手に難題な事を依頼しようとするのだ。相手の顔面を射るが如くに對話する者は其心の殘酷なるを證するに足る。俯して窺ふが如き眼付の人は男女に拘らず一癖あるの相で、斯の如き者と事業を共にしたり偕老の契を結ぶことはなりませぬ、結べば必ず末全からぬと知り給へ。次に視線を相手の頭部に注ぐ如くにして對話する者は傲慢で上に諂ひ下を虐ぐる心情の人、斯る男を夫にすれば泣きの涙で暮さねばならぬし、斯かる女を妻にすれば日を經るに從がひ不貞腐れになるものだ。それから又眼をキヨト〳〵させて驚き見る風をする者は言葉に虚僞多く、顔は相手の正面に對すれども瞳孔を上に擧げて眼球の下部を白くしてる者は其心邪惡、教育の如何に依ては白刃を閃かすやうな大賊にならぬとも保し難し。眼球を前へ押し出すやうにし下眼瞼の豐隆したるは辯説に巧みなるの相、されど此の理由を余は説明することが出來ぬ。眼球が横に長く眦に皺ある如きは其心其徳の圓滿なる相、聖賢の像を見ると皆斯うなつてゐる。其他三白だの四白だの或は秋波だのといふこともあれど、先づ眼は此位にして次は顔全體を纏めて申さう。

▲顔全體＝毛の生際から眉に至るまでの額全部が廣く、而も平坦に發達してるは智力があつて物を比較し或は分類分析するの能力に富める相。左右小鼻の幅廣く口は何物かを含めるが如くに見え、視線を徐ろに側より側へと運ばす的なるは物事を秘密にする人だと西

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

洋のフレノロヂーに述べてある。口の両角が斜に上に反りをる者は滑稽の情に富み。上下の唇は堅く閉ぢて力ある如きは決断力あるの相。上唇の赤き部分が上方へ吊り上げられてゐるかの如くに見ゆるは名誉を好むの心強き人。咬みつきさうな口付してるは破壊力に富む人なれば急劇に攻撃せねばならぬ事柄を処置せしむるには持つて来いだが永久に仕上げんとする業務を任せては到底駄目である

下顎の肉や骨が大に発達し且つ大きく或は四角に或は前に突出してゐるは肉慾強く、それが為め酒食に身を亡ぼし易い。又顋顬及び頬の下部の肉が人並より肥え膨れてゐるは暴飲暴食而も美味を欲するの相で、これ亦餘り好ましからぬ事と謂はねばならぬ

懸賞絵さがし (1)



其他人中（鼻の中隔より上唇に達せる溝）の深きは長命で鼻唇溝（鼻翼の根本より口角の端に懸る溝）の判然としてゐるは怜悧であるなど一々例を挙げて居れば際限がないから大方に略して言葉遣に移らう。

▲言葉遣――「訥は奇妙の門なり」とか「言訥にして行敏ならんことを欲す」など〻東洋では言葉寡きを善事としてあれど、これも程度問題で、餘り寡ければ客に

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

對して無愛嬌、物事を說明しても其意を盡されず、斯る人が學校の敎員となれば生徒の不仕合、斯る人が國會議員となれば惡政府の幸ひ、故に我が素人人相學で論ずると沈默に失するは臆病で且つ智力少なき人と判ずるのである。さりとて餘り多言すれば實行に乏しき人なるを證するに足る。故に無用なる事には簡默で、客と對話してる時には可成相手をして倦まざらしめ樂しからしむる範圍に於て快活に述べねばならぬ、中には一方より色々工夫して話しかけるにも拘らず『さうです』の『です』さへ惜んで言はぬ人もあれば、又反對に一方より何等の言葉を挿む餘地なきやうに滔々と浴せかける人もある、此等は返す〳〵も宜しからぬ事だ。次に言葉遣が柔和で即ち猫撫聲でそれで何となく圭角あるは奸慝なるの相、過日も某活版所の職工長が來て『イヒ、、、私は○○活版所の○○と申す小僧で御座いますが先生閣下には色々御著述遊ばされますが何卒御用仰せ付けられたいものでエヘ、、、』と其の言葉は柔和で謙遜で尊敬を盡して居れど余は何となく癪に障つた、何となれば謙遜とはいふもの丶職工長たる者が小僧とまでいふ必要もない、又余の如き者に向つて閣下呼はりをするからである。次に聲高くして耳に障らず更に淀みの無きは正直で且つ健康なるの相音調低くそれでベチャ〳〵巧みに媚ぶるが如きは心に簇あるの證。概して辯舌を急ぐが如きは小量の人。男子でありながら女音を帶ぶるは淫亂にして柔弱なり、女子にして男音を帶ぶるは夫を輕侮する者に多く所謂變性婦人だ。未だ坐定まらざるに物言ふは輕忽で而も決斷力に乏しきは確かである。其他其音の腹底より出るが如く其調の簡明なるは將相の相で乃木大將が旅順の包圍に三軍を指揮せられた聲は斯の如き聲ではなかつたか、其音の訴ふるが如く泣くが如きは必ず悲觀沈衰の聲だ、寒天に單衣物一枚着ながら懷の壞れは有りませぬかと叫ぶ聲はこれ此聲に違ひない。尙ほ言ふべき事數多あれど次は笑ひ樣の章に讓るとしやう。

▲笑ひ樣――笑ひ樣には四十八色ありといふが余は其の四十八の何々たるかを知らぬ、けれども其の笑ふ樣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

最上醬油元祖

宮内省御用達

内外國金銀賞牌ヲ有ス

開業二百六十三年

千葉縣銚子町

釀造元　濱口合名會社

婦人世界第六號（昨年六月三日發行）婦人の日常生活中「十五」の條に**弦齋居士**が（髮の油は何を用ゆべきか）の題目の下に其の効能を確認せられし**賛辭**あり參照あれ

純粹椿

三宅油



◎近來僞物販賣する商店あり御買求の節は三婦人の商標に御注意を乞ふ（◎升賣は本舗のみに御座候）

定價

改良大瓶一壜金八拾五錢　小包（内地）拾二錢　（滿韓臺灣）卅五錢

中　瓶一壜金四拾五錢

小　瓶一壜金貳拾五錢　料八錢　三拾錢

◎爲替は東京蠣殼町郵便局宛郵券代用壹割增

本舗　東京市日本橋區人形町通り水天宮際　**間宮三宅堂**（電話浪花六二〇番）

女（わの一一）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新案景品付袋入繪葉書

惠美須ふくろ

一袋 金十錢

●趣●味●の●庫●

●惠●美●須●袋●は●趣●味●の●庫●也。縦は五寸、横は僅かに三寸に足らず、而も此渺たる一個の紙袋、内を開けば滾々として不盡の趣味！！各種繪葉書の粋美を蒐めて洩すなきと共に、千樣萬種の大景品を包藏せり

●寶●の●山●

●惠●美●須●袋●は●寶●の●山●也。高尚優雅の樂みに加へて、濡手で粟の摑み取り、珍品珠寶は實に茲にあり。眞に娯樂と實益、趣味と實利の理想的一致ならずや。寶の山に入つて手を空ふせざる人々は、惠美須袋を購ふべし

●鰕●で●鯛●

●惠●美●須●袋●は●鰕●で●鯛●也。價を問へば僅に十錢、而も其獲る所は實價以上の繪葉書に添へて、思も掛けぬ寶の數々。購ふ人の喜悦の情、恐くは惠美須太郎が鯛釣つた其時の笑顔にも優るなるべし

●百●發●百●中●

●惠●美●須●袋●は●百●發●百●中●。嚢裡に物を搜るが如く五萬袋に唯つた一つも無駄有るなし。實にや大地を叩く槌は外れても之れのみははづれざる也。斯くも萬遍なく購求者の滿足を計る弊會の苦心、願くば普遍なき御贔負を

▲景品目錄▼

（甲種景品）

▲一等	三越呉服店切符（金二圓）	二十個
▲二等	博文館圖書切符（金二圓）	五十個
▲三等	東京寫眞帖（金一圓五十錢）	百個
▲四等	アルバム（金九十錢）	二百卅個
▲五等	ポケットブック（金卅五錢）	三百個
▲六等	葉書帖（金二十錢）	五百個
▲七等	ポケットブック（金十五錢）	八百個
▲八等	ゼーム（金十錢）	千個
▲九等	ノートブック（金五錢）	千五百個
▲十等	書簡袋（金二錢）	二千個

（乙種景品）

▲一等	正金（五十圓）	一人
▲二等	銀側懷中時計（金十五圓）	一人
▲三等	縮緬兵兒帶（金十圓）	一人
▲四等	世界現勢地圖（金六圓）	一人
▲五等	ヴァイオリン（金五圓）	一人

●乙種は惠美須袋の裏面に貼用しあるペーパーを四十年一月十五日迄に集められたる最多數者を一等とし順次に下り五等に至るものとす

●賞外にはペーパー百枚に付金廿五錢の割合を以て博文館又は日本葉書會にて商品と引替致すべし

▲當選者は四十一年二月一日發行のハガキ文學にて發表致すべし

發行元 東京小石川久堅町 日本葉書會

發賣元 東京日本橋本町三丁目 博文館

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

DIARY 1908

英學新報社編纂

歳暮、クリスマス、新年等の贈遺に適す

明治四十一年 英文當用日記

本社英文懷中日記を發刊するや茲に年あり、昨冬世は本社を促して更に當用日記を發刊せしめたり、而して其如何に歡迎せられたるかは、旬日を出でずして初版數千部を賣り盡したるを以て知るべし、今や愛用諸君子の恩顧に酬ひんが爲め、内容體裁大に改良を加へ面目を一新せり、而して卷頭卷末の附錄に至りては日用必須の事項を網羅し、他の日記に求むべからざる者少なからず、恰も日記にして百科全書を兼たるの觀ありと云ふも可なり、小形の懷中日記と自ら其用を異にせり、紙質裝釘共に遺憾なからんとす、乞ふ倍舊の愛顧を垂れ給はんことを。

四六判舶來紙
特製總布表裝
體裁頗優美
定價金五拾錢
郵送料八錢

明治四十一年 英文懷中日記

數年前本社率先して英文日記を發刊するや、或は最美の日記と、或は完全に近しと賞賛せられたり。爾來年毎に改良を加へ、愛用諸君子の恩顧に酬ひしは今更贅言を俟たざる所なり、今や百尺竿頭更に一歩を進めて、挿繪せる偉人の肖像其數を倍加し、金言玉句最精撰せられ、卷末附する所の實用和英辭彙又大に增補せられたり、用紙印刷裝釘の美は他に其類を求むべからず、願くは倍舊の愛顧を賜はらんことを。

細小形舶來紙
特製總布表裝
優美携帶至便
定價金三拾錢
郵送料四錢

賣捌所は全國到る所の書林雜誌店に有り

發兌元 東京本町 博文館 東京神田 東京堂

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



造花及半製品

造

染具材料卸小賣

造花裝飾用達

花

東京市九段坂

吉住商店

營業目錄は御申込次第御送付可仕候

天下一品
最上醬油

釀造元
千葉縣野田町
茂木佐平治

賣捌所は各地とも有名なる酒醬油店に有之候

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を見て彼は如何なる性質であるかの判斷は大抵出來る積りである。乃で口を開いてアハヽと高く笑ふは正直なる人だ、男には差支なけれど女には少し見惡いから其の口に手を覆うて笑うて頂きたい、口を開いて笑へども手を以て覆ふは正直で謹愼なるの相也と古への書物にも載せてある。口を閉ぢ或は少しく開いて笑へども其の音調の振動するが如くに響くは剛者の風、大山大將や東郷大將の笑は此種の笑であらうと思ふ。大に笑ふはその度量狹く、さりとて男子にして優しくオホヽと笑ふは佞者なるを示し馬の嘶くが如くに其調に波を打つは破壞力に富めるの相。莞爾々々として笑ふは悠々迫らざるの度量ある證で男と女に拘らず必らず末頼母しき人である、されど之に嬌けた所があつたら猥りがはしい心に相違ない。次に俯向いて笑ふ者には虛僞の人多くウフンと鼻で笑ふは傲慢であることは誰も知つてる事笑ふ中に何處となく淋しい様を呈するは悲觀沈衰の人。笑ふて體を崩し或は膝を叩き或は反身になるは愚蒙で小量で取るに足らぬ所の小人である可笑しくもないのにニヤ〳〵笑つて人の頭を見詰めてゐるは發狂者で無ければ奸佞の奴である、余は此種の人を大いに惡む。笑へば眼中濕ひ大ひに笑へば涙を流し泣くのか笑ふのか分らぬ位になる人がある、斯の如き人は心身共に柔弱なるの相、大いに衞生を實行して身體を强壯にし大いに精神を鍛錬

懸賞繪さがし　(2)



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して胆力を養はぬと不幸短命に世を終らねばならぬ。此の他追従笑だの愛嬌笑だのと一々數ふれば澤山あるけれど大抵前述の中へ當箝らうと思ふ、讀者諸姉よ何うか右の中で善い方の笑方を稽古せられたいものだ稽古して習慣になれば精神も亦之に從ふて變化するものである。

「女代診」が柄にも無い人相談を申し上げ甚だ失禮致しました、其代り來月よりは又有益な衛生談を述べませう。(完)

季節衛生

今や秋過ぎて冬に移らうといふ過渡時節即ち變り目の氣候である。變り目の氣候殊に秋より冬に移らうといふ時は四季中でも最も注意をして衛生を實行せねばなりませぬ。何となれば弱い身體であると直に寒冒や熱性病に罹り易いし長らく病つてる人は此時に此世を去ることの多いものであるからである。

▲何うすれば寒冒を防がるゝか‖寒冒を豫防するには第一に皮膚に垢を溜めぬやうにせねばならぬ、垢を溜めてると發汗作用を妨げ身體の熱を調節することが出來ぬ故に其熱は體内に籠り攝氏の體温器で計ると、三十八度乃至は其れ以上にも上るやうになる道理。第二に皮膚に寒冷摩擦を施し、皮膚の抵抗力を作るが肝要だ、斯う申すと夫は冷水摩擦の事だらうそんな事は耳に胼胝の出來る程聞いてると言はれうが併し早合點し給ふ勿れ、唯冷水を塗けて摩擦するのみでは却つて寒冒を招くことがある、即ちその方法が惡ければ折角の目的を逹せられぬものである然らば寒冷摩擦の方法は如何曰く朝起きるや否や直ちに冷水で口嗽を爲し且つ齒を磨いたら薄着になつて滿身の力を籠めて鐵亞鈴でも振るとか或は走るとか或は鞦韆でも行るとかして大いに運動すれば薄着なるが故に皮膚には冷風の刺戟を受けて居れど發汗淋漓として流れ更にその寒さを感せぬ、斯うして少し疲勞を感じたら之を止めて例の冷水摩擦をするのだ、同じく摩擦するにも力を入れてキユツ〳〵と拭けば恐ちけぬものである、斯

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の如く冷風に吹かれ冷水に浴びながら寒さを感せぬ工夫をするが即ち寒冷摩擦である、斯ういふやうにして居れば感冒はおろか皮膚病其他色々の病を豫防するものである。

▲運動をすればお轉婆になりはせぬか――女子たる者が鞦韆をしたり走つたりして寒風に吹かれながら發汗する程運動をすれば精神も荒つぽくなつて身體も瘤々としたる形に變じ優しき姿の除れはせぬかと氣遣はるゝ方も有れどそれは餘計な心配である運動する人は精神が快活で邪まな情は除かれ筋肉は締つてデブ太りにならず却つて美しき姿になる者である



懸賞繪さがし(3)

現に私が柔術を教はつてる先生の奧樣は一寸見た所では言語の優しく動作のナヨ〳〵と如何にも女性の本分を顯はしてゐらるゝが常に鍛へてある柔術の爲に身體は强壯、腕力は秀で過日も「すり」が女と見て侮り懷中の紙入を取らんとする一刹那腕を押へて取つて投げられたる雄々しさは實に男子も及ばぬ立派な膽力、家にゐて四人の子供を養育し綢繆纏綿の情を良人に注いでる婦人とは思はれなかつたと見し人の噂である

話變つて、

▲小兒老人も寒冷摩擦を爲すべきか――否

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

否、小兒老人は溫湯摩擦をするが宜い、溫湯摩擦をなし終らば尚一層に重襲して身を溫包し約一時間は寒風に觸れぬやうにし約一時間も經てば注意して外出すること肝要である、尚又薄弱なる小兒老人であつたら此の溫湯摩擦も止めて臨臥の入湯位にしておくが可い、併しながら若い時より練磨の功を積んでる人ならば此の限りで無い、余は百歳にならうと百五十歳にならうと生涯寒冷摩擦を廢せぬ豫定である。

▲寒冒に罹つたら何うする＝如何なる强壯家も時には寒冒に罹らぬとも保し難し、然る時は何うするかといふに、先づ體溫器で計つて見て三十八度以上あつたら必ず素人療治を爲さずに早速醫師の診療を乞ひ、若し又噴嚏が出るとか水鼻汁が出る位に過ぎなかつたら脚湯でもして寢床に入り厚着して發汗せしむるとか、或は安知歇貌林〇、三又は安知必林一、〇又はアスピリン一、〇の何れかを服んで寢るも宜い、けれども此等の藥は劇藥の部に屬してゐるから懇意な醫師でも無いと買ふに都合が惡い、然る人は撒曹一、〇に薄荷油一滴を落し之を茶呑茶碗に入れて水に溶し矢張り臨臥に頓服するのである、却々發汗の功あるのみならず鎭痛の作用もあるものだ。

▲咳嗽が出たら何うする＝痰が絡まつたり咳嗽が出たりして苦しかつたら攝涅瓦（一名遠志）三、〇を溫湯百瓦程に煎ずること少くも五分時間經つてから其の煎じ詰つた丈水を加へ、之に白砂糖を混せて一日三回に分服すべきである。

▲小兒の分量＝右は大人に與ふる量で、若し之を小兒に應用せんとするには現在の年に十二を加へたる數を分母とし其の年齡を分子とするのである、例へば三年の小兒に與ふる分量は

$$\frac{3}{3+12}=\frac{3}{15}=\frac{1}{5}$$

となるやうな道理である、斯くて右に示したる藥量は十五歳以上であつたら大人と同一で可い。乃で諸姉の記憶を助けん爲に歌めきた物を一寸記しておきませう。

かせひかば直に撒曹を一瓦
薄荷油一滴ませてのむべし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

痰は濃く咳嗽は出でけり三瓦
　煎じ用ひん鮮涅瓦根をば
子の年に十二を加へ分母とし
　その子の年は分子なるかな

▲足の冷ゆるを如何せん＝＝段々寒さに向ふと足が冷えて眠られぬ、縱し眠に就ても尿意を催ほしそれが爲め一夜に一二度便所へ通はねばならぬ人がある、それで薄弱な體質かといふに中には却つて並よりも達者な位であるのが有る、斯る人は寒冒でなくても臥に溫脚浴を爲し、小兒老人ならば其上足袋を穿き長い夜具を着て寢るが肝要だ、倘寒さの進むに從ひ、湯タンポを入るゝも可い、されど敷炬燵や火燵は構へて〳〵爲さらぬが衛生の本意である。

▲南窓に背を曝せよ＝＝十一月から十二月にかけては舊曆の神無月所謂村時雨のよく降るものなれどその晴天の日は恰も春の如き心地のするもので、頗る暖かであるから薄弱な人や老人は必ず南窓に出でゝ日光浴をせねばなりませぬ、日光浴は精神を快活にし大いに健康を助けるものである、西洋では四方及び屋根共に硝子を以て造りたる一室を設け小春日には此處にて日光浴をなすさうだが、我國は溫帶に位し而も西洋の如く大陸的でないから硝子を以て圍まざるも左程に寒くない、唯緣側に出て居ればそれで可いのだ、殊に呼吸器病に惱める人達は此の無代價の靈藥を必ず無視してはなりませぬ。但し日が當らぬやうになつたら直ちに室內に入つて身を溫包せぬと却つて寒冒の基となる。

▲晨起就寢の時＝＝晚秋の頃は何時に起きて何時に寢れば宜しきか、これは年齡職業等に依ても異なるけれど、槪して午前五時乃至六時に起き出で午後九時乃至十時遲くも十一時までには何人も就寢せねばなりませぬ。太陽が我等の土地を去る最も遠きは十時頃で之よりシン〳〵寒さも感ずるのである、然るに衛生思想に暗い昔人は燈下可レ親時也などゝ言つてゐる、イヤ今も倘此の蠻語を信じてる文士もある、女學世界の讀者諸姉は燈下不レ可レ親ムと改めて下さい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

左に中流社會の奥樣に對し、理想的の每日行事の時間割を掲げておきます、幾分の御參考にならば幸甚々々但し晩秋の晨起就寢なれば夏冬に於て勿論伸縮せねばなりません。

時間	理想的の每日行事	備考
自午前五時 至同三十分	運動及び寒冷摩擦	
自五時半 至六時半	食事の用意及び拭掃除	家人皆々分擔して爲す可し
自六時半 至八時	食事及び休憩食膳の片付	休憩は三十分時以上を要す
自八時 至十一時半	裁縫及び其他の仕事	
自十一時半 至零時半	食事の準備及び食事	
自零時半 至一時半	食後の休憩食膳の片付	
自一時半 至三時	夫々の仕事	
自三時 至三時半	家族團欒して喫茶でもするが宜い	小兒に時間食を與ふ可し
自三時 至五時	外出散歩旁買物等をなすべし	
自五時 至六時	食事の準備及び食事	
自六時 至八時	食後の休憩、家族團欒の快話女學世界などの雜誌でも讀むべし	
自八時 至九時半	明朝の食事準備、室內體操臨臥の履游	
九時半	今日の日記を記して眠りに就く	

衞生顧問

皮膚科の部

嘗て度々答へた病ばかりが多けれど答へ樣は今回大いに改めたから明叙に見過して下さるな。

〔面皰の原因及療法〕問 面皰の原因療法を詳しく敎へ給はりたし（尋ぬべき人無き里の某娘）

答 眞の原因は歐米各國の大醫も甲論乙駁してゐて未だ輿論定まらず、兎に角發動期に多く有る、そして面部の皮下には皮脂腺とて皮脂を分泌する囊が多く有る、所が其の皮脂腺口へ空氣中の汚物が附着し爲に腺口を塞ぎ遂に粟粒大乃至小豆大に赤く腫れ上つて稍痛みのあるものとなるのが所謂面皰である、療法は刷子例へば齒磨楊子の毛のある部を加里石鹸を溶したる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

水に浸しては面皰を摩擦し然る後酒精を以て能く洗ひ之を拭かずに一時間許打捨ておくと皮脂の蓄積は頗る溶解するものである、所へレゾルチン軟膏を使用するが宜い。レゾルチン軟膏の製法は

レゾルチン　一瓦　酸化亜鉛　三瓦
華攝林　二十五瓦

の割合で混合したものである。併し田舎などでレゾルチンを買ふに不便であつたら左の處方でも宜い。

撒里矢爾酸　一瓦　精製硫黄　四瓦
華攝林　五十瓦

の割合で混せたもの。乃で面皰質の人は縦ひ面皰が治つても左の化粧水で一日一二回洗ふが宜い、此の化粧水は面皰のみならず其他の皮膚病の豫防にもなる。

化粧水＝炭酸曹達三瓦、薔薇油五六滴、倔里設林十瓦、水百瓦を混合したるものである、併し此の液を以て無暗にダブ／＼洗ふては勿體ないから（金満家は此限りに非ず）清水にて洗ひたる後幾分を手に移して洗ふ位でよからう。

（東都の交際家）（北海道のニキビ女）（近江葉山光）（信濃深雪）（百合乙女）（韓國衣豚女）（兵庫雪月花）

（大阪面皰嬢）（顔望女）（神田東の花女）（筑紫の女）（印度人らしき豆腐屋の娘）（桐生の西鶴）（薩摩多満枝）に答ふ＝問の文は大同小異なれども右の療法を應用すべし。

（雀斑の原因及療法）問「そばかす」は何ういふ譯で生ずるものでせうか、及び療法を教へて下さいまし。（三河のＳＳ女）

答　これもその原因の了らぬもので或人は營養不良から起ることがあると主張して居れど疑はしい説であるそれは兎もあれ先天的のものなれど生後直ちに表はれないで多くは面皰と同じく大人になりかけの時から表はれて來るものだ。療法は肉類の食物を多く取り皮膚を清潔にして善く運動し、身體一般の強壯法を計り藥用としては左の處方を氣長に試されよ。

硼砂　二瓦　炭酸加里　二瓦
倔里設林　三十瓦　水　百瓦

右朝夕二回毛筆にて塗布すべし。

茯苓末　十瓦

右乳鉢にてよく擂り之に水二十瓦一勺ほどと護謨末少

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

許を加へて糊の如く泥々になし之を毎晩塗り翌朝洗ひ落すべし、十日程續ければ大抵除かるゝものだとは漢方醫家の説である。

(越谷國女)(尾州のTK子)(越後稻穂)(群馬縣邑樂郡の十六歳女)等に答ふ――同じく「そばかす」に就いての質問なれば右二法を試して治らぬときは皮膚専門の名醫に治療を乞はれよ。

〔母斑の原因及療法〕問 娘十三歳は俗に申す「コメカミ」の部に赤あざ二錢銅貨より少し大きい位なのが生れた時よりこれ有り候これは私が娘を妊娠中に火葬場の火を見て其部を撫でたからだと申す人もありますが斯る道理のあるものに候や及びその療法を敎へ下されたし、親類に醫師が有りますから劇藥でも搆ひませぬ(越中のYT婦)

答 申さるゝが如き説は余も亦聞いたことがあります併し信じませぬ、何となれば余の知人の妻君などは妊娠中に火葬場で故々膝頭を撫でゝ見たれど更に生兒の膝に母斑が無いと證明してゐらるゝからである。又或る地方では婦人妊娠中に熊猿などの獸類に出遇ひ大いに恐れて逃げ込めば生るゝ兒に母斑を生ずるものだと云ふ、之も前者と同じく取るに足らぬ説であらう。醫學上では色素の集積したるものと論じてあれど何故に色素集積したかの原因は矢張了らぬことゝなつてゐる療法は恐るべき劇藥毒藥を用ひねば退治することを得ぬものでその手際が惡いと生兵法大疵の基、以前よりも一層醜い所の斑痕收縮を殘すものである、然し親類に醫師ありと言はるゝから其の方法を申せば斯うです昇汞二瓦を酒精百瓦に溶解し之に布片を一時間も浸し輕く搾つて之を母斑に當てゝおくこと約三時間も經つと小さな水胞が澤山出來る、乃でその水胞を針にて刺し水を出し、亞鉛華軟膏を塗つておくべし。輕症はこれで退治さるゝけれど重症は却々頑固である、然る時は度々繰返すのだ、又一旦消えてやれうれしやと思つてると又々表はれ出ることもある、斯る場合には同じく昇汞攻にするのである。次に斯の如く昇汞攻にしても何等の効なきときは純石炭酸を塗けて口部を腐蝕させ、後は矢張亞鉛華軟膏を塗つておくべし。この二法

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を施して功無くば不仕合な身なりと諦らめるより外仕方がない。序に注意しておきますが昇汞布片を數時間當てゝるとヒリヽ熱り且つ痛んで却々堪へられぬものです、又亞鉛華軟膏を塗けて二三日經つと痒みを覺ゆるが、其時掻きむしると斑痕の附くものであります

（東京下谷 住子）（神戸赤塚 同情生）等に答ふ＝今少し年齢が進んでから右の療法を専門醫に受けられよ。

（蕁麻疹の原因療法）問「風ぼろし」が出來て醫師の診察を受け候處ジンマシンなりと申され藥を塗布致したれば直ちに治り候へども時々再發いたしますがその原因及び根治療法を伺ひたし。（伊勢の 濱荻女）

答　蕁麻疹は地方に依ては「風ぼろし」或は「風花」とも申しますがその原因は色々澤山あるが今その大體を言へば蚊蚤又は南京蟲に咬はれて掻いたり菌、魚貝類などの中毒、寒風冷水等の刺戟を受けたり、子宮病胃腸病のある爲に續發したり、或る藥例へば規尼涅莫爾比湼などの服用は急性の熱性傳染病恢復期糖尿病黄疸病に併發したりするものである。又不思議な事には非常に精神をして感動せしむると本病に罹ることもある療法は原因を能々追究してその原因となつてる事柄を除けば從つて消滅するものである。一般に冷水摩擦を實行し、且つ橙皮或は蜜柑の皮を以て摩擦し藥品としては

チモール　一瓦　アルコール　百瓦

右一日數回塗布

或は

レゾール　一瓦　アルコール　二百瓦

右一日數回塗布

其他石炭酸水・鉛糖水・曹達浴なども奏効することもある。慢性症に至つては可成轉地し從來の生活法を變化し植物性の食物を取り鹹らき物辛き物酒類も禁じ亞砒酸劑を内服せねばならぬこともある。夏ならば海水浴大に可なり。

（濱花の里 糸子）（東京の 江戸子）等に答ふ＝右の療法を應用せられよ

（腋臭の療法）問　私は幼少の頃より腋臭にて宜いといふ藥は殆んど塗けざるなく又先生が「女學世界」で

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

度々述べられたる方法も悉く二三ヶ月宛試み候へども更に其効見え申さずこれは不治の症に候や今一度御聴かせ下され度願上り〳〵（京都の 草刈らせ女）

答 精神を沈靜にすることが肝要である、泰西の醫書中には皆何れも精神感動の強き者に多しと述べてある次に本病に肥え太つた人に多ければ斯かる人は大いに運動しては筋肉を締らせるやうにせねばならぬ。次に身體殊に其部の清潔法を嚴守すべきは言ふまでもない清潔にするには溫湯よりも冷水の方が宜い、余の知つてる人で非常な腋臭者であつたが諸藥効なきより遂に藥用療法を一切廢し、一日に朝夕二回宛の全身浴を行ひ其上一日に五六回も冷水を以て患部だけ洗ふことを實行すること年餘に亘つたれば自然に消滅したのがある。併し處方としては色々有るから爰に一々掲げておかう。

(1) 酢　適宜　一日數回塗布
(2) 2％明礬水　一日數回塗布
(3) 3％硼砂水　用法同上
(4) 栗の皮を一晝夜煎じたる汁にて一日數回洗滌
(5) 歇貌羅氏軟膏
右臨臥に塗擦して翌朝拭ひ取るべし。
(6) 澱粉十瓦　撒里矢爾酸五瓦
右二品を布片に包み一日數回腋窩を叩く。
(7) 3％撒里矢爾酸軟膏
右一日二回塗擦
(8) ラノリン　十瓦　華攝林　五瓦
二十倍フオルマリン水　二十瓦
右一日數回塗布
(9) 5％單寧酸軟膏　一日二回塗擦
(10) クローム酸　五瓦　水　百瓦
右入浴後一日一回宛一週間も連續すれば皮が剝げ落つるものである、然るときは左の處方に依るべし。
(11) タンホルム　五瓦　澱粉　三十瓦
亞鉛華　二十瓦
右混和して一日數回撒布

右の中にて最も効あるは(10)(11)を併せ用ふるが宜いとの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事だ、併し色々と手を換へて行つて見るもよからう。

（水蟲の療法）問　冬になれば水蟲生じて痒くて堪りませぬ或人の說に韮の實と何かを混せて塗れば宜いとの事、其何かとは何なるか敎へて下さい。又他に善き療法あらば敎へ下されたし。（佐世保 よし子）

答　私も「何か」を知りませぬ韮の本病に効あることも始めて聞きました、ともあれ醫道では水蟲の事を乾癬と申します。療法は

沒食子酸　一瓦　華攝林　十瓦

右一日二三回塗布

若し之にて治らぬときは

グリサルピン　一瓦　華攝林　三十瓦

右一日二回塗布

但し劇藥劑なれば醫師の指揮を受けねばなりませぬ。

（病名未詳の皮膚病）（牛込の御影よし子）（茨城縣うめ子）（淨池の秋芳女）（香川縣宇多津三十歳女）（毎月困り女）（韓國秋山雪子）（佐世保池上靜）（森城下なまけもの）（京都の細美子）（下總の大關肥滿子）外百十六名に答ふ――皮膚病は專門名醫が親しく診察しても却々判斷の出來難いもの、況んや余の如き藪醫が診ずしては何に當るか殆んど迷ふ所であるが兎に角清潔にしてイヒチオール二、〇、アルコール百瓦の溶液を醫師監督の下に於て塗布せられよ、イヒチオールは大抵の皮膚病に汎く用ゐられ且つ偉効を奏するものである。

豫告　來月は小兒科眼科を答へますからその御積りにて質問を乞ふ。

英國婦人の讀書嗜味

英國にては新聞雜誌はもとより小說其他に至るまで眞乎に有益なる書物の愛讀せらるゝことは却々盛なものであります、それ故に新聞が彼の邦の婦人を敎育することは甚だ大いなものであります、尙私設の書籍館があるが之は恰も日本の貸本屋と同じ類のもので、中流以上の婦人に利用されることは少なくありません、それ故に男子に會つて各國の事や學問上の話などが出ても挨拶が一寸出來て困らないのです、かやうな俗は我國の婦人にも漸く行はれつゝありますが然しまだ／＼片田舍の邊鄙になりますと隨分婦人の世間知ずがありまして所謂井中の蛙を脫するとの出來ぬものが澤山あります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

科學

珊瑚の話

錦鱗子

珊瑚は鼈甲と共に、婦人頭髪の装飾品として珍重されたもので、今日でも眞珠、寳石など丶、列び賞せられて居る、さて珊瑚の賞味せらる丶のは何故であるかといふにまづ、其の品質の温潤美麗なると、其の品の稀なると、從つて優等品の尠いとによるので之は眞珠でも寳石でも、價値のある物はすべて之が爲である。

世界中珊瑚の產地は極めて尠く、日本の外、歐洲では地中海沿岸、殊に伊太利、亞弗利加、南洋諸島の一部分である。池中海沿岸の珊瑚は、古より有名なもので就中、伊太利人の採取するものは世界第一の稱があるこれに次ぐのは日本產である。

日本では土佐が名產地で、次は肥前の五島、薩摩、紀伊、安房等にも多少の產出はあるが、珊瑚の生棲する處は必ず暖地であつて、暖流區域に屬してる、三四十尋より百尋位の深き海底に生育する海底の岩礁の間に、陸上の植木が生へて居るやうに、枝を張つて居るので、之を採取するのは却々の困難である。即ち珊瑚網といつて特別に作つた網を使用し海底の珊瑚を淡へ取る仕掛となつて居る、網の構造は、著大なる麻苧製の縄で、横五六尺、竪三四尺位の、網目は横十三目竪三目の大目に編まれ、この網の一端に幅一寸位の割竹の身と身を合せたのを桁竹とし、其の兩端と中央二ケ所に、小指大の小なる麻縄を括り附け、此の四條の縄を纒めて一條とし、其の端には環を拵へて、網を結付けるのである、之を使用するときは、網の裾に一目各百匁許の石をつけて沈子とするので、若し潮の流が急な時は、桁竹の兩端又は中央にも、二百匁位の石をつけることがある。

漁船には漁夫三人又は五人位乘組んで、漁場に出かけ、網を曳くのであるが、網を海底に沈めたら、舟子

一人は舳にあつて綱の網を持ち、一人は艫で櫓を繰つて船を横流にせぬやうに、潮流のまに〳〵流すので、綱を持つた舟子は、海の深淺に應じ、網を伸縮長短せしめて、網は常に海底を曳づりつゝ流るゝやうにする、若し海底に珊瑚か又は、他の植物などが、網にかかると、網にその手答へがあるので、此の時舟子は綱を四五尋ゆるめて、充分網を纏絡つかしめた後、網を引揚る網が水上近くに揚がると、舟子の一人は柄の長い手網で、之をうけ墜落を防ぐのである、かくの如くして、漁夫は天氣晴穩なれば一日でも二日でも、永いのは、壹週間も貳週間も漁場に居て採取するのである。

船は潮流にまかせて、浪のまに〳〵流れつゝ、網を曳くのであるから、潮の流れ具合とか、風の方向とかいふものは、大に關係があるので、漁夫は漁場に因て其の見定をつけ常に注意して居る、また珊瑚の生棲せる處は岩礁の瀬をなした處であるから、淺い處もあり深い處もあるが、深い方より淺い處へ、暖かな潮に乗つて、徐々に網を曳くのが一番よいといふことである。

珊瑚採取の期節は、海上靜穩、天氣清朗の日を好むのであるから、先づ陽春の候で、五六七の三ケ月は一番の好季節としてある此の頃は數百隻の漁船、順風に帆を孕まし、舟歌をうたひつゝ漁場に向ふのであるが冬期風浪の激しい、時節は出漁しない。

我國の珊瑚の產額は、年々參拾萬圓內外で（高知縣拾四五萬圓、長崎縣下拾壹貳萬圓、鹿兒島縣二三萬圓）是等の大部分は輸出されて居る輸出先は伊太利、支那、香港等で、伊太利に輸出されたものが、加工製品となつて、再び我國に逆送されて居る、桃色珊瑚は最も上等品で、赤珊瑚は其次、白珊瑚は尤も劣等である。

赤珊瑚の多量に採取さるゝのは、土佐と五島で、薩摩は桃色珊瑚が多い、珊瑚は桃色なのが一番深い處に生棲し、次で赤、白と淺くなつて居るが、新漁場では最初に多く白珊瑚がとれるそうである。

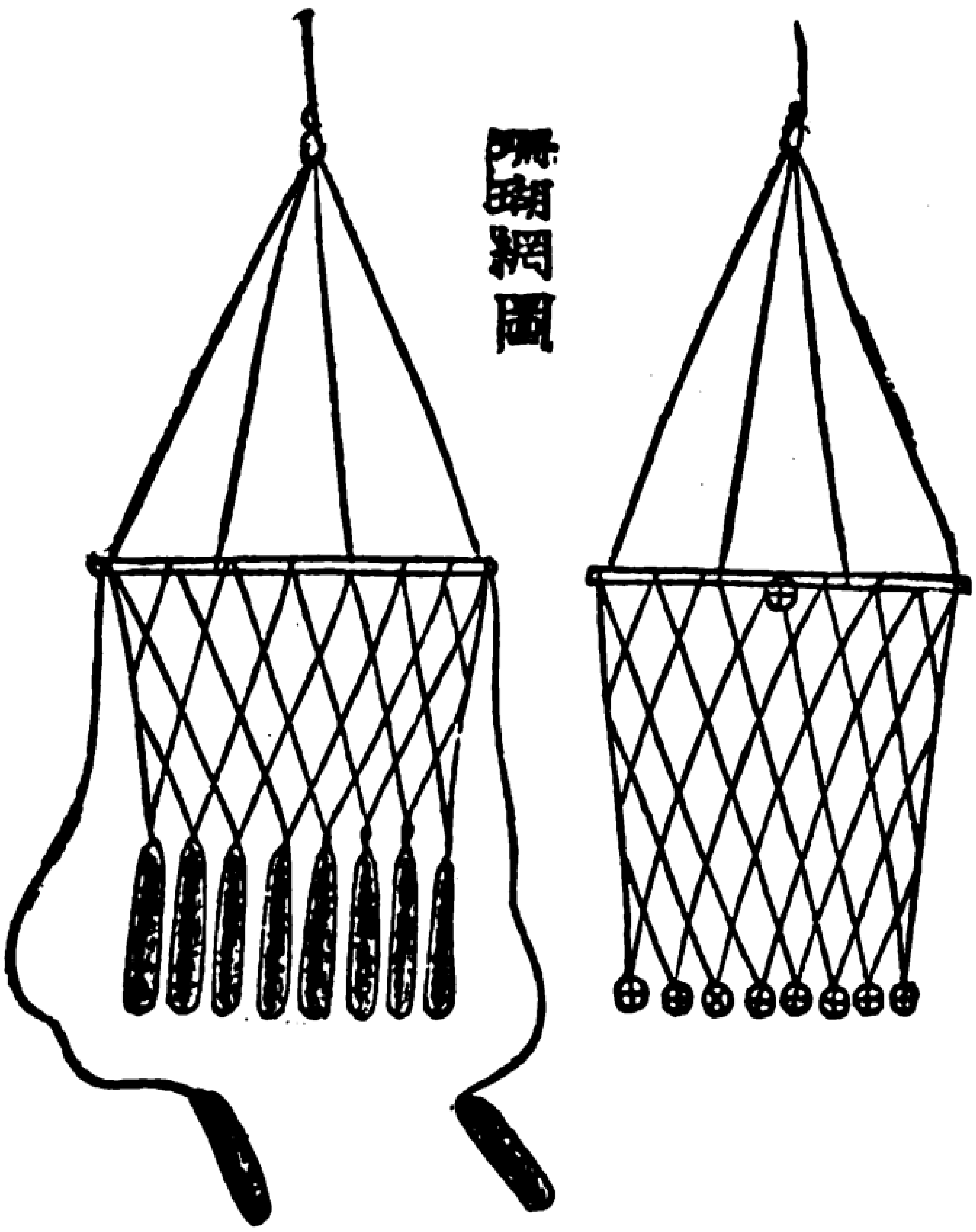
今でこそ珊瑚は、動物の生成するものであるとは、何人も知て居る　、歐洲でも二三百年前までは珊瑚に就

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て多少研究した學者もあつたが、矢張り植物であるとの説を唱へて居た、然るに其後間もなく、動物であるとの研究が遂げられて今日では珊瑚は珊瑚蟲の分泌したる骨格で、珊瑚虫は腔腸動物、珊瑚類の八射珊瑚に屬し、いそぎんちやく、きくめいし等と親類で、類を同うして居る、珊瑚虫の海中にあるときは、外部に軟き層を有し、一面に小さな孔があつて、夫より八箇の羽毛に似た觸手を出し、觸手の中央に口がある。

　珊瑚は多數群生して、恰も一家の如き有様で、幾千萬の個虫が芽生によりて繁殖し、其の芽は母體を分離せず、夫れより夫へと分岐して、枝をなすので、珊瑚に澤山の枝のあるのは之が爲である。

　此の虫が食物を採るには、觸手を動かして水の動搖を起し、微生虫や有機物やを、水と共に吸收して消化するが、胃といふ部は、何れの個虫にも連絡して居るので、一個が採つた食物は、何れにも分配されて平均してゐるしかし働かなくても食物の分配に預るといつても、不精を極めるものもなく、障害のない限り、絶えず觸手を働かして採餌して居るが、これが若し人間であつたら、働かないで食べられるのを幸と、懶怠ものが澤山出來るであろうが、一小虫の身として感心なものである。



珊瑚網圖

珊瑚は其の色彩や、虫蝕の有無や、形の大小や、生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

木か枯木かにより、價格に高下があるもので、一定した標準はなく、桃色珊瑚でも、色彩の具合が蟲蝕などで、一斤の價は拾圓から三百圓位から、只の三圓位迄階級が十數段に分れて居る、赤さんごも同樣で、一斤五拾錢位の下等から、四五拾圓までの差違あり、白さんごは貳參拾錢から二圓位までゝある。

珊瑚の用途は、我國では主に簪の玉、根掛、襟留、釦、印材、パイプ、念珠、印籠、煙草入等の緒締等に使用するので、之を裝飾に用ひたのは德川時代和蘭船の來航以後で爾來頻に輸入せられたが、之等は皆歐洲産のものであつた、外國では襟留、耳環、冠飾、櫛、髻留、鎖、十字架、留針、袖留、指環等で、專ら赤に青味を帶びたものを貴び、印度では血紅色のものを珍重しそして其の蟲蝕のものには、穴に神が住んで居るといふ傳說か



らしてひどく貴ばれてゐる、日耳曼人は下等の珊瑚を葬禮の頸飾とし、羅馬では赤珊瑚を嬰兒の頸にかけて飾るのであるが、之は早く齒が生へ、且つはもろ〱の疾病を除くといふ言傳へからであるそうな。

我國の珊瑚の始て見られたのは前記、德川時代に和蘭船や支那船が長崎へ輸入したもので他に需むるとが出來なかつたそして七寶の一つとして賞美したもので、價高く、上流社會唯一の裝飾品として賞翫されたもので需要なか〱多かつた此の時代に輸入されたものは、微紅色を帶びて居たものだから、品は多く、從つて價は段々と下落して來た。其から以前に輸入されたものを古舶古渡りさんごといふて古く輸入されたものを貴ぶことになり、今でも眞の古舶りでなくても、上等品は古舶りといふ、一種の名詞



珊瑚の海中にあるところ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

付て珍重するのである。茲におかしいのは明治十年頃土佐から珊瑚がぞろ〳〵產出し、市場に現はれて來たが、舶來といへば上等品に限つて居るかの如く思つて居て、「土佐玉」といつて下等品のやうに見做したものであつた、今でも田舍へ行くと、こんな考を持つて居る婦人方もあるやうです、然るに我國から輸出されたものが、伊太利で細工されて、逆輸入して、伊太利珊瑚であるとしいへば世人は貴ぶといふのは愚な話しである、數十年のむかし土佐國安藝郡の漁夫が一日沖に釣をして居たら糸に珊瑚の枝が掛つた、此の時代は藩のやかましい時代で、私に賣買することが出來なかつた、偶々之を獲ても他人に語る事が出來ない、自然實の持腐れであつた。

交際社會の見聞

英米諸國で交際に就て一番氣の揉めるのは衣服で厶います、日本のやうに着物を拵らへ直して間に合て置く次第にも參りませず、懸つたものを着て出ることは何様しても我慢出來ません。かりにも交際と名がつけば同じ着物を方々の家へ着て行くのは間が惡いばかりでなく、其人の不斷の噂もおもひやられて、心恥かしい次第ですから身分の輕い外交官の夫人などは衣服費に逐はれて困りませんから成可く米國の布地を用ゐずに日本の物で間に合せるやうにするので厶います。最も大きい夜會の際などの衣服は彼國の物でなければいけませんが、晩餐などに招がれた際には却つて日本の布地の方が珍らしいといつて襃められました。或方などは縮緬珍で着物を拵らへて大喝采を博しました。併し西洋で日本服を着て居りますと襦袢で裾がいたんで堪りません、洋服を着馴れますと摑む心配はなく朝身拵へさへして居れば何時外出しやうと其儘でよし、且つ彼地では午前に不意な來客があるといふ様な氣遣がないので至極呑氣で厶います。斯様な次第で交際には實に氣の揉る次第ですがつまり彼我の生活程度が違ふからです。まづ其一例を申すと髮結賃です。米國の髮結賃は非常に高う厶います。富豪の令孃などの他は大抵自身で結ひます。只大きな夜會の折には髮結の手に掛けませんに流行形に出來ません、それで一度の髮結賃三弗、一晩の會で直ぐ毀れて了ひますので、實に勿體ない様です。前髮の縮らし工合なぞいろ〳〵流行があります。又髮も始終流行廢りがあるので厶います。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



美貌の新しき解釋

眞葛居士

女子の最も人に誇るものは容貌である。而して又最も人に恥づるものも容貌である。其の最も自ら悦ぶものも容貌である、其の最も自ら悲しむものも容貌である、美貌を得て生れたものは終生の天幸である、醜貌を受けて生れたものは終生の天災である。美貌の女子は鏡に對して自ら笑ひ醜貌の女子は鏡に背いて自から涕を墮すのである。

鏡に背いて涕を墮す娘の子を見ると、僕は實に不憫に耐えぬ。僕が神樣でゞも有つたら何樣か其の眉目でも鼻でも改して遣りたいものだと思ふ。僕は醜女が己の醜を怨ずるほど、道理らしくて而して慰藉のないものは無いと思ふ。

更に不憫な事がある。其鏡に背いて窃りと涕ぐむほどの、自ら不滿足を感じて居る女でも、人に對しては、口では「妾の樣なお多福」など云ひつゝ、猶ほも心の奥底には、是でも決して醜婦ではないと思つて居る。「妾のやうな者でも良い女と言つてくれた人がある」と、或時或場合に或男が、世辭にか戯弄にか一度言つてくれたことを、天よりの福音でゞもあるやうに、大事にかけて、其通りに日附までも、周圍の事情までも記憶して居るのである。實に氣の毒でならぬのである。

猶ほ更に氣の毒な事がある。此等の女子の前で、或る美貌な女子を讃むるに當つて、其人が氣質が宜いとか、德が高いとか、慈悲が深いとか賴もしい女だとか、其人の美德と云ふ方面を讃むるときには、默つて聞いて居る。否或程度までは其の口に附いて贊成するのであるが、言僅に其女の美貌に及べば、忽ち唇を反して、「あの人が何處が好いだらう」と言ふ。さも〱自分がしたゝか貶されでも爲たかの如く、はしたなく

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其女を誅すのである。是も其の心の奥に自分だつて醜い女でないと云ふ自惚が有るからの事である。

僕は深く此等の女子に同情を濺ぐの餘り、何樣か此等の容貌に就いて、考へ方がありはせぬかと考へた。即ち醜貌を美化するやうな考へ方が。

僕は斯樣云ふ考を頭に持つて、先づ美とは何ぞやと云ふ第一問題から研究を加へて見た所が、何が美だかさつぱり分らぬ。僕のみでない、佛の女性學の大家マツキスオレル先生の如きも、「美と云ふ物ほど定義の附かぬ物はない、元來此の美と云ふ物が眞理見た樣に、型にはまつた物でない。時代や國民や人種や、個人の嗜好で換るものである、」と云つて、又、印度の菩薩は「希臘の女神でない希臘の美人は佛蘭西の美人でない伊太利の美人は土耳古の美人でない、それ〳〵其の國色の美人がある」と、其樣言つてる。日本一國でも然樣である。古代の内裏繪には下豐のした高等な宮女が畫かれて居る。初代の浮世繪には丸貌の佳愛い遊女が畫かれてある。後世の浮世繪には又瓜實顏の纎細なのが專ら美人に取られて居る。

マツキスオレル先生は更に斯樣言つて居る。「目鼻だちのキチンと整つたのは、昔希臘時代に美の理想として持て囃されたものだけれど、今日では何の感興も誘ひ起さない。近世の美は其の完全を破つた不均齊が却つて人の注意を引く。然し之に佳愛いことゝ快活なことを缺いてはならぬと言つて居る。又釣鼻は古代希臘人には笑はれたものだけれど、然し是は快活、頓智、敏捷の精神を能く現はして居るから、吾人は今日之を好く。女優マダムリゼンは實際此の快活な釣鼻一で巴理の交際社會を動かして居るのである」と言つて居る。玆に至つて僕は稍醜婦歎を救ふべき光明を見得たと思ふ。

然し一般の醜婦を救ふにはモツト廣い美の定義か何かに無くてはならぬ。此では唯釣鼻の所有者を救ふのみの、福音に過ぎない。乃て猶ほ同じ先生の説を追窮すると、「瘦肉で、氣輕で、細き鋭き眼と、厚き唇とを有つた、小ぎりめいた、顏の黑い女も、獵犬の樣な亂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

髮の、肥滿の、色白の女も同樣美人の列を漏れない」とあるので、愈々有り難くなつて來た。愈々多く醜婦が救へる。まだある。これは醜婦でも美人と成れる方だとして「美術を用ひて美人となるの方は各々自身の修業である。然れば着物の着樣、髮の結ひ工合を知つてる女。恰好な帽子を被つた女綺麗な着物を被つた女清淨した袴を穿いた女什具の趣好の良い女、愉快に話し活快に笑ふ女、面白い談話を有つてる女。斯樣云ふ女は實際の美人よりも疾く男子の目に認つて、好い女、否美人とまでも思はるゝのである」とある。愈々妙、愈々多く醜



懸賞繪探し　(4)

婦を救ふことが成る。然し此ではまだ貴族的である。而も顏の足らぬ所を金で足すと云ふ樣もある。而して又美術と云へば美術であるが、何となく自分が化けて男を瞞すやうな心地もする。其でも宜い、然し此れぎりでは未だ一般の醜婦を救ふことは出來ぬ。既う無いかと追窮して見た然し既う無い。此れ限である。是から後は全く僕自身の頭腦に由つて考へ辿らねばならぬ。僕は此の疑問の爲に久しい間考へた。遂に一個の解釋を得た。其解釋に據ると凡の女子は皆美貌を有つて居る。修飾を待たない、美術を待たない、生れながら美人である。女子は唯己の美

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貌を自覺すること、是だけが肝腎であると、斯様言うのである、極めて馬鹿げた言の様ではあるが、僕には道理のある事である。

抑も美貌とは何であるか。難しい理論は先づ舍いて、僕は茲に實際の方面から美貌を二種に分ち得ると思ふ第一は多數が認めて美貌とする其である。第二は男子各々が愛好する美貌である。世間で美人と稱する者は無論第一の美貌である。美人は素より多くの崇拜者を引く、然し其の美を認めた男子は盡く其の美人を愛好するものかと云ふと、強ちに然様ではない。其は成程美人である。然し我は寧ろ此の方又彼の方を取ると云ふものが多い。否寧ろ大多數である。是が第二の美貌である。是は勿論投票數の上では二流以下である。然し或る特別な男子に取りては其の美貌としての價値が第一等以上である。否唯一の美貌である。此の第二の美貌の中には如何なる醜貌も有り得るのである。何となれば、「蓼喰ふ虫も好々」と諺が言つてる様に意外の美男が意外の醜女を伴ふて満足して居ることは、美男と美女と添ふて居る數よりも寧ろ多いのである。何様して然様であるかと云ふと、此等の醜女は決して醜女として美男に好愛せられて居るのではない。やはり美女として愛せられて居るのである。誰も醜女を愛するものは無からう。然らば何様して其の醜女が美女に見えるか、他でない、男子の好愛が女子の醜面の上に自分の趣味に適つた表情を認めるからである。男子が第一流の美人を認めながら、寧ろ二流以下否十流二十流の醜女を以ても満足するのは、其の好愛に適つた表情を求め得てるからである。

是に於て美貌とは何ぞやといふ難しい疑問が解けるのである。曰く、美貌とは美貌の輪廓、形象其物ではない。容貌が呈して居る表情其物である。表情とは其人の精神、即ち智慧若くは仁心若くは勇氣、若くは淸徳、若くは謙遜若くは柔和若くは貞靜等の表情是である。如何なる女子も天賦の美德を有たぬ者は無い。其美德の表情を有たぬ容貌は無い。是故に如何なる容貌も美貌でない容貌は無い。是が僕の美貌の新し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い解釋である。

然し吾人が普通に表情を謂はゆる美貌の上に求めて謂はゆる醜貌の上に認めない傾向があるのは事實である。別言すれば醜貌が實際醜貌即ち表情なき澁面に見ゆる、其故いかに。他なし、一切の醜貌が、實は中心絶望して、表情を失つて居るからである。恰も榮養なき身體に血色を失つてると同じである。之を返すに容易である。此等の女子は自ら天與の美德を認めて其美德を以て精神を滿せば、其表情は自から其容貌に發表するに至る、宛も榮養を加へた身體に血色の返るのと同じなのである。故に僕は曰ふのである。凡の女子は生れながらにして美人である。唯其を自覺すると否とに由りて美醜の別が起るのであると。

然し此に美德の表情を發揮するに當つて、甚だしく之が防害となる一物がある。惡德の表情是である。女子の容貌は美德の表情のみでなく、惡德の表情をも丸出しに表はしてる美貌にも醜貌にも表はしてる、惡德が各其心中に在るからである。之を拔かねば美德の表情が十分に發揮されない。之を拔くのは精神上の修業即ち宗教上の事に屬するから、僕は是で筆を擱く。



懸賞繪探し (5)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



結婚前の理想と結婚後の實際

某女史

△女子はいかなる夫を理想するか

結婚前の理想、女性の多くが結婚前に於ける理想、それは、位置、身分、嗜好、職業に對する愛憎、醜美、品性等から、種々あるでせうが、先づ普通の家庭に育つた處女で、別段夫の職業に對して注文がなく、顔も先づ十人並で、さまで大きな抱負のない以上は、其理想もまた大概似たり寄つたりのものであらうと思ひます。

一　夫は尠くとも中流の生活を爲し得る力ある者たる事

一　下婢一名位は使傭し、可成炊事に携はるの煩を避けたき事

一　舅姑なき家を望む事

一　夫に立身の見込ある事

一　夫の容貌はさまで美貌ならざるまでも餘りに醜からざる事

一　嫁くべき家に借財なき事

一　多少の資産あらば尤も妙なり

一　夫の性格は外柔内剛、能く規律を守り、曾て不品行の噂なき事

一　夫は尠くとも妻を妻として待遇すべき事

一　夫は酒を嗜まざる事、酌晩に一合位は我慢すべし

此等の理想は極めて低いので、世間にはよく多くの理想、より多くの希望とを持つてお出でになる方もございませうが、先づ儂はかう云ふ理想をもつて居たのでございます。

小學校を出ましてから、高等の學校を卒業するまでと云ふもの、此理想は絶えず儂の胸に往來して、職

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

業の如何は選びませんが、尠くとも如上の條件を具備した夫を持ちたいと思つて居ました。今にして考へますと、其理想が餘りに低くかつたのと、其低い理想だも實際に添ふものでないと云ふ事が、犇々と胸に浮むのでございます。

△處女の理想は極めて淺薄なり

婚期が來ました時に、僕の父は僕に意向を訊いた事がございました。其時にも僕は僕の理想を打明けて父に話しますと、父は首頷いて一々道理であると信じたのでせう、結婚の話がある度に、乾度また僕の理想を先方へ通する事にして居ました。僕のやうなものでも婚期に入りましてからと云ふもの、隨分諸方から申込みもありましたが、夫に申分がないかと思へば、舅姑があつたり、收入が尠かつたり、俗に申す長し短しで、荏苒一年は過ぎてしまひました。今の夫に事づくやうになつたのは其最後であつたのでございます。



懸賞繪探し　(6)

けれども處女の理想と云ふものが、いかに淺薄であつたかは、今更申すまでもない事で、一家の主婦として立つべき用意を悉く欠いて居たと云ふ事が、今初めて解りました。

△用意を缺きたる理想は零に同じ

位置や身分の高下、乃至賢と不肖とを問はず、此要意を缺いた理想、實際と相容れざる理想と云ふものは、結婚前に於ける一般

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女性の缺點で、理想に富んだ男子と雖もまた恐らくはさうであらうと思ひます。

結婚前に於ける男女には青春の血が漲つて居る事はこゝに云ふまでもございませんが此時代に於ける理想や、抱負や、希望やは丁度浮雲のやうなもので、後に至ると全然破壞されるものに相違ないと信じます、何故と云へば此時代の理性と云ふものが悉く感情に掩はれて居るからで、『感情から湧いた理想や抱負やが實際と添ふべき筈がないのであります。

△處女の理想中に置くべき條件

今の境遇から僕は處女の理想中には左の條件を置く事の必要を認めました。

一　夫の美醜を論ずるよりは、先づ其健康の如何を問ふべき事
一　資產を目堵するよりは其夫の必らず年長（尠くとも自分より三四歲以上）たるべき事
一　先づ夫の職業を選ばざるべからず
一　夫の特質を認め得る事
一　尠くとも夫には何等かの趣味なかるべからず
一　財產との結婚は危險なり
一　結婚後最も大切なる條件は「愛」の一字なり

結婚前に於ける理想にはこれ等の要素を忘れて居ました。先づ第一に夫の健康、これを缺いて居たら、其妻たり、夫人たる人の不幸は甚麼でございませう、それから夫の年長たるべき條件ですが、これは中流以上の家庭には無論無用の條件でもございませうが、中流以下の家庭には是非必要であらうと思ひます或は姑息な議論、淺薄な說明のやうにも聞へますが、實際中流以下の家庭にあつては夫は妻よりも年長者でなければなりません、妻が夫よりも年長の場合はと申しますと、愛の權衡を失ふばかりではございません、往々所天をして依賴心を惹起せしめ、率いて其向上心を抑制する場合があるからです。

△職業に向つて先づ敬意を拂へ

女子が結婚前只其夫の家庭にのみ理想を置くは大きな間違ひで、先づ其夫たるべき人の職業の如何を察し、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

選擇せねばなりませんそれも只外部の刺戟や、時の流行などに動かされての眩惑は不可ませんが、自分は夫の職業として何物を覓むべきか、それは丁度男子が其職業を覓むると同じ態度に出なければなるまいと思ひます。これによつて所天のゼニアスも判斷し得られゝば、また其夫の職業に尊敬の念を拂ふやうになるからでございます夫の職業を侮辱するやうになれば、自然夫を侮辱する事になりますから。

△夫には如何なる趣味ありや

結婚前に其所天となるべき人には如何なる趣味が適すべきやと云ふ點を考察し、また高尚なる趣味ある夫を選むと云ふ事が必要でございます、自分の趣味に對して、所天の趣味の高いのはまだ自分の身を責めて、夫と同化し得ることが出來ますが、自分の趣味に比して、所天の趣味が低かつた日には、それこそ面白くない生涯を送らねばなりません、所天の不品行を矯めるとか、乃至は所天の横暴を諫止すると云ふ場合には、遇々女性の力が偉大な效果を奏する事がありますが、趣味を注入する點から云つたら、女性は男性に對して餘り多くの力をもたないやうです、ですから夫として



懸賞繪探し (7)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事ふる男性の趣味は比較的高い人でなければ不可ません。

△財產との結婚は危險なり

儂の結婚前の理想中には、嫁すべき夫の家の資產も其一條件であつたに相違なく、また世間多くの未婚者はこれを第一の條件になすつておいでになる方もあるやうですが、この財產を目的の結婚は極めて危險でございます未婚者の胸中には、必らず結婚後安樂に世を送らう、それには先方の財產に依賴するが尤も安全であるやうに考へられるのは、一面無理もない次第でございますが、婚家世襲の資產は只米鹽の資に苦まぬと云ふだけで、一向張合のないものでございます。それのみならず、これあるが爲めに種々の波瀾が生じ、反つて不幸を招くやうな事が屢々あります、それよりは無資產でも、其所天たる人に器量があり共々資產を拵へましたら、どの位樂しいか譯りません、世襲資產を目的の結婚程危險なものはございますまい。

△いかにして夫の愛を迎ふべきか

能く世間で自分の所天は自分に對して愛を傾けてくれぬとか、乃至は自分を愛さぬとか云ふ聲を聞きますが、これは自分に所天の愛を傾けしむるだけの力がないものと信じます。夫たる者は其妻を愛さねばならぬと云ふやうな杓子定規から、さう云ふ誤解が起るのでせうが、一通り考へましたところで、女性に所天の愛を引くだけの力がなかつたら、所天は其妻を愛する事は出來まいと思ひます。この所天の愛を迎へる女性の力は何であるかと申しますれば、矢張異性に對する「愛の力」に外なりませぬ。ですから先づ未婚の間にこれ等の問題を攻究して置かなければならず、第一に先づ所天の「愛」を理想せねばならぬ筈でございます。父たり、母たるも矢張此愛の權化に過ぎぬと信ずる外とざいません。

△結婚後の失望は何より來たるか

儂は結婚前以上の用意を忘れました。單に皮相の理想に近い婚家を選んで嫁しましたが、不可ません！第一所天の愛を迎へる力が鈍かつたので、所天は自分

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の愛を捨てゝ、緑蟻に戯れるやうな事になり、それが爲め世襲の家產を蕩盡してしまひました、理想はまつたくこゝに至つて破壞されたばかりではございませせん、幾度か破鏡の歎きを見たのでございます、若し僕に結婚前の理想が、後の用意あるものであつたとしたら、今少し樂しい家庭に身を置く事が出來たでございませう。結婚前の理想と、結婚後の失望、それは所天の品性に於て、才能に於て、名望に於て、家庭の摸樣に於て、種々なる方面からこの憾みは誰しもあらうと思もひますが、つまりが用意のない理想から來る失望で、誰を恨まうやうはございません。

△妻として成功するは何に由るか

今若し妻として成功しやうとすれば、何が最も大なる要素であらうかと申しますと、

第一　所天を尊敬して其愛を迎ふるに努むる事

第二　居常快活なる心を持すべし

第三　いかなる場合にも忍耐の二字を忘るべからず

第四　凡てに於て誠實なれ

第五　虛僞を避けよ

これだけの條件に過ぎまいかと思ひます。この五條件だに守りましたら、決して悲境に陷る氣遣ひはございませんし、よし亦不意の災厄から悲境に陷るやうな事がありましても、妻としては立派に成功した方だらうと思ひます、他の凡てが闇黑界にある間、獨り眞個の光明ある女性は、これ等の用意に細心なる注意を拂はれた夫人でなければなりません、それにしても結婚前の理想と、結婚後の失望！到底相一致するものでないとしましたら、結婚前の用意と覺悟とは最も注意せねばならぬものであらうと存じます。(了)

鯖賣り

殘んの星をいたゞきて、町にゆく鯖賣りの足早に、そこは通りなれたる橋にして、今朝は山も野も踏みゆく道も一面に、いと冷めたう霜枯れて寂しやな、流るゝ川の彼方の小さき入溜に小船二ツ三ツ、眞白にしめりていたくつめたき、辛き世渡りの身は一しほ寒く思ひぬ、折から明けゆく湖の小島に、白き鳥の群きて蘆に入りぬと見れば、うろこの雲の橙色にそみて、舟は沖より白みぬ、あゝ今日は用事も控へたれば、疾く賣り終へんと、足早に町の方さしてゆく、やさしの呼び聲「鯖召せ〳〵」、家にはさぞや母なる人の今朝の幸をばまつらん。(鈴木三葉子)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日常訓

姿見かゞみ

山　査

◎世の中に比較するものさへ無ければ、何人も其境遇に滿足して居るのであるが、兎角上を見るから不平も起れば羨ましくもなる、語に『達人は羨まず』とあるがどうも俗人はこの念を脱却する事が出來ぬ、しかし平日羨やんでゐた位に達してみたら、果して以前羨やんだほど愉快であるか如何かは疑問である。

◎昔或素封家の若者が、京は祇園の、花とも見紛ふばかりなる舞妓の手を曳いて、嵯峨野の奥へ秋草見物に道も狭に咲く千草の露を蹈みながら行く中に、其處とも見えぬ小やかな草庵があつて、幽かに讀經の聲がする、サテは如何なる世捨人かと、ゆくりなく垣根に立寄つて差覗くと、年齢二十四五とも覺しき眉目秀れた若僧が、經机を前に、香烟淡々しきが中に端坐して、專念に普門品を誦するのであつたが、此方に人の氣配ありと知つてか、不圖振向いてニヤリと頬笑んだ。すると若者は、急に惡夢が醒めたやうに、あゝ床ましいと呟く、同行の美人が、何故かと問へば、色即是空、人間本來の快樂は榮華でない。と大に感じて、此の淸らかなる庵主の孤獨生活を羨んだのであるが。羨まれた若僧の考は之と丁度正反對で同じ人間と生れ乍ら、恁那草深い處で抹香臭くなつて居るのは馬鹿々々しいせめて彼の男女のやうに、月花可笑しく浮世めかして見たいと互に羨み合つたとのことである。

◎高砂の夫婦を見よ、翁は熊手、嫗は箒、之は男女自然の職分をよく區別して現はしたものである、即ち男子は疎大なる事、女子は細密なる事、西洋の諺にいふ女はよろしく護謨毬の如くあれかしと、押されて凹むも、少しの傷もつかずに舊の通りになる、この如く表は飽までも温柔くして、裏には犯すべからざる威厳がなければならぬ、即ち抑へ附けて勝つのは男子の事で女子は從ふて勝つ工風が肝腎である。羅馬のアウガス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ト帝は皇后との間が大層睦まじい上に、何事も皇后の思ふがまゝにならぬとはない。そこで近侍の宮女達が『如何なれば恁くも陛下を自由にせらるゝや』と問へば、唯だ從順なる行爲によつてと答へられた。

又心學道話の一節に「女中方はアノ縫物をする時はどうなさる、針に糸をつけて針が先へ行き、糸は後から行きませう、さうすれば何でも縫へる、針はしつかりした御亭主樣、糸は柔かな御内儀樣ぢや、それがドウかして糸に節が出來ると、針が通



らない、だから家内の和合は、御内儀の心懸け次第でござる」

◎英國で一老人が、其養女の結婚するに就いて、一本の箒と、鏡と、磔架の耶蘇の像と、を贈物としてそれに書翰を添へて曰ふには、願くば此箒を携へたる姿を寫眞にとられよ、コハ勤勞の印にて努めて怠らざれば惡念の萠すことなし、又朝夕己が身に過失なきやと、此鏡を照覽よ、されば人と物爭ひするが如き事なく、家内圓滿に治るべし、最後に此耶蘇磔架の像を胸にかくるを忘る可からず、少く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とも輕き十字架、即ち多少の困難は到る處にあり、最良の家庭にも尙ほ是れは免れ難きものと記憶せよと、如何にも味ふべき教訓である。

◎淀川で鯉を捕る人の話を聞くに、漁夫が水中へ飛込むと共に、はじめは鯉と列んで泳いで行つて。僅かの隙を見てひよいと捉へて脇へ抱き込んで浮び出る、之を抱鯉と稱する、人を諫めるの道も是と同じく、始めは其人の境遇に同情して、よき機會を見て改悛せしむる工風が肝腎である、然るに大概の人は、對手の缺點ばかり擧げて異見するから、多くは事情を解せぬこととして肯かないのである。故に先づ最初はその人の長所を賞め、係る善心を持ちながら何故そんな邪路に赴くやと、言葉優しく説諭せば、大抵な者は其理に服するに相違ない、元來忠告には直接と間接と、それに智を以てするのと、情をもつてするとの二種の方法があつて、妻を夫を諫める塲合には概ね前者よりも後者の方が効目があるやうに思はれる。

◎むかし西洋に一人の大酒家があつて、其の妻屢々迷惑し爲めに家事も治まらず大に困難せしが或日偶と一計を案じ、良人は例の如く、泥のやうに醉て蹌踉き乍ら家へ歸つて來た其姿は實に見られぬざまであつたが、細君は直ちに早撮寫眞師を連れて來て、その見苦しい狀を寫させた、さて之をその結婚當時盛裝したる寫眞とを並べて、棚の上に飾付けて置くと夫は醉がさめて來てそれを一見する、どうも飛んでもない姿だなアと大いに心に耻ぢて後悔して、それから全く別人のやうになつた。

◎熊野は平宗盛の寵妾、錦衣飽食、浮世の榮華を盡さるゝ身にも、常に質素なる故郷の生活を忘れず、只管兩親の身の上を案じて居たり、一日母の病の便信に接して、懇々歸省を乞ひたれど、宗盛は容易に肯入れぬのみか、却てこれを車に乘せ、洛東東山に觀櫻の宴を催したり、謠曲に所謂、花前に蝶舞ふ紛々たる雪、柳上に鶯飛ぶ片々たる金、驕奢の公は熊野の心を察せず舞をまはせて獨り笑壺に入つて居たが、彼女は唯だ故鄕の空のみ思ひやられて、一心茲にあらねど、さあらぬ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

體にて興をたすけしかど實にや想ひ中にあれば色外に顯はる」で遂に、「如何にせん都の春は惜しけれど馴れし東の花や散るらん」と詠じたので流石の宗盛もその心情の優しさに感激し「實に道理なり哀也、早々暇とらするぞ」とて歸省を許したのである。

◎近頃長壽法に就ていろいろと新奇な説が唱へられてまいつたが、考へて見ると之は今に始まつた事ではなく既にズッとの昔に豐太閤などもよい方法を發明して置かれたやうである。それは延命丹と稱する精神的の長生藥である。秀吉公は自分も服用されれば又臣下の者にも奬めて居られた。さて其製法といふのは、

一正直　五分。一勘忍　二分。一洪量　二分。



懸賞絵さがし (8)

一分別　一分。

右一日三回宛服用思考すべし。

▲忌み物と毒だち

一無理。無心。慮外。
過言。高聲。高笑。
剛慾。大酒。朝寢。
退屈。物爭ひ。妄想。
右之通り相違なく
相守る可き事。

一見奇にして滑稽に類するやうではあるが篤と吟味して見ると、現今のドクトル達の處方以上の功能があるに相違ない。徒に理屈を主とした健康法に依るよりは、寧ろ這の精神的養生を打つて一丸とした良藥を怠らず服膺したならば、百年二百年の事は知らず慥に五年や十年の壽命は延し得らるゝ事と信ずる。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



戀愛にあこがる處女の樂園

吉川曾水

△戀愛の自由郷

娘時代女學生時代の戀愛の最も廣く、又最も自由に行はるゝは米國である。我國では男女七歳にして席を同ふせずといふ儒教主義の感化が尚殘つて居つて、小學校ですら男生徒と女生徒の坐る席が違つて居るが、米國では毎朝登校する小學校の男女生徒は手を引き合つて道を行く、敎場にては同じ腰掛に就く、ソレからハイスクールと謂つて、丁度我國の尋常中學校高等女學校程度の學校になつても、十七八歳の男女學生は、同じ敎場に同じ敎授を受けつゝあるが一人として怪しむものはない。同じ文明國でも英吉利や佛蘭西では、男女混合敎育の弊を唱へ、女學生の取締はなか〳〵嚴しくあるが、唯り米國のみに斯く取締がなく、而して是れといふ程の弊害がないは不思議である。或る中學校の校長は、『余は二十年間、十八歳の男女學生が放課時間に、互に嬉戯するを見たが、不道德の行爲を演じ又は猥りがわしき談話をなすものは一人もなかつた』と證言したる如く、青年男女の交際の自由なるに拘らず、風俗の亂れぬは喜ぶべき現象である。又學校のみでなく、工場に於ても大旅館に於ても會社銀行に於ても、二十歳前後の少女は、男青年と椅子を並べて事務を執つて居る、醫師の藥局には男女のお弟子さんがガーゼを捲いたり、器械の消毒をして居る、大道には紅顏の美しき少女が、淸き聲を振り擧げて、『皆さまナザレのキリストを信じなさい……』と說敎をして居る殊にカンサス州といふ處へ行くと、若き婦人は男子と共に政治運動に奔走して居る、言ひ換ゆれば米國の婦人は、戰爭に出掛けぬこと、大統領にならぬことを除き、男子のする凡べての事をなして居る。此くの如く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の社會に於ける勢力は偉大であるから、從つて未婚の少女も父兄の壓抑を受けることが少しもない。例へば或る家庭に男青年が尋ね來り、深夜其家の娘を戸外へ誘ひ出しても、娘が納得のことなれば、主人は止めることが出來ぬ。されば夜の十一時過ぎ未婚の男女青年が手に手を執つて、公園の樹下蔭や街路の暗き處に喃々するは、珍らしからぬことである。要するに惚れた男子を接吻せよとは、米國婦人の尤も大なる主張である。

懸賞繪探し（9）



△一回の接吻料四千圓

以上記したる如く、少女の男子を愛するとは極めて自由であるに引き換へ男子の婦人を愛するとは隨分面倒である。路を通る美人に向つて冗談一つ言ふならばソレ婦人を侮辱したといつて直に拘引される。ピッツバルグといふ所の一旅館の主人は美しき愛爾蘭の少女に抱き附いた爲に、二千圓の罰金を取られ、又一紳士は六十歳になる老婦人の皺だらけの顏に接吻したるために、裁判所に引き出され、結局四千圓の罰金を命せられた。此くの如く米國に於ては、男子の戀愛が蹂躙せらるゝに反し、婦人殊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に青春の血の燃ゆる少女の戀愛は大切に保護せらるゝのである、或る皮肉の觀察家は、米國といふ國は土地の廣い割合に人口が少ないから、多く生殖せしむるために、婦人の戀愛を自由ならしめたであらうと云ふたが、一寸面白き批評である。

△戀人研究の自由

米國の少女は、其の戀人と思ふ男子を縱横に研究する特權を持つて居る。故に少しく思慮ある處女は、男子の容貌風采が善いからといつて、スグ結婚を約束するが如き輕卒のことはせぬ。必ず我が家へ屢々其の戀人を招待し、若くは共に旅行などして、充分男子の性質目的等を調査するのである。中には意馬心猿つなぎ難く、斯る調査も絲瓜もなく、美しき男子と見れば直に情を通ずる少女あれども、一般にいへば戀愛研究は、少女の間に行はれ、一時の情に驅られて、生涯の悔を殘すやうなことは無い。而して兩親は少しも、其の娘の戀愛に干涉せぬ、如何なる男子を愛するも、又如何なる人に嫁するも、ソレは娘の自由である。オハヨー州といふ處で、二十歲より二十三歲に至る處女が六人集まつて、互に其の戀人を作り、結婚の時を待つて居つたが、媒妁人が這入つて、正當の式を擧ぐる時を待ちきれず、或る日密に相談したる結果、共同して一軒の家を借り、晩餐を呈するからといふて、六人の處女は各々其の戀人を招いた。ソコで男子は招待に應じて其の家に行くと、我が思ふ娘は何れも結婚の際用ゆる衣服を着て、待迎したので、彼我の情は電氣の如く相通じ、晩餐の濟むや否や、或る一組は新婚旅行へと出掛け、或る一組は一室の裡に隱くれ、翌朝六組の新夫婦は出來たといふことである。蓋し米國の結婚なるものは若き男女の結合であつて、家族と家族との結合ではない、娘の父は嫁入仕度に金錢をくめんする面倒のない代りに、娘の婿を選む權利もないのである。「お父さん、私はフランク君に惚れましたから、明日から同君の妻となります、左樣なら……」嫁入娘の父に對する告別は、此くの如く簡單である殺風景である、然れども父は何ともいふことが出來ぬ。カリホルニヤ州の一般

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夫の許へ或日隣りの青年が訪問し、農夫に向つて、「御前さん方のメリー孃は今後は御前さんの娘でありません、昨夜私はメリー孃と結婚しました」と言ひ放つて去りたりといふ珍談あるが斯る場合に於ても、父は其の娘の結婚を拒むことは出來ぬのである。

懸賞繪探し (10)



△少女の嫁入仕度

米國の少女の大多數は、自由結婚を許さるゝ代りに、愈々輿入となつても、仕度金を一文と雖も其の父兄に仰がぬのである。シカゴに於て毎年七萬弗宛の費用にて暮らす富裕なる家庭の令孃が一個月六十弗の俸給を取る學校教員の許に嫁入りしたが、令孃の父は持參金として一文も送らなかつたのみならず、嫁入後家計の困難のため、娘は隨分苦勞をしたが、父は平氣で少しも庇護しなか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つた。此くの如き風習であるから、少女は自分で其の嫁入仕度をせねばならぬ。如何に好いた間柄とはいふものゝ、他人の妻となるには、衣服の一通りと化粧道具位いは持參せねばならぬ、ソコで彼等はお嫁に行くよりも、處女生活を續けようといふ氣になるのである。然しこう云ふ女は半分で、半分は其の心中に思ふ戀人と結婚するために、少しく敎育あるものは、女敎師となり、商店の簿記方となり、又敎育なきものは工女となつて、セツセと働らくのである。而してフワクトリー、ガール(工女)と謂へば、我國の工女よりも風俗惡しく、朝から晩まで男子の評判ばかり口にし、一般に理想低くあるが、セールガール(商店の賣子)には品位高く人物の立派なる少女多く、紳士の夫人としても恥しからぬものがある。然し娘の親は財産を分けぬけれど、結婚の約束さへ出來上れば、未來の夫は、其の最愛の少女を庇護する責任があるので、ツマリ米國の少女は比較的に他國の少女よりも、多く安樂に生活し、多く戀にあこがれ、多く青年時代の美しき夢を見るのである。

△正しき戀愛

以上記述したるは外國少女の例であつて、之を直ちに我國に移すは困難である。亞米利加では親の承諾なくして、好きな男子に嫁入することが出來るから、私も勝手に彼の人の處へ適くよと力むお轉婆あらばソハ大變なり。さればとて唯親の命令に依り、顔さへ碌に知らぬ男子の許へ適くのも、餘りに卑屈の仕方である。故に我等は其の中間を取り、古來の善良なる風習に背かぬ程度に於て、少女をして自由に其の好む男子を選擇せしむる習慣を作らねばならぬ。總じて若い男女が二三回顔を合せた位いで、直に垣を切つて驅落ときめこむは、平生嚴重なる鐵柵を以て、兩性の間を區別し、一刻と雖も青年男女の自由交際を許さぬから、其の反動で益々胸中の情火を熾んならしめ、相會する機さへあれば、前後左右を顧みる暇なく、情交を通ずるのである。故に從來閉鎖したる門戸を少しく開放して、男女青年の交際を爲さしむれば、彼等は互に慣るゝに從

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つて、紅い顔もせず、恥ぢらいもせず、男女共に將來の夫となし、妻となすべき人物を探がすことが出來る。

西洋の或る哲學者は、男女の情と河の水は、堰を作つて、之を止めんとすればする程、其の勢を增すといふたが、實際女子を平生餘りに多く檢束するから、彼等は反動して其の情慾を極端にまで走らしむるのである

英國の文豪ラスキンは、「惡しき人を戀愛するために、非常の困難は起るものなり」と戒しめたが、男女交際の杜絶は、少女をして惡しき男子を戀せしむることが多い注意すべきことである。

男子は火なり女子は麻屑なり。
或ものが來りて點火さへすれば
直に炎々として燃え揚るべし。

戀愛は婦人の天性なれば、之を抑止するはむづかしい、たゞ正しき路に戀愛を導けばソレで充分である。

而して正しき戀愛とは、惚れ合つた同志が、死するまで夫婦の契を結ぶことである。

新發明　丁字形計數器

兒童に算術の初歩を敎ふるの困難なる事は何人も知る所なるが、今回渡邊八郎右衛門氏は、右の困難を排する爲め、種々苦心の末、茲に簡便なる一種の計數器を發明したり、其構造は、敎師用兒童用共に亞鉛線を丁字形に彎曲せしめ之れに球を貫きたるものにして、敎師用は普通の掛算盤の球二倍大の赤色球二十個を貫通し、それを木製の臺に据え附け、其の前面に取り外し自在なる小黑板を立てたり、此の黑板は敎授する數以外の球を兒童の眼に觸れざらしめんとするが爲めなると共に敎授する數字や問題を斎する用となせり、兒童用は普通の算盤球位の赤色球二十個を貫通し木製の把柄に挿入したるものなり、之を使用するには、敎師は敎師用を卓上に置き、兒童は兒童用を各自左手に握りて机上に立て、求むる所の數によりて適宜に算球を右方又は左方の上部下部に運用排列す、而して敎師用の小黑板は敎授すべき數の多少に依りて便宜取り外し或は裏面を見せしむるを得るなり、從來計數器の世に行はるゝもの種々あるも使用法複雜にて實用に適せざる憾ありしが、本器は此點に就て苦心し、且つ從來の計數器は算球十個以内を貫通するに過ぎざりしを、本器は之を二十個としたるが故に、二十迄の數は容易に敎授し得るの便あれば初等敎育用として又家庭の敎育的玩具たるべし。（日本橋區新右衛門町國定敎科書共同販賣所發賣）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

處世訓

麻軒

余は前號に於て二宮尊德翁の處世訓を紹介したり然れども尙ほ未だ盡さゞるものあるを以て、更に翁の道德經濟に關する敎訓の一斑を紹介せんとす。翁の敎訓は世上の學者の說く所と異り、其の言平易にして而も無限の趣致あり、よく其旨趣を味はふ時は吾人の日常生活に規範を得ること少からず。諸姉乞ふ一讀直ちに首肯せずして、了解しても尙ほ重ねて熟讀玩味せられよ。

●推讓は人道なり

勤儉、推讓は二宮翁の唱道せる道德經濟主義の要領にして、報德敎の精神とも謂ふべきものなり。殊に推讓を以て人道となしたるの意見は、敬服の外なし。その語に曰く。

「今日の物を明日に讓り、今年の物を來年に讓るの道を勤めざるは人にして人にあらず、十錢取つて十錢つかひ、二十錢取つて二十錢つかひ、宵越の錢を持たぬといふ、今日主義は禽獸の道にして、人道にあらず。禽獸には今日の物を明日に讓り、今年の物を來年に讓るの道なし。されど人は然らず、今日の物を明日に讓り、今年の物を明年に讓るの道あり、而も其上子孫に讓り、他に讓るの道あり。人に雇はれて給金を取り、その半を遣ひ、その一半を後來の爲めに讓り、或は田畑を買ひ、家を建て藏を立てゝ、子孫に讓る、これ世間の人々の知らず識らず行ふ所、即ち讓道といふものなり。

而して此讓道たるや、單り吾が爲め子孫の爲のみならず、また親戚朋友の爲めにも讓るべきなり。鄕黨の爲めにも讓るべきなり。猶ほ之を大にして國家の爲めにも讓るべきなり。かくの如きは眼前他に讓るが如く見ゆるといへども、押しやりたる水の返り來たるの道理にて、畢竟吾が身上を維持するの道なり。故に家產

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある者は勉めて家法を定めて推讓を行ふべし。されども人により家により老幼多きあり、家族多きあり、病人あるあり、厄介なるあれば、毎戸必しも一樣に行はるゝものにあらずと雖も、然も此道を勤むる者は富貴榮譽之に歸し、此道を勤めざる者は富貴榮譽之を去る、少く行へば少しく歸し、大いに行へば大に歸す、勤めずんばある可からず。」と。（二宮翁夜話）

因に云ふ、報德の敎にては勤儉貯蓄といはずして、勤儉推讓といふ。その故は自他に推讓せん爲めに、勤儉して餘財を蓄ふればなり。蓄ふるといへども、之を私せずして、其一半は人の爲め世の爲めに推讓るを目的とすればなり。語を替へていへば、貯蓄其物が目的にあらずして即ち推讓其物が目的なり。かく人の爲め世の爲めに吾が勤勞の餘德を讓れば、吾が爲めには其丈の損が立つ如く見ゆれど、これ皮相の見にして、其實は吾にも亦益ありとなす。是れ二宮道德の美しき所にして、道德と經濟と一致する點は即ち玆に在り。かの汲々として私利のみを謀るの徒は、宜しく思ひを此に致すべきなり。

●外科的儉約

人、儉約の必要を感じたる時は、思ひ切つて儉約すべし、生半可の儉約にては、勞しても効なきなり。翁儉約の方法を敎へて曰く。

『何程勉强すといへども、如何程儉約すといへども、歲暮に至りて差支ゆる時は、勉强も勉强にならず、儉約も儉約にならず、勞して効なきなり。それ先んずれば人を制し、後るれば人に制せらるゝといふことあり、儉約も先んせざれば用をなさず、後るゝときは無益なり。さるに世人は此理に暗し。

たとへば千圓の身代、九百圓に減ると、先づ一年は他借を以て暮す、故にまた八百圓に減ずるなり。この時始めて氣が付き、儉約して九百圓にて暮らす、故にまた七百圓に減るなり。よりて又改革をして八百圓にて暮らす、故に又減る、年々此の如くなるゆゑ、勞して効なく終に滅亡に陷るなり。此時に至りて吾不運な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りなど〻御つといへど、これ不運なるにあらず、後るるが故に借金に制せられしなり。然らば如何にして可なるか、他なし。

千圓の身代にて九百圓に減らば、速かに八百圓に引下げて暮しを立つべし。八百圓に減らば七百圓に引下ぐべし。之を先んずるといふなり。たとへば難治の腫物の出來たる時は、手にても足にても斷然切つて捨てるが如し、姑息に流れ、因循躊躇する時は、終に死に至り、悔いても及ばざるに至る、恐るべし。」と。

翁の敎訓、さながら名醫の手術を受くるの感あり、誠に翁の言はる〻如く、人の身代を立て直す場合には外科的療治を用ひざる可からず、姑息の彌縫策を以てしては、終に滅亡に至るの外なけん。

●虛と實

人は至誠ならざる可からず、殊に家政を處理するに當りては、誠實を以て事に臨まざるべからず、虛僞があリては家は保てぬものなり。翁の敎訓に曰く。

「方今の世の中は、虛僞にても支障なきが如くなれども、こは其相手方も又虛僞なればなり、虛僞と虛僞との衝合ひなれば、隙なく滑りなし。然れども若し虛を以て實に對する時は、直ちに支障を生ずべし。

譬へば百枚の紙の中より一枚とれば知れざるが如しと雖も、九十九枚目に至りて不足を發見す。また百間の繩を五寸切るも同樣、九十九間目に至りて其足らざるを知るなり。人の身代一日十錢取つて十五錢遣ひ、二十錢取りて二十五錢遣ふ時は、年の末までは知れずといへども、大晦日に至りて、その不足あらはる〻なり。虛の實に對すべからざる斯の如し。」と。

翁の敎訓、頗る好し。大晦日に至りて、拂ひにまでつくが如きは、不斷虛僞がしてあればなり。虛僞があれば、必ず終には綻びの出るものと知るべし。

●天分の內にて暮すべし

入るを計りて出づるを制するは、家事經濟の原則なり。然れども兎角交際の爲、義理の爲、出費多きを免

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れざるが世間の常なり。翁、此事に關し極めて適切の教訓あり、その語に曰く。

「徳行を立てんと思はば、先づ自己が天祿の分を明かにして、之を守るべし。天分の内にて勤儉を盡して、生活を立て、何程づゝか餘財を譲ることを勉むべし。これ家政を執るの道なり。然るが故に入るを計りて、天分を定め、音信贈答も義理も禮儀も皆な此内にて爲すべし、出來ざれば皆な止めて可なり。人或は之を見て吝嗇と譏るとも、それは譏る方の誤なれば、敢て意に介する勿れ、



何となれば此外に取る處無く、入る物無ければなり、されば義理も交際も出來ざれば、爲さゞるが即ち禮なり、義なり道なり、此理をよく〳〵辨へて惑ふこと勿れ。これ徳行を立つる始なり、己が分度立たざれば、徳行は立たざるものと知るべし。」と。

義理、交際を重んずるは、元より惡きことにてはなけれど、出來ない算段をしてまで分不相應に義理張るには及ばぬことなり。義理倒れ、交際負けがする樣にては、到底家政は行立たぬものなり。家政行き立たずしては、徳行も德

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

行にならずとの趣意なり。翁の此教訓、よく〳〵味ひ見るべし。

●家船の維持

兵法に地の利は人の和に若かずと謂へり、家門を維持するも亦此の如し。翁、理解し易き比喩を用ひて此理を諭して曰く。

家屋の事を俗に家船又は屋臺船といへるは、面白き俗言なり。家をば實に船と心得べし、之を船とする時は、主人は船頭なり、家族は皆な乘合なり、世の中は大海なり。故に此家船に事あるも、また世の大海に事あるも、船頭は勿論、此船に乘合ひたる者は、一心協力して此家船を維持すべし。

さて此屋船を維持するは、梶の取り樣と、船に穴の穿かぬやうにするとの二つが專務なりこの二つに能く氣を付くれば、家船の維持疑ひなし、然るに梶の取り樣にも心を用ひず、家船の底に穴があきても、之を塞がんとせず、主人は働かずして酒を呑み、妻は遊戯を樂しみ、伜は碁將棋に耽り、二男は詩を作り、歌を詠み、安閑として歳月を送り、終に家船をして沈沒するに至らしむ。嘆息の至りならずや。たとへ大穴ならずとも、穴が明きたらば、速かに乘合一同力を盡して穴を塞ぎ、朝夕ともに穴の明かざるやうに能く〳〵心を用ゆべし。これ乘合の者の肝要の事なり。

さるに既に大穴明きても、猶ほ之を塞がんともせず、家族の者共各々己が心の儘に安閑と暮して居て、誰か塞いで呉さうなものだと待つて居てすむべきや。助船をのみ恃みにして居てすむべきや。船中の乘合一同身命をも拋つて、働かずばある可からざる時なるをや。」と。

翁のいふ所、まことに面白し、家族の一致和合と、及び其協力勤勞に依つて、家庭は維持せらるゝなり一家の主人及び其家族は常に此の心掛あるべし。

●鉢植の松

翁、また身代を維持するの法を説明して曰はく。「人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の身代は譬へば鉢植の松の如し、鉢の大小に依つて、松にも大小あり、緑を延ばし次第に延す時は、忽ち枯氣つくものなり。年々に緑を摘み、枝を透してこそ美しく榮ゆるなれ。これ心得べき事なり此理を知らずして、春は遊山に緑を延ばし、秋は月見に緑を延ばし、或は據ろなき交際と言つては枝を出し親類の付合と言つては枝を出し、分外に延び過ぎ、枝葉次第に延びゆくを伐り捨てざる時は、身代の松の根漸々に衰へて、



枯れ果つべし。されば其の鉢に應じたる枝葉を殘し、不相應の枝葉をば、年々に伐りすかすべし、これ最も肝要の事なり。」

と。

譬喩適切、身代維持の秘訣を諭し得て妙といふべし家を保たんとするものはゆめ此旨趣を忘るべからず。

●滅亡の理

國家滅亡の原因は、他の壓迫にあらずして自身の腐敗にあり。翁、此理を究めて曰く。

「暴風に倒れし松は、雨露根に入りて既に倒れんとす

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る所の木なり、大風に破れし籬も、杭朽ち繩腐りて、將に破れんとする所の籬なり。夫れ風は平等均一に吹くものにして、松を倒さんとし故らに吹くにあらず、籬を破らんとて別けて意地惡く吹くにあらず、風なくとも倒るべきを、風を待つて倒れ破れたるまでなり。天下の事皆然り、鎌倉北條の滅亡も、室町足利の滅亡も、人の家の滅却も皆同じ。』と。

故に一國にても一家にても、他の壓迫の爲に倒れざらんと欲せば、宜しく其根本を固むべきなり。

●勉強の功德

職業さへ勉強すれば、生活に困るやうな事はなきものなり。翁は曰く。

『杣が深山に入つて木を伐るは、材木が好きにて伐るにあらず、炭燒が炭を燒くも炭が好きにて燒くにあらず。それ杣も炭燒も、その職業さへ勉強すれば白米も自然に山に登り、海の魚も里の野菜も酒も油も皆な自ら山に登るなり、奇々妙々の世の中といふべきなり。』と。

翁の敎訓、面白くして趣味あり、且つ其中に天地不磨の道理あるは、感服に餘りありと謂ふべし。

●富貴天にあり

果報は偶然に來たるものにあらずとの意を、翁、說いて言へるあり。曰く。

『古語に富貴天にありと云へるを誤解して、寢て居ても富貴が天より來たるものと思ふは、大なる心得違なり、富貴天にありとは、己が所行天理に叶ふ時は、求めずして富貴の來たるを謂ふなり、誤解すること勿れ天理に叶ふとは一刻も間斷なく、天道の循環する如く日月の運動する如く、勤めて息まざるをいふなり。』と。

寢て居て棚から牡丹餅の落ち來たるを口を開いて待つが如きは、天理に悖る甚しきものなり、人は只だ一心不亂に働いて居さへすれが、天の眼鏡に叶ふて自づと富貴も來たるべしとなり。富貴を希がふ者は翁のこの敎訓に從ふて、只だ勵み只だ勉むべきなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●蒔いて取る

世には濡手で粟の掴取を望むもの多し、翁、かゝる輩を戒めて曰く。

「遠きを謀る者は富み、近きを圖る者は貧す、それ遠きを謀る者は、百年の爲めに松杉の苗をを植ゆ、まして春植えて、秋實る物に於てをや、故に富裕なり。然るに近きを圖る者は、春植えて秋實るものをも、猶遠しとして植えず、只だ眼前の利に迷ふて蒔ずして取り植えずして刈り取る事のみを思ふ、故に貧窮も、それ蒔かずして刈るものは、眼前利あるが如しと雖は、一度取る時は二度刈ることを得ず、蒔いて取り植えて刈る者は、年々歳々盡くる事なし、故に無盡藏なり。」と。

翁の教誡、まことに然り、人は蒔いて取り、植えて刈るの心掛こそ肝要なれ。

●貧乏神と疫病神

翁、ある時、某村を巡回せられたる砌、無精にして掃除せぬ家あり。之を見て翁の曰く。

「汚穢を極むる此の如くなれば、汝が家永く貧乏神の住所となるべし。貧乏を免れんと欲せば先づ庭の草を取り、家屋の内外を掃除せよ。不潔此の如くなる時は又疫病神も宿るべし、よく心掛て貧乏神や疫病神の居らざるやうに掃除せよ、家に汚物あれば、惡蠅の集るが如く、庭に草あれば蛇蝎所を得て住むなり。肉腐りて蛆生じ、水腐りて孑孑生ず、されば身穢れて罪咎生じ、家穢れて疾病生ず、恐るべし。」と。

翁の教訓、極めて好し、家屋の清潔は一家整理の初なり、不潔なる家には、秩序も規律も立たぬものなり而も汚穢なる爲めに諸々の災疫をも釀すべければ、洒掃の事は最も心すべきことなりとす。

●注文の外

命令された事だけ爲せば其で吾が義務はすむと思ふものあり、又注文された事だけしてやれば其で十分な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りと思ふものあり。されど其丈にては未だ至らざるなり。翁は曰へり。

『庭訓往來に注文に載せられずといへども、進じ申す處なりと書けるは、よく人情を盡したる文なり。百事此の如くありたきものなり。影膳に蠅追ふ妻のみさを哉、影膳は注文の内なり、注文になしといへども、蠅追ふ處なり。菊の花を贈るは注文なり、注文になしと雖も根を付けて進ずる處なり。凡そ事斯の如く爲せば志の貫かざる、事の成らざることある可からず、此に至つて孝悌の至りは、神明に通じ、西より南より北より思ひとして服せざる事なしといふに至るなり。』と。注文の外といへども、彼角と心を添ふるは、人情の美しき所なり。人は萬事に斯樣の心掛ありたきものなり。

●小道具と履物

翁曰く『凡そ富人にして小道具を好むものは、大事は成し得ぬものなり。貧人にして履物足袋等を飾るものは、立身は出來ぬものなり。また人の多く集り雜沓する處には、好き履物を穿くこと勿れ、よき履物は紛失することあり。惡しき履物を穿きて紛失したる時は尋ねずして更に買ひ求めて、穿きて歸るべし。混雜の中にて之を尋ねて、人を煩はすは、麁惡なる履物を穿きたる者より見苦し』と。

小道具や下駄傘や足袋の樣な物に拘泥らふは小人の常なり、殊に婦人には頭髮の物、身邊の裝飾に詮義立するの弊あり。然しかゝる末事に頓着するやうでは大事は成し得ぬものなり、立身出世は出來ぬものなりとは、翁の教訓の趣旨なり、世人少しく此に鑑みる所あれ。

琴の音

村田琴仲遺著

これは露伴門下にありて才媛の聞へ高かりし琴仲女史の遺稿なり、女史妙齡にして運命頗る數奇、二十一歲にして空しく黄泉の客となる、文に錦繡を飾らずと雖も、才思横溢して覇氣蓬勃たる概、この短篇中に躍動せり、春陽堂發行價四十五錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

思出深き名家の家庭

故陸奥伯の家庭の半面

明治年間の大政治家として將た外交界の一大人傑として名聲嘖々たる故陸奥伯は馬關條約の大舞臺を名殘りとして不歸の客となられ、以來十年、外務省構内に紀念の銅像建てられ、つい頃日その除幕式を擧げ、伯が外交界に於ける幾多の苦心と成功とはこれに依つて永く〱世に表彰せらるゝ事となつたのである、こゝに於て公人としての伯の靈は安らかに地下に微笑んで瞑する事であらうが、さて伯逝いて後の陸奥家の家庭は如何なるべきか、知る人ぞ知るそれは隨分悲慘を極めたものである。元來伯は政治家としては剃刀大臣と呼ばれたほどあつて日頃權變機略を事として政治以外には何等の趣味もなき、乾燥無味なる人の如くに思はれたれど、それは只表面の事、翻つて家庭に於ける伯は極めて多情多感、隨分情的方面の事情にも富んで居られたのである、併し夫人亮子との間柄は極めて平和で晩年顯榮の地に登られ、資產も裕かになつた曉、猶日常の三食は依然として質素なる夫人の手料理に舌鼓を打たれたとの事である、家庭は常に春風靄々たる樣で殊に伯は大の子煩惱故、長子廣吉、季子潤吉兩君だけでは、まだ滿足が出來ざりしと見へ或時夫人と寢物語の序に偶と昔しの事共語り出され「ア、私にはまだ子供が一人ある筈ぢや、あの子は今どうして居るかしらん」と語られたのを、夫人は賢こくも伯の意のあるところを察しいろ〱手を盡して尋ねた揚句、意外にも織田純一郎氏の養娘冬子と呼ぶが伯の落胤なる事分つたので早速織田氏と交渉し、冬子を引取つて伯の前に捧げたのである、これを見た伯の喜び一方ならず一家はいよ〱和氣洋々として陸奥家の幸を謳つたのであるが、禍福計られぬは憂世の常、伯先づ逝きて未亡人となつた亮子も亦味氣なの世を喞つ身となり、間もなく伯の後を追ふて黃泉の客となられ、三人の遺孤は懷しい夢の果敢なさに泣たのである、そのうちに廣吉氏は領事として愛妹冬子を伴ひて米國へ赴かれた、冬子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は其頃才色双絶の聞え高くわが國は愚かなこと、米國の交際界の花と稱へられたほどであつたが、美人薄命の譬にもれず、去卅三四年の頃、歸朝の船の中に病に奪れてその床しの色をとゞめもあへず、靈魂は父伯のもとに去つて空しくなられ、續ては次子潤吉氏も古河家の養子となり銅山王の跡を嗣がれしがこれもまた天壽甚だ短かく今年の春二十五歳を一期として空しくなられたのである。

王子瀧の川のほとり、邸宅の構へは今も昔に變らねど住む主もなく雨の日風の夜、轉た人をして痛恨の情に咽ばしめた、當時英國大使館に一等書記官たる廣吉氏は思ふところありとて未だ娶らず、夜深く身をベッドに横へて夢に樂かりしその頃を偲ぶのではあるまいか銅像除幕の紀念すべき當日、陸奥家の思出は殊に深かつたとの事である。

弟「姉さんお猿は矢張り動物なの」
姉「いゝえ動物ぢや有りません」
弟「だつておつかさんがよくおあしには羽が生へて飛んで行つてしまつたとおつしやるもの」

父母の注意すべき家庭の讀み物

（某子爵の談）

近來新聞紙の記事が比較的着實になりたる觀あるは大いに喜ぶべき事なるが中には猶いかゞはしき記事を掲載して恥ざるあり、これが爲めに世間の子弟を誤ること尠からず現に予が親近者其實例を出したるは悲むべし、余の先代は頗る快濶なる一種豪傑的の人物にして、維新前より供をも連れず唯だ一人外出し、興に乘じては屢々茶屋遊びをもなし、藝人共をも屋敷に出入せしむると云ふ有様にて、大名の癖に非常の道樂者なりしが、余が十三歳の時養子として當家に來りし以來俄に其素行を愼み、贔負の藝人共には夫々手當を與へて堅く將來の出入を止め、以前よりの惡習慣を一掃せられ、全く別人の如く嚴格極まる人物となられたり、其後余の成長するに隨つて、口八ケましく小言をいはれしこと更になく、極めて非干渉的なりしに拘はらず讀み物に就ては非常に干渉し、新聞紙なども必ず制限

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ありて、自分の欲する所のものを勝手に購讀することを許されざりし、この深意はやがて余が男子數名を擧げて後に犇々と胸に中ることゝなりぬ、されば子供等の讀み物に就ては獨り余一家のみならず、親族知人間にも嚴しく注意を與へ居る次第なるが、余の近親なる某家にて近頃其の嗣子の素行修まらず、之れが原因を繹ぬるに全く新聞紙の不良なる記事より生じたるより更に老父君が讀み物に注意されしことの深意に感じぬこの世嗣は平素溫順の方にて學業の成績も先づ中以上なりしが、昨年の秋頃より諸處より惡評を耳にするに至りしも信ぜざりしに、突然或る高利貸より談判を持ち込まれ、驚ろきて種々取調べ見しに遊びもあらんに銘酒屋などに耽り居りしとの事にて、費消したる金は多額といふにあらねど、場所が場所の事とて博徒詐僞師等と親しく交際ひ、其等に欺かれて色々の事を爲したるものと判明せり、平生は大抵同族の子弟と交際ひ居り其中には隨分放蕩者もある樣なれど、彼の平生懇意にせる友人間には一人として銘酒屋に足を踏み入るものはなきに、何者に敎へられて斯る惡場所に入り込む樣になりしかと詮索せしに彼の本箱の中より新聞紙の切拔きの束にしたるを搜し出せり、其の切拔きは待合、銘酒屋を始めとし總て此種類に屬する卑猥極まる內幕談の記事を網羅したるものにて、彼れが蕩樂の師匠は全く新聞の記事なることを發見せり、是畢竟家庭に於る讀み物に不注意なりし結果にして、家長主婦の手ぬかりといふべし、人の親たるものは能く此邊に注意を加ふること肝要なるべし。云々

○幼兒は豫想外に獨立心に富み自治心を有するものなれば、成るべく此の氣風を利用し、幼時より自己に屬する用務は他人に依賴せず自己の手を以て處分さする習慣を養成すべし、彼の車夫をして靴の紐を結ばしめ又靴を脫がしむるを以て誇となす者の如きは、畢竟依賴心の增長したる怠惰漢のみ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

實務

職業としての産婆

日本産婆學校長 醫學博士 榊順次郎氏談

社會は、産婆を輕蔑してゐる。産婆といふ職業が、一般婦人の爲に、又その子供の爲に、どの位重いものだか分らんのに、社會では、案じるよりは産むが易いといふ位で、重きを置てゐません。そのせいと見えて只今産婆と申しますれば、無學文盲にして强欲な婦人でなければ、徒に物知り顏する生意氣女であるかの感が致します。その無學文盲なのは、在來の習慣に基づいたものでせうが、私共は多年産婆試驗委員をしてゐますから、受驗生の成績より察するに、その生意氣な所以は、各病院附屬の産婆講習所樣の者が、講習生引付策として、要りもしない學理を詰め込んで、醫師の代用（眞の代用にあらず）をも出來るやうにし、又は、あの學校こそ、種々の學理や實地まで教ゆるものなりと噂さする卑劣手段の爲や、又病院の經濟上産婆を利用せんとする意志より、前記の詰込をするやうに信じます。で、只今の産婆が、品性下等にして、自己の職分を解せず、産科醫の職分を犯し、且つ、醫師と不正なる申合をなして、手術其他醫療を、敢てするに至りたるは、職として産婆養成の、當を得ざるに歸因するのであります。世に産婆を以て任ずる人の、特に注意すべき所です。

△産婆と産科醫　とは、餘程似てゐますから、今の産婆は、毎に産科醫の範圍に立ち入ります。その職分の區別たる、生理的のお産、即ち毫も異常なき姙婦の取扱は、産婆之を掌り、病的のお産、即ち何か異常のある姙婦の取扱、例へば手術を施すとか、注射をするとか、醫藥を要するとかするお産は、醫師が之を掌るのであります。産婆と醫師との職分區劃は、この樣に判明したもので、少しも疑を容るゝ餘地はありませぬ。法律を以ても、特に規定してありますのに拘らず

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

双方申合して、産婆が醫薬を賣り、又は手術を施すのは、實に言語道斷の所行であります。

△悪産婆の結果　彼等が姙婦を傷ふことは、實に夥しいのです。例へば、その無責任より、産褥熱を起さすとか、局所に種種なる畸形を遺さすとかして、その人を不幸短命又は不具様の人と致します。一般の婦人はそれに就て吹聴はしませんが、吾吾産科醫の眼より見る時は、子を生みたる日本婦人の局所は、その大半は畸形を呈してゐる様です、例へば或は裂け、或は綴り、或は曲り、或は開いて居るのであります。



△試験　其筋では産婆開業試験を、毎年四月十月の二回擧行してゐますが、前記の様に、不完全な修業をして居る者があつて困るのです。

△收入　人によつて異にして居ます。私共の病院に出入してゐます者には百五十圓乃至二百圓の收入ある者もありますが、これは上等の方です。假ひ水車の如く忙しく働いても、所謂貧しい病家のみでは一ヶ月六七十圓以上に上るのは、むづかしいでせう。

△素養　普通學は、高等小學校卒業位で間に合ふ、

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

又專門の修學は、一ヶ年丈十分修めれば、宜しいのです、併し開業試驗に合格したからといつて、實地に暗ければ、役に立ちません。その實地に達するには、人によつて遲速があります。例へば、自轉車に乘つても一二ヶ月の稽古で、曲乘までもする人もあれば、二三年稽古しても、滿足に乘れない人もある樣に、產婆の如きも、僅に數人に當つて、練達する人もあり。何年遣つても覺束ない、人もありますそれはは銘々の智慧の働きです。

△日本產婆學校　これは吾々が多年產婆試驗委員として、產科醫として、前記の弊風を察し、一切之を各自の病院に利用しない規約を立てゝ設立したものですが、この學校は、一面には當局の要求に應ずべく、又社會の需要に應ずべく養成して居ます。

△需要　我國に於ける產婆の需要に對しては、每年二回の產婆試驗によりて、之を供給してゐますが、只今の樣に、良產婆に乏しい社會では、決して需要のない筈はありません。先づ前途は多望の方です。

△職業としての看護婦　看護婦の方は、產婆に比して、較々輕い所があります。產婆は醫師と等しく、生理的の產に對しては、獨立的のものですが、看護婦は決して獨立的のものでありません、醫師あり、產婆あり、而して看護婦ありといふものです。看護婦の慈善的、義俠的の職業たることは、今更申すまでもないが矢張今日では、素養のない、人格の卑いものが多いのであります。これも一つには、看護婦養成の方針が惡い爲でせう。

△素養　看護婦の試驗は、產婆と等しく、每年二回春秋にあります。その素養は、產婆と同じく普通學は高等小學校以上で、專門は一ヶ年で卒業できます。

△日本看護婦學校　これは吾々が產婆學校創設の序でに設置したので、矢張一方には當局者の要求に應じ他には社會の需要に應ずる爲めです、生徒は產婆生と合せて凡そ三百名、看護婦生は、その二三割です。產婆、看護婦とも、本校の卒業生は、三分の二は及第してゐます、看護婦養成所は、先づ慈惠醫院、帝國大學、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

順天堂などなら宜いでせう。

△収入　色々等差があります先づ免状のあるのは、東京で日當壹圓。食費は病家持です。併し、看護婦は產婆の如く獨立といふことはありません。必ず看護婦會に附屬してゐますから、二十錢也、三十錢也。會主に出さねばならんでせう。

△看護婦の惡習　從來の看護婦には、實に如何はしい者が多く、素養もなく、品格もなく、醜業上りの者などありて、隨分風俗を害する事が此間に行はれてゐます。風紀の矯正は、現下の急務でせう。甚しきに至つては、ある富豪貴紳の男に關係せんことを目的として、看護婦志願をする者があるさうです。某々看護會中には、實に怪しからぬ周旋屋ともいふべきものがあります。（田中久筆記）

貸主「兼て御用立の金子の日限が過ぎましたから、抵當の畑を受取りますよ」
借主「ハイ〳〵早く畑を持て行つて下さい跡は田にするから」

流行雜俎

七五三の祝ひ着

◎當月は祝ひ月と唱へ、七歲、五歲、三歲の兒童ある家庭では、孰れも祝ひ着を新調する習慣が古來から傳つて居る。男子は五歲を袴着と云ひ、女兒は七歲と三歲の二期に分れ、七歲を裳着と云ふさうである、然ば之を俗に七五三の祝ひと稱し其の祝ひ日は當月十五日とせられてゐる。此日は各所の氏神が大繁昌で、門前の千歲飴と境内の鳩は尠からぬお庇護を蒙るのみならずお祝ひの日は商人へ錢が溢れて、出入の魚屋や酒屋迄も平日以外の注文に接すと云ふ事である。

◎此お祝ひは舊時は却々盛んなもので町内の鳶頭には革羽織を着せ、抱えの大工左官には、印半纏の惣仕着衣と云ふ大奮發、祝ひ子は鳶頭の肩車へ乘つて里神詣に出掛、其の華美を競ふ事は山王神田の、御用祭りの練子と違はなかつたものだ。今日から顧たら馬鹿々々しく思はれやうが、當時の風習として已を得ぬのであつたらう。

◎併し文明の今日でも祝ひ日の神田明神や深川八幡、偖ては永田町の日枝神社なぞの境内は、里神詣の兒童で却々雜閙を極め、市内でも綺羅を飾つた祝ひ子を、俥に乘せて、親戚廻りするものを折々見受ける。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎戰爭以後は男兒に絹布物の袴羽織の劇場の小役然たる服裝をする風は殆んどなくなつたが、女兒には相變らず縮緬の裾模樣に金襴の帶、鬱金縮緬の帶揚や、携帶品の函迫、何や彼やを調進たら其の費用は、愁じな話しで無いとやら。

◎七五三の祝ひ着は、婚禮の晴衣裳と同じく、需用者が費用に糸目を着けぬから、霜月の吳服店は皆之を當込みにする、けれど祝ひ着は三ツ身四ツ身と云ふ、ハンパナ地質の裁縫だから、兒童が成長した曉には、何の役にも立ぬ物、まづ〳〵餘り奢らぬがよかるべし。

◎三越吳服店で聞いた所に依りて絹布に代る優美な、綿服の祝ひ着の豫算を揭げて見やう。

△黑瓦斯袖下模樣紋附仕立上り（一枚五圓廿五錢）蝦茶カシミヤ袴（一具四圓九十錢）

△黑眞岡木綿紋附羽織同上（一枚二圓六十錢）同長着紋附同上（一枚二圓七十錢）

△小倉袴中裁（一具一圓四十錢）で、女子の黑瓦斯袖下模樣とは頗る優美な染色へ、季節の菊花などを他の模樣に捺らひ、有禪染めとした所へ、縫糸で縫模樣を顯したもの、夫から袖下模樣とは袴を穿くから振袖だけて、裾模樣を省いたものだ、單に振袖模樣と云ふ意味である。黑瓦斯は木綿瓦斯織である。

◎同じ價格で唐縮緬の有禪染もあれど、黑瓦斯よりは何所となく野卑だ、けれども唐縮緬の染色には、紫紺もあればオリブもある。夫から蝦茶袴は和製カシミヤならば僅か一圓位の廉價で、之を唐縮緬にすればモウ一倍廉くなる。併し何方かと云へばカシミヤの方が永久的で、持が克いからお徳用向きである。

◎之を自家で裁縫なされたら、裏地類はお持合せで間に合ふから、ズット格安になつてくる。今其の地質のみの價格を示せば

△黑瓦斯袖下模樣（四ツ身一枚三圓二十錢）△モスリン有禪同上（同三圓三十錢）

△蝦茶袴カシミヤ地（一具四圓三十五錢）△同和製袴地（同三圓四十錢）

△黑眞岡紋附羽織（四ツ身一枚一圓七十錢）△同長着紋附（同斷）

△小倉袴（中裁一具一圓二十錢より二圓）

所で袴は勸工場などに正札附の格安物もあるが、地質の寸尺に橫着があるから、洗ひ張や裁縫直しの時に困ると云ふ。

◎夫から三歲の祝ひ着の黑紋附は、木綿にした所が无であるから唐縮緬の有禪で裁縫すれば克いであらう。上等モスリンで三ツ身一着、袖を振袖にして一丈七尺、之を改良袖としたら一丈三尺餘りで澤山、上等縐の價格一尺十五錢と見ても、振袖で二圓五十五錢……改良袖であつたら二圓の內が欠る。然れば舊慣を守つて祝ひ着を作るならば、斯る平民主義の綿物を用ゐる事とせば經濟的である上に兒童の虛榮心を鼓吹する事も無く至極重寶な譯である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

詞藻

和歌　　塚越停春選

(天) 題知らず　　伊勢　佐々木らく子

月と蟲に今宵のやとは
　まかせおきて衣うつらん里の賤の女

評。言外餘哀あり。

(地) 暮秋　　小石川　伊澤はの

荒小田の鳴子の縄にしも見えて
　朝戸出さむくなれるあきかな

評。田舎暮秋の景見るが如し。響調流麗。

(地) 題知らず　　東京　二木こま子

荒駒は風に嘶く下毛や
　奈須の大野に白雲まよふ

評。豪宕。

(人) 逸題　　滋賀　久子

浪の音も神代ながれの心地して
　月冴へる渡る伊勢の海ばら

評。神代ながらの形容、伊勢の海に用ひて、殊に活躍あるを覚ゆ。

(人) 秋の夜　　神戸　古在敏子

たかどのゝ琴のしらへも月かげも
　いよゝすみゆく秋の夜半かな

評。歌品の高きと節奏の流暢とに取る。

(人) 萩　　松江　佐藤ゆき子

さらでだにさびしきものを小夜ふけて
　庭の萩はら風さわぐなり

評。格調高し。

(人) 雁　　河内　竹田敬子

かりのなく聲にねざめて窓押せば
　月傾けり近江路の宿

評。末の七字ありて全篇活く。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（人）涙　山梨　小野はな子

庭のおもの葉末の露と世のうきに
せむぶ涙といつれはかなき

評。比擬面白し。

秀逸

○○○紅葉　麹町　羽田豊子
ちらさじとつま木にそえし一枝の紅葉や賤が重荷なるらん
重荷とは面白し

○○○懸哀　堺市　清水雪子
置きあまる露にたわみし萩が枝に似たるは己が袂なりけり
比喩妙

○○○逸題　東京　てふ子
そゞろにもあつき涙のこぼるゝに今宵まさばと君をしぞおもふ
下句人を動かす

▷○○失題　岡山　酒井晴子
かなしとも憂しとも知られされど〳〵おもひはしげき秋のくれかな

▷○○小春　下総　匝山静波
胡蝶追ふ白き小猫の見えずなりて菊の花壇にすゞの音きこゆ

○○○題しらず　下総　岩瀬不二野
しろともに秋のあはれをなげけとやふけゆく夜半に蟲のなくらむ

▷○○山里暮秋　麹町　松谷豊子
山川にちりて流るゝもみぢ葉の一葉〳〵に秋ぞくれゆく

▷○○暮秋　大阪　前澤初芽
何となくこゝろさびしき夕かなかれのひゞきにつゆもみだれて

▷○○行路萩　築地　堺いく子
立寄れば露までこぼれ花ちりてむしのれたえぬ萩のほそみち

▷○○観天長節　麹町　樺山花子
あまさかるひなも都も人は皆同じ心に祝ふ今日かな

、○○中秋満月に　なごや　木村七枝
ひとりすむ庵おとなふ人やたれいつこもおなじもちの夜なるに

▷○○暮秋　河内　陸山讃子
あはれさのかきりを見せて山のはのうすき夕日に秋くれんとす

▷○○逢戀　尾張　飯田八束
あふと見しゆめのうきはしうつゝにもわたるこよひぞ嬉しかりけり

、○○蟲　攝津　平林ふさ子
ふけぬるか風も身にしむ秋の野にたれまつ蟲の夜たゞならむ

、○○富士山雲にかくれて見へざりければ　神田　石田信子
裾野には秋風ふけど雲の上はうき世の外のふじの神山

、○○月　大阪　津田はる子
忠士二人名残を惜む明け方の孤城の松に月低うたる

▷○○鹿　大阪　人見やすな
つゆもらぬかりにの袖のいかにして男しか鳴く夜は袖のぬるらん

、○○紅葉　四谷　ひろ子
花ならばうつらふものをふる雨にもみぢの色のまさりゆくかな
着想奇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○○垣　　岡山　駒井友子

むつみあふとなりの中にゆふかきはへたてぬ中のへたてなりけり

亦妙

○○失題　　伊豫　谷川志津子

夕霧に姿はみえずむら烏塒にかへる聲ばかりして

○○初冬雨　　越後　坪井わか子

大方のあはれを並に掻き寄せし落葉に雨をきく夕かな

○○田家菊　　明石　大山恒子

繕はぬ賤が垣根のきくの花おのづからなるふりもゆかしき

○○夕蟲　　大阪　岡市喜志子

今宵し月には早しおり立ちて垣根の蟲の聲を聞かばや

○○秋曉　　美濃　山田愛子

霧晴れてゆく袖寒き朝月夜山畑しろく蕎麥の花咲く

○○月の夜師の君をしのびて　　三河　村上逸子

花ならば手向んものをめでましゝ月の桂は折るよしもなし

○○時雨　　牛込　榛枝

さらぬだに淋しきものを秋の夜の時雨とゝもにふりくらすかな

○○旅宿蟲　　伊豫　吉松桃子

さらぬだにうきれの旅の草まくらなほぬらせとや蟲のなくらむ

○○故郷鶉　　福岡　日下部ふじ子

ふるさとはあさぢかはらとあれはてゝをはれかくれにうつらなくなり

○○萩　　山梨　小野みどり

おく露もわかむらさきの色そひてにほひゆかしや萩の初花

○○聽蟲　　福岡　木下のぶ子

更くる夜になく蟲の音のかなしさをわが身ひとつにあつめてぞ聽く

○○月　　常陸　紫子

うき雲を峯の嵐にはらはせて今昇るなりをばすての月

○○折にふれて　　福岡　龜崎とみよ

けふもまたうたひかはして夕ぐれの雲よりくだる峰の柴人

○○暮秋　　駿河　清逸武子

小鳩啼く宮居のほとり秋ふけて杉の枯葉に夕日かたぶく

○○失題　　大阪　山崎玉子

一群のラクダいなゝき遠くなりてサアラの砂漠月落んとす

○○題しらず　　小石川　塚越うた子

こし方をさまよう夢のうき舟は思ふ心に浮ぶなりけり

○○折にふれて　　信濃　松尾節子

朝さむみ日あたり椽に端居して書よみ居れば百舌啼きしきる

○○故郷霜　　埼玉　宮倉仙子

あれはてし我故郷の冬はたゞ霜柱のみたち殘りけり

○○逸題　　福井　島高嘉子

洗ひ髪ほすましばしの近邊に野菊つむなり背戸の秋の日

○○秋夕　　日本橋　吉川秀子

山門はとざせるまゝに朽ちはてゝかれの音細し秋の夕暮

○○　　麹町　はら

なく鹿の聲もあわれに聞ゆなり三笠の山の秋の夕暮

○○時雨　　山梨　井出まさじ

しと〳〵と庭の落葉に音たてゝねざめさびしき小夜時雨かな

○○秋夜憶舊友　　備後　立神峯子

長き夜のおもひのはてに偲びいでゝわすれし友に文をかくかな

秋のうたの夜に　　雛子

うや雲は夕ふく風にはらはれて峰に澄むなり秋のよの月

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

佳調

折にふれて　神戸　今西操子

人皆におもひは絶へし海に山に楽しきをならひの世にもある哉

紅葉　陸前　赤井みつえ

秋姫の心つくしの山にしきなほうすきこきあるぞをかしき

禁庭菊　山梨　小々倉

みめぐみの露おきあまるみそのふの菊の色香はあせずもあらなむ

月前懐思　大阪　森川菖子

をばすての山のながめは知られども今宵の月に忍ばるゝかな

暮秋情　大阪　沖ふく子

身一つをなぐさめかぬるわれなれどなほゆく秋の惜しまるゝかな

失題　淡路　柳田白百合

小田もりしなる子も破れて何となく涙ぐましき野の夕暮

暮秋　岡山　白梅女

なく蟲の聲もよはりて日ひと日田舎の秋はかくて暮れ行く

失題　越後　長谷川白百合

うきことのつもる思ひを語はるゝ月にぞかたる秋の小夜中

行秋　下谷　西川はな子

夜の間に秋は行きけんけさ見れば紅葉は散りぬ菊はくつれぬ

二宮神社に詣でゝ　越後　うめの

けがれにしこの世の我をうつすにはあまりにきよし神のみかゞみ

をりにふれて　越後　吉田梅子

合はするは笛の音かあらず蟲の音か人は知らじな嵯峨野のいなば

天長節　肥前　春代子

九重の雲の上までひゞくらん戸毎に祝ふ今日のもろ聲

寒鴉　牛込　平野白百合

羽ぶるひのかちすやどりて夕かぜにみぞれおちくる枯木立かな

月　岩代　入星子

照る月に心なけれど見る人のこゝろは月の心とぞなる

秋夜　堺市　清水栄子

稲はこぶ賤が人かげ見えずなりて月かげ淋し小山田の里

山紅葉　佐世保　九津見満子

秋ぎりのはれにし今日ぞしられけりやまゝた山の峰のもみぢば

夕紅葉　長門　隅江みれ子

夕日さす峰の紅葉は夜の戸に入る山姫の裳裾かゝらん

天長節　淡路　しの代

あれましゝたる日をよしとこま人も玉うきあげて祝ふ御代かな

聞蟲　豊後　加納とよ子

しら露のおき居て聞けばなく蟲の聲もちぐさの秋の夜なく

秋の夕　青森　杉沼たれ子

さなきだに秋の夕の淋しきをつゞれさせてふ蟲の鳴くなり

夕空　牛込　薗の里

日は落ちて西山松を紅に染むるばかりの空の色哉

秋野　神田　米保木玉枝子

露繁き小草の蟲も聲呑みつ荒野のあたり月傾うして

鹿　千葉　吉原靜江

朝月夜光りうすれて小萩原狭霧のなかに男鹿啼くなり

月夜露草　千葉　靜子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手をりなば散りやみだれむしら露に月をむすべる糸萩の花

秋風　山口　牛尾とら子
ゆふ月のかけまちをれば秋風の袖にも肩にもあまる涼しさ

紅葉　八王子　金山秀子
神無月しぐるゝ雨の糸すぢにあや織りかくる木々のもみぢば

失題　小石川　吉田豊子
宵月にあみかたまけてうつむける露のうばらに風はふかせじ

雁　越後　中野好
おもひ出で友こふ秋の夕暮にうらめづらしき初雁のこゑ

失題　水戸　榊　八重子
亡き妹のいまはのさまも忍ばれてそゞろ悲しき夜半の雨かな

秋夜蟲　伊賀　服部うた子
雨の音いつしかやみて小夜更けてしげくなり行く蟲の聲かな

鈴蟲　前橋　宮内りき子
欄干に月かたむきて秋の夜のふけて淋しき鈴蟲の聲

月下聞琴　尾張　なでしこ
てる月にしらぶる琴の音を聞てさが野の奥の昔をぞおもふ

紅葉　大阪　小山つぎ子
龍田姫小鹿染めて錦ますのまんまくと見ゆゝろでのもみぢ

楠正成　京都　三輪かよ子
七たびもむまれて國にむくいんとのこすまことや千代かほるなり

夕霧　青森　三浦愛子
かれがれし小草をやどの夕霧は逝きにし蟲の魂かとぞ思ふ

夕鴉　京都　三田登恵
入相のかれかすかなる夕ぐれにねぐらをいそぐからす三つ四つ

菊　本郷　槇本鈴子
春秋に花はあれどもわきてまたきくのかをりはめでたかりけり

某大人の皆事上より見たる紫式部てふ文をよみ思ふ

事ありて　田中　みちよ子
むらさきのそのひともとのれさしつるゆかりのいろのなつかしきかな

折にふれて　神戸　山村風子
なき父が植にし萩の花さきておく露しげき秋にもあるかな

失題　相模　文子
折々は枯葉の落つる音もして心さびしき秋の夜半かな

千鳥　芝　松村ろく子
枯のこるあしの葉ゆする浦風にふきたてられて立つちどりかな

紅葉　河内　櫻井貞子
手負ひたるいかり猪いづく逃れけん夕日まばゆく紅葉ちるなり

失題　小石川　白田若枝
三歳經し故郷の野辺をさまよへば昔戀しき鈴蟲のなく

殘菊　本郷　河合清子
枯草にまじれる菊のはなかたみ冬はめならふいろなかりけり

天長節　肥前　[illegible]子
玉の浦に御いくさ船のつどひきて祝ふおほづゝの聲しきりなり

秋　周防　佐々木いつ子
千草さきこがれの蟲なみ打つ秋をなどてや人はうしといふらん

きぬた　茨城　三重芳子
ねうつ音をたゆみてまた打と思ひし月はかたふきにけり

折にふれて　伊豆　佐藤文子
落葉た[illegible]編貫り來る秋されば　住むゞの風の日思ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

山寺の秋　下野　永山はる子
山寺の一本銀杏葉も枯れて夕日冷く秋の風吹く

失題　豊後　菅原芳子
朝霧やまがきの萩のちりはてゝ日毎にかるゝ虫のこゑかな

萩　牛込　千代子
露ふくみ枝もたわゝに玉萩の匂こぼるゝ風のあぜ道

失題　筑前　大島たか子
八束穂の稲葉における白露の玉にくだくる秋の夜の月

朝の月　丹後　廣野きぬ子
明け残る月ほの白し彼方なる並木の松の梢靜かに

秋夕　土佐　横山まさ
われひとり浮世に残る心地していともさびしきあきの夕ぐれ

失題　東京　二木こま子
霜寒う枯野七里に日は落ちて鐘の響は風に亂れぬ

月前虫　東京　谷波造作子
むさし野や草よりいづる月かげになくむしのれぞかぎりしられぬ

失題　京都　波多野廣子
秋姫の裳裾の綾か夕日さす高尾の山の峰のもみぢ葉

友に別れる時　群馬　須藤あさ子
別るゝは逢ふの初めと知りながらなほうらめしき名残なるかな

冬の月　埼玉　木村せい子
木からしのふきあらしくる山のはにすみのぼりたる月のさむけさ

秋の海　廣島　加藤しずい
夕霞のながれ〳〵てゆらぐ眞帆夢さながらの秋の海かな

失題　青森　泉山文子
敷島の大和言の葉日にそへて茂りゆくこそ嬉しかりけれ

折にふれて　相模　中川よし子
姫君の振の御袖に畫かれし小菊の花に小蝶まひ來ぬ

里知らず　伊勢　錦子
月夜よしわたるかりがねまてしばしふみことづけんこひしふる里

紅葉　日本橋　蘭の家
ときわなる松の木隙にまはゆくも錦織なす庭の紅葉葉

水害地をめぐりて　磐城　小林孝子
草のやのうちは猶なふ氣はいして兒らが乳よぶあらしの夜かな

失題　京都　深谷銀子
村雲を流さむ爲めか時々に雨を降らして澄める月かな

失題　岩代　菅野和子
折々は時雨を厭ふ山風に栗のみ拾ふ秋ぞたのしき

行く秋　奈良　山川かほる
紅葉散る龍田川原夕榮えて一里の流れ水ほの赤し

折りにふれて　磐城　猪股としな
さなきだに露のたえせぬわが袖をなをしほれとや秋雨の降る

深山月　河内　田中澄子
ましらなく深山の秋を身にしめて夜ふかきそらの月を見る哉

秋　兵庫　能世田節子
むなくなかるゝものと思ひしに水にも秋のいろは見えけり

春の海　横濱　佐藤若葉子
櫓押せば波靜かなる春の海に長閑に霞む沖津島山

失題　弘前　佐伯廣子
うすずみし夕ぎり深くなく雁ばたが玉づさやかけてゆくらむ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

失題　巣鴨　大塚藤子
秋寒に逝きにし人を思ひ出の袂にかなしきこうろぎの聲

菊　日本橋　生方靜子
古里の秋と忍べと妹のふみにこめたる白菊の花

失題　姫路　矢田れつ
さへ〳〵て月の桂のいと清し心にかゝる雲もなければ

失題　駿河　清水雲枝
我運命小草に宿る白露の其にもましつゝはかなかりけり

初冬時雨　牛込　すみれ
冬されば野山の千草枯れ果てゝ落葉の上に時雨降るなり

題知らず　伊勢　加藤雲子
馬追ひて夫や歸ると蟲の音に砧打つ手のとまりがちなる

秋雨　美濃　鶴島敏子
わらじ投げてかうもりよばふ聲もせず夕へ淋しく秋の雨ふる

秋の夜　下總　睦子
ながき夜に讀書もうみてたゞひとりふしおもしろき蟲の音を聞く

秋夕　神戸　たか子
そよと吹く松風さむく身にしみて海面暗う暮れてゆくなり

秋野興　大阪　林つき草
ひと花はみ胸に挿み一花をわれはかざしつ秋草のみち

雨後紅葉　名古屋　江原たつみ
けさ見れば驚くばかり染てけり夜たゝしくれし庭のもみぢ葉

秋雨　東京　中村ちよ子
さらでたに堪へうく思ふ秋なるを身にしみとほる雨の音かな

野菊　下總　高橋壽枝子
秋たけて蟲の音絶えし此野邊にさびしく咲ける一本野菊

この三年　本郷　靜花
別れし友とぬば玉の夢路のうちにあふぞうれしき

失題　本郷　玉露
露よりもゝろき命を秋むしの聲もあはれになきあかしけり

ゆきたる友を想ひて　神奈川　吉川光子
君ゆけど君が手植の菊の花猶もこの世に咲きほこりつゝ

名所秋夕　駿河　豊島喜美江
古への佐野の渡りも見えぬまで霧たちこむる秋の夕くれ

折にふれて　山口　森江茂代子
ひとり居の秋の夕のさびしさにまたとながむる君がうつしゑ

秋夜長　播磨　宗野ゆき子
かやり火も火桶もいらぬこの頃の秋のなが夜ぞ樂しかりける

海邊松　石見　なでしこ
友千鳥なくや磯邊の白濱に聲うちそうる松風の音

菊池武時　岩代　岸野常子
一すぢのまごゝろこめていつるやは神の心もうちとほしけむ

時雨　茨城　三枝とめ子
しぐれふる秋のくれこそ淋しけれ庭の紅葉はいろまされとも

旅宿砧　神戸　根神鶴子
たびねする枕にちかくひゞきして夢おどろかすさよきぬたかな

失題　兵　杉あい子
夜もすがら木の葉ちる音水の音木曾は淋しき秋の宿かな

叢底蟲　伊豫　執行菊子
たのみつるくさのやどりもおくつゆにかるゝ秋とやむしのなくつらむ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

折にふれて　大阪　富永かほる
月見ればそゞろに物のしめはれてありし昔の君ぞ戀しき

遠望　大分　加納豐
吹おろす峯の紅葉に麓路の七村燃えて日は入らんとす

殘暑　大阪　公文四葉
秋立てど空吹く風の音もなし何時まで殘る暑さなるらむ

失題　岐阜　度會淸香
もみじ葉の色こき一枝折り取りてもゆる思を君に見せなむ

晩秋　熊本　波山とや
露にしき峯にかざして行く秋は名のみくれ行く心地こそすれ

萩　佐賀　千代子
秋更けて訪ふ人もなき垣の端に露も寂けに咲ける白萩

題知らず　靜岡　諏訪淸香
蟲の音を忍びて庭に下り立てば靜かに暮るゝ夕月の空

深山の一つ家　甲斐　丹澤よし
風の音か松の嵐のそれならで訪ふものゝ無きぞ淋しき

庭前の月　芝　きん子
月は今松にかゝりておもしろき姿うつしぬ庭のやげ戸に

失題　横濱　中村信子
乳母が家の軒端の紅葉美しふ色つく見てはおもひ出多き

三津が濱邊にて　伊豫　森川房子
秋風は肌にとほりて月淸し波をけりゆくボート一隻

夢　和歌山　植木美子
なつかしや逝きにし亡母に逢ひにけり世にいましめのうたゝねなして

菊　高知　久萬澤

君が代の千代を言祝ぐしるしかもかをり盡せぬ菊の一枝

社頭月　越後　石山はる子
靈殿もさはらぬ月は神すらも戸ばりかゝげて見そなはすらん

菊　奈良　田村敏子
大君のさかゆく御代を祝ふにやかほり高くも咲ける白菊

一位局の喪を悼みて　河内　田中八須子
定めなき浮世のさまか雲の上の一降さひし秋のむら雨

晩秋　小石川　富田歌惠
惜れど淋しくもあるかゆく秋はこの身ばかりにうきつみけらし

天長節の日に　名古屋　淸水操子
萬民ひとつこゝろに祝ふ哉わが大きみの千代の榮を

失題　大阪　青山たつ子
さしまれくやなぎのもとにたちよりてよどの川邊に月を見るかな

秋の夜　青山　ふみ子
さま〳〵の蟲が音きゝて月をみてとほくへだてし君をしぞ偲ふ

遠望　筑前　木村こま
旅の宿にやみふす夕まとれ外のはせをに秋のたのおときく

遠望　西濱　ちか子
さらぬだに淋しきものを秋の夜の軒うつ雨の音しげくして

蔦　千葉　林八十子
功績を刻み樹てる碑文をからみて蔦は紅葉しにけり

故一位局をいたみまゐらせて　横濱　長谷川すみ子
九重の雲の上まで時雨していとゞかなしき秋の暮かな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短文

甲賞

親の情

安[illegible] 天野園子

お得しの此小包扱も何やらんとくる間もいとゞまち遠きやあら忝けな親の情の冬衣好物のバナ、、ハツフル中にも「母が丹精の甲斐ありてかく美くしきリンゴの初實三つの内二つをそなたへ送る夜學の後の樂しみともせよ」とあるはげに限り知られぬ御まごゝろ扱もあの林檎の木の尺許りなるを移し植えさせ給ひしと只昨日とのみ思はるゝを始めて花の咲きたる時の母君の御喜びはそも如何なりけりんかくて雨に風にいどゝ御心碎かせ給ひしなるべし少さき實結びてよりはいかで大きく熟せよかしと更に御惌は高まりていかに樂しませ給ひけんかましてのいとし子を思はせ給ふ御心のはた如何ばかりなるべきか思へばつきぬは親の情なりけり折しもいづちよりかもれくる笛の音いと妙に月は仲天にすみ渡りてあはれ我故郷の母君いかにか眺めませおはす「どうかしつかり勉强して」と無限の想を只一言に妾を門邊に送り出ださせ給ひしあの御姿の又してもなつかしく思ひ出でられていと堪へがたきや。

乙賞

眠る子

佐賀 永野淺子

昨日まで淋しさうな音さら〳〵と人を悦ばして居た窓の竹はやゝるびしい音にかわつたが、小春日和の今日は、ぽか〳〵と暖に照つている。

朝からのつかれで寂きはに坐つたまゝうつとりとなて居ると。暫くしく遠くから優しいかすかな聲が起つた。うつ、のうちにも耳に入つてたしかめ樣とするとはつとして夢からさめた優しい調子の子守うたが長く短くきれ〳〵に庭から響て來る立ち上つて見ると嬢樣をいだいて奥樣のそゞろあるき母樣の胸に顏をうづめた嬢樣のれ顏のどんなに可愛のか奥樣は時々だきしめて其頰に唇を。

親の愛な形にあらはしたのはこんなものであろう優しい子守歌はきれぎれに迎る。

私もあんな時代があつたであろうか、も一度神の樣な手に眠りたい。せめて供の愛を忘れて子守歌をきゝながら眠りたい。

乙賞

秋の暮色

黒島 八重子

渕て歸れは女房がまつよ　女房よろこべ金の夢

己が爲めかと引かるゝ馬のうれしげに、四つの蹄に調べ合はせて、黄金

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の浪の波のうちぎわ、細き畦路を右に左にうねりて行けば衛数にたるゝうましいれの穂ずれの音のサラリ〳〵と人も家路に急ぐ頃埒に歸る夕鳥の三つ四つ水色の空を黒く縫ひて。彼方に紅き夕やけは散ちにして榫に權に彌次に次第に濃く靈となり人をも馬をも包み果てぬ。

弦月ひとり中空にかゝりてさえ渡れば清く澄みたる蟲の音樂足もとに起りて豐たかなる秋の日は全く暮れ果てにけり。

丙賞

夫婦

駿河　豐島喜美江

姉さんが後耶さんのところへお嫁に行つたと云ふがさてどんなお姉さんになつたかしらと思へば見たくてならず、一日千秋の思ひで待つてた日が來たので、歸省して翌日早々、後耶さんの家を訪れた。「御免下さい」、「はい」、出て來たのは、見馴れぬ丸髷の女、丁寧にお辭儀をすると「アラ喜美ちやん」。びつくりして見上げると之れは姉さんだ、すると又「ヤー喜美さん來たのか」と後耶さんが奥から出て來た。そして二人でニコニコして妾を迎える、妾は何んだか可笑しくて堪らない。

丙賞

立田姫よりさは姫に

栃木　松村隆子

こゝ暫しにて紅葉の間出來上る筈で御座いますから佐保姫さまぜひ御越し下さいたいしたゝ情もないのですが此度れあなたの春の宮のやふな欄道りなど云ふ立派なのでなくほんにお羞しい様のですの餘興に舞はす侍女の蝶もあなたのとこの御侍女蝶さんには足にもつかぬ位ですが哀れの蟲丈けは得意の處なので御引物迄申上ては失禮で御座いますが御好物の枝柿山程。

丙賞

都にある友の許に

攝津　芙蓉子

秋もやう〳〵ふけそめて　庭にすだく蟲の音にいとゞあはれをそふるけふこの頃君にはいかにすぐさせ給ひてやなつかしき秩を別ちまいらせて都をはなれこの里の人となりいひてよりはや夏はゆき日の光にもふく風にもあはれとしらるゝ秋は來りいひぬげに田舍の秋こそたぐひなう、都になれし身の笑はしうもまたよろづにつけてめづらしう覺えられいへ見渡すかぎりはてもなうつゞく田の面の稲のほの頭ゝ重げに黄金の濱ゆたかにうてるをながめまたこをよろこぶ里人の心がほをのぞみてはうき世の秋もこゝのみはよその心地せられい誰かへでなんどのおく霜ごとに色をましおちこちの山々も織りなす錦のごと、賤が家のかたぶける軒にまつはれるつたかづらの紅葉したるもいとゞ風情をそへ垣根に幾本さける菊のかほりもゆかしく清らけきいさゝの流れもやれみのつけていかめしく立てるかゞしもいづれ秋のものならざるはなく一度このけしきに接せばけがれし心の苦も悶えもきえうせて身は仙境にあるが如く覺えられいはん日頃車馬の音のみきゝなれ給ふ御身のかゝる靜けきはた美しき田舍に一日をすぐし給ふも亦一興にはい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はずやまたしても田舎の自慢とのみさゝ捨て給はできのふの靜しも夕かぜに萩の錦のやぶれやはせむと心をなやましゐる我心たくみ給はゞ早や〳〵御車まげさせ給へかしそれのみ樂しみてまち侍るになん。

運命

羽前　谷山たに子

私は弟妹は多うムいます、どうせ餘所へ嫁かねばなりませぬが、人さまに優つた容顔もゝちませぬし、身にはこれといふ藝もありませぬ、金持も學者も望みません、綺羅も錦繡も望みません、役人も家庭も願ひません、榮耀も榮華も願ひません、最も嶮しきお姑さまのある家は私の希望でムいます、とは友達のきみ子さんが時折繰り返した述懐、此頃聞けば目に劍のあるお姑の下に婚約なつたとかやあはれ人の身の行く末と、暮れゆく秋のさまのいと心細う。

吃驚

横濱　中村常子

白萩が池の面で水鏡をして居る、築山では水引草や秋海棠が枯尾花と、秋の侘しさを迭に語り合ふかのよう、雨を呼ぶのか破れ蓮に、青蛙が節可笑く鳴いて居る、緋鯉がぱくり浮て來た、靜さんは其れをうつかり見て居た、と後から弟の眞が「アツ」靜さんが「アツ」………緋鯉が潜て、萩がほろ〳〵。



懸賞はめ繪　第一等

京都　服部道尾

床しき家

山梨　尾谷小々舟

十歳ばかりにやあらむ活潑げなる男子紺飛白の筒袖をまくりあげて目もさむるばかり咲き揃ひし朝顔の鉢を赤白紫と配合よく縁先近う竝べて居る、とやがてしはぶきの聲して端近う出來られし老翁、尺餘しあらんかと見ゆる銀髯をしごきながら心地よげに眺めたまふ、折から彼方より縁傳ひにうつくしき令孃が一服の薄茶をさゝげて來る。

野越え里越え吹き來る朝風は幾重かさなれる梧桐の葉を渡つて塵一つ見えぬ前庭に、白玉の露をふりこぼした、紅白の花は頭重げにゆらめいて居る。

文ちゃん

静田　花子

或る月のいゝ晩。妾は庭のお池のほとりにある籐椅子に、よりながら、木の葉が風に吹かれてさわ〳〵と戰く音や、筧の水の面白い響に恍惚り聞きとられて居りました。と妾の後方で優しい響駄の音がしたから振顧いて見ると今年五歳になる妹の文ちやんが露のしたゝる萩の下に、香水の空瓶置て露の落ちるのを待つて居る處でしたから妾は「文ちやん、其露とつて何にするの、」と聞きました。すると、文ちやんはこちらを向いて莞爾と笑ひ「これ、お化粧につかふの」と云ひ乍ら差上げた瓶へ、月の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

先が眞正面に射した時は、恰然白飯を溶かした如うに美しう御座いました。

眞實に、いつも可愛いらしいのは文ちやんです。

水煙

尾張　なでし子

颯々たる松風は濱音と和し利鎌の如き三日の月は物凄く光れる此處須磨の浦西の方より壓もあらはに駈來つた十八九の美人みだるゝ髮かみを白き手もて、かきなでホッと吐息を……何處よりか「お孃樣」「富子」餘韻長く哀れ氣に聞える彼女は其聲する方を伏拜みて「許して下さい」聲も終らぬ中にザンブと身を……一條の水煙は高く揚り月は倉に低く落ちた。

砧をきく

山口　北村靜子

月影いとあざやかに蟲の聲もやう〳〵すみ行く程にかすかにひゞく小夜砧一しほ哀れに聞ゆ「いや增る秋の哀を砧かな」とかきしはげにまことなり、其を聞く人の心にはあはれ、去る年は寄宿舍にありて彼の砧この蟲の聲をふし面白うきゝしが今は母に逝かれて一しほ哀れに聞ゆさわれ砧打つ人の心や如何ならん。

懸賞はめ繪　第二等



京都　加藤のぶ

母の會

岩代　菅野和子

今日は霜月初旬、田舍では何處も新らしい米で餅を搗き足ふく食つて豐かに遊ぶので、年中盆、正月、鎮守祭と並んで樂しきゆの一日に数へてゐる。

只ある學校では此日を利用して母の會を催した、集しは凡百名の婦人。先生は五十に足らぬ幼年を相手に遊戯れてゐる、參觀人の母達は何の家のお坊ちやんだかよう演るものだと感嘆してゐる者あれば誰の子が秀でゝゐるとか評し合つてゐる者もある、一齊に唱歌する時なぞはザワ〳〵する位氣持よい。順序により、話方、朗讀が始つた何れも自分の子弟を凝視してゐる、人情としては其筈だ。花ちやんの朗讀、其爽な聲には滿座、靜となつた、母なる人はメソ〳〵泣いてきいてゐた。

わが日記

越後　矢部みさ子

よろこび、かなしみ、歎き、憤り、すべて、我心のまゝを思ふ存分書きつられたるは我この日記なり。

夜ふしどに入らむ時ひもときては、過ぎし日の事にはしたなき心を悔ひ樂しかりし節を讀み出でゝは、胸はれぬ日を慰むるなり。日に〳〵かきつられたる節多けれど、殊によく記されたるは涙の記事なり、今宵し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も清き秋月を淋しき旅窓にながめては、郷里をおもひ、母を偲び、はらからをこひて一頁はまたも涙に沾さるゝなり。あゝ日記よ、弱き身のひとり旅居して、からき人の世の波にもまれもまるゝ涙を知るは汝のみよ、後日の慰めはしたなき事をかきつくるも亦汝なり、汝は妾が唯一の師にしてまた妾が唯一の友たれよ。

花の行衛

大阪　出雲加代子

空高う秋晴にして此清き流れを右に左にうれうれとゆるやかに行く渡船向の蘆のはがくれに小波よするよと見れば白水鳥の列をなして行き過ぎぬ彼方の岸にては釣する人の竿いくすじ折しも船を離れて黄なる小さき花束心ありげに流るゝにいつれ里の子がすさびにやと思ひしに妾がとなりなるいとけなきをとめこそ花の主なるけり乙女はいまあやまちて水面に紅り浮びし花に愛らしき眼に露さえふくみてかの行衛をみまもりぬ、あゝ花よ心あらばこよひ乙女か枕邊に黄なる蝶となり來りてなぐさめ語れよ。

友の便り

岩代　すゝき

友のたづ子は明眸皓齒、月閉ぢ花も羞ぢらふ美人で、早くよりさる豪家の一人息子に思はれ其所に嫁いだが間もなく夫に死に別れた、友の、金子は、顔こそ醜くけれ、心は清くて、これは或る實業家に嫁いだ、今日しも二人から手紙が來た、……うらゝかなる日和なるまゝ亡き夫の、墓詣でせんと出かけ申候、おくつきに至り、白菊手向けて香焚きて、、さて額きゐるうち、はや秋の空のたのみがたくて音なくしぐるゝ雨にそぼぬれて歸り申候、さらぬだに乾くひまなき我袖なるに何事もいぢわるき憂世とのみかこたれて、……（たづ子より）、小春の日影暖かきを背にうけつゝ敏坊と（我子）縁がわに出で秋の七草指折りかぞへさせ居候おりしも軒ばに乾せる坊の着ものを、おとづれし秋風の、ぞつと身にしみ候へばもしや風邪でもひかせては、とあはてて直着致させ候、めつきり冷々しき今日此頃御許さまも風邪など召し給はぬやうくれ〴〵も念じ上まゐらせ候、（金子より）、思へば様々の境遇哉。

懸賞はめ絵　第三等



京城　中尾つや子

夕ぐれ

牛込　平塚白百合

名ごりのうすくれなゐをたもちて長い日はもうくれて行くのたり〳〵とうつ波が美しい金砂子をまいたやうにきら〳〵とくだけたり散つたりしてゐる。

川口にならべる舟の帆ばしらが水に影をうつして遠い山々は次第に雲にこめられ岸松原には赤いとんぼが羽音せわしげにとんでゐると日の色は海にかくれて水のそこから帆ばしらほど月がのぼつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

兄さんの病氣

伯耆　太田靜子

三週間に渉つた兄さんの熱病も二三日前から餘程快よくなつて少しは起きられるようになつた、病中妾は隙間々々に兄さんの日記へ代筆して醫師の來診時刻、容體、熱度、見舞に來た人、見舞狀の來た先等を認めて置いた、兄さんは之を見て有難い、此の上に僕の感想を添へると云つて今日のに「身體の苦痛は精神の不快なるより忍び易し僕此の病によつて大に悟る處あり」と又一番熱の高かつた日のに「人事不省の間にも妹の温情は夢の如くに忘れざりし」と妾は思はず顏が赤くなりました。翌晩萩を生けたら其露を之れにとコツプを出して菊はまだ咲かないかとおつしやる、最少し晩う御座いますと云へば菊の香に接すればすつかり癒るに……、早く菊が咲けばよいに。

秋色朝の感

尾張　氷室けい子

龍田姫のおりなし給ふめる錦はたが御身にぞまとひ給ふらん、遠近の山に野に濃く淡く染め初めし紅葉の常盤木に立交れるは青地の錦のごと覺えて美くしさいはんかたなし、つたのもみぢのなよやかなるよそほひもて、いとおごそかなる空に見ゆる松ヶ枝にすがりつゝ、そが流れゆるうして水清き川の面にうつろふ影はいみじうあはれにもまたおかし、ましてや小春日のみどりなす空より旭の光り輝きて梢々の葉におく露のきらめけるあたり百舌鳥の高くさはやかにさへづる音、蜻蛉の赤きがうすぎぬに似たらん羽をもてあちこちと飛びかふさまなど、いづれ哀をおぼへぬはなかりけり、げに感深きわれにも今朝は秋のあはれの身にしみて、いとゞものかなしうなむ思ひ侍る。

秋

常陸　繁子

しめやかに訪ひ來る朝は、昨日と變り何となく淋し、木の葉吹く風、筧の水の音なんど月よりも身にしむ心地ぞするに、况てや夜寒の頃、なきからしたる蟲の音のかすかに聞ゆるも、いと哀れ深し、されど此朝にて木々も染なんと思へば、いとうれし明日は學び屋の兒童引きつれ茸狩もよほさんとの事に我も兒童の母と仰がるゝ身なれば共にたのしまんも首尾よくして歸るの土產あらんには得々なれども否おぞくも茸に取られんか是疑問なり。

懸賞はめ繪　第四等



牛込　松野すみ子

紀元第一日

大阪市　武田信子

九月五日　木曜日　晴れ

本日愈々獨立して覺束なくも一戶を構ふる事に成た　不整頓ながら曾や住居の内に調へた世帶道具の實地應用嬉しからぬにあられど　幾分不安の思ひもする、夕食から炊き初めればならぬ御飯いざとなると却々むづ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かしい僅か二人分の米木の加減火の焚き様嗚呼 西洋かまどで 有たならばと困た事少々では無い苦心慘憺出來上た 御飯案外の上出來御ぜん焚きの奉公も出來ると笑はれたが學校で 卒業證を得た時位嬉しい感じがした火を引く時消し壷が無いのに聊か困つた。

籬の白菊

越後　萩　女

秋の千草の花のかずくいづれかやさしからざらん、中にも一しほ哀れになつかしきは菊にぞありける萩やすゝきの野分に吹き亂されて見るかげもなきに、獨りまがきの白菊のみは、霜にもたわまず末ながく操守りて忍ぶ様のいと健氣にぞ見えける、嗚呼世の人々の心もかくこそあらまほしけれ。

亡き友をしたい參らせて

滋賀　彦根　文子

月にむら雲花に風憂きふし繁き世なりとは人ごとにのみ聞きにしないま目のあたり君が御身にかゝらん とはげにも思ひかげきや嗚呼かゞなへば二とせむかしとなりき、君と學びやを同じうして共に雨につけ風につけよく身をいとひて 未來はと ほしはげまやと誓ひし事もいまはかなはずなりにしこそかへすぐも口惜しけれ。病ませ給ふ事旬日にして花もあり實もおはす御身を抱いてかへらぬ旅地に赴かせたまひしと聞きしその時はいかに姿をして 悲しましめしか?

嗚呼友よ君なくしてなどて憂世の樂しかる可き 我が胸の思と袖につゝむ淚その淚を知りたまはずやたえて聲の限り君を呼べど 答ふる物は松にさそふ秋風の嗚呼ぬぐへどもつきせぬ哀痛の淚!! 君よまて暫し姿しばし逝かん君がもとえ。



懸賞はめ絵　第五等

山口　錦富くら子

小春日和

東京　秋野月枝

小春に近き秋日和の長けさは、雨霽りの今日、一入の暖き靜けき、清けさを加へて、菊の香高く、山茶花の色も鮮に、梅の狂咲さへチラホラ、床しき垣に垣間見られつ、幼兒中に挾み、川の字書いて、睦ましげなる、高丸髷の面はゆげなる、艶めけるは海老茶の袴、むくつけきは白き袴、老爺の愛孫を携へしは御寺に詣でんとてや、白き、黄なる、秋の蝶の此長閑き一日を如何に樂しく舞ひ暮らすらん路傍の地藏尊も嗣きて、ものや言はん、げに心浮き立つばかりなり。

樂しい夢

下野　石澤浦子

眠れた、赤ちやんの帽子を、編で居ると、今日から姉様となつた赤ちやんは、小猫の襟服をこしらへると言て編では、ほごし、ほごしては編でいたが、いつしか、長い袖を、枕にしてすやくと眠りました、私は、編む手をやめて、小窓から、外を見れば、いまゝで、散る紅葉に、戯む

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れていた小猫も、落くる葉を、額にうけて、芝を、枕に高鼾をして居る清ちやんは樂しい夢を見てゐるでせう。

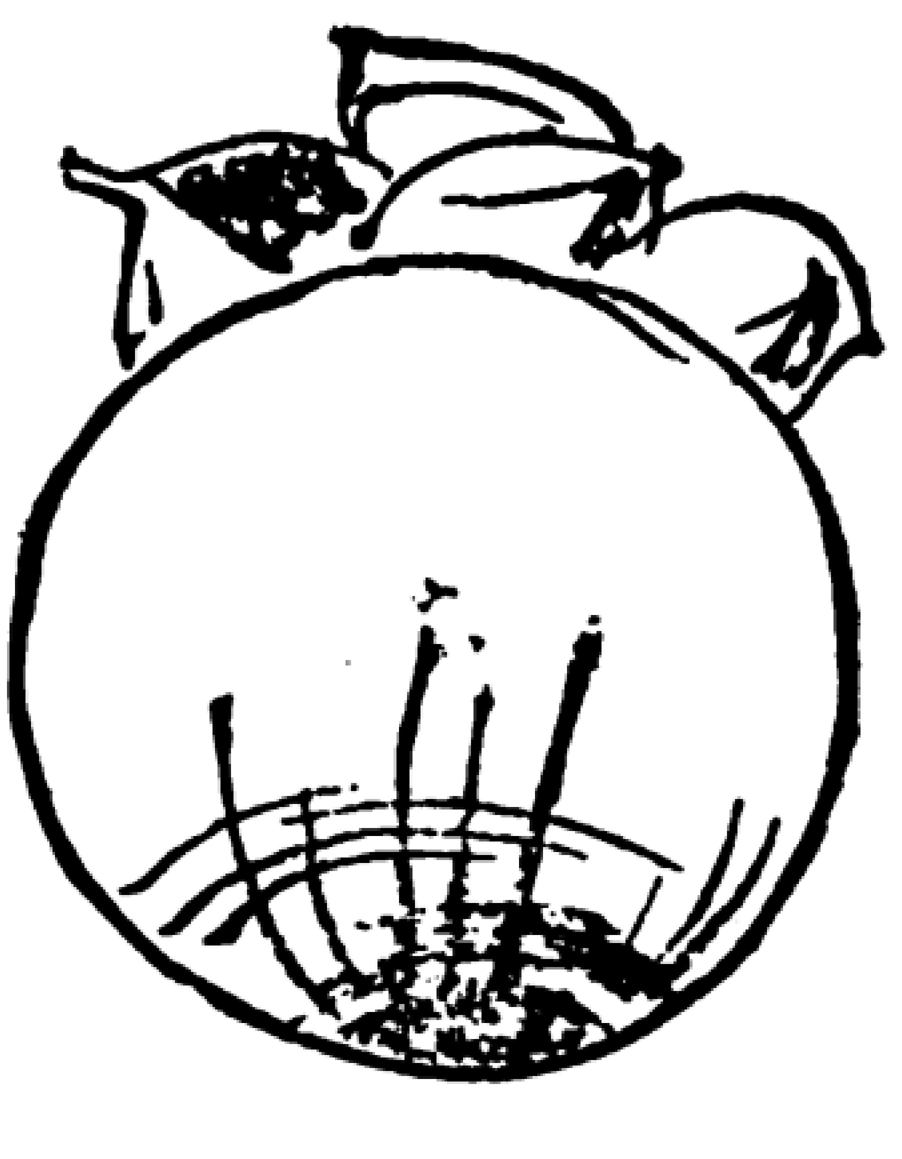
琴の音

宇都宮　君島喜美子

今の程やう〳〵東山の端をはなれ出でしいとさやけき月の光に誘はれて氣もそゞろに切戸押あけ何處ともなく徜徉ひ出でぬ八千草に宿る露の白玉ふみしだきつゝ畔の細逕過る程にいつしか近き邊りのいさゝ川に渡せる郡橋に出でぬ暫し橋の上に佇みて空を仰げば月は早中空に懸りて下行く清水に美しき影を映じ折々さら〳〵とせゝらぎ立つる小波に打くだけて黄金の波をたゞよはすなど其樣實に得もいはれずいと美し猶も千草の中を分け入ればやがて桔梗ヶ原に出でぬよべの小雨に聊か色あせたれどいと露繁くて却々に風情あり白萩の何をなやむにか有らんいと萎げに首うなだれつ葉末に宿す白露のさながら玉をつらぬきとめたらん樣いとも美事にきらめきて折々渡る涼風に拂はれてほろ〳〵ともすそにこぼれかゝりぬあるはゆかりの色濃き桔梗香もなき尾花や名さへやさしき女郎花さてはかほりゆかしき藤袴など露もしとゞに各がじし色とり〳〵に咲き亂れたるいと美しきそが中に夜每に細るむせぶ樣なる蟲の音も一入哀れを添へまさりぬふと見れば月も早稍うかたぶきければいざやとばかり元來し道を急ぐ時誰がすさびにか玉の琴月に向ひてかなづるならん妙なる琴の音ひゞき來るいとゞ床しく覺へて琴を尋れて分け行けば流れの上にあるかやもて軒端をふきし清らかなる家の前に出でぬかたへの流れは水淺けれど思ひや深し琴の音の流るゝ水瀬に合せつゝさやけき月に乙女子の胸の思をさゝやくかいとも妙なる糸の調べに思はず足をとゞめて柴戸にもたれうかゞへば調べもなつかしき小ごうの曲月の光ほの白うさし込む緣の小簾をもれていよゝさやかにひゞくなりけり。

月影のさやかに照らす秋の野に誰がすさびにかひゞく琴の音

賞外佳作



山梨　松田とも代

葉鶏頭

越後　野菊

庭の築山に手一つで育てられた可愛い葉鶏頭がだいぶ染まつて來た今しはら〳〵と降つて直ぐ晴れた時雨にまた一しほの色を增したであらうと思ふと急になつかしくなつて庭ト駄をつツかける間もせはしくかけて行つて見るとまあ一寸見ないうちにまるで燃えたつ樣それがお池にうつツてと見ると緋鯉がつと頭をもち上げて恥づかしそうにまた沈づんだコツコツ……と音がしてふりかへると純白なチャボがちよこ〳〵かけて來て葉鶏頭の下にうづくまつた。

苅上げ

栃木　柴山武子

今日苅上げには手張るといふので、妾も始めて稲苅に出た、苅り終へて稲束を月明りで數へて家に、歸つたときは疲れて正體も無くなつた、け

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れ共々御の仕事の味のよいのに疲れも何も忘れてしまつて 兄さに笑は
れる母笑いた。

祖母と孫

駿河 天野ふじ子

お婆さんが言ふ、「それでは昨夜のつゞきをお話しするからみんな聞いてゐるんですよ」「ところがねその遊びに來たお婆さんは眞當のお婆さんではないのよ、狸が化けたのよ、」と「狸が？……すこわい」「ほんとう？」「其から什麼したの？」と彼方からも此方からも可愛い聲。「それからね狐のお婆さんは太郎と次郎とを自分の巣へつれていつてねかしたの、……所が眞夜中頃ゴリ／＼と枕元で何か喰べる音がするので、兄さんの太郎は「お婆さん何を喰べてるの？」と聞くと、「あゝ起きたかねこれはお前達のお土産の柿ですよ一つ上げやうか」といつて呉れるのを貰つて見るとそれが弟の手であつたの……」「、こゝまで話してお婆さんが口をきるとみんな急に靜かになつたので「お前達はもうねたのかい」返事はかすかな紅のやうな鼾「へゝゝゝもう寐たことかい」と低く笑つて時計を見るとまだ九時「おゝ今夜もねられさうにない」と仰向に寢返りして楓の様な兩手を胸にあてた。

我が家庭

山口 野菊

只二人住の新世帯にさしたる用とてはなく、今宵も讀みさしの頭出に心奪はれし折から、風のあるゝ音に、フト我にかへれば、隣室には、背の君の端然と坐して、讀書にふけり給ひしが、興に入りてか、ハタとみ膝をうちて、ほゝえみ給ふ様の餘り可笑しさに、覺えず聲たてんとせしが、み興さまさんも如何と、あはてゝ袖もて掩ひぬ。机に向へども、家庭の和樂、君のみ情の程など思はれて、心はあらぬ方にさまよひて我にもあらで微笑む時しも、衣物などすず音して、妾が室の入口に立て笑み給ふ。御休み遊ばしてと伺へば、うなづき給ふに、雨戸しめんと障子をし開けば、夜いたくふけぬらん、孤雁死して、皓月皎潔と冴え渡り、冷き霜夜風膚を襲ひぬ。

賞外佳作



新潟 今成きみ子

花賣り

下總 小澤ゆき子

花召せ、黄菊白菊藤袴、うす紫の桔梗花や、花も大きさまぐれ萩、小萩白萩盛りにて、秋海棠のしほらしく、なよ／＼として女郎花、花召せ、野菊紫苑や鳳仙花、露所望さやいと花、綿野葉雞頭色づきて、實に月夜のいぢらしく、ほんと瞬なる紅芙蓉、露をふくめる白芙蓉。

未だ幼げな言葉の小さき兒也あまりいぢらしきまゝ、芙蓉の白きを一二輪

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

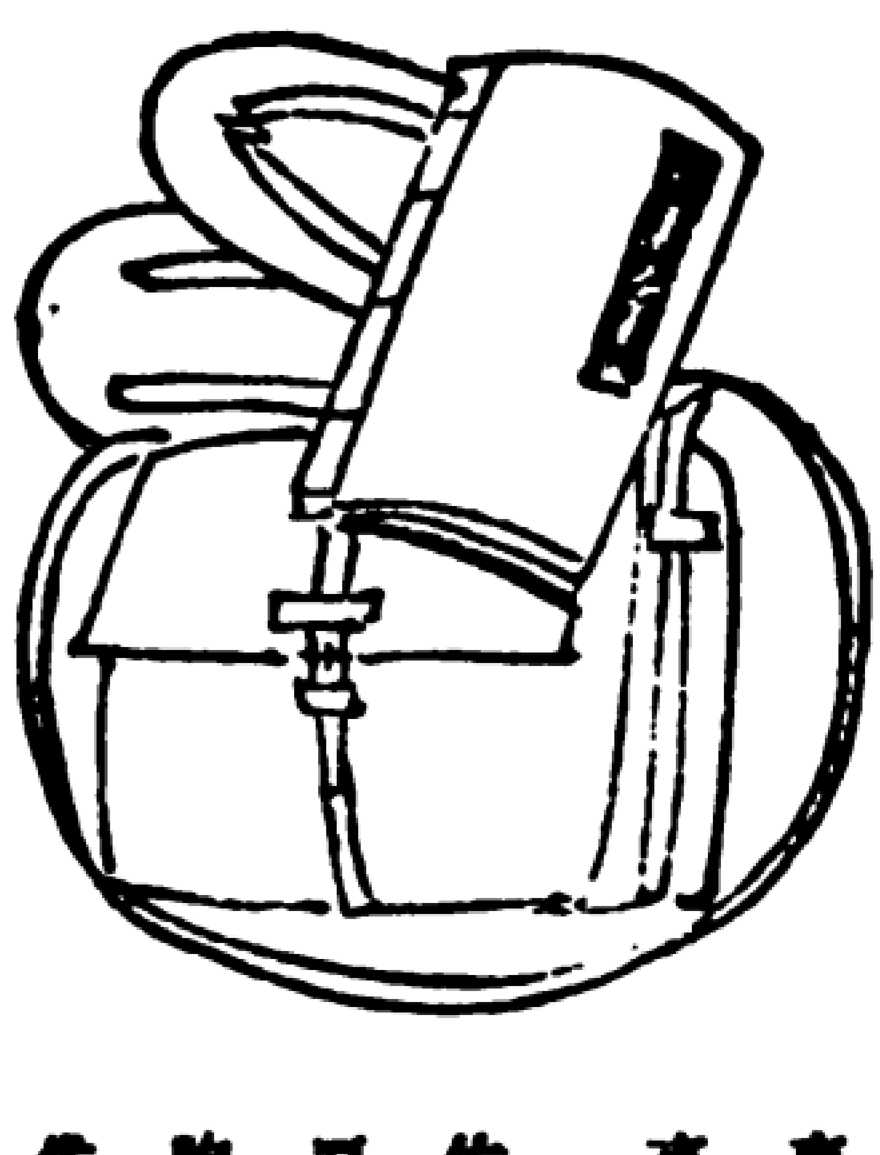
買ひ求めて五錢與ふれば多しとて取らず、父は？と問へばあらずと答ふ「十二か三か？」、「い ゝえ……」とばかり輕く頭を振りぬ、「妾未だようよう十一なれど母樣の嘆き〳〵病に臥し給ひ 父さまは三年前の秋國に召されてはかなくも仇し野の露と消え……給ひしてされば妾は…妾は…」と乙女心のそゞろ小さき胸のかき曇りてかほろりとなりつ。

嫉妬

谷中　松花

入浴からかへつて見ると、久しく御留守なりし夫の君は御かへりになつて居た、其傍に丸髷姿のあだつぽい婦人がすわてなり、三歳許りの男の子は活潑に座敷中をはれ廻つている、それを夫の君と女と楽しさうに物語りつつ眺めてゐる、此の有樣に「どちらのお方で」と伺ふと「僕の先妻だよ此の子は長男さ」との仰せへツとおどろき動悸はげしく眼もくらむばかり、つゞく可き言葉もない嫁入る當時先妻あることを聞かず、さては社の用とて折折の御外泊は僞りであつたのか、つれない夫よ天にも地にも君樣獨りとこひしたいかしづくものを、たゞ妾には婦人として六とせ未だ子といふものはなければ、それゆえのかくしづまか、それとも妾が、此家にこぬ前か、そはともあれ子の愛はたゞならぬものと聞く、子なき妾のふりすてらるゝそも妾の運のつたなきゆゑか、さはいへあだし女の寵愛さるゝを見てどーまア忍耐がなるものぞ、いつそ髮おろして比丘尼ともなり、うき音を消くおわらんか、去るにても口惜残念惜しの思ひ、涙となりて、瀧の如し、それとも知らぬ子の無邪氣さ、妾がひざにすがり、「オバちやんオバちやん」と仰ぎ見る顔の圓くふくよかなる、愛らしとも愛らし、いつそ忍耐して此子を立派に教育して見ようか、思わず抱き上ぐる折から、あだし女のはれやかなる笑聲に、しつとの念むら〳〵と男の子つき放ちつ立て取出すカミソリ………

ふと耳に入る蟲の音に心づけば、これ南柯の一夢なりき、身は汗しとゞに、いつふり出でけん、戸外に點滴の音、こうろぎは一しほ聲立てゝなく、打ふる手に灯ともし見れば宵の程御歸宅ありし、夫の君は旅のつかれにや、熟睡して鼾の聲のみ高し。



賞外佳作

東京　佐原鶴代

お隣りのおぢい樣

下谷　久子

お隣りの敏ちやんのおぢい樣評判の昔質儀の一こく者です。勿論、敏ちやんのお母樣……お英代さんの悪いのは云ふ迄も有りません、可哀そうに敏ちやんは正當の子ではないのですもの。其の時のおぢいさんの立腹はお話にも成らぬ程で、お英代ちやんをば切つても捨て葢れまじき有樣。然し、それ故に一人娘のお英代さんは、産後にはげしい餘病が起つて、とう〳〵おぢさんにあやまり〳〵死んでしまひました。それでさすがのおぢいさんも、がつかり膽くなつて、くり〳〵した、無心の敏ちやんを不器用におぶつたり抱いたり、夕から門に立つて太い聲を細くしてお子守唄なうたつて居ます。又は秋風の夜を、更ける迄しめつぽくお經を讀んで居ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

美しかつたお染代さんも、さぞ〳〵遠い處でよろこんで居るでしよう。

名月

愛知 小栗幸子

一塊の白雲から違れ出た月はさも得たり顔に 笑咲を含で老松の梢に懸つた、蟲が一齊に音樂を始める、砧の音がトン〳〵音樂の拍子を取る、歌ふのは觀月の歌ではないか、何處かで草笛の音が、かすかに聞える、笛吹く人も此月を賞めてるであらう、よく晴れた夜だ、あゝほんとによい月だ。

朝の海

小樽 白菊

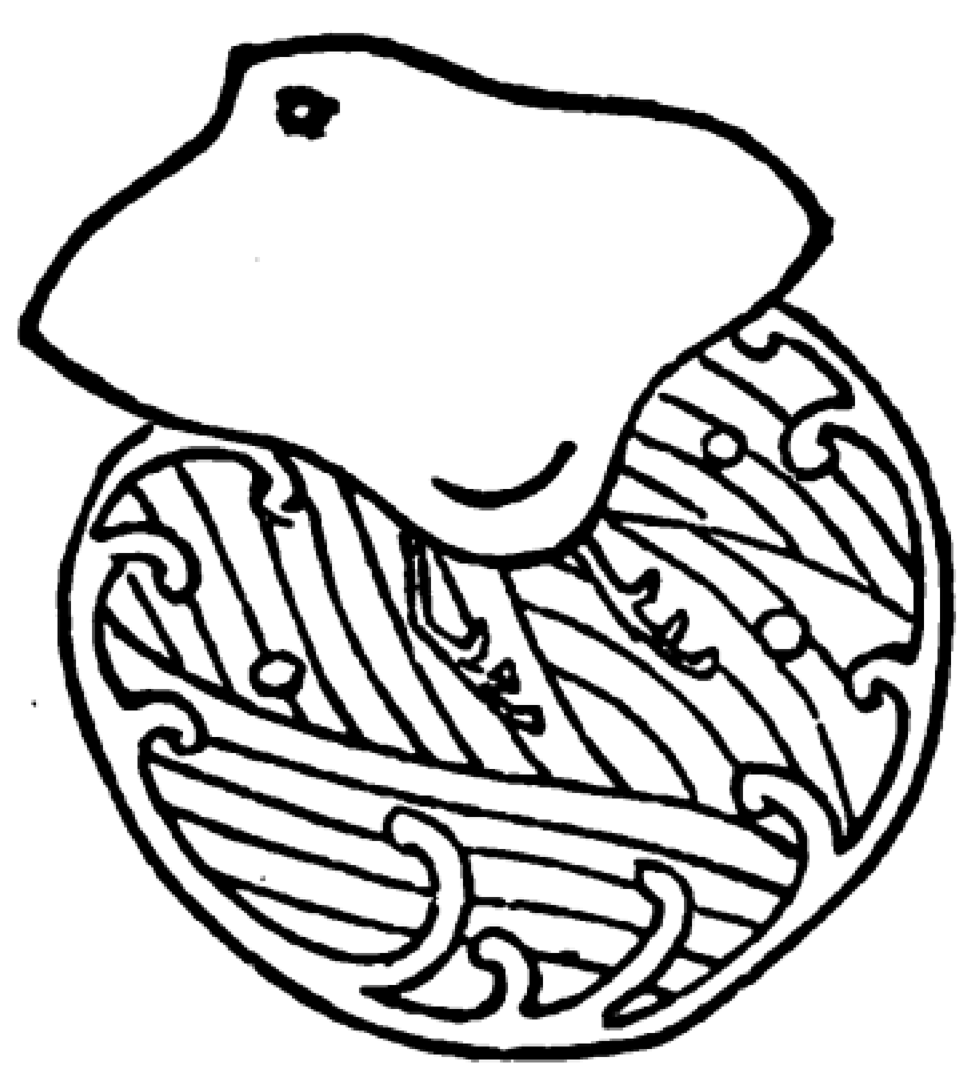
節面白き棹歌。清ぐ艫の音に交つて。立ちこむる朝霧の中から。たたやかなる波をすべつて。とぎれ〳〵に聞ゆ。主やいづこと。かなたを見やれば。したゝるばかりの深緑なる若松の。まばらに生へたる小島。朝日に輝いて生き生きしく。一ッは近く一ッは遠く、一ッは淡く一ッは濃く。其中を縫い行く白帆。次第にうすれて。いづこともなく消え失せた。

エデンの園

下野 薫子

根もなき事の爲に悲惨なる宣告を受け孤獨となつて、この地に職を求めてからこゝに五ヶ月八千草にあられど露宿き我袂…… ましてやさしき君よりの御手紙に「根もなき草における白露よしや今袖をぬらすとも、いつかは晴れなん云々」とあゝ……いつかは晴るゝ……當時、一の慰藉もなき身は涙の種のつきよとばかり泣く每日に何回世は闇!!! 人は無情!!! されど〳〵今や筒袖に袴をつけて教室に入つた時愛らしい七八歳の少女に先生〳〵と手を握らるゝ其時!!!……其時!!!……其時のみは、萬苦を忘れ小エンゼルの群に入つてエデンの園に遊ぶのである………

賞外佳作



丹波 山内しげ子

H記の一節

尼崎 小田けい子

今日は近頃に稀なうらゝかな小春日和、幸ひ日曜だが別に遊びに行く所もないので姿の縁の日當りへ出て昨日來た女學世界を見ていると御母さんの大切な〳〵玉がやつて來て膝に乘つてうれしさうにゴロ〳〵いひながられてしまう、其うち自分もうつとりとして思はず本を取り落すと玉は驚いてひざの上に丸くなつて「プー」と恐ろしいお標へをする、妾もびつくり、急に玉を投げ出した。

失望

播磨 きぬ子

秋もやう〳〵ふかくなりゆきぬ、しり への山よりは松風のたよりにきのこのさかりをつげきたりぬ、世の人達はうちつれて四方のやま〳〵に登るなりわれは學びの園にかよふ身の常の日にはなか〳〵にのぼられずせめては次の日曜に一度そこゝゝあまりて 手づからとりしかほりたか

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

きて錦にゐたまふわが師の君のもとにとむにねがひ友ともかたらひゐたるに其日朝おしくも雨となりはからずも山ならでまどのとばりのおくふかくたけとりものがたりの書をよみて一人心をなぐさめつゝまて次の休みと期し居れば、またと山登りはかなはでさりがたき用事のためその山一つあなた一里ばかりへだゝりたるゐなかにゆかねばならぬこととはなりぬ、かくするうちたけもさかりをすぎなんに、あゝ………

意氣衝天

岡本　田川よし子

妾の親父は今年七十五、でも至つて頑健たる方で、「老の坂越へて始めて夜長かな」など、御仰やつて、いつでも第一番の朝起です。殊に老の樂に朝顔を培ふて居られるので此頃は尚威勢がよい。今朝も幾十となく朝顔の鉢を並べ白鬚を撫でゝにこ〳〵しながら御得意の俳句を綴りと考へてゐなさる御様子。之は小さな短冊に書いて意に合つた朝顔に下げる御積りなのです。妾もいたづらをすると、御前のは俗染みてゐるなどゝ笑はれました。負嫌いな今年八つの弟は僕も一つやるといきなり半紙を二つに切つて半枚に日本半枚にロシヤと筆太に書いた。親父は例の鬚を撫でながら、嘉一のは勢があると御仰やつてにこ〳〵なさる。妾も笑ひながら嘉ちやんは其などの鉢に下げる積り？と言つたら日本は日の本だもの赤い花さ、ロシヤは負けたから白い花だと笑ひもしないで、きつぱり答へて圓い眼をくる〳〵させてゐる。之が意氣衝天といふのでせう。

霰

本所　濱子

ほか〳〵と裏山轟ぶ霰は小川の水に浮きつ沈みつ川下に松の梢は鳴らねど籬に咲けるおくれ菊も折果てゝ軒の樋を打つ音に浮れ飛び出す子供等が前垂廣ろげて積もる霰れを嬉しげに、あら姉ちやン霰が降る〳〵面白いなア霰やこん〳〵霰やこん〳〵寺の茶の木に一ツぱいたまれ姉ちやんおいしいよ地は一面に白き絨氈を敷詰め満目蕭條たり。

洪水

群馬　伊藤しづ子

時は、陰暦盂蘭盆、迎火門邊に焚く日の夕頃より、東より南へかけて、入道雲が、ノッソリと大空に首を出すよと見る中に、颶の風に煽られて、ちぎれてまたむすばれて、低く〳〵、乾の方へと飛ぶ。唯時々驟雨を降らしつゝ。かくて、二日目の夜に入りては、風伯いよゝ、たけりくるにつれて、潑墨を流したらん如き雨雲、地を拂ふて走り、陸々篠つく大雨を降らす物凄さ。

村の若者一年一度の盆踊。鼓、太鼓に將笛に、調子そろへて、節面白く謡ふ聲は、ハタと止み警を報ずる鐘の音は、彼方此方の村々よりぞひびきわたる。スハ出水よと、口より口に傳はりて、男子は逸早に身を固めて堤防の守衛、女子供は家内の片付、人々安き思もなし。其の夜子に近き頃、風雷一時に轟く音して堤防は決潰し、人々の叫び水の音に和して慘憺愴絶。

農家粒々辛苦の作物二朝にして、灰色したる氣味惡き丈餘の水中に沒し去り、村内各戸亦此水の見舞を受くナーあはれ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

暁

和歌山 植木素子

露のけしきのをかしきを見んとて、親しき友と語らひ、有明の月をふみつゝ野邊にと歩をうつしぬ。大方の家々は、いまだ夢さめず、いと、ものしづけきに、露おもげなる、草叢よりきこゆる、蟲の聲々、心からにや、いと、あはれなり。しばし、心地よき、そよ風に吹かれつゝ、衣の裾の露ふをも覺えて、二人たゝずみしに、さぎり、やう／＼晴れゆき、東の山の端、ほのぼのと、紅を帶びぬ。やがて、日のみ神は、一面に金色の光を、下界になげ給へり。白かりし玉は、黄金の光にかゞやき、あはれはかなく、消えなんとす。

秋の夕

本鄕 よしの子

あゝ思ひで多き秋の景色よさらぬだに物哀に露しげく袖ぬるゝものを此頃空さへ景色變りて折々の村雨さてはたゞならぬ夕風に 木々の下葉も色づきて凋落の天地の運命を告ぐるかな。

想へば昔故郷の秋の野山に樂しくも 自然の胸にいだかれて友と親しく遊びしは昨日のやうなれど月日の小車は廻り／＼て七とせの 年月を都の空に彷徨ひて親しむ友も世の幸も知らで 果敢なきあぢきなき看病する身となりぬ。

あはれ世の人は春は花秋の紅葉と樂しめど 病める人の上を思ひやればいとゞ哀れいやまして今は想ひに亂れつゝ 吾が胸に露散りて千草にすだく蟲の聲もあはれ友をや忍ぶらん 夕空高く見上ぐれば雲破れ月の影淡く折しも誰が玉章をのせていづち行くらん月をかすめて 雁の一つら……。

落雁

麹町 土田ひさ子

遠寺の鐘の、かすかに響く夕まぐれ、霧立ちこむる海原を、己が羽風に打拂ひつゝ、今やさし昇る月を慕ひて、八重の潮路をはる／＼と渡り越しゝ一列の雁。海はつきても雲井の月の、いづこまでも果てなきに、今はと思ひ捨てつゝもなほ其の影の浮ひつる入江のあし間に落ち行く雁がれは、いかばかりの其の月の戀しくてや。

賞外佳作



神戸 瓜谷信子

秋夜の月

京都 倉田君代

くらき心もさえ渡るべき月の光を背にあびて千草にすだく蟲の音に、只なんとなう心ひかされ緣近くかきならせし琴押しやりて眞晝の如き秋夜の庭に出でぬ、ミン／＼と啼く聲をこゝかと月影に透し見やれば、キラリとばかりいともあでやかに、露の玉一つころびぬ、足許近き蟲の音のハタと止めば、やがて又彼方にて一入哀にチッチッと啼き出づるに、我にもあらで聲するかたにしたひより、片折戸ソト押し開けて靜に耳かたぶけば、いづこより起こるか、音もかすかに蟲の音ならで、妙なる調

べのこは心憎しや、今宵澄みゆくみ空の月をまたなき友として、今我彈きすさびし小督の曲。

糸の色音を知るべにて

さし入る月の雲井より。

とこれも思ひは同じ月にあこがれてか、吹く尺八の音いとゞ冴えきてやうく迫し。

そのかみ仲國が局に廻りあひしと云ふはかゝる夜なりしかと、そゞろ床しき昔の偲ばれてけり。

くるし記

京都　大木梅子

樂しき御旅先の日記お狭しき限りに拜しよう〳〵

十八日　晴いざや今宵の月を千島が岩にと、やなら尺八の紐ときつゝ先立ち給ふに、われも床の間にボーゲンうちも拾ひて御後に從ひつ、松の木の間の眞砂千地白う、島のほがひに月は出でしが、目ざす岩根に濱はきらめく、吹くや夕風君がみ袖の我襟にふれて…………

などゝ、くり返し候へばそゞろ御有樣の目に浮び出づらん樣に候、いかに樂しき御すさびにて候ひしよ、御返しとして、人には秘めし姿が「新世帶のつらきくるし記」笑はせ給へや。

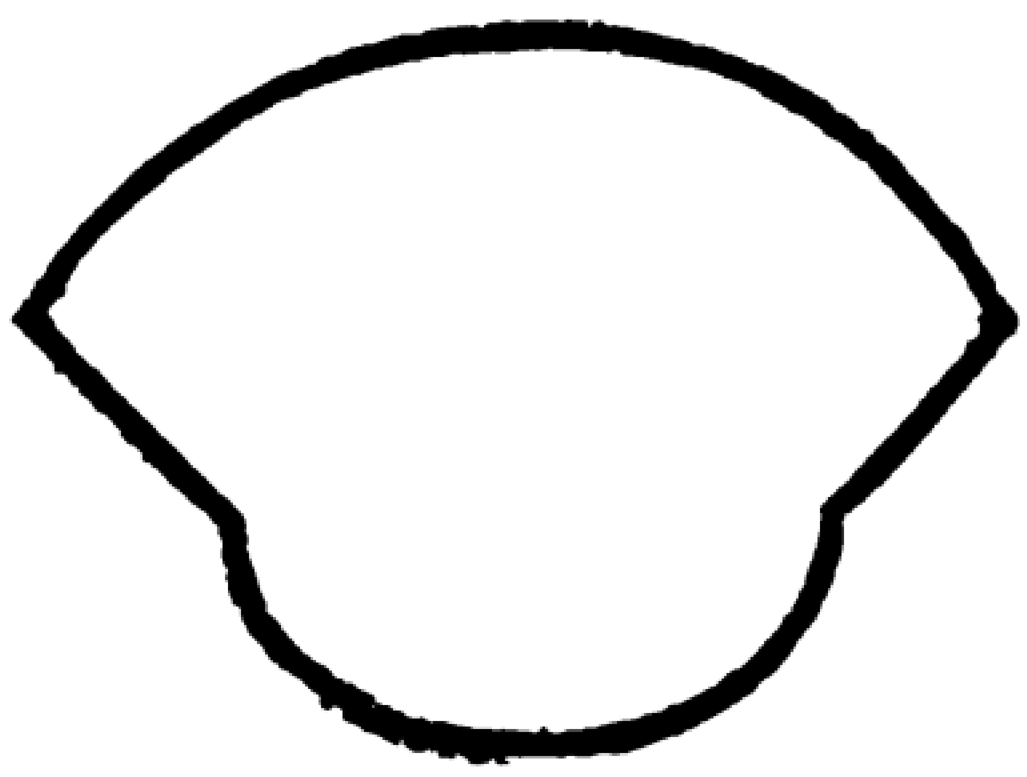
第二の古郷

下野　筑波華子

我が第二の古郷は百戸に足らはぬ村落にして世は日ましにわる敏くなりぬと云ふを元より進歩の鈍きところなれど未だ罪人の出し例なく又餘りに誇れる人の現はれし例し少しとかや。

されば其の平和なること他に比するところあらんや此には錢湯てふものなく各戸一個の風呂を有し一ヶ月に三度四度風呂をたて各家に「こんばんは御湯が出來やんしたから御出下さりませよ」と言傳うれば「へーありがたうがんす」とつゝしみて牆をなし如何なる家にても一人は必らず行く、湯に入りし後は種々雑談にふけりて一日の勞を慰するを常とせり只いふのみにては其の眞の爲分の一をも述あたはざれども實によく喜を分ち憂を共に五穀のよく實れかしと共に祈り共に働くこと他に見得べくもあらざるなり、ア、我は故ありてこゝに數類をとりぬるを幸として純粹無垢なるこの里を第二の古郷となせり。

來月の新題



秋暮

岡山　笹原貞子

木々の、緑も色染みて、秋のおもむき、いや深うなりぬ、そこはかとなく、名も知れぬ、木の葉の黄ばみたる、抑々にすてがたき風情なり、まして、みどりあざやかなる、山々の間より見えがくれする紅葉ばは、乙女がぎすてし紅の衣ともおぼえて一しほ樂し、されば、そを、なつかしみて、林間に酒を暖むるみやび人さへなかく〳〵に多しとかや、千草そめなせし黄の野邊は、とふ人とてもなく、只あはれになく蟲の音のみ高うきこえ、つゆにうつろひし草葉をてらす、月のかげや、いかにさびしからん、あはれさびしきは秋の暮にこそ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

謎　々　◎印は入賞

△紅葉とかけて

◎常盤御前と解く、心は子を擁(紅葉)して落ちる、　東京　深館　うた

◎廣瀬中佐と解く、心は散り際を人に歌はれる、　和歌山　山口　文枝

夏の洋服地と解く、心は薄い(碓氷)のが一番　千葉　沼上　ふく

下戸の宴會と解く、心は色づくと散りぢりになる、　茨城　矢口　たか

試験紙の酸性反應と解く、心は青いのが赤くなる、　備後　立納　みれ

燕と解く、心に秋になると南(皆な見)にゆく、　東京　西川　てる

簡單な消毒法と解く、心は日光が一番、　山梨　渡邊　きく

◎紺屋の休みと解く、心は染めてくれない、　大阪　今川　ふみ

春日神社の鹿餅賣と解く、心は鹿(詩歌)の友となる、　下野　岡部ほりゑ

石造の狐と解く、心は宮前二匹(深山へ鳴)飾る、　下野　栖鶴軒

△新華族とかけて

◎狂犬と解く、心はムシヤクシヤ(無爵者)に喰ひ(位)付く、　東京　太田　とめ

丸髷と解く、心は皆てがら(功)がある、　東京　中村月の子

茶釜と解く、心は杓(爵)が附く、　東京　岡部　蘆子

佛と解く心は線香(戰功)をあげて貰ふ、　下野　栖鶴軒

呉服店の鹿子切れと解く、心は四尺(子爵)のものも八九尺(伯爵)のものもある、　大阪　平沼　いゑ

電燈と解く、心は世(夜)にかゞやく　遠州　愛　子

△消費組合とかけて

自由結婚と解く、心は媒(仲立)の手にかけぬ、　横濱　馬場　せい

毛利元就の遺言と解く、心は共同の精神が無ければならぬ、　京都　波多野ひろ

行賞の發表と解く、心は昇級(小給)者をよろこばせる、　下野　岡部ほりゑ

緣日の雨降りと解く、心は商人がこまる、　岐阜　濱　子

次號の新題

△繪さがしとかけて　△かるた會とかけて

△花嫁とかけて

一口噺　◎印入賞

◎　伊勢　谷川　睦子

母「坊や立つてゐて、お饅頭なんか食べるとお父さんに叱られますよ。」

坊「そんなら、お母さんの樣に寢ころんで居てなら、かまはないの。」

◎盲人に提灯　三重縣　騎田　青子

暗夜に座頭提灯を持ちて歩み來る、あまり不思議なので

「モシ座頭さん、あなたは目が見えぬになぜ提灯がいりますか」

「イヽエ此樣な夜は目あきが行當りますから」

△　本郷　飯村よし子

母親「そんなに煮物にお砂糖を入れては、ごはんのおかずになりあしません。」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

姉「デモ今日學校の先生が、文明の民はお砂糖の使い高が多いモノですとお言いになりましたもの。」

△　四谷　さかへ

奥樣「お鍋や、今の往復端書を出して來てくれたかへ、」
山出し下女「ヘエあれに書いてないのがついて居ましたから切取つて來ました」

△　東京　中村ちよ子

母「操チヤンお臺所のお魚に貓が來るかも知れぬから見ておいでよ」
操子「ハイ」
母「オヤツ、お魚がないどうしたの」
操子「母あさん、私が見て居つたら猫が來てお魚もつていつてよ」

△　大阪　山村　清子

車夫「行きまヒョか」大きな荷物を持つた下女「停車場迄幾錢？」
車夫「お荷物がありますで十二錢だけ」
下女「イヽエ荷物は私が持つて乘りますヮ。」

△　下野　ほり　え子

娘「木二つで何んと云ふ字だか知つてゝ」
無學の父「知らチーでどうする、拍子木だらう」
娘「アラ林つていふのよ、」
父「アメリメーよ、拍子木から離子になるんだ、この間みた芝居の事の開き際を、モー忘れたのか、覺えのわるい奴だ。」

△　尾張　岡瀬一笑子

妻「アラあなたマッチが何處にあるか暗くつてわからないわ」
夫「ソンならランプを點して見るがよい、」

△水道の栓　岡山　荘田操

田舍者はじめて水道の水の柱より出づるを見て不思議そうに「あれはよいふんべつぢや、どれ〳〵孫にも二つ三つ土産に買つていんでやらう。」

懸賞 繪探し答案募集

本號飛駒の中に繪探しが十個所（一個所に一つとは限らぬ）仕組でありますから皆さん當てゝごらんなさい殘らず當つた方には例に依て籤引の上六十名を限り左の賞品を呈上致します。

（締切は十一月二十日まで）

一賞品は博文館發行圖書切符金壹圓
一答案は端書に限る
一一人にて二樣の答案を作りて送るものは二本共採用せず

第三回繪探し當選披露

（應募總數二千五百六十一本）
（内　正解者十八名）

前號の繪探し解答は左の通り（一）鶴、千鳥、帆掛船、（二）鯛、下駄、扇子、（三）蝸牛、杖、（四）琴柱、あかゑ、（五）蝶、（六）鼠、尺八、茶碗、（七）帽子、魚、ビール壜、（八）猫、蝙蝠、（九）三角定木、煙草盆、（十）手桶、鋏、ばち、、

當籤受賞者人名

東京下谷區中根岸町四、小松方　石井　花子
同京橋區南小田原町二ノ二十三、　山内　きみ
同日本橋區本銀町四ノ五、藤田方　藤井　きん
同京橋區南佐柄木町四、　八木　はな
同青梅町二ノ九、　堀田　はる
横濱元濱町四ノ三八　岡田　芳枝
京都小川椹木町上ル　藤田　靜枝
大阪西區土佐堀五、井上方　齋藤　たき
紀伊有田郡糸我村大字中番　谷口よしみ
仙臺元荒町一八、後藤方　横山　しづ
同國分町菅原方　青沼　とみ
神戸山本通四丁目七九ノ七　磯谷　妙子
鳥取元大工町添よし方　青木　春子
廣島縣賀茂郡莊野村字西野　岡社　久代
横濱西戸部九八二、　小林　りゑ
越後中蒲原郡五泉　栗原ちよの
栃木縣下都賀郡部屋村大字新波　飯島　けい
長野西長野町一一四ノ三、　戸田　しげ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲人事活斷▼

石龍子

▲那古山里の白露女へ‖貴女の身上を物に譬ふれば花將に開かんとせるに當つて惡蟲の妨げたるに似たり故に惜しい哉今年は其運開かざれども來年は必ず天眞爛熳を表はすべければ精神を煩悶させざるを可とす。
兄上の志願は半ば成功するの兆あり。

▲眞心配女へ‖御身の心配は徒らに天變地妖を恐れたる杞人の憂に髣髴たり、之を憂へたりとて何等の益あることなし、寧ろ悠々天命を樂しまれよ、此心になられば心身益々健康になりて家運長久疑ひなし、
生兒は二人乃至三人なり。

▲長月初子へ‖獵夫山麓に至り打取るべき鳥獸あるにも拘らず尙大なる獲物を得んと欲し之を打捨てゝ深山に迷ひ入らんとするが如き卦あり察する所貴女は秀才にして凡々の婦女子に優る心立あれども危い哉此の獵夫に傚はんとす、故に一刻も早く父上の言葉に從ひ山麓の獲物に滿足否中學敎諭の人と至急結婚せられんことを勸む。

▲京都愛女へ‖剛なれば勢強く柔なれば勢弱なるは天理の然らしむる所故に御夫婦共に些々たる失敗を物の數ともせず益々奮鬪するの心を起されよ、來年秋頃までには求めずして好運來るなり憂ふるに足らず悲しむに足らず。

▲沖の石女へ‖貴女の氣遣は却つて不幸中の幸なりと知らるべし、其の氣遣ある爲に貴女必ず躊躇して女德を全うせられ之を知りて夫となる人は貴女の形體を求むるに非ずして貴女の精神を求むるが故なり、東京官立校の人と結婚するは面白からざれども行末の幸運は期して待たるべきなり。

▲盛岡愛讀女へ‖兩親の不和合をして遂に圓滿ならしむるの術は子たる者の孝道に在り、子たる者亦誠を籠めて父を宥め母を諫め而も婉曲以て事ふれば日ならずして平和の氣藹々たるべきなり。而して御身及び弟御は孝心に富み友愛の情深し、されば一年を出でずして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て目出度き局を結ぶべし、獨立云々は大に凶なり。

▲泉の里白萩女へ‖不義を以て得たる千金は水泡の如し、忽ち消ゆるや明かなり、德を以て得たる一錢は盤石の如し容易に滅するものに非ず而して後見者の得たる二千圓は即ち不義の金なり、故に父上及ひ御身等四人は塵一本も貰はずに清く潔く其家を去り教職に就きて更に疚しき心あるべからず、斯く決斷なさるれば日ならずして幸運續々來るや明かなり、されども去るに臨んで「釜一つ位遣せ」の「茶碗一つ位持つて行くは當然だ」などゝ、言はるればその運や來らずと知り給へ、又父上も元來後妻を迎へたるが失策なれば今後妻を得たしと思ふ心露あるべからず又その後妻に夢未練の心あるべからず、上京獨立云々は不可なり。

▲備後の思案女へ‖獨身獨立以て世を送るは世道の許さゞる所なれども、時と場合に依ては斯くせざるべからざる事あり、御身の如きは即ち是れなり、故に、去るべき時に去つて御身の嗜好せる藝術を學び一生夫に仕へず悠々樂しく日を送らるゝが何よりの得策なり

▲麹町しげ子へ‖唯正唯義之より外に顧みるべからず故に母上を正義なりと思はゞ母上に從ひ良人を正義と思はゞ良人に事ふべし。

▲備後愛のヲイフへ‖恐れて從ふは僞、心服して從ふは正たり、然るに貴女は恐れて從ひしが故に凶を招くに至りしは必然の理、されば今後も心服して從ふの策を取り何事も伯母上に打明け、一旦心に約したる人と正式の婚を結ばるべし。

▲越後カメリヤ女へ‖赤裸々となりて示せども倚疑ふは疑ふ者の罪にして此方は更に疚しき所あらず、疚しき所なければ何をか耻ぢ何をか歎かん、益々德を積みて悠々時を待たるべし、今後二年の中に今を昔に語り幸運の來るや必せり。

▲沈淚女へ‖籠禽の好餌に飽き將に病まんとするの封なり、之を原野に放てば吉、之を籠中に飼へば凶、されば貴女も出でゝ、名高き女史の家塾に入り更に三四年の間螢雪の苦學を積まるべし。

▲勝山不幸女へ‖數株の草花を一盆の中に栽ゑあり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●婦人科
●小兒科
専門

午前宅診　午後往診

東京市麴町區飯田町四丁目九番地

女醫　鷲山彌生

縣立呉驅黴院長
醫學得業士　竹内恂造先生實効證明

月經不順　子宮病　血之道

（藥名確効散）月經閉止は如何程永き滯りも二三週分にて必ず通下し子宮病血之道を根治す實に當時の理想的婦人藥なり試藥して効驗の顯著なるを知り給へ價は一週間分七十錢二週間分一圓三十錢郵送料十錢を要す
▲▲先づ本堂の確實正直なるを記憶せられよ▲▲

發賣本舗　呉市胡町百壹番戸　岡本汎愛堂

五大軍醫合議製劑

藥價　五週分壹円、三週分六十五戔、二週分四十五戔、一週分二十五戔、二日半分十戔

本舗　東京銀座壹丁目　大阪南久寶寺町堺筋東　山田安民



全國各藥店にて取次販賣す

男子
婦人生殖器科　●梅毒痳痔科

特ニ（機能障害・神經衰弱・ヒステリー・
（姙娠・不姙娠ノ鑑別・月經障害・

醫科大學病院辭職明治療院設

平田章之丞

東京淺草七軒町二、（入院隨時）

女（かの一）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文藝俱樂部　大懸賞百美

美人の最大福音!!!

△人として美を愛さゞるものありや？美を愛さゞるものは人にあらず！▽

日に月に其發賣部數を倍加し、東洋に於ける文藝雜誌の覇王たる「文藝俱樂部」は、今回大發展の實を示さんと、江湖より左記の規定に依り美人の寫眞を募集し、鑑美眼に長けたる斯道諸大家の嚴正なる批判を經て百美人を選擇し、來春一月一日發刊の第十四卷第一號及び同月十五日發刊の定期增刊第十四卷第二號の兩號に亘り五十名宛、横一尺六寸縦一尺八寸大の舶來上等紙に、本館獨得の艶絶美絶なる寫眞版として印刷し、毎卷の大附錄として洽く添付し更に讀者諸君より二十名妓の投票を募集し、當選者に左記合計金壹千圓の賞品を贈與し、弘く其榮譽を滿天下に彰表するのみか、投票者の的中者十名に左記合計金參百圓の圖書切符を贈與せんとす。本誌が眞美を愛重する微志を諒とし、此千歲一遇の好機を逸せず、續々美人寫眞の寄贈を吝み賜はざらん事を。稽首再拜

△美人寫眞募集の規定▽

▲第一條　美人の寫眞に限り、大いさは手札以上とす。▲第二條　寫眞は最近撮影せしものにて假裝したるものは選に入れず。▲第三條　期限は十一月三十一日の最終便にて本館に到着せしを限りとして、堅く締切る。▲第四條　寫眞の裏面に地名藝名家號及び年齡を記すべし。▲第五條　宛名は必ず「東京市日本橋區本町博文館文藝俱樂部大懸賞百美人寫眞募集係御中」と明記すべし。▲第六條　ひとたび受取りし寫眞は、何等の事情あるも一切返戻せず。

△當選二十名妓懸賞品▽

女(がの二)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人寫眞募集

博文館

第一等（一名）三越呉服店特製衣服…………（價格金五百圓）
一藍納戸色縮緬二枚重一組（江戸褄模樣、「御代の春」）△一唐織丸帶一筋△一山繭縮緬二枚重一組（紫平鼠江戸褄模樣、櫻吹絞り入）△一つゞれ縮緬丸帶一筋（献上入）△一紅疋田絞り縮緬長襦袢一枚△一袷羽織模樣は立枠に古代蝶）△一鹽瀬縮緬長襦袢（模樣光琳の扇面）

第二等（二名）天賞堂特製女持金時計………（價格各金百圓宛）
十八金新形金支滿千草模樣入色七寶無双彫刻側中蓋付龍頭巻時計（但シ十八金白金交り新形寶石入緒〆付二本立鎖付）

第三等（三名）玉寶堂特製金指環…………（價格各金五十圓宛）
十八金臺プラチナ花弁象嵌、ダイヤモンド入

第四等（四名）大西白牡丹特製帶止…………（價格各金廿五圓宛）
十八金製比翼櫻の透し彫、眞珠及ルビーを嵌入せし金物へ、絹内記打棚茶地へ二筋の織出しの紐附

第五等（十名）生秀館特製女持煙草入…………（價格各金五圓宛）
表地古代更紗模樣、裏地無地鹽瀨、金具十八金製春駒の圖（關口眞也彫刻）金文字附黑塗箱附

合計金壹千圓也

△投票的中者懸賞品▽

第一等	金百圓（本館圖書切符）	第二等	金五拾圓（同上）
第三等	金四拾圓（同上）	第四等	金參拾圓（同上）
第五等	金二拾五圓（同上）	第六等	金貳拾圓（同上）
第七等	金拾參圓（同上）	第八等	金拾圓（同上）
第九等	金七圓（同上）	第十等	金五圓（同上）

合計金參百圓也

((注意)) 尚詳細は十月十五日發刊文藝倶樂部定期增刊『怪談揃』及び十一月一日發刊『文藝倶樂部』第十三卷第十五號に就いて見られよ
紹介は往復葉書或は返信用郵券封入の外回答せず

女(かの三)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大日本淑女學會

▲御自分のお宅に居つて高等女學校の課程を講習しやうとする方は、本會におはいりなさい

▲本會は文部省令に據り正則完全なる女學講義録を發行します。講義の親切丁寧なことは云ふまでもありませぬ。新式の教授法によつて獨習に最も便利な方法をとります

▲卒業は二ヶ年で、會費も低廉であります

▲會員には講義録の外『姫百合』と云ふ美くしい躰裁の、利益になる女學雜誌を毎號無料で進呈いたします

◉詳は規則書は申越次第差上げます

◉東京神田駿河臺（電話本局三千四番）

大日本淑女學會

第五回新學期開始

此際入會者に限り**入會金全免**すべし！

本會の講義録

▲大版三百頁優麗なる冊子
▲講義平易にして興味多し
▲各科講義の程度一定せり
▲各科聯絡し組織的なり
▲講師は專門女子教育家也
▲科外講師は博士學士卅家
▲毎號科外講話を附録とす
▲絶潔高雅の家庭小說あり
▲會員の質問は直に解答す
▲學期毎に修業證書を與ふ
▲講義録は貳ヶ年完結とす

女（かの四）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しに蟲害の爲め次第に枯れて今や一株の殘れるに似たり、而して御身はその一株なり故にその盆中より出でて他の地に移り大いに身體の攝生を計り精神をして快活ならしむべし、好運從ふて來るなり。

▲大阪不運女の妹へ‖疾病は自然に來りたる結果にして好んで求めたる者に非ず、然るに疾病の爲に離婚を請求するは殘酷無情の人なり、世の爲め道の爲め大いにその不埒を詰責して一歩も讓る所あるべからず若し又此の離婚を法廷に爭ふても先方に於ては何等の勝算あることなし、斯かる意氣込にて先方を責むるも先方其心を飜へさゞるに於ては酷なる心、殘なる情は世間に暴白せられ姉上も亦更に未練の心起らざるべし、小説「不如歸」のは此方の母が繼母なる故に慰むる所なけれども姉上は之と境遇を異にすれば大に意を強くして病を養はるべし、病癒えたる後は舊に倍して良緣幸運思の儘なり、されどもこの強き心にならざれば病癒えずと知り給ふべし。

▲神田なでしこ女へ‖御身の性質は蔦に似たり牽牛花に似たり緣る所なくしては到底獨立するを得ず、故に何事も父上に依賴して『之を學べ』と言ひ給はゞ、『ハイ』『嫁に行け』と仰せらるれば『ハイ』何事も『ハイ〳〵』で通し、少しも我意を挾むべからず我意を挾まざれば幸運日を經月を累ねて來ると知るべし。小學時代より知れる人との結婚甚だ凶なり。

▲筑紫藤子へ‖父上は今後四五年無事なるべし、されど攝養宜しきを得ば更に十年は健康なり。姉婿殿の高等文官は面白からざれども元職に復さるれば決して不幸なる事なし、在米の人との結婚吉なり、進んで求め、御身も渡米し、鴻鵬の翼を張るが如く大いに活動せらるべし。

▲神田友思ひの少女へ‖鬱すれば破れ快活なれば萬事成功するの兆あり、故に思ふが如く家出して撓まず屈せずその意志を貫かるべし。

▲丹後大江しづ子へ‖御身の思ひ立たれし事は天が斯くなせと命じ給へるなり、何等の躊躇あるべからず。

▲芝白金露子へ‖一賓春婦の爲に正妻を忘れ愛兒を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

捨つるは人にして人に非ざるなり、故に御身は良人既に死したりと覺悟し、更に未練の心無く獨力を注いで愛兒を養育せらるべし良人にして夢醒め御身の前に低頭平身以て其罪を謝せらるゝ時來らば蘇生せる人と思ひ給ふべし、それまでは聊かも良人を思ひ出すべからず、これ何よりの得策なり。

▲丹波ゆり子へ‖幽谷の蘭花今を盛りと咲き初める卦なり、刻一刻も早く醫師なる人と婚を結ばるべし、此期を過ぐれば再び顧らるゝ時甚だ遲しと知り給へ。

▲佐保姫へ‖石龍子は友を擇ぶに肥料屋であらうと博士であらうと大臣であらうとに論なく心情の優美にして我を愛し我を捨てざる者を以てするなり、一時の友猶且つ然り況んや偕老同穴の友を擇ぶ上に於て何ぞ職業を彼是言ふの必要あらんや早々陸軍々人の縁談に應じ百年の操を全うせらるべきなり。

▲山の手心細き女へ‖天は人に幸を與へんとするに先ち種々なる艱難を嘗めさせその忍耐を試みるものなり。而して御身の心實に尊く實に潔く澆季の世には珍らしきなり、故に今や天は種々なる迫害を加へて試み給ふと雖も今後五年の中には幸福來るべければ斷々乎として再緣をなさず一心不亂に三年の間は抹茶と活花とを稽古し之を敎へて以て一生を送らるべし、嗚呼美なる哉瓶中の花、嗚呼雅なる哉松濤の聲。

▲北海浪女へ‖一方の手には蜂止まり一方の手には虻來れるの姿なり何れをも拂ひ除く可し我に相當せざる結婚は幾十度辭するも天は更に惡み給はず、來年秋頃若くは其來年の春に良緣あり、急ぎ給ふべからず、憂へ給ふべからず。

▲横濱金澤てい子へ‖前者即ち外國語學校卒業後の人は貧なり、後者即ち商船學校の人は花なり花は散り易く實は直ちに食ふを得、嗚呼前者なるかな前者、これ後者の爲にも幸なり。

▲山陰石竹女へ‖御身の言葉に「身を裂されたり」とあれど義兄が御身を褻したるにあらず御身が義兄を褻したるなり、睡眠中にでも無理に犯さるればいざ知らず婦人たる者が縦ひ心に快からざるにもせよ之を許

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して身を委せたる以上は男子よりも婦人に其罪多し、聊か以て義兄を怨むべからず大いに我身の罪を悔ゆべし、大いに悔いて德を養ひ更に三四年の間好める技藝を練磨し、然る後良媒を求め堂々たる結婚をなさるべし、兵士との結婚は幾分不正を免かれず、御身の良心之を何と決斷し給ふか。

▲上總五月雨女へ‖貴女は其心優しけれども、一定の見識無し、故に義父等より斯々と教へらるればさうかも知れぬと疑ひ良人より云々と告げらるれば又さうかも知れぬと迷ひ有耶無耶の中に日を送らるゝ姿なり然らば如何決すべきか、曰く正のみ義のみ、元來義父は利慾の爲に結婚せしめられたるなれば不正なり、良人には何等の不正なる所なし、而して良人は今も尙御身を愛するの念更に止まず、されば判斷するまでもなく御身は潔く家を出でゝ良人の爲に働くべし、良人は失敗して赤貧の身になり玉と成功して鉅萬の富を得給ふヿを今より念頭に置くべからず維正維義易の道は唯これのみ。

▲南海の浪子へ‖「夫婦和合の道は互に反對の性質を有するを以て第一とす」とは心理家、生理家の稱ふる所なり、夫にして剛邁ならば妻は婉柔、夫にして柔和ならば妻は凛々しきを可とす而して御身の性質は即ち其の凛々しき方なり故に更に優しく素直なる夫を選ばるべし軍人は皆凛々しきものなりとは申されねど、貴女は然るべき教育家に嫁せらるゝを余は贊成するなり

▲韓國秋山文子へ‖妹御の渡韓は進んで取る方にして結婚は退いて守る方なり進んで取れば婚期遲く且つ危險に遭遇すと雖も出世の見込あり、退いて守れば危險少しと雖も平凡なり、然りと雖も活斷の上に於ては平凡を取るを吉とす、早々婚を求めらるべし。

▲豐後二十二歳心配女へ‖凶事と知りつゝ判を乞はるゝは判者をして曲げて吉事にせよと言はるゝに似たり、血族結婚の如きは如何なる事情ありとも決して從ふべからず、若し從はゞ男女雙方の爲め又子々孫々の爲に禍を遺すものと謂はざるべからず若し兩親にして之を强ひんか、これ我が都合の爲に最愛の子を犧牲に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

供せんとする無慈悲の至りなり、父上は攝生だに宜しくば早急の危險なし。

▲豐前西國ゆり子へ――大洋の眞直中に一小金貨を落し之を拾はんとするの卦なり、非常なる人力を盡さば敢て拾はれざるに非ざれども其行や甚だ愁なり、故に御身も在米の人を一小金貨なりと看做し之を斷念すべし、斷念すれば日ならずして良緣必ずあり。

質問心得

一、封書にして東京市日本橋區博文館女學世界人事活斷掛へ宛てらるべき事。

一、縣名年齡は必ず附記すべき事。

一、匿名は異樣なるを選ばれたし。すみれ女、深山女、伺女、煩悶女、白菊女、不幸女、哀願女、心配女、何歲女、等は何れも十數人以上有るが故に甚だ紛はし。

一、疾病に關することは衞生顧問へ尋ねらるべき事。

古新聞の利用法

米國などの貧書生の中には、之を幾枚も重れ合はせて、綴ぢて夜具にする間に、空氣を含むから暖いに相違ない。之の上で芋や林檎の皮を剝き、其まゝストーブの燃料にする、此利用はストーブが無ければ六かしい。我國では安達紙の心。襖の中張。壁や隙間の張紙。夫から店で買物の包紙や袋に使ふのが一番多い、之に就て親達の注意が要るといふのは駄菓子屋などでは、亂暴にも餅菓子、飴の玉、羊羹などの粘り氣あるものまで、これで包んでよこす、其包みの新聞紙はどうしたのかといふと中には紙屑籠の中から攫り出したのもあらう、土間へ積まれて泥足で踏まれたのもあらう 肺病やヂフテリアやチブスなどの病菌の附いて居るのもあるかも知れぬ、恐るべきものである。西洋でも日本でも古新聞紙はよく便所に使はれる、然し之が爲めには淸潔と柔かといふが必ず大切である、之に附着してゐる黴菌から局所に病を受け之の硬いのを使ふ爲局所を害ふ虞れは隨分ある。又洋燈の掃除に使つたのは其まゝ焚付けに妙である、新聞紙を疊んで堅く縫つたのは、立派に柴薪の代用になる。注意深い家では、古新聞を切つて當座覺帳などに利用される。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



腹ちがい

正岡秋子

上

背戸の畑に大根引く〳〵、色白の姿の小さい、身も心も弱さうなお高は、此頃物を思ひつゞけて、今も今それを思つてゐる。

例へば限りなき大空の果てを尋ね當てるやうな希望だとも思はれる、當があつて無いやうな、無い樣であるやうな――こんな事を考へながら、いつも自分の身が果敢まれる、果敢いと思ふと共に、自分を此樣志がない者になし果てた父樣とやらが恨めしいやうな心持がする。

聽ば我身を生んだ母樣とやらは、世にも卑しい身分の女であつたとやら、それを憚つての父樣がお計ひを今の邪慳な養父さんと養母さんが、何時も私に言つて聞かせる。

『捨てる樣な子供なら、始めつから生まねえが好いだよ、父樣は男の事だ、女が少と怜悧でなかつたのさ、世間にやアお前、奥樣追出して平氣で後釜をきめ込むやうな甲斐性女もあるのに、何の事だ、生地のねえ、子供を生めア親不知で他に呉れられの、自分は產後で打死の、可哀想と云やア可哀想さね』と死んだの迄が惡さうに仰る、話にきけば生の父樣は局長とやら云ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お役人様、奥様は由緒あるお邸のお姫様であつたとやら、間の一人子がお孃様で今年もう廿四五、三年前末村といふ立派な會社長に嫁いでそれは幸福なお身分さうなと、去年の冬、死んだ叔父さんの形見を取りに一寸東京へ行つて來た父さんが、今更らしく言つてきかせて、

『そのお孃様が汝の姉様だぜ！　同じ父親を持ちながらお前と比べれアお月様に鼈だ、己からは云ひ惡いが汝には生の父親だ、一本手紙書いて何とか言つて遣れよ、さうして少たア藁の上から育て上げた兩親に孝行〱する氣にでもなれよ、慾のねえ女だなあ』と底に何やらある事聞かされて、それでも捨てられた父親とやらへ其樣事言つて遣る氣にもなれず、何と云はれても只唯々と聞いて居れど、今度の事ばかりは、どうしても厭！々、何と云はれても叱られても、あの芳松さんと夫婦になる事ばかりは如何しても厭！

『芳松と一緒になられねえやうなら汝にもう用は無えだ、何死んでも厭だ、厭なら早々と死ん了へ！　死ぬ事汝は知らぬのか、裏のな、荒神山の頂上から下向いて落ちて見ろ、汝の厭な事せんでも濟むわい』と昨夜も彼事を尋ねられて、厭だと答へた果てが此言。

捨られた父様とやらを、頼りにする氣は斯うなつても更々ない！　奥様の手前はあれ、少しでも生の子の可愛さをお知りなされた事ならば、時々は内密で顔位見に來て下さりさうなものを、生れ落ちると直ぐ此百姓屋へ捨て果てゝ、廿一年の春秋、花は咲いても風は吹いても、親とも知らせず子とも云はぬ阿漕なお心、そんな父親を頼りにする氣はさら〱無けれど、

何とやらおなつかしいはお孃様、姉様と言つて言へない身ではなけれど、此汚ない百姓の田舍娘が、考へても恥かしい、人の親らしいものゝ情も知らぬ我身には、せめて姉妹とやら云ふものゝ、せめての情が身にしめて見たく、獨心が姉様のお姿畫いて、尋ねて行つたら斯うも言つて下さらうか、あゝも思つて下さらうかと、此三月といふもの思ひは何時もそればつかり。田舍育の身には姉様の大方の姿も考へられず、東京

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

へ二年ばかり奉公に行てゐたお島さんに大抵どんな風な人であらうと聞いて見たら、

『さうさね、きつと私が御奉公してゐた家の奥様のやうなお方だと思ふよ、廿四五だつて、丁度奥様位の年頃だわ、色が白くつて、背がすらりとして、大きな丸髷に赤い手絡をかけて、いつも蒿引を根に結んでいらつしやる、蒔絵のお櫛が大好で、そしていつも平生にごり〳〵した縮緬の半襟をかけて、絹布い衣服をぞろり〳〵着ていらつしやるから、お下駄をめすと裾が汚れる、聲の細い、それで笑ひ聲の大きい、時々は流行の束髪に結つて、じみなリボンを一寸後ろにあしらつてゐらつしやる事もあつたつけ、旦那様も立派な方だよ、いつでもお手



Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

車で、和服を召してお出ましになつた事はなかつたよ」と考へて、

「そのえらい旦那樣がお高さんには兄樣に當るんだよ勿體ない、そしてお前二つになる可愛らしいくり〳〵した坊ちやんが有つたがね、お高さんはその坊ちやんの叔母さんじやないの、好い事だねえ」と、つく〴〵私の顏を見て、その奥樣が本統に私の姉樣でゞも有るかの樣に言つてきかせて與れたが、

私の姉樣とやらも、きつと然ういふ方に違ひない、そしてお島さんが然う言つた、お風呂は每日お家で湧て旦那樣のお歸りがお遲いから、奥樣が先にお入になる石鹼は一つ一圓位のを、三つ宛箱入でお買りになつて白粉は女の異人さんが附けるのと同じので、何とやら六難しい名であつた、タオルとか云ふもので大きくお衣服が縫つてあるから、湯上りにはいつでもそれを直ぐに召して、お部屋にお歸りになる迄には、きれいに身體が干いてゐるつて、ほんとうに其樣重寶な事がしてあるのか知ら、近所へお出ましの時には、坊ちやんに雪帽子とか云ふ眞白な鳥の羽の帽子に、矢張同じやうに白い羽で出來てゐる大きな外套を着せて、奥樣がミツト入の手袋を召した纖奢な手で、そつと抱いてお出でになるのが、どんなに美麗であつたらうつて……

その奥樣が私の姉樣で、私が其坊ちやんの叔母さん。

中

考へ〳〵一畦の大根は引いて了つた、ふと冷たさに我に返つて、氣が無さゝうに、ハーツと兩手に息を吹かけながら立つて居ると、物置の方で聽き馴れた笑ひ聲、あゝ彼れは芳松さんだ、今日も又遣つて來たのか…お高は又次の畦の大根引に掛つた、聞くまいと思ふ芳松の聲が耳をかすれる、何やら怖い養母さんの聲もきこえる、お高は何やら不快な氣持になつて、急に此畑に居たくなくなつた。

お島さんは家に居なさるか知ら、まだ雪が殘つて居からお母さんが必定畑へは出しなさるまい、一寸行て話がして見たいけれど、用を半分で油を賣つたらきつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と養母さんに叱られやう、けれど斯うして此處に居たら厭な芳松が側へ來る、來たら又後で私の仕打が如何の斯うのと養母さんに訴へられて、又私が苛められる何やら足音が此方へ近寄る樣にきこえる、と思ふとお高は逸早く畑をぬけて外へ出た、そして横をも見ぬやうにして一生懸命お島の家へと急いだのである。

「お島さん居るの」と建附の惡い裏戸を開けて、薄暗い土間を覗くと、莚の上で猫いぢりをして居たお島が振返つた。

「お入りよ」と二年ばかり東京へ出て居たので調子が輕い、村の女などには、生意氣だと云はれて兎角評判が能くないが、不思議にお高に親切で、そして東京の話をよくきかせる、村の女は兎角にそれを嫌がるのをお高は又それを熱心に喜んできいた、能く肥つた柄の大きい、比べるとお高が如何にも弱々しく繊奢に見える、氣の弱さうな笑ひ顔をして、

「お父さんやお母さんは」

「畑へ行つたよ」と立上つて、

「いつまでも寒いねえ、日が當らないから雪が少とも消えないぢやないか」と不足らしく云つたが、

「私ね、お高さんに今日あたり逢ひたいと思つて居た所なの」

「さう――」とまじ〱見上げて、

「何か用事で」

「あゝ――用と云ふでもないけどね、お前の家の養母さんが餘りだから、私ア本統に腹が立つてね、何とかお高さんに腹を決めさせやうと思つてさ」

土の火鉢を框へ持上げて、

「上へお上りよ」「あゝ」と遠慮なく火鉢を圍んだ。

「お高さん、お前芳松さんと一緒になる氣にはなれないかい」

「あゝ」と俛首れて、

「その事なら私どうしても」

「厭なの？」

遠慮らしく、うなづいて見せた。

「一昨日の晩養母さんが此家へ來て話して行つたがね、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お高さんが芳松さんと一緒にならなきや、仕方がない、お高は勝手にさせといて、親類の芳松に跡を取らせる、そして芳松に嫁を貰つて孝行をして貰ふつて」お高は最早承知して居る。

「そうなつたらお高さん、あの家には如何しても居られないはめに成つて了ふよ、それやあんな邪慳な人達のところに居たいとは思ふまいけれど、考へると私は、お高さんが殘酷でね……」

と俛首れたお高の、傾げだ銀杏返を凝と見入つたが、

「お高さんは居る所が無くなるよ、そりや出て行けとも云ふまいけど、言ふ事を聴かないお前を、あの人達が好い顔をして置くまい、第一芳松さんに嫁さんを貰つて、その中にお前が居られないわね、ねえお高さん」

お高は凝と聞いて居たが、

「養母さんはお島さんの家へ來て迄其樣話をしなすつたのかねえ」と獨言のやうに言つた。

「必定私がお高さんに話すと思つて餘計あんなに言つたんだらうよ」

「私あねえお島さん……」と何やら云ひ惡さうに口籠つたが、

「私ア無理に家に居たい事は無い……今迄育てゝ貰つた恩は恩で返すから、私はどんな處へでも奉公して皆の邪魔にならない樣にするよ」

と云ふ中にも、あり〳〵と目に浮ぶは東京の姉樣の姿である、今にも無慈悲な養親達の手許を逃れて、美しい姉樣の情ある暖い手に抱かれて見たいと思ふのである。

「廿年も育てた娘だ、ねえお高さん、自分の親類と夫婦にならねば出て行て貰いたい……とは云はないけどそんな口振さ養母さんは、何もそんな情のない仕打をしないでも好さゝうなものだと私は思ふよ、矢張お前が不運なのさね、お高さんの親達は欲しくてお高さんを貰つたんぢやないよ必定、世話をしたの育て上げたのと大層に恩がけるけれど、お高さんこそ幼さい時から何れ丈親達の爲に手助をしてゐるか知れやしない、親達こそ却て世話になつた位さ……」

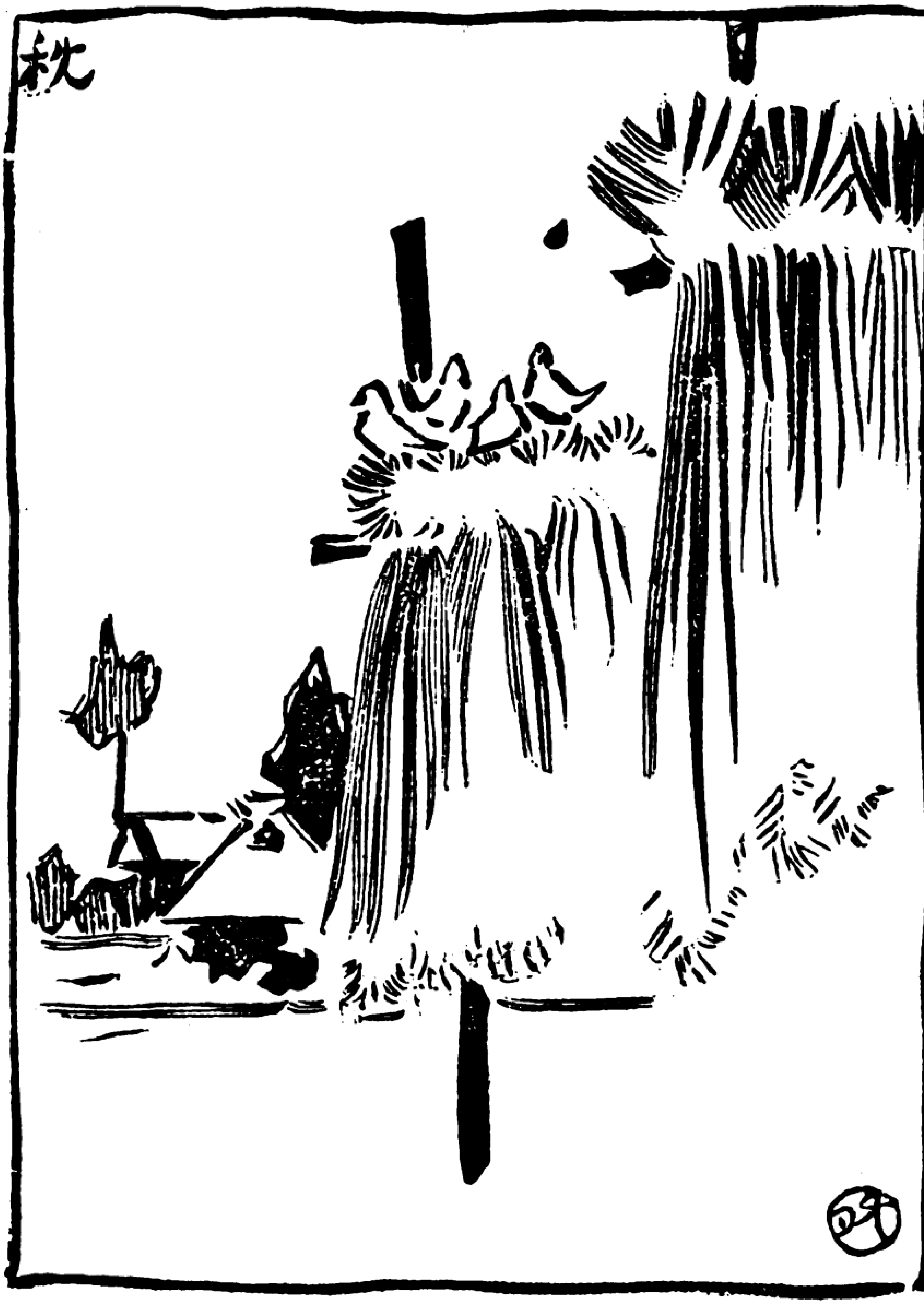
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お高は何時か泣いてゐた、

だから、お前、何も恩返しの何のといふ遠慮はない、思ひきつて東京のお父様とやらを尋ねて行つたら何様ものだらう、何の彼の言つても本統の父子だもの、きつと可愛いに違ひない」

お高はふつと顔を上げたが

「私は厭だよお父様とかを頼りにする氣は少とも無い……」



「どうして？　又捨てた様な親よりも育てゝ呉れた親の方が大事だとお言ひか」

「どう思つても私は厭だ、頑是ない時にさへ捨てたやうな親が今更こんな大きな者をどうして呉れるものかね奥さんと云ふ人の手前もあらうし、到底駄目な話だわ、それに私が第一頼りにする氣にならないから」

「さう云へば然うだね」と考へて、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「ではお高さん、いつもお前が口癖にしてゐる姉様とかは……」

お高の眼は輝いた三月此方思ひつゞけた姉様――其姉様を尋ねて行きたいは山々ながら、果して行て好いものやら如何やら、と思ふと心細く、急に頼りなげな眼付をしてお島を見上げた、

「お高さんが何處へでも出ると云へば、親達は必定喜ぶよ、芳松さんと一緒にならなきや、お前はさしづめ他へ嫁付けなけりやならないだらう、言ふ事も聞かない者に金をかけて他へ嫁るなんて、お前の親達にそんな事が出來るものかね」

お高は矢張だまつて居た、廿年來育てられた兩親は、昔からの事ではあるが、今になつては全くもう水のやうな仲になつて了つた、血を分けた父は私を捨てた、生の母は此世になし、あちら見てもこちら見ても我身の爲めに一片の溫い情をかけて呉れる人は有りさうにもないが、何やら只一人の姉様ばかりは、蔭ながら私をなつかしがつてゐて下さるやうな心地がする、そしてお島さんの奉公してゐるお家の奥様が、何やら其姉様のやうな心持がしてならない、で最一度その奥様の様子がきゝたくなつた。

「お島さんお前の居た家の奥様ね、御兄弟に優しかつたかい」

「奥様かい、丁度年子の妹様がお一人、矢張他へ嫁いてゐらしつたが、お二人共それは姉妹思ひで、傍で見てゐてさへ、どんなに私迄が嬉しかつたらう」

「私の姉様もそんなか知ら」

お島は直ぐにうなづいて、

「きつとお優しいに決つてるさ、それに先方でもお一人きりで姉妹無しだと云ふぢやないか、お前さんの事を聞いて、女は女同志、腹は違つても姉妹に違ひないのだから、きつと逢ひたいと思つてかも知れないよ」

「さうねえ―」とお高は嬉しさうにお島を見あげて、そして何やら考へた。

「お島さん」と聲がはづんで、

「私ね、尋ねて行く前に、一寸手紙出したいと思ふが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ね、お前書いておくれなね」
「手紙、さう〳〵好いところに氣が附いた」
とお島は直ぐに立上つたが、
「番地は分つてゐるかい」
「養父さんに聞きやあ分るけど」
と考へて、
「芝の城山とか云つて居たよ、苗字は末村さん、姉樣の名は知らない」
「御奥樣として遣つたら屆くよ、きつと大きなお邸だらうから、番地なんか無くつても必定屆くに違ひない」
と言ひながら棚から硯箱を取下した、お高の胸は早鐘の如く轟いて、やをら筆を持つお島の手先をじつと見入つた。
「何と書かう」と粗末な半紙を疊に延べて、背を屈めてお高を見る、お高はいろ〳〵考へたが、とう〳〵斯う書いて貰つた。
奥樣、わたくしはあなた樣のきよだいで御座います、小さい時お父樣に捨てられて百姓に貰はれましたがいろ〳〵苦勢がありましてそして三月前へから芳松といふ男とふうふになれと云はれて、ならねば家に居る事が出來ません、お父樣は私を捨てた人ですから、私は決してお父樣をたよりにしません、どうぞ奥樣、私はいくところがありませんから、可愛さうと思つて私をお傍によんで女中の代りにして下さいまし、たづねて行きますから、どうぞ叱らずに下さいまし

とち木在の　おたか

東京の　お姉上樣

どうぞ返事を下さいまし

下

東京へ手紙を出して貰つてから最早一週間になる、言ふに言はれぬ憂き日數を、一日一日と送りながら、お高は東京からの返事を待つて、毎日〳〵お島の家を訪ね暮した、そして心潜かに、いつやら村の若い衆に讀んで聽かせて貰つた小說——それは矢張自分のやう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

な不幸な百姓の娘が、俄に東京の華族樣の落胤であると知れて、後嗣がない爲引連れられて行つたといふ物語の、その中の主人公に似た身分になるやうな氣がしてならない、返事の來ないのは、おやさしい姉樣がお供を連れて汽車に乘つて私を迎ひに來る積りなのかも知れない、さうしたらお島さんが一番喜んで呉れるだらう、養父さんや養母さんは如何思ふだらう、芳松さんは何と云ふか知ら、

姉樣は必定丸まげ、それとも束髮かしら、金の指輪を三つ位はめて、さうして衣服は必定縮緬――、私の事を何と言つて呼んで下さるか知ら、姉樣は姉妹のやうに仰つても、こんな汚ない田舍者が姉樣と云つては可笑しいから、私は矢張奧樣と呼ばねばならない。

こんな事を考へて居る間に十日は過ぎた、十一日目の夕方、お島には讀みかねる樣な、つゞけ字の手紙がお高宛でお島の家へ屆いた、其には斯う書いてあつた。

思ひがけなきお手紙にて驚き入り申候、私事小さき時より一人子にて父上母上に育てられ、外に姉妹のある事などは少しも知り申さず、何やら父上の御了簡違ひにて、ふと卑しき女に一人小兒の生れし由を母上樣より成人の後きゝし事も有之候へども、それは生れ落ちると直ちに親不知にて田舍へ遣はしたれば、私とは別に兄弟といふ程でもなき由にて候が、あなたが其卑しき女の生みし子供ならんと察せられ候

あなたを養女に遣はせし折、父上より過分の金子をさし添へられ、もはやそれにて一生親子の緣はなきものゝよしに約束ありし由にて候を、突然のお手紙にて驚き入申候、此地は田舍と違ひ、いろ〳〵世間體といふもの喧しく、敎育もなき田舍の娘を、私の妹などゝ申しては、關係致し居候婦人會の方々、其他旦那樣の手前、親戚の手前も面目なく、お氣の毒ながら引取りかね申候、生の親にもまさる親の仰なれば何事も自分の身を考へて、たとへどんな人にても夫と定めておつくしなされ、法外の望を起さぬ方あなたの爲めにて候間、よく〳〵自分の身の程を考

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

へて、決して我まゝを申すまじき樣なされ候樣願上候、金子三十圓御婚禮の費用にお加へ下され度、先は右御返事のみ、早々

東京より

お高樣

猶々再びいろ〳〵の事申越され候ては、まことに人樣の手前赤面いたさねばなり申さず、今後は決して文通御無用に願上候

とあつて、姉とも妹とも、なつかしいの、なの字もなかつた。

お島に讀んで聞せて貰つた時、お高はあまりの失望に淚も出なかつた、世間體とやら婦人會とやら親類の手前とやら、そんなものが有つては姉も姉でなく、妹も妹でなくなるのかと、始めて知つてお高はさつぱり斷念めたらしい、年上のお島は斯う云つた、

「きつとお父樣の奥樣が、お前を生んだお母樣を憎がつて、今でもまだ恨んで居るんだよ、だからこんな事書かせて遣したに違ひない」

と云つたが、お高は別に氣にとめて聽きもしなかつた

其後お高の姿は此村から見えなくなつたが、きけば足利あたりの機織工場へ買はれて行つたさうな。（完）

懸賞　小說募集

一等賞金拾五圓
二等賞金拾圓
三等賞金五圓

一紙數は二十枚以上三十枚まで（一枚の字數は廿行二十字詰にて凡四百字の事）
一原稿は總ふりがな付の事
一賞金は揭載後二週間以内に郵便爲換にて送達する事
一〆切は本月三十日

才媛淵藻　懸賞募集（締切十一月二十日）

▲和歌（一人一首）

▲短文（百二十字以内）

▲謎（一人一解）

▲一口噺（一人一題）

▲諸國珍料理（百字以内、成可珍奇なるを採る）

▲家庭日記（百二十字以内）

◎用紙は總てはがきの事◎字體は楷書にて鮮明なるべき事◎住所姓名は必らず原稿に記しおく事◎投稿は博文館女學世界宛の事

◎賞品

▲一等一圓▲二等五拾錢

▲三等參拾錢（圖書切符）

▲謎と一口噺は入賞參拾錢

毎月五日發行

定價表

一册（紙數二百八頁）…金二十錢

四册（三ヶ月分）…前金七十五錢

八册（半ヶ年分）…前金一圓四十五錢

十六册（一ヶ年分）…前金二圓八十錢

内（定刊數…十二册　增刊四回…一、四、七、十月價格同一）

郵税　一册　二錢

廣告料

	特等	一等	二等	三等
二十四字詰一行	……	五十八錢	五十錢	四十二錢
半頁（卅二行）	二十圓	十七圓	十四圓五十錢	十二圓
一頁（六十四行）	四十圓	三十三圓	二十八圓	二十三圓

▲等級の位置ノ切日等御照會次第御報可致候

註文略規

●本館發行の圖書は都て前金の外送本せず

●御携込の前金相切れ候節は送本を停止す

●郵券代用は一割増にて五厘一錢の切手に限る

●總目錄御入用の方は二錢券相添申込あれ

不許複製

明治四十年十一月五日發行（第七卷第拾五號）

編輯兼發行人　松原岩五郎

印刷人　山田英二

印刷所　博文館印刷所　東京市小石川區久堅町百八番地

發行所　東京市日本橋區本町三丁目　博文館

電話本局　三百三番　千十八番　二千六百二十番　三千二百二十九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女學世界第七卷第十五號附錄

明治四十年十一月五日（毎月一回五日發行）
明治三十三年十二月廿五日第三種郵便物認可

開　史

現代精華の結晶たる權威的活歷史

歷史界破天荒の巨觀

伯爵大隈重信撰○編纂寄稿者伊藤公山縣公西園寺侯松方侯故副島伯山本伯井上子田中子前島男澁澤男石黑男後藤男加藤尾崎島田井上靑山富井益田三宅坪內箕作等諸名家七十餘人

我最近五十年間の進歩は獨り開闢以來の盛觀たる耳ならず**世界歷史**[illegible]

●製本‖は角背革、最上布製、金文字入、最堅牢且最優尙也

●出版‖は上卷本年十二月、下卷來四十一年二月、此期限は極めて精確也

●發送‖は代金[illegible]發送、送料市內金八錢、內地金卅二錢、清韓、樺太、臺灣、各金八十錢也

●見本‖發刊趣旨及本文、挿畫、用紙等の見本は申込次第送附す

▲豫約締切‖來る十二月十日限り

豫約申込所
東京市牛込區早稲田大學出版部內　開國五十年史發行所
同　東京市日本橋區本町三丁目八番地　博文館

編輯兼發行人　松原岩五郎　印刷人　山田英二　印刷所　東京市小石川區久堅町百〇八番地　博文館印刷所　發行所　東京日本橋本町三丁目　博文館

裏面注意

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

神道トみかど　　久米邦武
儒教　　文學博士　井上哲次郎
佛教　　文學博士　高楠順次郎
基督教　　本多庸一
　　　　　山路彌吉
文學　　文學博士　芳賀矢一
日本文學ニ於ケル基督教ノ感化　グリーン
美術　　正木直彦

大學及珍貴閲覽の許諾を得て之を撮影せるものたるが其原品は國寶となり或は史料となり或は名門の篋底に秘せられて常人の容易に窺ひ見るを許さゞるもの尠しとせず圖上に加ふる所の解說は主として三上博士の筆に成り本史の記事と相俟ちて無心の圖書をして紙上に活躍せしむるの槪あり本史をして燦爛の光輝を放たしめ讀者をして愛玩措く能はざらしむるもの蓋し其賜なり

豫約方法

●期限● 明治四十年十二月十日限（〆切期限斷行す）

上下貳卷　正價金拾貳圓（期限後は正價に復す）

●甲種●（期限中一時拂込）金八圓（外に遞送料申受料金は下記の表に依る）

乙種（三回ニ拂込）金九圓（遞送料同上、拂込は第二回送金と合送の事）

小包料（上下ニテ）	
市内	金八錢
内地	金卅二錢
清、韓、臺灣、樺太	金八拾錢

▲期限中ニ申込金貳圓拂込　▲第二回、拾貳月廿日限金參圓五拾錢（外に送料）拂込▲第三回、四十一年二月廿日限金參圓五拾錢拂込ノ事

送本
上卷出來　四十年十二月廿日ヨリ
下卷出來　四十一年二月廿日ヨリ
豫約申込順序により送本す

豫約申込所　開國五十年史發行所　博文館

外全國各市書籍雜誌店に於て弘く取扱致候に付便宜御申込被下度候

▶裏面注意

博文館女學世界 編輯部新案

明治四十一年 家庭日記

總クロース金字入題美本紙數五百餘頁　正價參拾八錢　郵稅十錢

家庭日記は最も進步したる。且つ最も文明的なる日記にして新家庭の要求に應じたるもの也、苟も我家の規摸を知り我家の地位と品格と勢力とを知らんとする人の机上に缺くべからざる重寶日記なり其の目次左の如し。

家庭日常の寶典

○貨幣度量衡比較表　○內國郵便大要　○郵便爲替貯金大要　○郵便電信大要

▲收入明細表　▲支出日計表　▲家計分類出納表　▲年中行事豫記　▲家庭重要記錄　▲我家の家族　▲家庭紀念事項　▲戶籍表　▲崇廟祭祀日錄　▲通學要錄　▲兒童生育要錄　▲健康要錄　▲衣類目錄　▲財產目錄　▲貸借關係錄　▲音物贈答日誌　▲通信日誌　▲親族名簿　▲傭人名簿　▲知人名簿　▲備忘錄

附錄

●世帶の要訣　●器物取扱法　●衣服保存法　●勝手元の憲法　●日常心得草　●一年中の仕事配り　●臺所百事便　●衛生心得草　●看護の心得　●育兒の大意　●新年料理　●總菜の栞　●日々の献立表　●洋食の心得　●產兒一週間の心得　●魚類と野菜の季節分　●挿花水揚法　●音物贈答の心得　●訪問の心得　●日用品買物の心得

▲本書內容の一斑▼

本書は始めに一年三百六十五日の日々欄を置き、七曜を順記し、天氣、寒暖の各座を設け、以て日々の事項を記入するに適せしめ更に月の始には其月の行事、季節、家事、食品、遊樂の心得を抄記して月令の栞となし、次に此の日記の特色ともいふべきは他の日記簿に類例なき「記錄表」なるもの約二百頁とを設けこれには前表家庭重要記事を始め、交際、通信、音問、祭祀以下日常諸般の事項を分類し兼れて財產、衣類等の品目を掲記して以て複雜なる家事を整理して一目瞭然たらしむ。猶前掲附錄十數次は家事當局者の心得にして朝夕必要なる家政智識を網羅せり。

家事整理の墨繩

○滿年求月表　○年數早見表　○印紙稅法大要　○名所舊蹟案內

家庭日記は日常の家事を整理する金針にして又家運振興の指南車なり、其內容は從來有觸れたる日記簿とは全然面目を異にし統一あり、秩序あり、教訓あり、趣味ある日記にして眞に一家の重寶たる實質を具備せり。

發兌元　東京日本橋區本町　博文館

（後付の一）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

博文館發行

明治四十一年 當用日記

博文館出版の當用懷中日記の正確にして實用的なること世人の旣に認容する所今敢て喋々を要せず唯遺憾なりしは從來年末に切迫しての需要者には初刷雜誌準備多忙の爲め再版を企て難く充分なる供給を爲し能はざりしにあり是を以て本年は特に紙質を精選し印刷を鮮明にし部數を增加し一點遺憾なき計畫を立てたり然れども日記の需要者は年と共に增加する傾向あるは從來の實驗に徵して明なるを以て弊館の發賣豫定數が果して年末迄持續し得るや否や保し難き所なり乞ふ賣切れとならざる內速に購求あらんことを



◎卷頭　皇室皇族の御繁榮歷代の天皇大祭祝日日曜表等を色刷とし揭ぐ

大形 菊判 上製（舶來洋紙總クロース金字入）▲正價金五拾錢　郵稅拾四錢

中形 四六判 特製（舶來洋紙脊皮美製金文字入）▲正價金五拾錢　郵稅拾貳錢

中形 四六判 上製（舶來洋紙總クロース金字入）▲正價金三拾八錢　郵稅拾錢

小形 菊判半截 上製（舶來洋紙總クロース金字入）▲正價金三拾錢　郵稅八錢

紙數各約五百四十頁

〔附錄〕金錢出納錄●知己人名簿●雜錄●諸統計表●米價換算早見表●諸稅則摘要●郵便電信諸規則●新式萬年曆●徵兵規則

▶▶賣捌所は全國各地の書籍雜誌店
▶▶取次希望の方は御申込次第

（後付の二）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四十一年度日記類

本懐中日記巻頭には皇室皇族の御繁榮歴代の天皇大祭祝日日曜表を色刷として掲げ新形は背面に他の二種は腹部に鉛筆挾みを設く

明治四十一年 懐中日記



新形（船來洋紙頗美本總クロース 金文字入細長形携帶至便）
▲正價金貳拾錢 郵税貳錢

上製（船來洋紙頗美本總クロース 金文字入紙數三百餘頁）
▲正價金拾八錢 郵税貳錢

並製（船來洋紙總クロース表紙 金文字入紙數三百餘頁）
▲正價拾貳錢 郵税貳錢

博文館日記の特色

用紙 何れも海外製紙會社へ特に注文漉製せし特別上等紙を用ゆ

印刷 日記印刷の爲新鑄せし活字を以て注意印刷す頗る鮮明なり

製本 弊館が特に英國より輸入せし新機械を以て堅牢美麗に製本す

趣向
（當用日記）日々欄には過去同月日の重要歴史、七曜、干支等を錄し天候、寒暖、發信欄の外往訪及起床時就蓐時の記入欄を新設す尚各月の初めには、其月中に行ふべき事項を豫記すべき欄を新作し、毎日の記入欄には細罫を附し秩序ある記錄たらしむるに適せり。

體裁
附錄としては紙數十二頁の補遺金錢出納表、收支一覽表、友人住所錄、農家年中行事、露伴先生旅行の心得、某醫學士の衛生心得及び最新重要統計及日常必須の諸規則を網羅せり。

（懐中日記）毎月の初に當月の行事、食品月令、遊覽案内等を揭げ日々欄に過去同月日の歷史、七曜、干支、天氣、寒暖、起床、就蓐時欄等當用日記の如く卷末には日記補遺錄日常用の事項諸税則及最新重要の統計表等百頁を附す

紙數三百〇六頁
〔附錄〕◉難錄◉統計表◉利子早見表
◉諸税規則摘要◉郵便諸規則
◉徵兵規則大要◉年齡早見表

及紙類文具店等到る所にあり◀◀
精々御便利に御相談可仕候◀◀

（後付の三）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

最近發行帝國百科全書

第百七十一編

文學士　蜷川龍夫君編

儒教哲學概論

（近刊）

上製五十五錢
郵税十錢
並製四十錢
郵税八錢

現時我が國の思想界は、幾多の變遷を經て、漸く堅實に赴き、種々の方面より努力奮闘の實踐主義は皷吹せられ、今や我が社會は向上的生活の關門を叩きつゝあるものなり、而かも久しく世人に忘れられたる儒教は、全く此の主義を最も切實に、最も明確に説破するものなるを知らざるもの酷だ多し、本書はこの儒教の主義綱領を統一的に詳説し、遠く其淵源を叩いて、思想の發達を研究し、其宇宙觀、人生觀、倫理觀、心理觀、社會觀、政治觀を通説し、更に曆代的の代表人物を提示し來つて、詳細その主義本領を皷吹せるものなり、斯道に志すの士、座右に一本を備へて可なり。

第百七十二編

文學士　久保天隨君著

近世儒學史

（近刊）

上製五十五錢
郵税拾錢
並製四十錢
郵税八錢

覇府三百年、上は藤原惺窩林羅山より、下は維新前後の諸家に至るまで、一代泰斗の望を負ふもの、無慮數十人、その流派を分ち、その統系を詳にし、その學説の大旨を摺摭し、その辭藻を評隲し、兼ねて當時社會事情との關係を探究せしものを本書となす。名は儒學史と云へども、その實、近世の文明史、哲學史、倫理學史として見るべく、敍述簡明、その要を得、行文雄勁、記誦に便、亦た是れ破天荒の一大撰著に負かず。

發兌元　東京市日本橋區本町三丁目　博文館

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

報知新聞家庭記者
天野誠齋君著

家庭宝典 臺所改良



（本書内容）

◎食物は如何なる臺所にて料理すべきか◎何が第一に改良すべきか◎清潔の應用法◎窓の構造◎臺所の位置◎食物と黴菌の關係◎釜の動力◎蒸籠の動力◎遠山式消毒蒸籠◎洗流しの水使ひ方◎完全濾水器◎竈の改良◎改良竈の便利◎料理ストーブの改良◎布巾の取扱方◎布巾掛の位置◎流し元の改良◎把薬の取扱方◎臺所日記の附方◎料理臺の置き方◎臺所の掃除◎台所の規律◎米國の實例

◎掃除の仕方◎塵拂の懸け方◎雜巾の掛け方◎床下掃除◎鼠不入の掃除◎鼠不入の改良◎台所の模範實例◎下水の掃除◎下水の改造◎下水の清潔◎流し元臭氣止◎下水と傳染病◎塵箱の改良◎塵の處分法◎飲料水の位置◎壜の洗い方◎堀井戸の水と水魚類豆腐類◎女中の使ひ方◎女中部屋の整理◎台所の經濟◎改良の台所道具等其他數項

全一册 菊判和裝美本 紙數約二百二十頁
定價金四拾錢 郵税六錢
口繪 彩色石版畫壹枚 挿畫數十個

上眞行君序 東儀鐵笛君著

音樂通解

近時吾が樂壇の興隆に伴ひ、音樂書の刊行日を逐ふて盛なり、然れども其多くは實際演奏用の樂譜の類か、若くは單に符號を説明したる普通の樂典に過ぎず、本書の如く音樂の全般に關し樂理と實際との兩面に亘りて西歐大家の名説を參酌し以て音樂の要義を解説せるもの未だ他に類例を見ず、殊に行文平易にして、何人といへども容易に音樂の趣味と智識とを修養し得べく、音樂家、音樂教育家は勿論、苟くも音樂に興味を有する人々に對して裨益する所、蓋し尠少ならざるべし請ふ一讀して本書の眞價を知り給へ

全一册
洋裝中判製本優美
正價五拾五錢
郵税六錢

販賣用電話 二六二〇番
東京本町 博文館
振替口座番號 第二百四十番

女（提付の五）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭整理の指導 二

當代第一流の女子教育家編著



家庭百科全書

全部五拾冊＝每月一回發行

和裝頗美本 ◉紙數三百頁 ◉石版彩色口繪一葉・挿畫十數個

▲定價一冊金四拾五錢＝郵稅八錢

第一編

新家庭訓

近時婦人教育の普及するや、女流の才學は一般に著しく進みたりと雖も、尚ほ之を日常家庭の上に施こすに臨み、輙もすれば實際に適せざるを憾むこと多し。是れ學校に在るの日には概ね理想の學修に止まるが故に、實際の應用に臨み、或ひは學ぶ所高尚に過るか、然らざれば未だ十分ならざるの憾ある所以なり。若しも家庭に敎師ありて一々實際の問題に就て指導せんには、世の良妻賢母は言ふも更なり、未だ在學中の女流學生達の爲にも如何に裨益の多かるべきかは、敢て多言を須ゐざることながら、人ごとに家庭に敎師を聘するが如きは、得て望むべからず。是に於て本書は、最良なる家庭敎師たる目的を以て編述發行し、敢て婦人敎育の缺點を補はんと欲するなり。

三輪田高等女學校長
三輪田眞佐子女史著

發兌元 東京

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦女必讀の大全書發行

第二編 四季料理

宮中臣民兩流料理師範
大日本割烹學會々長
石井泰次郎君著

第三編 裁縫指南

女子高等師範學校教授
喜多見佐喜子女史著

●第一章 裁縫用具の名稱及用法○運針法○針留及糸結び○縫方種類○風呂敷、糠袋、紐前掛、雑巾刺方等○衣服の名稱●第二章 一つ身襦袢○三つ身襦袢○四つ身襦袢○大人襦袢○長襦袢●第三章 女大人物單衣○男大人物單衣○一つ身單衣○三つ身單衣○四つ身單衣○前衿裁單衣●第四章 袷綿入寸法○袷綿入り積り方○袷綿入裁方○袷縫方○綿入縫方○羽織寸法○單羽織○袷羽織○綿入羽織○襠高袴○馬乘袴○小供袴○被布○男帶○女帶○シャツ○ズボン下○布團○夜具○小袖○重帷子○比翼○股引○脚絆○足袋○小供前掛●附錄 裁縫に就て心得べき事項

續刊

和洋菓子製法

東京治庖會講師 龜井まき子女史著

茶道と香道

水原翠香女史著

本町 博文館

女(後付の七)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

伊達奥洲君著

女性觀

附 通人漫語

著者は日夕繁惱なる業務に從事せる某少壯事務家なり彼れが半生の世故風流の間に贏ち得たるもの之を「女性觀」并に「通人漫語」となす、名の實に件はざるは世間ありうちのことなり、獨り之を本著に於て怪むを要せず

三六版洋裝石版表紙美本
紙數約百八拾頁
定價金貳拾錢
郵稅六錢

東京本町 博文館

侯爵夫人 鍋島榮子 題詠
學習院女子部長 下田歌子 題詠
高等女子實修學校長 山脇房子 序文
巖谷小波 竹貫直人
沼田笠峰 木村小舟 合編



正價 金八拾五錢
郵稅 八錢

全一冊三六版特製
金紙模樣クロース表紙
紙數約六百頁
口繪十枚挿畫四百餘個

本書口畫には、東宮妃殿下、各内親王殿下の御尊影及び、本邦女子教育大家の肖像を掲げ、極彩色石版には、日本國旗章、外國旗章、女子の勳章、明治時代頭髮の種類、日本女子服裝變遷圖、女子の用具等、日常必須の材を撰み、又本文には少女訓、日本歷史、外國歷史、日本地理、外國地理、動植鑛物、物理化學、天文地文、算術英語、音樂國文、茶の湯挿花、裁縫編物、衞生料理、刺繍、禮法、體操遊戲農業等苟くも日本女子の心得ふべき學科は一も洩さず、加ふるに鼇頭には少女立志談、少女お伽噺等を掲げて、一層其の趣味を深からしめ、別科には老物、笑話、福引、紋形、手毬歌、吉凶占ひ、秘傳、採集法、小鳥、金魚の飼養、少女年中行事等約五十餘題趣味豐富なるものを集め、記述面白く筆法平易挿畫美に、印刷製本又善美を盡せり。

東京本町 博文館

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



◉月やくをつうじ◉◉◉◉◉
子宮病血の道を全治す

▲月經不通 長きは數年間短きは二三ケ月の間月經なく或は血塊抔と稱へ經水の少なき人

▲月經不順 毎月經水の日定まらず又月經少なく又は多きに過て「どかをり」等にて不同の人

▲月經困難●●● 月經時又は其前後に身體に異狀を起し、腰或は子宮部に痛を發し氣分鬱ぐ人

▲女子十六七才にて月經なき人

●其他月經不順又は月經不通より發る病症◉逆上强く頭痛◉めまひ◉目かすみ◉耳鳴り癇高ぶりねむられず◉顏色惡く氣分鬱ぎ◉食物進まず通じ惡く◉腹腰子宮部に痙攣又は疼痛ある症等に用ひて腹內の停滯物を下し逆上をしづめ總て月經不順より起る諸病を根治する天下無類の良藥なり

注意
藥は思ひ立たる時に買玉へ
全國有名藥店に取次販賣す
若し無き時は本舖へ注文あれ
全國無遞送料にて直ぐ送る

藥價表

一日分	金八錢
半週分	金廿五錢
一週分	金五拾錢
二週分	金壹圓

本舖 大阪市心齋橋八幡筋南 長電話東九百〇壹番

丹平商會藥房



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女學世界
（明治卅三年十二月廿五日第三種郵便物認可）　第七巻第拾五號　（明治四十年十一月五日發行 毎月二回五日發行）

花王石鹸の三大特色

衛生として如何に有効なるか？

遊離質其他混合物等なきが故に肌を粗す事なく能く皮膚を清浄ならしむ又配合薬の作用に依てにきび。ふきでもの等を生ぜず加ふるに傳染病豫防の効あり

經濟として如何に徳用なるか？

品質純色なるが故に其の多量を要せずして數多のやはらかき細泡を生じ能く垢を去り加ふるに價格廉にして永く使用し得らるゝの徳あり

化粧として如何に有効なるか？

肌を美麗に色艶を能くし髮を洗へば毛をやはらかく光澤を生じ加ふるに使用後さつぱりとして石鹸分を殘留する事なし

花王石鹸本舗　東京市馬喰町　長瀬富郎

關西代理店　大阪市安土町　大崎組商會

（定價金貳拾錢）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA